MITSUBISHI

三菱 地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

取扱説明書

形名

LCD-V40MDR3（エルシーディー ブイ エムディーアール） | LCD-40MDR3（エルシーディー エムディーアール）
LCD-V46MDR3（エルシーディー ブイ エムディーアール） | LCD-46MDR3（エルシーディー エムディーアール）

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。

製造番号は安全確保上重要なものです。お買上げの際は、製品本体および保証書に記載の製造番号をお確かめになり、裏表紙の「お客さま便利メモ」に記入しておいてください。

本紙の端面で手などを傷つけないよう、ご注意ください。

この取扱説明書について

- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 画面の背景や放送などの映像や絵は、はめ込み画像です。

もくじ

次ページへつづく

テレビを見る

ページ

次ページへつづく

ページ

使える メディア

予約する（録画）

次ページへつづく

見る（再生）

ページ

次ページへつづく

残す（ダビング）

次ページへつづく

ページ

テレビを お好みの設定にする

次ページへつづく

ページ

テレビを お好みの設定にする

お知らせ

困ったとき

このテレビの便利な機能

テレビ機能

● 節電アシスト
無駄なく電力を使う設定が簡単にできます。 P.78

● いつも適度な音量の範囲で聞く
チャンネルを換えたり、CMに換わったとき、DVDを見るときなどに大き過ぎたり小さ過ぎたりする音量を自動で調整し音量感が大きく変わることを抑え、音量調節頻度を減らします。 P.199

● 音楽を楽しむ
携帯音楽プレーヤーの外付けスピーカー代わりにつかったり、音楽 CDを再生したり、音楽も気軽に楽しめます。音声だけのときは自動で画面を消して消費電力も抑えます。 P.66・147

Bluetooth®に対応した機器となら無線接続できます。 P.67

● iPhone®、iPad®とつなぐ
無線LAN(Wi-Fi)環境があれば、iPhoneやiPadでテレビを操作できます。 P.96

※本機と直接Wi-Fi接続はできません。

※専用アプリのダウンロードが必要です。ダウンロードのための通信費は別途必要です。

● しゃべるテレビ
番組表の内容や、録画一覧のタイトルを自動で読み上げます。 P.201

● 誤操作を防止する
- 本体のボタンを触っても機能しないようにします。 P.223
- リモコンの一部のボタンを機能しないようにし、設定を変えてしまってテレビが見られなくなることを防ぎます。 P.223
- 見られない放送に切り換わらないようにします。(放送波無効設定) P.236
- 当社製テレビが2台あるとき、リモコン操作が片方のテレビだけに利くようにします。 P.236

● 使う人に合わせた設定にかんたんに切り換える
使う人に応じた複数の設定(画面や音、読み上げ、誤操作防止機能など)をモードを切り換えるだけで設定できます。3つあるモードはそれぞれ設定する内容が換えられます。 P.226

● 座ったままテレビを見やすい向きに変える
リモコンのボタンを押すだけでテレビが向きを変えます。テレビを見る位置が変わってもテレビのそばまで行く必要はありません。 P.65

録画・再生機能

● 見たいシーンだけを見る
録画したスポーツ番組の盛り上がったシーン、音楽番組の楽曲部分だけを自動で選んで再生します。 P.142

● 見たいシーンを簡単に探す
録画した番組のシーンの切り換わりを画像で表示。見たいシーンがすぐに探せます。 P.151

● おすすめの番組を探して録画する
録画、視聴履歴を元にお好みにあった番組を探して自動で録画します。 P.124

● 本編だけを手早く見る
録画した番組を見ているとき、シーンの変わり目までボタンひとつで飛ばします。何度も見ているタイトルやCMなどをジャンプします。 P.151

● 録画できる時間(容量)を増やす
USB端子にハードディスクをつないで番組を保存できます。古い番組から自動で外付ハードディスクに番組を移動しますので手間なしです。 P.136

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。	注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

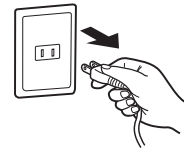
絶対に行わない	絶対に分解・修理はしない	絶対に触れない	絶対に風呂・シャワー室では使用しない
絶対に水にぬらさない	絶対にぬれた手で触れない	必ず指示に従い行う	必ず電源プラグをコンセントから抜く
注意する	指をはさまないよう注意する	手をはさまないよう注意する	高圧注意（本体後面に表示）

警告

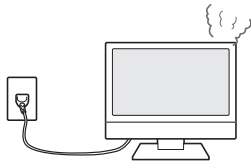
電源プラグは容易に手が届く場所の電源コンセントに差込んでください。
完全に通電を遮断するには電源プラグを抜いてください。

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、
販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない

火災・感電の原因になります。

使用禁止

煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

本機を落としたり、キャビネットを破損したときは使わない

火災・感電の原因になります。

万一落としたり破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

使用禁止

水をかけない 水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないこと

本機の中に水などが入ると、火災・感電の原因になります。

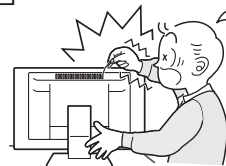
水ぬれ禁止

万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

異物を入れない 特にお子様にご注意ください

通風孔やトレイ開閉口などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。

禁止

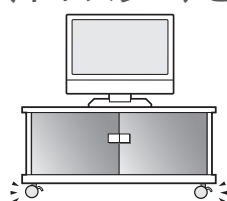
万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

ぐらついたり変形した台の上や傾いた所など。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

設置禁止

テレビ台の車（キャスター）を固定する

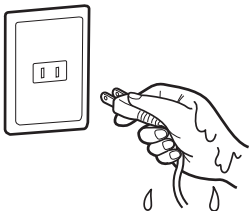
台が動くと本機が倒れ、けがの原因になります。

車を固定

警告

本機にのったり、ぶらさがったりしない

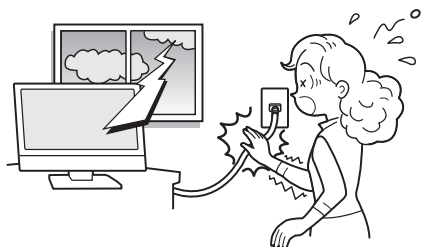
特にお子様にご注意ください

落下してけがの原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

風呂場では使わない 機器を水滴のかかる場所に置かないこと

水気の多い場所での使用は、火災・感電の原因になります。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線に触れない

火災・感電の原因になります。

乾電池、ネジなど小さな付属品やコイン型リチウム電池、SDカードなどは幼児の手の届くところに置かない

飲み込むと窒息死する原因になります。

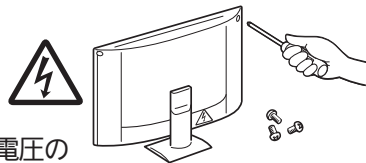
禁止

万一飲み込んだ場合は医師に相談してください。

接続線で遊ばせない。けがの原因になります。

電源コードを傷つけない

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張らない。
コードが破損して火災・感電の原因になります。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。また、けが・火災の原因になります。

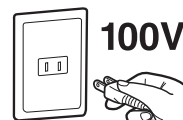
3Dメガネを改造すると、視聴時の異常による体調不良の原因になります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグにほこりがついたりコンセントの差込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

傷んだ電源コードや差込みのゆるいコンセントは使わないでください。1年に一度は電源プラグとコンセントの定期的な清掃と接続を点検してください。

電源は、交流100Vを使う

交流100V電源以外で使用すると、火災・感電の原因になります。

安全のために必ずお守りください（つづき）

⚠注意

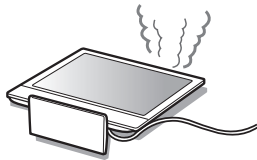
設置のときは次のことをお守りください

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

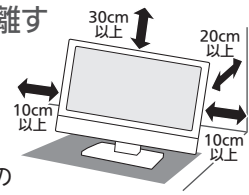
空気穴（通風孔）をふさがない

押入れ、本箱などに入れない

あお向けや横倒し、さかさまにしない

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所、温泉地域の硫化水素ガスの多い所に置かない

直射日光の当るところや熱器具のそばに置かない

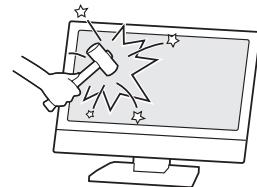
キャビネットが
変色、変形などの劣化を起こす原因になることもあります。

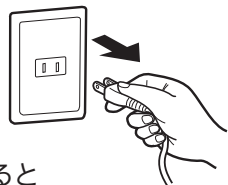
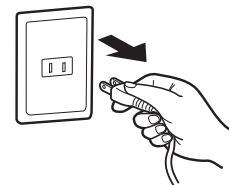
据付の際は壁から離す

壁掛けや設置位置に
よっては、通風孔からの
空気の流れで壁を汚す原因になることもあります。

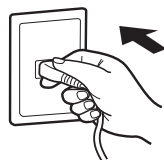
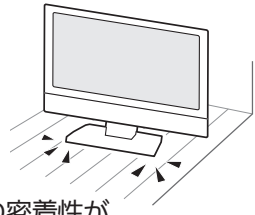
接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の
原因や、つま
ずいてけがの
原因になります。

電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線や
転倒防止金具をはずしたことを確認のうえ、移動してください。

液晶画面に強い衝撃を加えない

パネルが割れて、けがの原因になります。

電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると
傷がつき、感電・火災の原因になります。

お手入れのときは、電源プラグを抜く

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで差し込む

差し込みが不完全な場合、
火災・感電の原因になります。

長期間の旅行、外出のときは電源プラグをコンセントから抜く

⚠注意

本機の上や近くにものを置かない

ローソクのような
裸火を本体の上や
近くに置かない

禁止

金属類や液体が
内部に入ると、火災・感電の原因になります。

ワックスのかかった床に直接置かない

床上のワックス、
洗剤、溶剤により、
床材と本体底面の
すべり止め用ゴムの密着性が
上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

トレイ開閉口の前にものを置かない

倒れたり落下によって、
けがや故障の原因になります。

ディスクトレイが開いているときに、開閉口に手を入れない

特にお子様にご注意ください

手がはさまれ、けがの原因になります。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使わない

飛び散って、けがの原因になります。

持ち運びは2人以上で行う

本機の落下や思わぬけがの原因になります。

車(キャスター)付きのテレビ台ごと移動させるときは、テレビ台のキャスター固定手段をはずして本機を支えながらテレビ台を押す。

本機を支えながらテレビ台を押さないと、本機が落下してけがの原因になることがあります。

車の中で使用しない

熱・振動により壊れて、
火災・感電の原因になります。

回転中や、オートターン使用中は、本機に近づかない

特にお子様にご注意ください

回転させたときに、壁との間にはさまれると、
けがの原因になります。

日本国内専用です

外国では放送方式、電源電圧が異なるので使えません。
また、アフターサービスもできません。

This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.

アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。

送配電線から離れた場所に
設置してください。

アンテナが倒れると感電の原因になります。

BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので
確実に取り付けてください。

内部掃除は、販売店に依頼する

1年に一度くらいを目安にしてください。
内部にほこりがたまったまま使うと、
火災や故障の原因になります。

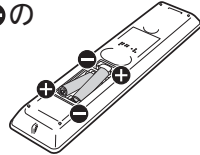
とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については販売店にご相談ください。

ケーブル類を接続したりはずしたりする前に、必ず主電源を切ってください。

注意

乾電池取扱いの注意

取扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、
火災・けがや周囲を汚す原因になります。

- プラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れる。
- マイナス⊖側から入れる。

正しく入れる

- 分解したり、ショートさせたり、火の中に　投入したりしない。
- 充電しない。
- 種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

禁止

アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。
また、目に入ったときはきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

コイン型リチウム電池取扱いの注意

取扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、
火災・けがや周囲を汚す原因になります。

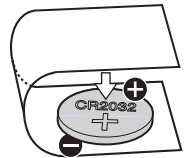
- プラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れる。
- 正しい電池を使用する。

正しい電池を
正しく入れる

使用電池：コイン型リチウム電池
品番　CR2032

- 分解したり、ショートさせたり、火の中に投入したりしない。
- 充電しない。
- 直接半田付けしない。
- 高温・高湿の場所で使用や保管をしない。

禁止

保管時は、ショートさせないように必ずプラス⊕とマイナス⊖の端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
破棄時は必ずプラス⊕とマイナス⊖の端子部をセロハンテープなどで絶縁し、自治体によって処理のしかたが異なりますので、その指示に従って廃棄してください。

3D映像を視聴するときの注意

3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じたら、視聴を中止する
3Dメガネを使用中にはっきりと二重に映像が見えたら、視聴を中止する

視聴中止

そのまま視聴すると、長時間の視聴による目の疲れや体調不良の原因になることがあります。
適度な休憩をとり、長時間連続して視聴しないでください。
3D映画などの場合は、1作品の視聴を目安に適度な休憩をとってください。
3Dゲームなどの3D映像の場合は、30分～1時間を目安に適度な休憩をとってください。
必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身で判断してください。
不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴や3Dゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
また、回復するまで（2時間程度）は自動車などの運転をしないでください。回復するまでの時間は個人によって異なりますので、ご自身で判断してください。

次のようなときは、3Dメガネを使用しない

使用禁止

- 光過敏の既往症がある
- 心臓に疾患がある
- てんかんの既往症がある
- 体調不良や疲れているとき
- 酒気を帯びている
- 睡眠不足
- 妊婦

症状や体調の悪化の原因になることがあります。

お子様の視聴年齢は5～6歳以上を目安とする

5～6歳以上

体調不良、目の疲れの原因になることがあります。
お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
お子様が視聴の際は、保護者の方がお子様の体調変化や目の疲れに注意し、適度な休憩を取るよう監督してください。

⚠注意

3D映像を視聴するときの注意

3D映像を視聴中に誤って モニター画面や人をたたかない 3D映像を視聴するときは、周囲に壊れやすいものを置かない

禁止

画面との距離を誤って画面をたたいたり、身体を動かして周囲のものを壊すなど、けがや故障の原因になることがあります。

3Dメガネに異常・故障があった場合は使用を中止する

使用中止

けがや体調不良、目の疲れの原因になることがあります。

3Dメガネをかけたまま移動しない

禁止

周囲が暗くなり、転倒などによるけがの原因になることがあります。

3Dメガネは、本機で3D映像を見る以外の用途には使用しない 3Dメガネが割れた状態で使用しない

使用禁止

けがや体調不良、目の疲れの原因になることがあります。

3Dメガネにものを落としたり、力を加えたり、踏んだりしない

禁止

ガラス部分などが破損して、けがの原因になることがあります。
フレームをねじるなど無理な力を加えると、レンズが割れる場合があります。使用後はお子様の手の届かないところ、踏んだり落としたりしない場所に保管してください。

3D映像を見るときは3Dメガネを使用し、両目を水平に近い状態で正面から視聴する

両目を水平に近い状態で視聴

体調不良や目の疲れの原因になることがあります。
近視や遠視、乱視、左右の視力が異なる方は、視力矯正メガネの装着などによって視力を適切に矯正したうえで3Dメガネを使用してください。
「サイドバイサイド」「トップアンドボトム」P.59 の3D映像を視聴中に違和感を感じるときは、3D映像の左右と3Dメガネのレンズ(液晶シャッター)の左右切換が合っていない可能性があります。「3Dメガネ切換」P.62 で3Dメガネ側の左右を反転させると違和感がなくなる場合があります。

3D映像を見るときは、画面の高さの約3倍以上の視距離から視聴する

離れて視聴する

画面の高さの約3倍以上の視距離より近い距離で視聴すると、体調不良や目の疲れの原因になることがあります。

鼻やこめかみが赤くなったり痛みやかゆみを感じたり、肌に異常を感じたら、3Dメガネの使用を中止する

使用中止

長時間の使用による圧力により発生することがあり、体調不良の原因になることがあります。
また、ごくまれに3Dメガネの塗料や材質でアレルギーの原因になることがあります。

3Dメガネのヒンジ部に指をはさまない

特にお子様にご注意ください

指のけがに注意

けがの原因になることがあります。

3Dメガネの装着時には、フレームの先端に注意する

注意

目をついて、けがの原因になることがあります。
3Dメガネは両手で持ち、正しく装着してください。

ご使用上のお願い

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器に本機を近付けると互いに妨害を受けることがあります。このときは機器を影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装シート・袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。
  横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。
- ディスクやSDカードは取り出しておいてください。

画面の残像について

時刻表示や静止画を長時間表示された場合や、画面に黒帯等が出る状態で長時間ご使用された場合、部分的に映像が消えない（残像）症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。

露付き（結露）について

本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます。
露付き状態で本機を使用すると、本体（HDD）やディスク、SDカードの情報が読みとれないなど、本機が正常に動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 露付きは、次のように温度が急に変わる場合に起こります。
  - ・部屋を急激に暖房したとき
  - ・エアコンなどの冷風を直接当てたとき
  - ・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき
- 露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おき、充分に乾燥させてからご使用ください。
  ディスクやSDカードが入っているときは、必ず取り出しておいてください。
- ディスクが結露しているときは、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってからお使いください。

置き場所

- 使用時は、水平で安定した場所に置いてください。傾きのある場所、不安定な場所に置くと、ディスクが正常に動作しないなどの原因となります。
- 湿気やホコリの多い場所、油煙・湯気・たばこの煙などが当たりやすい場所に置くことは避けてください。
  録画/再生用レンズが汚れ、正常に録画・再生できなくなることがあります。

引っ越しのときは

製品が入っていた段ボール箱か同等品で梱包してください。ない場合は、本機に衝撃が加わらないように毛布などで包んでください。また、ディスクやSDカードは取り出しておいてください。

動作時・待機時の本体温度について

本体や上面の一部は温度が高くなりますので、ご注意ください。品質・性能には問題ありません。

取り扱い

本機は、振動や衝撃、周囲の環境（温度など）の変化に影響されやすい部品（HDD（本体）など）を使用した精密な機器です。取り扱いは慎重に行ってください。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭きとってください。
  液晶パネルを素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合はすぐに拭きとってください。
  そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

本機を使わないときは

ふだん使わないときは、ディスクやSDカードを取り出し、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切っておいてください。

録画/再生用レンズ（レーザーピックアップ）について

録画/再生用レンズにごみ・ホコリ・たばこのヤニなどがつくと、映像の乱れや音飛びなどが発生し、正常に録画や再生ができなくなります。
点検、清掃については「三菱電機お客さま相談センター」にご相談ください。正常にお使いいただくためには、定期的な点検をおすすめします。

大切な録画（録音）の場合は

- **本体はディスクにダビングするまでの、一時的な保管場所としてお使いください。**
- **大切な録画（録音）内容は、BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-Rに保存しておくことをおすすめします。**
- 事前に録画（録音）をして、正常に録画（録音）されていることを確認しておくことをおすすめします。
- 本機に故障や異常が発生すると、本体に録画（録音）された内容が失われることがあります。

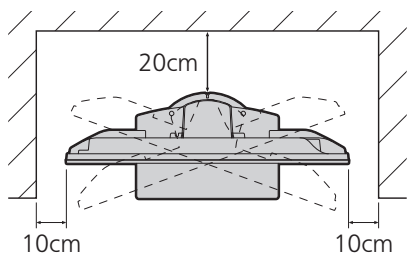
録画（録音）内容の補償について

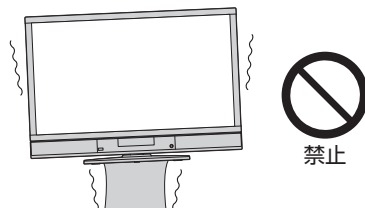
- **万一、下記を一例とする何らかの不具合が発生した場合、停電、結露、その他の事象により録画（録音）や編集が正常に行われなかった場合に、録画内容やデータの損失、およびこれらに関するその他の直接・間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。**
  （例）
  - ・本機で録画したディスクを、他社のBD/DVDレコーダーやパソコンのBD/DVDドライブで動作させたことによる不具合
  - ・上記の動作を行ったディスクを、再び本機で動作させたことによる不具合
  - ・他社のBD/DVDレコーダーやパソコンのBD/DVDドライブで録画したディスクを、本機で動作させたことによる不具合
  - ・本機、記録媒体（本体、外付ハードディスク、メディアなど）の故障または異常による録画（録音）内容の損失
- 本機を修理した場合（本体以外の修理を行った場合でも）、本体や外付ハードディスクの録画（録音）内容が失われることがあります。その場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するその他の直接・間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本機の設置についてのお願い

お願い！

- 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
- 本機の下へ物をはさまないでください。
- 本機を高いところに置かないでください。
- 万一転倒した場合に備えて、就寝場所や避難障害となる場所に本機を置かないでください。

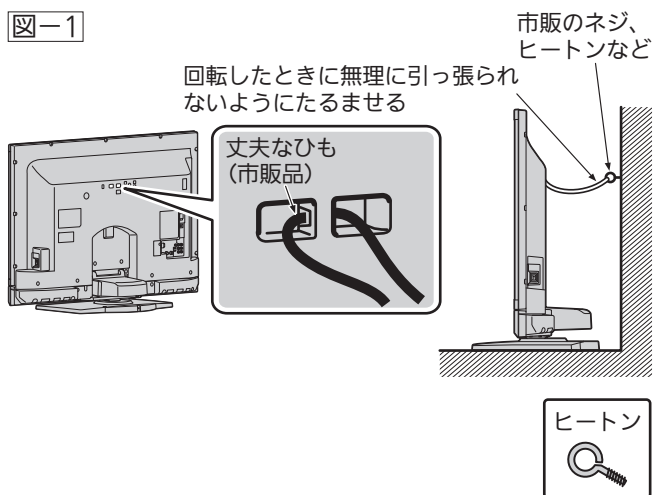
- 最低限、下図のスペースを取ってください。

- 不安定な場所に置かないでください。

台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。

転倒防止についてのお願い

⚠注意

衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら次の処置をお願いします。次の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものです。すべての地震等に対してその効果を保証するものではありません。

壁や柱などの安定した場所への固定

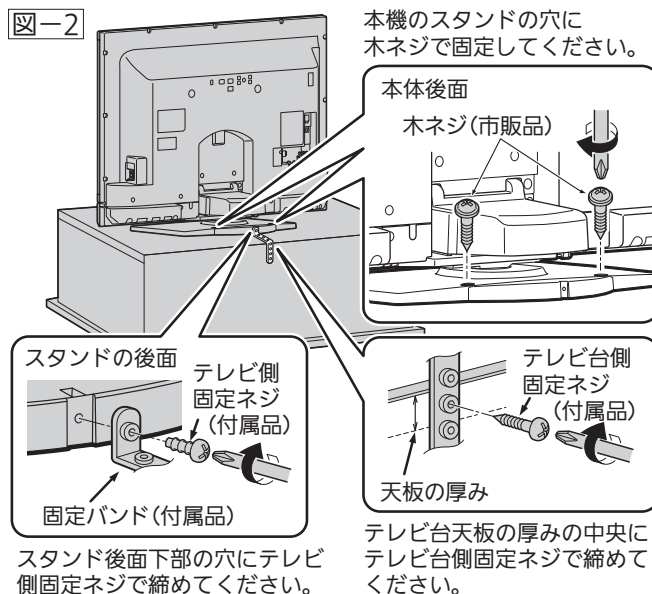
図ー1のように本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも（市販品）で確実に取り付けてください。

お願い！ ひも、ネジなどの取り付けは確実に行ってください。

テレビ台への固定

図ー2のように、お使いの台の天板と本機のスタンド（2ヵ所）を市販の木ネジで取り付けてください。軸径4.1〜4.8 mmで、十分長い木ネジを使用してください。テレビ台をネジが突き抜けるとけがなどの原因になりますので、テレビ台の厚みにスタンドのネジ穴部分の厚みを足した数より短くしてください。スタンドのネジ穴部分の厚みは5.6 mmです。

または、テレビ台への固定用部品（付属品）で、スタンド後面下部とお使いの台の強固な部分を、固定してください。

スタンド後面下部の穴にテレビ側固定ネジで締めてください。

テレビ台天板の厚みの中央にテレビ台側固定ネジで締めてください。

お願い！

- 再び移動させるときは木ネジやテレビ台への固定用部品をはずしてから行ってください。
- テレビ台も可能な限り床や壁などに固定してください。

留意点

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

■受信異常により本機の操作ができなくなった場合は、ディスクトレイ左側のハードディスク表示灯やBD/DVD表示灯が点灯または点滅していないことを確認したあと、本機画面右側面の主電源スイッチで主電源をいったん切り、しばらくして再度主電源を入れ直してください。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■付属のB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客さまへ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちにB-CAS〔(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕カスタマーセンター P.244 へご連絡ください。なお、お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域(VHF:90～222MHz、UHF:470～770MHz、BS:1032MHz～1336MHz、CS:1595MHz～2071MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

本機の主電源は頻繁に切らないことをおすすめします

本機には、側面に主電源スイッチがあります。 P.20
長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしたり、主電源「切」のままにしないことをおすすめします。本機は電源オフ(待機)状態でも、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合があります。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送が行われている場合)降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください

B-CASカード挿入口に、正規のB-CASカード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損することがあります。

■液晶パネルの輝点(点灯したままの点)や黒点(点灯しない点)は保証の対象とはなりません。

■お客様または第三者が本機の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」 P.243 により個人情報を消去されることをおすすめします。

■火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧による故障および損傷は有料修理になります。

著作権などについて

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、また、ロヴィ社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、コピーガード(複製防止)機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks & DTS Digital Surround and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は、商標です。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は(株)アクトビラの商標です。
- 「TSUTAYA TV」「 」は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。
- 「GIGA.TV」「 」は、株式会社フェイス・ワンダワークスの商標です。
- 『「スカパー！ＨＤ録画」ロゴ』は、スカパーJSAT株式会社の商標です。
- “Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク™)” “Blu-ray™(ブルーレイ™)” “Blu-ray 3D™(ブルーレイ3D™)” “BD-LIVE™” “BDXL™” “AVCREC™”およびロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- Apple®、Appleのロゴ、iPhone、iPod touch®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPadはApple Inc.の商標です。App Store℠はApple Inc.のサービスマークです。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Mitsubishi Electric Corporation is under license.
- Wi-Fi® and Wi-Fi Alliance® are registered trademarks of the Wi-Fi Alliance.
- 「DIATONE」ロゴは当社の登録商標です。
- 「DIATONE」および「ダイヤトーン」は当社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・AVC規格に準拠する動画を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
  - ・ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- DLNA ®、DLNAロゴ、DLNA CERTIFIED ®は、Digital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、または認定マークです。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。
  © 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™ NetFront®

- この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2010 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

本体前面/側面

お知らせ

- 主電源が「切」の状態は、電源プラグを抜いた状態とほぼ同じになります。リモコンや本体の電源ボタンは、はたらきません。
- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。マイコンおよびデジタルチューナーなどの回路が通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は主電源を「切」にしないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、ディスクトレイ左側のハードディスク表示灯やBD/DVD表示灯が点灯または点滅していないことを確認したあと、しばらく主電源を「切」にしてみてください。
- **次のようなときは、主電源を「切」にしないでください。**
  - ・ディスクトレイ左側のハードディスクやBD/DVD表示灯が点灯または点滅しているとき
  - ・ディスクの読み込み中、初期化(フォーマット)中、ファイナライズ中/解除中
  - ・SDカードやUSB機器、外付ハードディスクの認識中や読み込み中
  - ・録画予約したとき
  - ・録画中
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲームでは、正しく動作しないことがあります。
  くわしくはゲームの取扱説明書をご覧ください。

コントロール部

付属のB-CASカードを入れる。 P.27

- B-CASカードを抜き差しするときは、必ず本体の主電源を「切」にしてください。
- カードを入れる前に、この説明書の裏表紙にカード番号を記入してください。
- 付属のカード以外のものを入れないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

主電源が入っているときに、電源を入/切できる。 P.56

メニューを表示する。 P.184～185

ビデオなどを見るときに押す。 P.66

押すごとに、地上デジタル→BS→CS1→CS2→ビデオ1→ビデオ2→HDMI1→HDMI2→i.LINK→Bluetoothの順に切り換わります。
メニュー表示中はリモコンの決定と同じはたらきをする。 P.184～185

視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換える。 P.56
メニュー表示中はリモコンの▲▼と同じはたらきをする。 P.184～185

音量を調節する。 P.56
メニュー表示中はリモコンの◀▶と同じはたらきをする。 P.184～185

USB機器、外付ハードディスクと接続する。 P.50・154

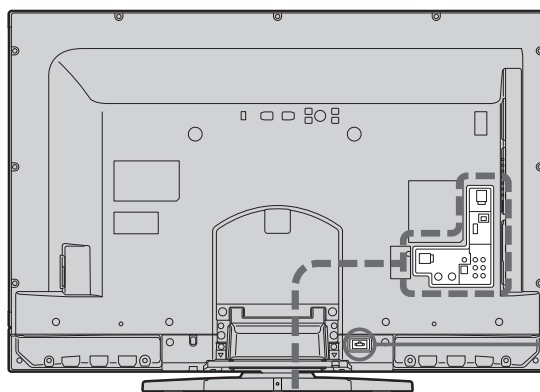
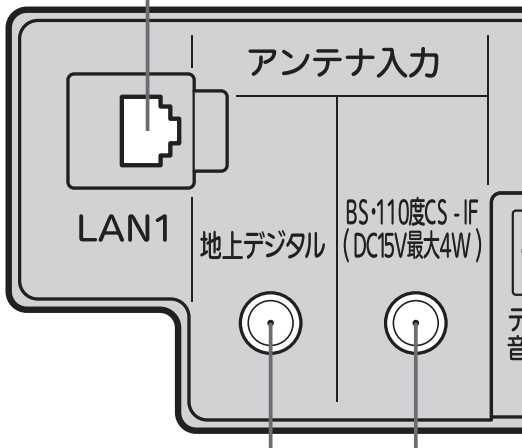
HDMI機器を接続する。 P.32
再生専用。

SDカードを入れる。 P.154

ステレオのヘッドホンを差し込む。

お知らせ

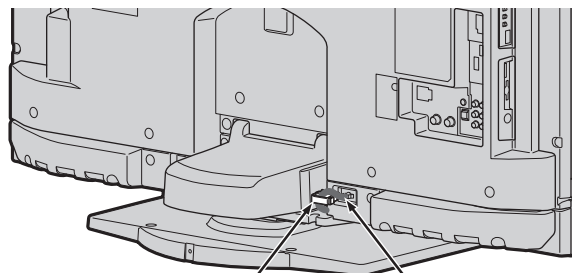
入力切換、チャンネル、音量ボタンが、リモコンの決定、▲▼◀▶と同じはたらきをするのは、メニューの各項目が画面に表示されているときに限ります。
メニュー項目が消えたあとの画面、たとえば項目「見る（再生）」から表示した録画一覧など、ではリモコンと同じはたらきはしません。

本体後面

オートターン専用コネクタ（メス）
オートターン機能を使うには、必ずスタンドの黄色いリード線とつないでください。
LANケーブルで、ルーターやモデムと接続する。 P.40～41
家庭内ネットワーク、アクトビラ、TSUTAYA TV、「スカパー！HD録画」、BD-Live専用。
LAN2
S400（TS）
i.LINKケーブルで、i.LINK（TS）対応のデジタルセットトップボックスと接続する。 P.35
入力専用。
HDMI 1
映像・音声 入力
ARC対応
HDMI機器を接続する。 P.32
再生専用。
LANケーブルで、ルーターやモデムと接続する。 P.40～41
GIGA.TV、Yahoo! JAPAN、双方向データ放送、携帯端末連携専用。
オーディオアンプなどへの音声出力端子。 P.34
録画対応は
ビデオ2入力のみ
アンテナ入力
音声
出力
LAN1
地上デジタル
BS・110度CS - IF
（DC15V最大4W）
デジタル
音声（光）
出力
映像
左
音声
右
ビデオ1
入力
ビデオ2
入力
ビデオやDVDプレーヤーなどのビデオ出力を接続する。 P.31
録画対応。
●お手持ちの録画・再生機器から本機にダビングする場合は、必ずこの端子と接続してください。
音声入力端子に携帯音楽プレーヤーを接続して、本機で音楽を聞くこともできる。 P.31
〈左＝地上デジタル入力〉
地上デジタル用のアンテナ（UHF）を接続する。 P.28～30
〈右＝BS・110度CS-IF入力〉
BS・110度CSアンテナを接続する。 P.29
光ケーブルで、デジタル音声（光）入力端子をもつオーディオ機器と接続する。 P.34
ビデオやDVDプレーヤーなどのビデオ出力を接続する。 P.31
●ビデオ1はダビングには対応していません。お手持ちの録画・再生機器から本機にダビングする場合は、ビデオ2と接続してください。

お知らせ

これまでD端子を使って接続していた機器で、HDMI端子があるものについては、HDMI端子をご利用ください。

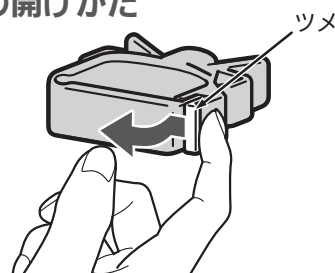
お願い!

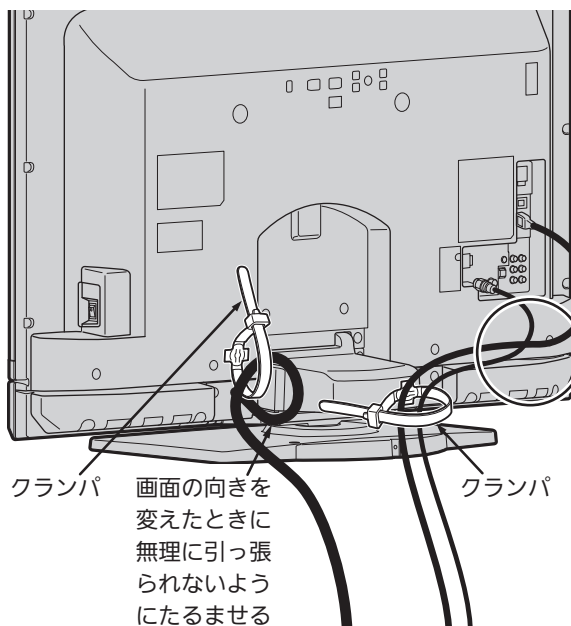
- 接続は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
  映像…黄、音声ー左…白、音声ー右…赤
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- 接続線は、後面のクランパで固定してください。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出るときは、たがいに近すぎることがあるので、機器を十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

- スタンドの黄色いリード線を本体後面にしっかり差し込んだ後は、引っ張ったり抜いたりしないでください。オートターン機能 P.65 が使えなくなります。

このリード線は図のように固定してください。

クランパ(小)の開けかた

ツメを押しながら、手前に引きます。

ツメ

他の機器を接続したあとは…

下図のように、ケーブルを後面のクランパで、しっかり固定してください。

画面の向きを変えたときに無理に引っ張られないようにたるませる

⚠注意

無理に引っ張られると端子が破損する恐れがあります。

リモコン

ふだんよく使うボタン

この製品はリモコンコードを変更できます。
当社製テレビがもう1台近くにあるときなどに切り換えると便利です。
くわしくは P.236 をご覧ください。

お願い！
- ボタンは、表示の真ん中あたりを真上から押してください。
- ボタンを押すときは、力を入れすぎないようにしてください。
- 丁寧に扱ってください。

さらに便利に使いこなすボタン

見ているデジタル放送をすぐに録画する。 P.118
ビデオ2やi.LINK入力を録画する。 P.131～132

番組ポーズ
見ている番組を一時停止して、再び停止させたところから見る。 P.75

予約一覧
予約一覧画面を表示する。 P.128
時刻指定予約をする。 P.122

ネットワーク
「ネットワーク」のサービスを選ぶ。 P.88

本体に録画した番組やディスクなどを見るときに使う。 P.141～152

電気を効率よく使うための各種設定をする。 P.78

メニューを表示する。 P.184

音声切換
視聴中や再生中の音声を切り換える。 P.69

字幕
デジタル放送のとき、字幕の言語や、表示の有無を設定する。 P.69
一部録画したものでも字幕表示の操作ができます。 P.111

オフタイマー
押すごとに30分、60分、90分、120分後に電源が切れるように設定できる。 P.76

リモコンの使用範囲

リモコン受光部に正しく向けてください。
使用範囲は角度により異なります。

お願い リモコンの取扱い

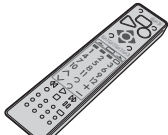
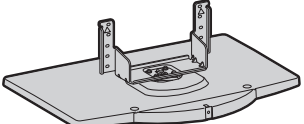
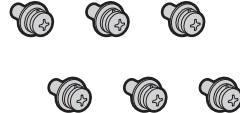
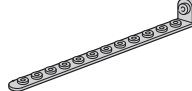
落としたり、物を当てたり、衝撃を与えたりしない。

リモコンの上に重いものを乗せたり、踏みつけたりしない。

水をかけたり、ぬれたものの上に置かない。

ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。

外傷に至らない場合でも、内部の基板が割れるなどの故障の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

テレビを見るまでの準備の流れ

準備1 付属品を確認する

テレビを見るために

リモコン…1台　単4形乾電池…2個　B-CASカード…1枚

※スタンド…1台

※スタンド取付ネジ…6個
本書と一緒に袋に入っています。

安全のために

テレビ台への固定用部品

固定バンド…1本　テレビ側固定ネジ…1個　テレビ台側固定ネジ…1個

※最初に本体と付属品のスタンドをスタンド取付ネジで確実に取り付けてください。

本体とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。
取付方法は、スタンドに貼り付けられているスタンド取付け説明書「スタンド/ディスクドライブの取り付けかた」をご覧ください。

準備2 B-CASカードを入れる

本機には、B-CASカードを付属しています。**B-CASカードはデジタル放送を見るために必要です。**
番組の著作権保護のため、**B-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。**
現在、デジタル放送をご覧にならなくてもB-CASカードを入れておかれることをおすすめします。
B-CASカードの詳しい説明は、P.244 をご覧ください。

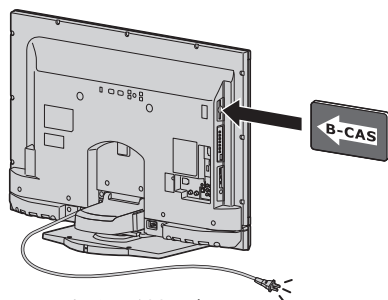
B-CASカードの入れかた

※B-CASカードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課されることはありません。

1 電源コードがコンセントに差し込まれていないことを確認する

B-CASカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

2 B-CASカードを入れる

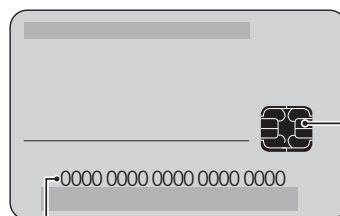
B-CASカードの絵柄表示面を確認して挿入口方向に合わせ、ゆっくりと突き当たるまで押し込んでください。

本体後面から見てB-CASカードの矢印の絵柄が見えるようにして、カード絵柄の矢印の方向に挿入します。

お願い

- 本機専用のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。
  挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

B-CASカードについて

B-CASカード
デジタル放送を見るために必要なカードです。

0000 0000 0000 0000 0000

IC
（集積回路）

B-CASカード番号
ご確認のうえ、裏表紙の「お客さま便利メモ」に記入しておいてください。

■ B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC（集積回路）部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。
  視聴できなくなる場合があります。

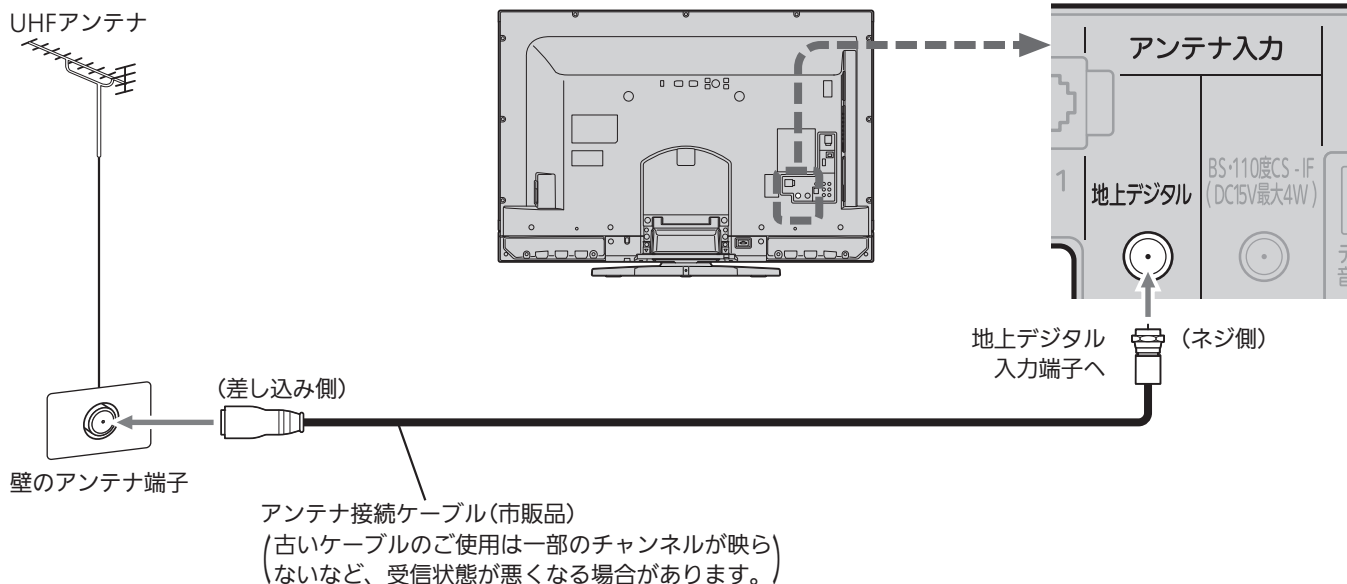
■ B-CASカードを抜くとき

- 万一B-CASカードを抜く必要があるときは、本機の主電源を「切」にしたあと、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

準備3 アンテナをつなぐ

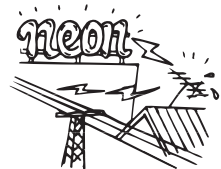
本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。
P.28～30 の図を参考にして、あてはまる接続を確実に行ってください。

UHFアンテナ　地上デジタル放送を見るとき

- 地上デジタル放送をご覧になるためには、UHFアンテナとの接続が必要です。
- ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくは、お買上げの販売店にご相談ください。

次ページへつづく

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」 P.49 をご覧ください。

アンテナの場所

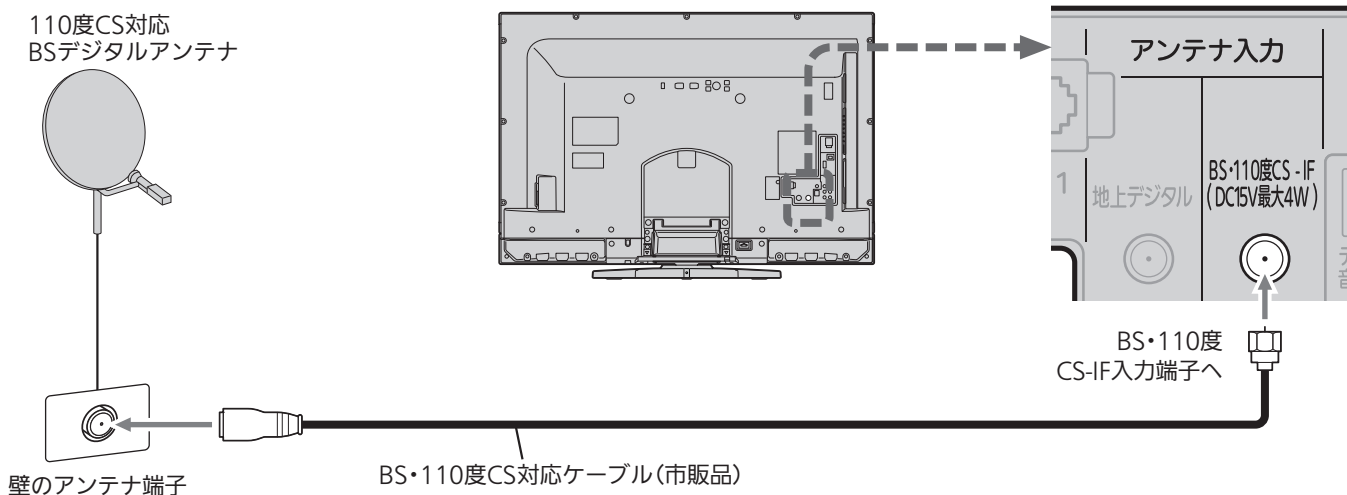
妨害電波の影響をさけるため交通の煩雑な道路、電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離してください。
万一アンテナが倒れた場合の事故を防ぐためにも有効です。なおアンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

アンテナの定期的な点検・交換を

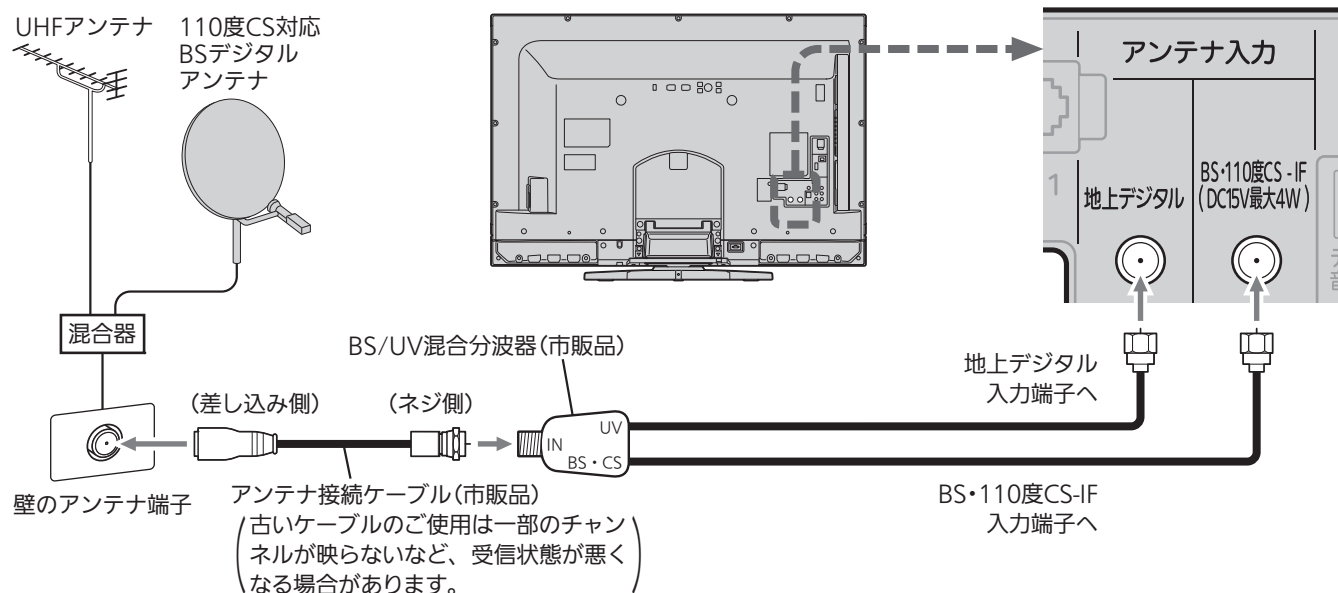
アンテナは屋外にあるため傷みやすく性能が低下します。映りが悪い時は販売店にご相談ください。

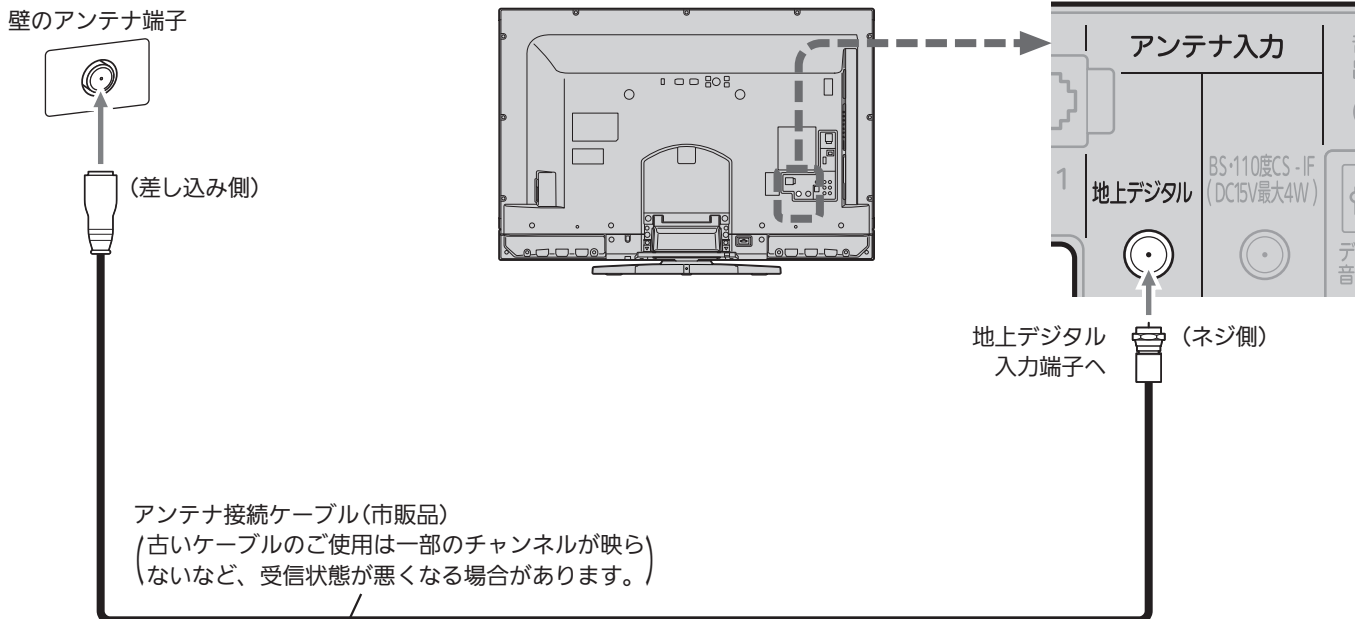
BS･110度CSアンテナ　BSデジタル･110度CSデジタル放送を見るとき

アンテナは、110度CS対応のBSデジタルアンテナをご使用ください。
ケーブルや分配器などは、110度CS帯域に対応しているものをご使用ください。

- **BS･110度CSアンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
  BS･110度CSアンテナをお買上げの販売店にご相談ください。
  設置のしかたについては、BS･110度CSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **BS･110度CSアンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
  BS･110度CSアンテナの取扱説明書をよく読んで、方向･角度を調整してください。
- **BS･110度CSアンテナをつなぐときは、本機の主電源を切ってください。**

お知らせ　アンテナ線がショートしている状態でアンテナ電源を「入」に設定 P.235 すると、保護回路がはたらき、自動的に「切」に切り換わります。アンテナ線の買換え、修理については、販売店にご相談ください。

UHF/BS･110度CS混合のとき

(マンションの共同受信など)

アンテナをつなぐ（つづき）

CATV（ケーブルテレビ）パススルーのとき

代表的な接続方法を記しています。
くわしくはCATV会社へお問い合わせください。

レコーダーを通して接続するとき

アンテナ出力の接続は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

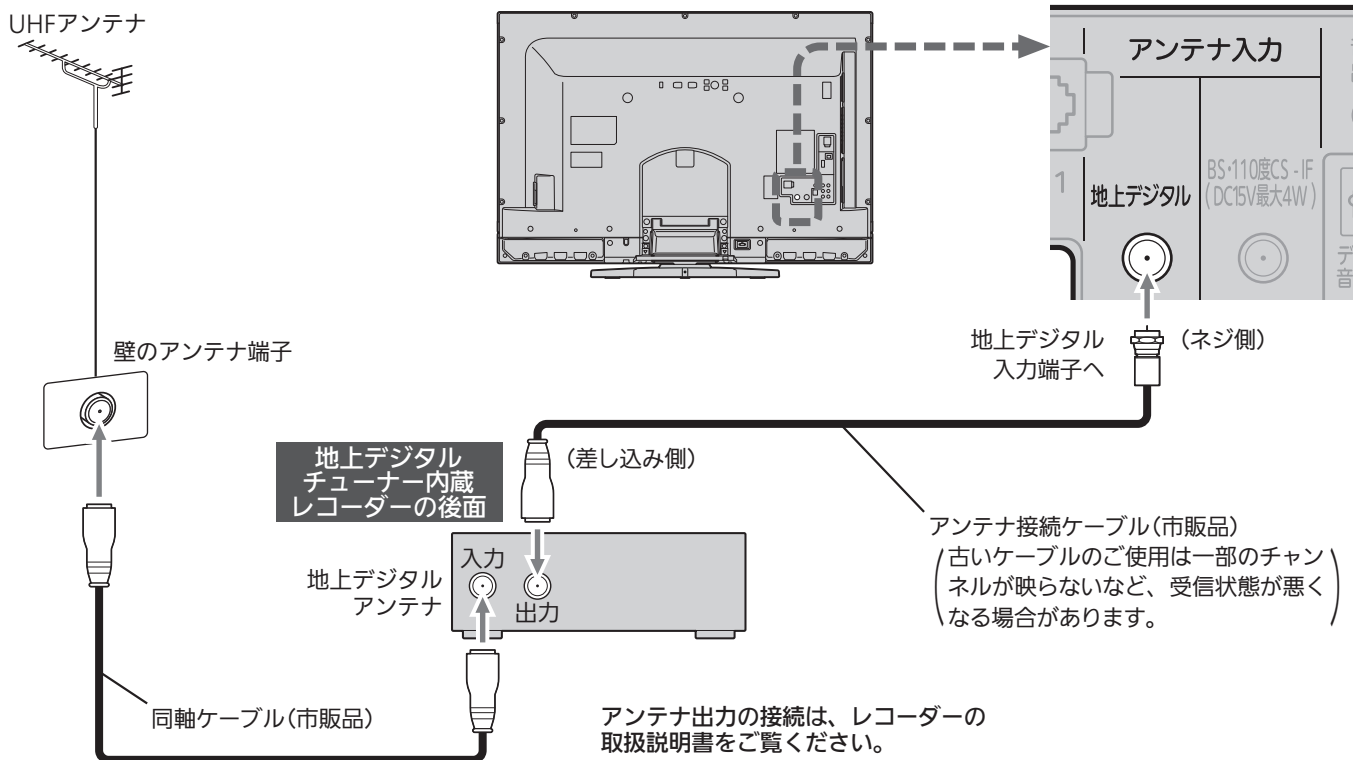
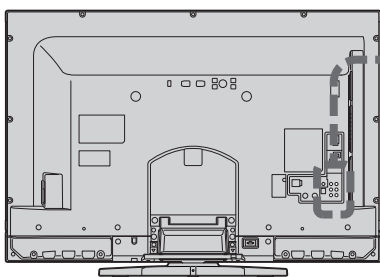
準備4 他の機器とつなぐ

ビデオとの接続

モノラルビデオとの接続

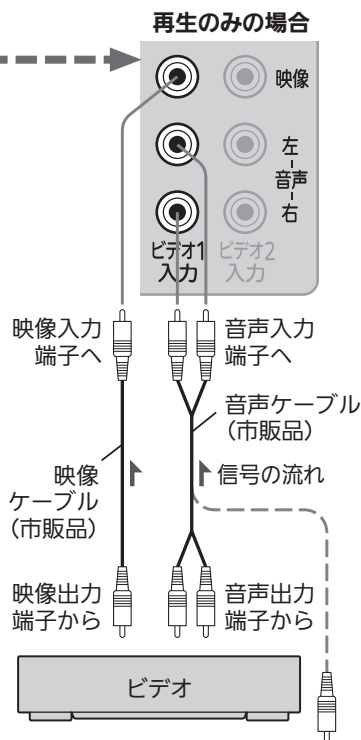
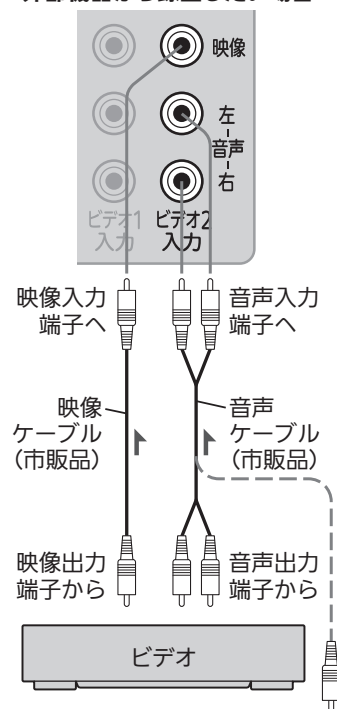
音声入力コネクタは、ピンプラグ×1←→ピンプラグ×2のケーブル（市販品）で、必ず映像入力コネクタと同じ系統の左と右の両方とも接続します。

モノラルビデオとの接続

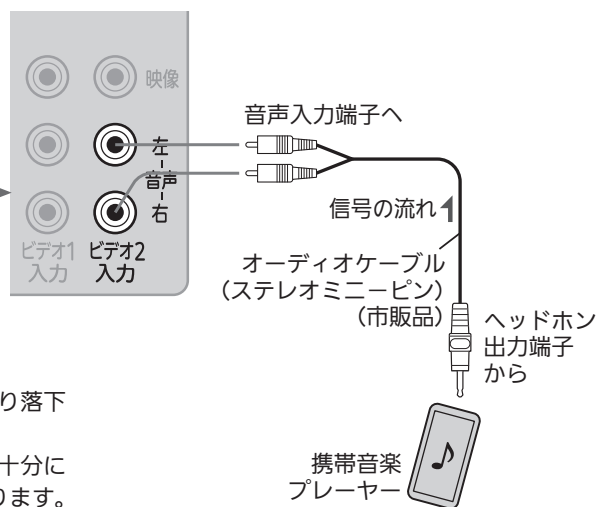
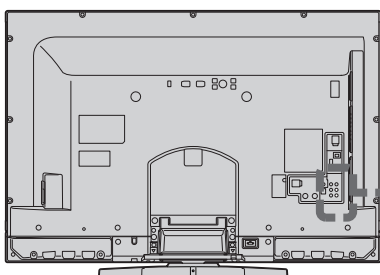
音声入力コネクタは、ピンプラグ×1←→ピンプラグ×2のケーブル（市販品）で、必ず映像入力コネクタと同じ系統の左と右の両方とも接続します。

お知らせ

- ビデオの特殊再生機能（早送り、一時停止など）を使うと映像が乱れることがあります。
- つないだ機器で見るときは、入力切換で「ビデオ1」または「ビデオ2」を選んでください。
- ビデオテープなどの内容を、お手持ちの機器から本機の本体（HDD）にダビングする場合は、必ず本機のビデオ2入力と接続してください。本機のビデオ1入力はダビングに対応していません。

お願い！

ビデオ側の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

携帯音楽プレーヤーとの接続

ヘッドホンやイヤホンの代わりに本機とつなぎ、本機で音楽などを聞くことができます。

例：携帯音楽プレーヤーを「ビデオ2」に接続する

お願い！

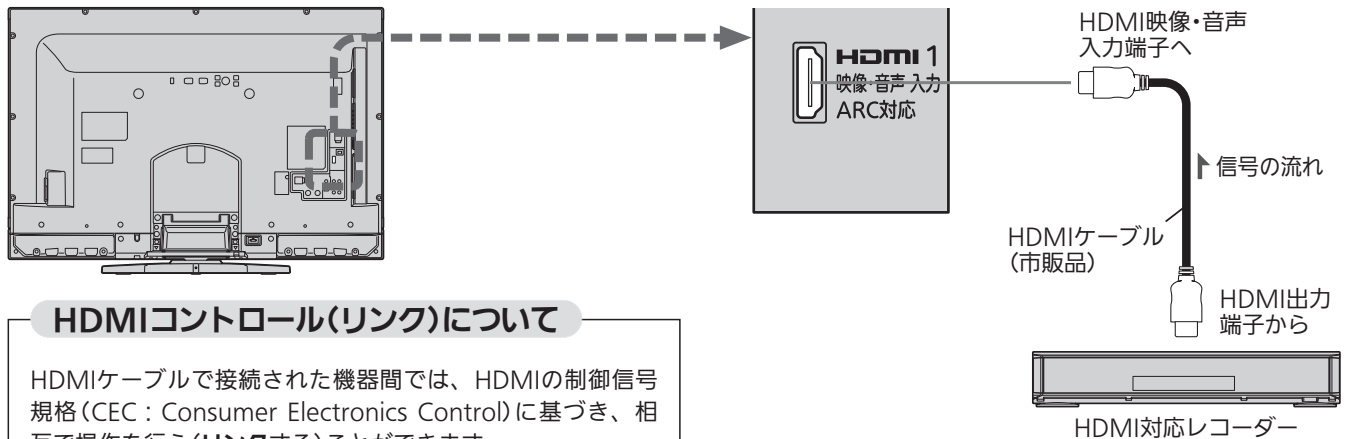
- 携帯音楽プレーヤーは、テレビを回転させたときに、引き摺ったり落下させたりしないような位置に置いてください。
- 接続ケーブルの長さは、ケーブルが引っ張られることのないよう十分に余裕を持たせてください。端子部分に力がかかり破損しやすくなります。
- 接続する携帯音楽プレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

お知らせ

つないだ機器で音楽などを聞くときは、入力切換で「ビデオ2」（または「ビデオ1」）を選んでください。

HDMI機器との接続

映像・音声信号を1本のケーブルでつなぐことができます。

例：HDMI対応レコーダーを「HDMI1入力」に接続する

HDMIコントロール(リンク)について

HDMIケーブルで接続された機器間では、HDMIの制御信号規格(CEC：Consumer Electronics Control)に基づき、相互で操作を行う(**リンク**する)ことができます。
特に当社製機器相互で操作を行うことを「リアリンク(REALINK)」と称しています。

お知らせ

- HDMI1～2入力共にHDMIコントロール対応機器を接続したときは、番号の小さい方から優先されます。
- 本機に(またはアンプを介して)リアリンク対応レコーダーを接続しても、本機のリモコンでリアリンクによるレコーダーの操作はできません。テレビ電源入連動、テレビ電源切連動、リンク機器切連動 P.223 およびレコーダー再生操作による入力切換は動作します。

お願い！

- HDMI端子の接続を変更した場合(HDMI1入力からHDMI2入力に差し替えた場合など)は、本機の電源を入れ直して入力切換で変更後のHDMI入力を選んで、接続している機器からの映像が映っていることを確認してください。
- HDMIコントロール対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 機能を中止するために「リンク制御」 P.223 を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

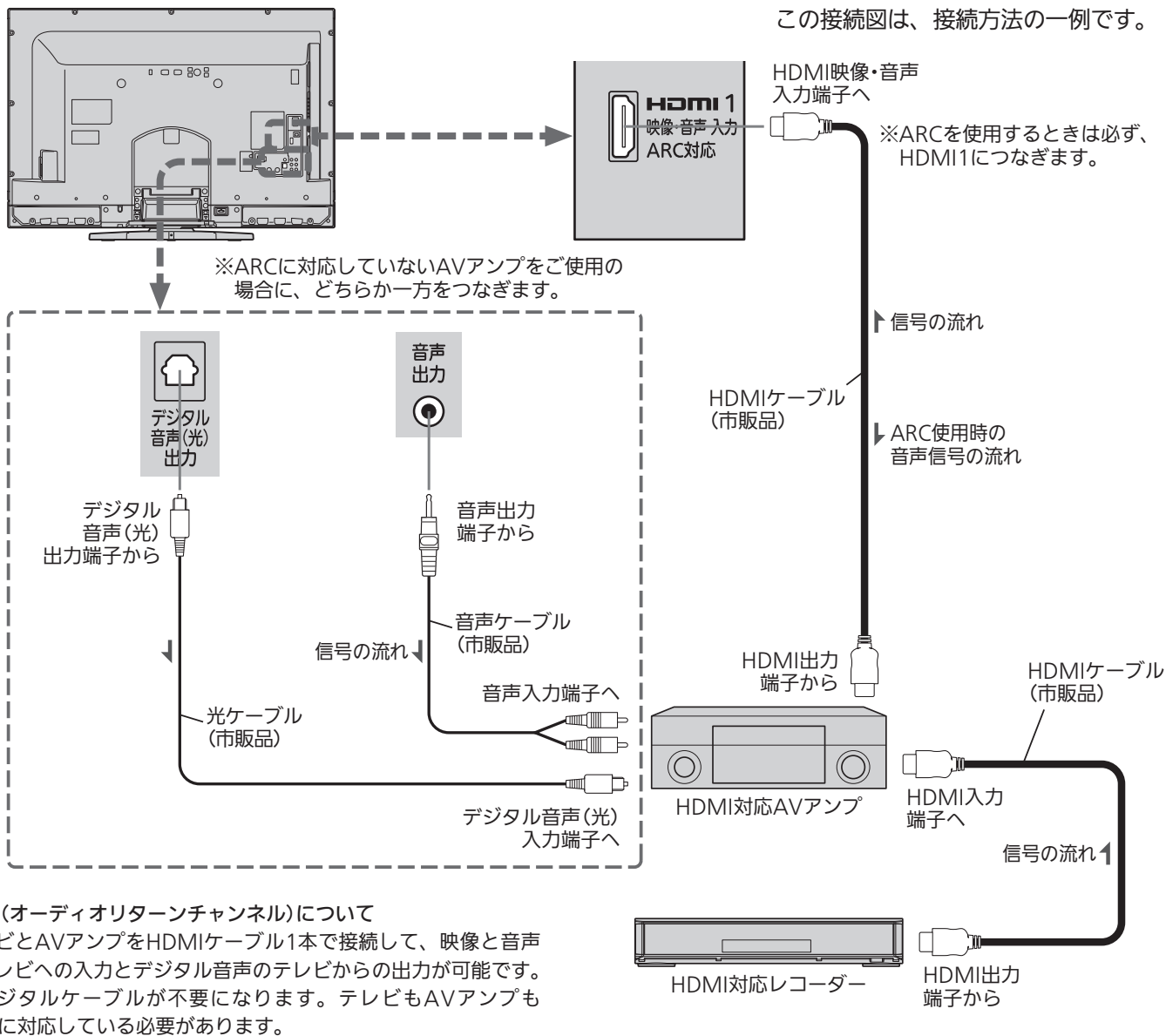
お知らせ

- 対応している映像信号
  480i、480p、1080i、720p、1080p
- 対応している音声信号
  種類：PCMのみ
  サンプリング周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz
- HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「HDMI1」(または「HDMI2」)を選んでください。
- HDMI入力からの録画はできません。
- 「HDMI2入力」は画面に向かって左側面にあります。
- 非対応の信号を入力すると、映像が乱れたり、映像が出なくなることがあります。接続機器側の設定には十分ご注意ください。
- HDMI出力端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。

お願い！

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

例：HDMIコントロール対応AVアンプを「HDMI1入力」に接続する

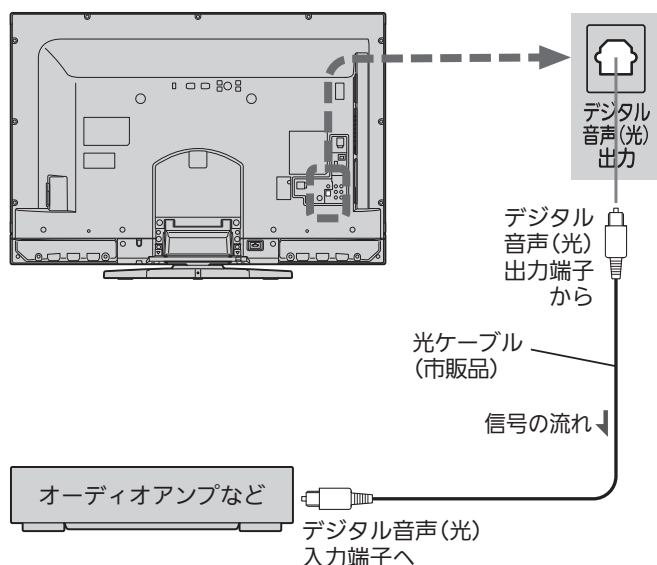
本機のリモコンで、HDMIコントロールに対応したAVアンプの音量調節ができます。P.86 接続後は、「リンク制御」P.223 を「入」に設定し、「接続機器切換」P.200 を「外部アンプ（固定）」にする必要があります。デジタル音声（光）出力接続時は、接続先に合わせて「光音声出力設定」P.202 が必要です。この場合も「接続機器切換」を「外部アンプ（固定）」にする必要があります。
また、本機はARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。

ARC（オーディオリターンチャンネル）について

テレビとAVアンプをHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能です。光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

お願い！

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIコントロール対応AVアンプをつないだときは、レコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- HDMIコントロール対応AVアンプをつないだときは、デジタル音声（光）出力もAVアンプと接続してください（ARC対応のAVアンプでARCを使用するときは接続不要です）。AVアンプに電源が入っているとき、本機の音声が消音される場合がありますのでAVアンプで本機の音声を聞けるようにします。この場合でもリモコンの消音ボタンで消音になります。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、HDMI1につないでください。
- ARCを使用するときも、本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- AVアンプを含め、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMIコントロール対応機器は製品毎に接続方法や動作が異なりますので機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器との接続

デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器を接続すると、今見ている番組やブルーレイのマルチチャンネル音声を楽しんだり録音したりすることができます。
接続後は、接続先に合わせて光音声出力の設定が必要です。 P.202

お知らせ

- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、デジタル音声(光)入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulation の略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- 外部オーディオアンプを使って音声を聞くときは、本機の音量を「0」にしてください。

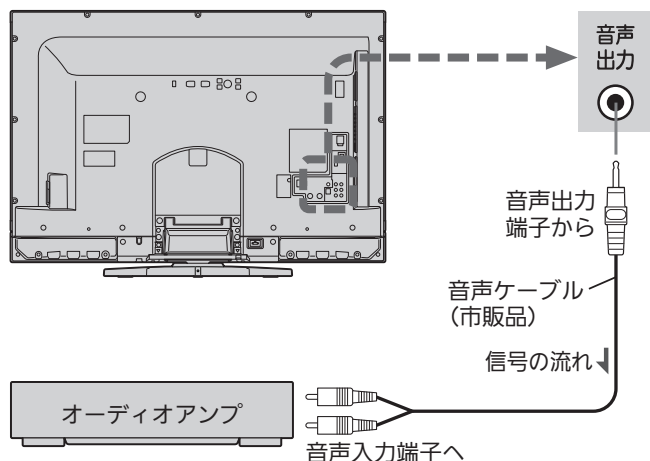
お願い!

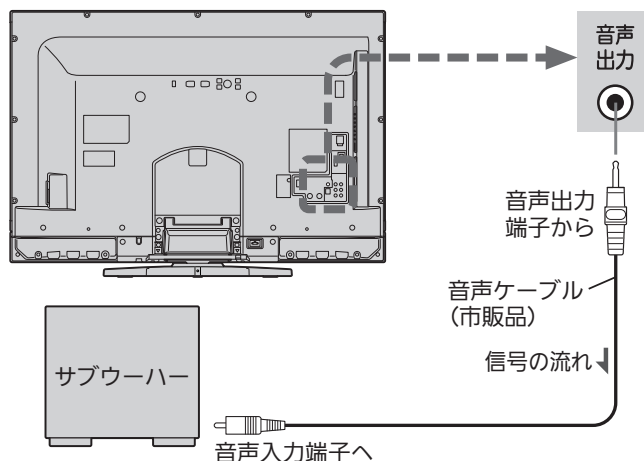
- 接続前に本機とオーディオ機器の電源を必ず切ってください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

アナログ音声入力対応のオーディオ機器やサブウーハーとの接続

音声出力端子からは、画面に映っている番組などの音声が出力されます。

例：オーディオアンプとの接続

「接続機器切換」を「外部アンプ(固定)」に設定

例：サブウーハーとの接続

「接続機器切換」を「サブウーハー(可変)」に設定

お知らせ

- オーディオアンプを使って音声を聞くときは、「音声出力設定」の「接続機器切換」 P.200 を「外部アンプ(固定)」にします。本機の音量を変えても出力される音声レベルは変わりません。オーディオアンプ側で音量を調節してください。本機の音量は「0」にしてください。
- サブウーハーをつなぐときは、「音声出力設定」の「接続機器切換」 P.200 を「サブウーハー(可変)」にします。低音のみが出力されるようになり、本機の音量調節に連動して出力レベルが変わります。サブウーハーは必ず左の端子につないでください。

お願い!

オーディオアンプなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

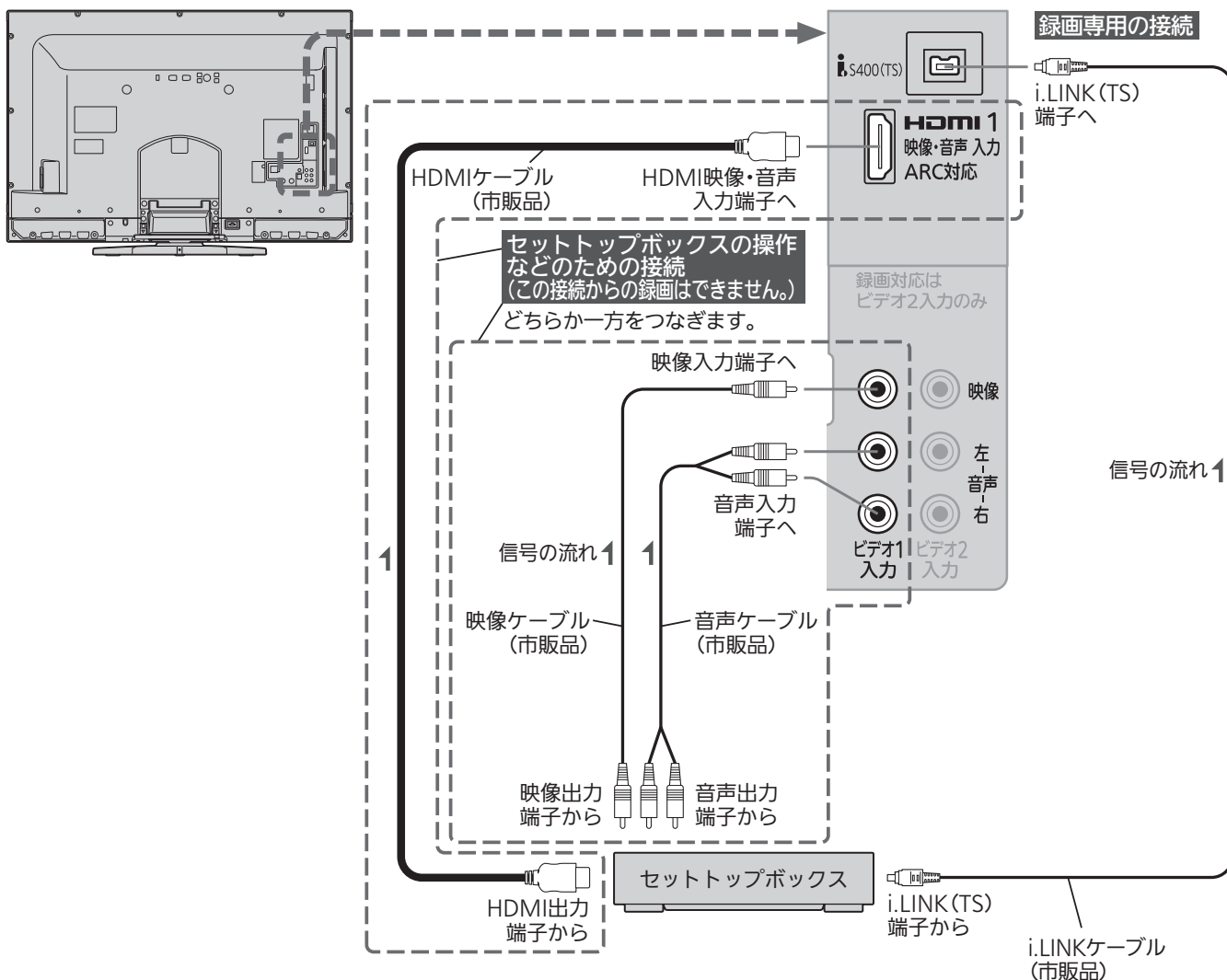
CATV（ケーブルテレビ）のデジタルセットトップボックスとの接続（録画）

CATV（ケーブルテレビ）の放送はサービスの行われている地域でのみ受信でき、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。

CATV会社によって仕様や接続方法、受信できる放送が異なりますので、くわしくはCATV会社にご相談ください。

コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を視聴・録画するためには、CATV会社専用のセットトップボックスが必要です。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

i.LINKケーブルで、i.LINK（TS）対応しているセットトップボックスを接続すると、ハイビジョン画質のままで本機に録画できます（本体にのみ）。

この端子は、番組の視聴や録画のための入力専用です。セットトップボックスの操作などを行う画面を表示するには、別に入力端子との接続が必要です。
出力には対応していません。また、接続できる機器は、CATVのセットトップボックス1台だけです。

お願い

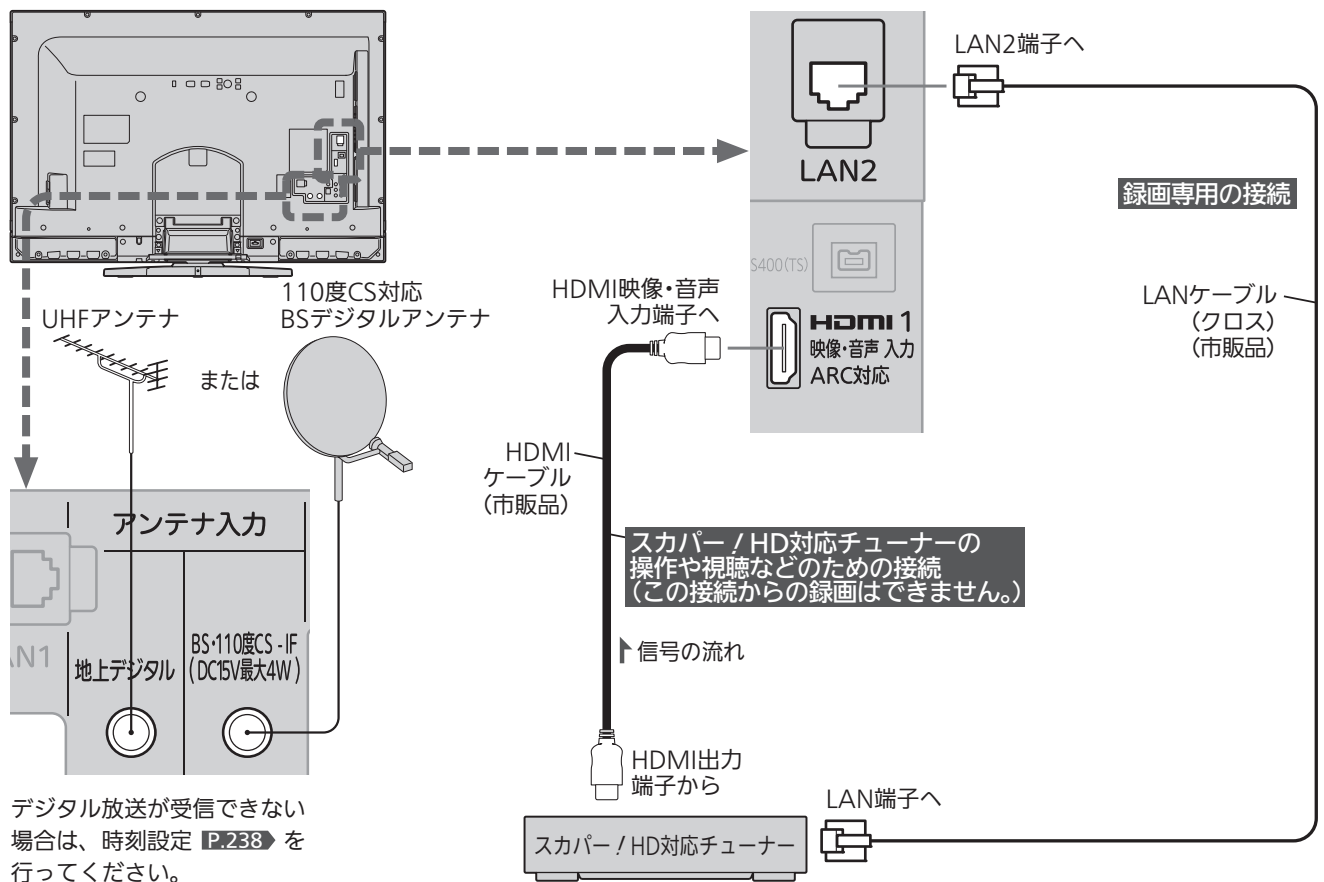
- i.LINKケーブルはS400対応のものをご使用ください。S400に準拠していないケーブルでは動作しません。
- P.278 の「【解説】i.LINK（TS）入力からの録画」もご覧ください。

お知らせ

- デジタルビデオカメラなどのi.LINK（DV）対応機器や、D-VHSビデオなどのi.LINK対応機器とは、接続しても動作しません。
- セットトップボックスがi.LINK対応でない場合、本機で録画するためにはセットトップボックスのビデオ出力と本機のビデオ2入力を接続してください。

スカパー！ＨＤ対応チューナーとの接続（録画）

本機は「スカパー！ＨＤ録画」に対応しています。
本機でスカパー！ＨＤサービスを録画するためには、スカパー！ＨＤ対応チューナーとのLAN接続が必要です。
P.36～37 の図を参考にして、あてはまる接続を行ってください。
接続後は、本機のネットワーク設定 P.211～213、ホームサーバー設定 P.214 と、スカパー！ＨＤ対応チューナーのネットワーク設定を行ってください。
スカパー！ＨＤ対応チューナーの設定方法につきましては、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

直接接続する場合

「スカパー！HD録画」とは

「スカパー！ＨＤ録画」は、スカパー！ＨＤサービスをデジタル録画できる録画方法です。
「スカパー！ＨＤ録画」に対応したチューナーと本機をLAN接続することで、ハイビジョン番組をハイビジョン画質のまま録画できます。
※標準画質番組は標準画質での録画となります。

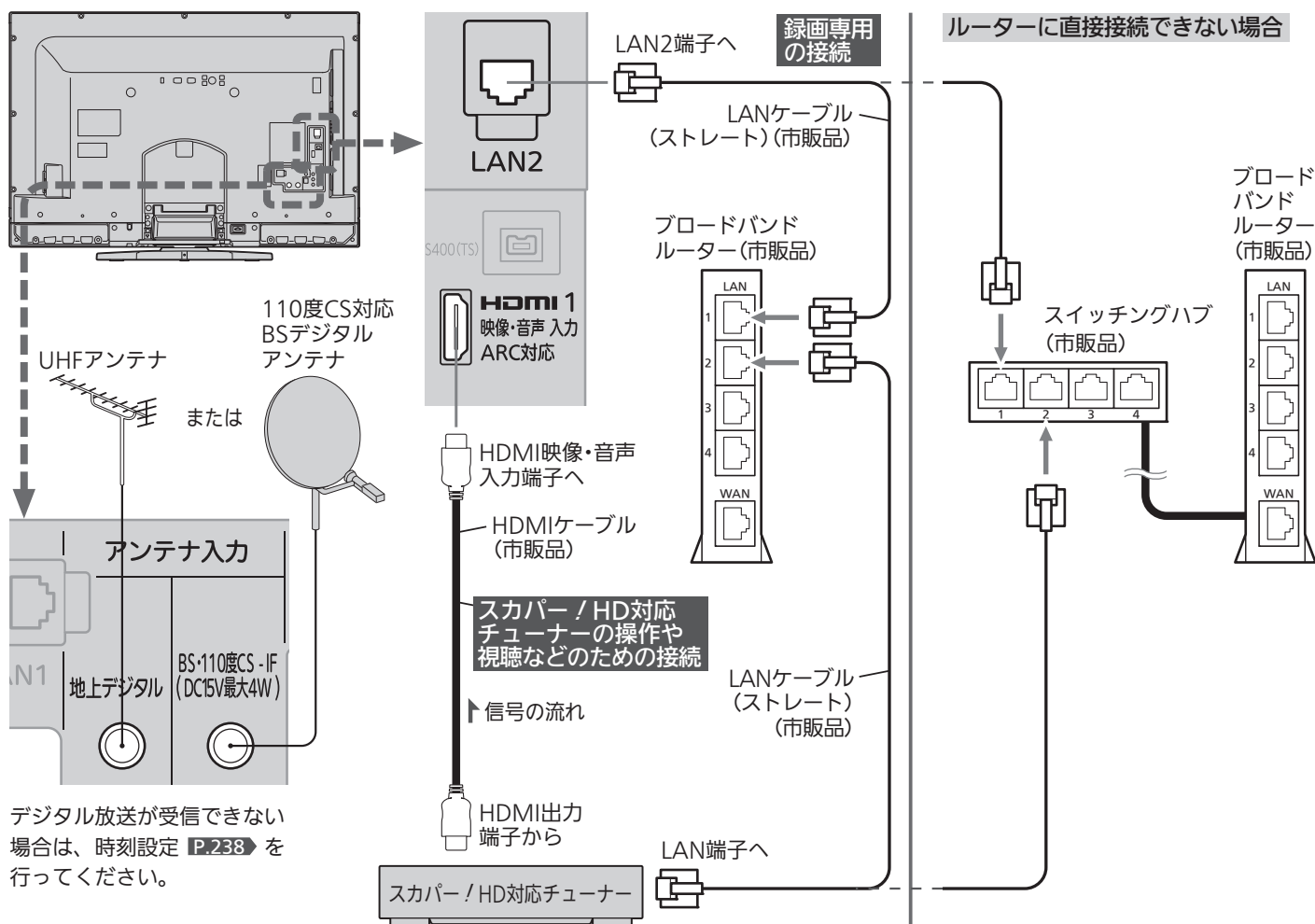
お願い！

- LANケーブルは、カテゴリー5以上のものをご使用ください。
- 本機とデジタル放送用アンテナとの接続も行ってください。本機は録画予約に必要な時刻設定をデジタル放送から取得しています。デジタル放送の受信ができない場合は、時刻設定を行ってください。
- スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- P.279 の『【解説】「スカパー！ＨＤ録画」』もご覧ください。

お知らせ

- 本機の「LAN2端子」のみ対応しています。
- スカパー！ＨＤのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- PPV（ペイ・パー・ビュー）の番組を録画する場合は、スカパー！ＨＤ対応チューナー側で電話回線の接続などが必要です。くわしくは、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

ブロードバンドルーター経由で接続する場合

本機で「アクトビラ」「TSUTAYA TV」などの動画配信サービスも一緒に利用する場合の接続例です。

デジタル放送が受信できない場合は、時刻設定 P.238 を行ってください。

お願い！

- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。
- LAN接続を無線化される場合は、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますのでご注意ください。
  無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところへご相談ください。
- P.279 の『【解説】「スカパー！ＨＤ録画」』もご覧ください。

本機の家庭内ネットワーク機能に対応したテレビとの接続

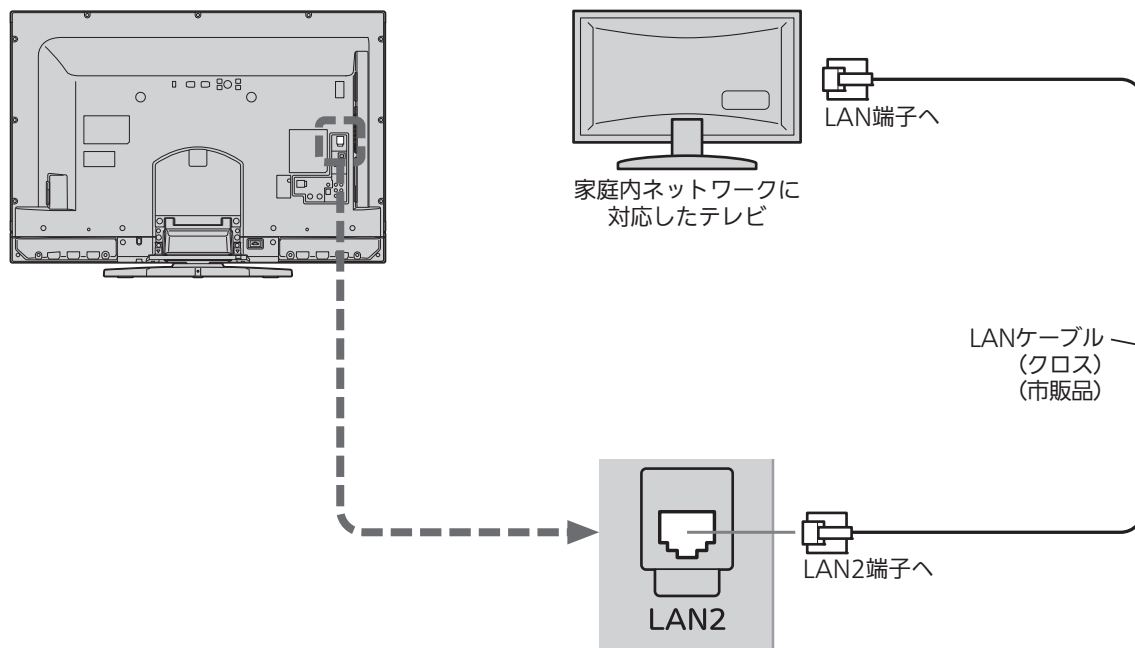
本機に録画した番組などを、本機能に対応したテレビで離れた場所からでも視聴することができます。
接続後は、本機の「ホームサーバー設定」P.214 で「ホームサーバー機能」を「入」に設定してください。
「ホームサーバー機能」を「入」に設定すると、「高速起動設定」P.227 が自動的に「入」に設定されます。
「入」では内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときと比較して、待機時消費電力（リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力）が増えます。

お知らせ

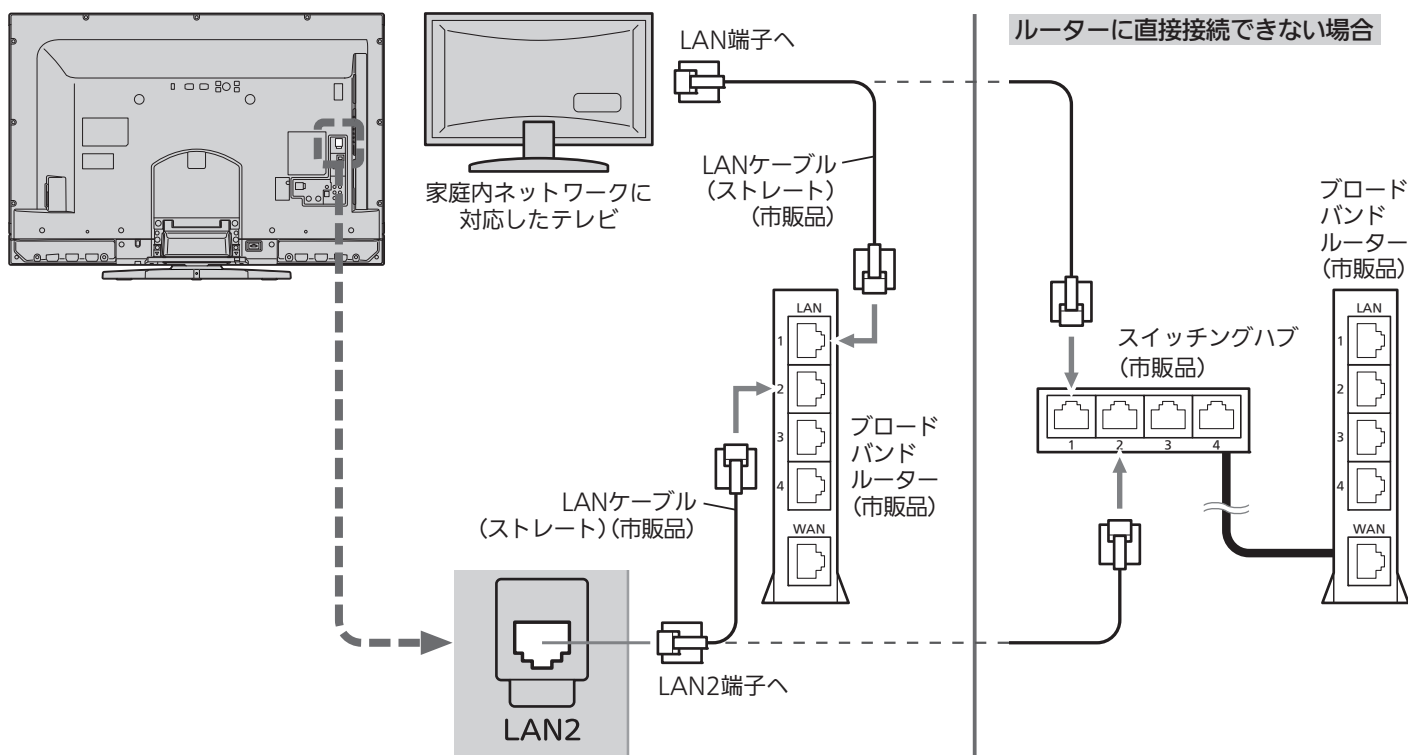
- 本機の「LAN2端子」のみ対応しています。
- 家庭内ネットワーク機能に対応したテレビとは、DLNA※1の定める映像と音声を通信するガイドラインに対応したデジタルメディアプレーヤーと呼ばれる機器です。
- 録画回数制限のある番組を視聴するためには、接続したテレビがDTCP-IP※2規格に対応している必要があります。

※1 DLNA（Digital Living Network Alliance）：家庭内ネットワーク上で機器間の相互接続を実現するための標準化活動を推進する業界団体です。
※2 DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）：ネットワーク上で著作権保護されたデータを伝送するための規格です。

直接接続する場合

お願い

- LANケーブルは、カテゴリー5以上のものをご使用ください。
- 家庭内ネットワーク機能に対応したテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ブロードバンドルーター経由で接続する場合

本機で「アクトビラ」「TSUTAYA TV」などの動画配信サービスや、「スカパー！ HD録画」も一緒に利用する場合の接続例です。

お願い！

- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。
- LAN接続を無線化される場合は、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますのでご注意ください。
  無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところへご相談ください。

準備5 インターネットにつなぐ

デジタル放送のデータ放送を行っている放送局との双方向通信は、ブロードバンド環境（FTTH、ADSL、CATVなど）をお持ちの場合、本機のLAN端子を使用することにより一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。「動画配信サービス」を利用するためにはブロードバンド環境が必要です。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合

■ まず、ブロードバンド環境が必要です。

- プロバイダおよび回線事業者と別途ご契約（有料）をしていただく必要があります。
  くわしくは、プロバイダまたは回線事業者にお問い合わせください。

既にブロードバンド環境をお持ちの場合

■ まず、次のことをご確認ください。

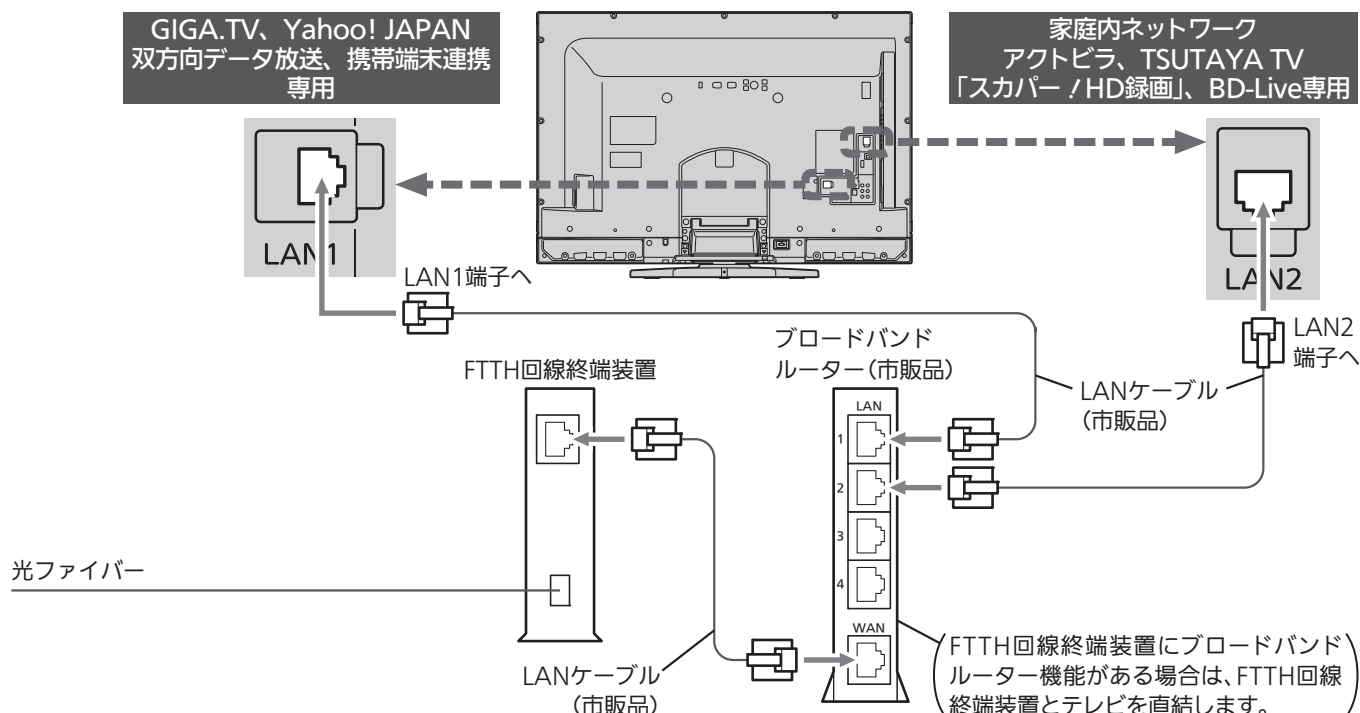
- 回線事業者やプロバイダとの契約
- 必要な機器の準備
- FTTH回線終端装置、またはADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定

■ 回線の種類や回線事業者、プロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

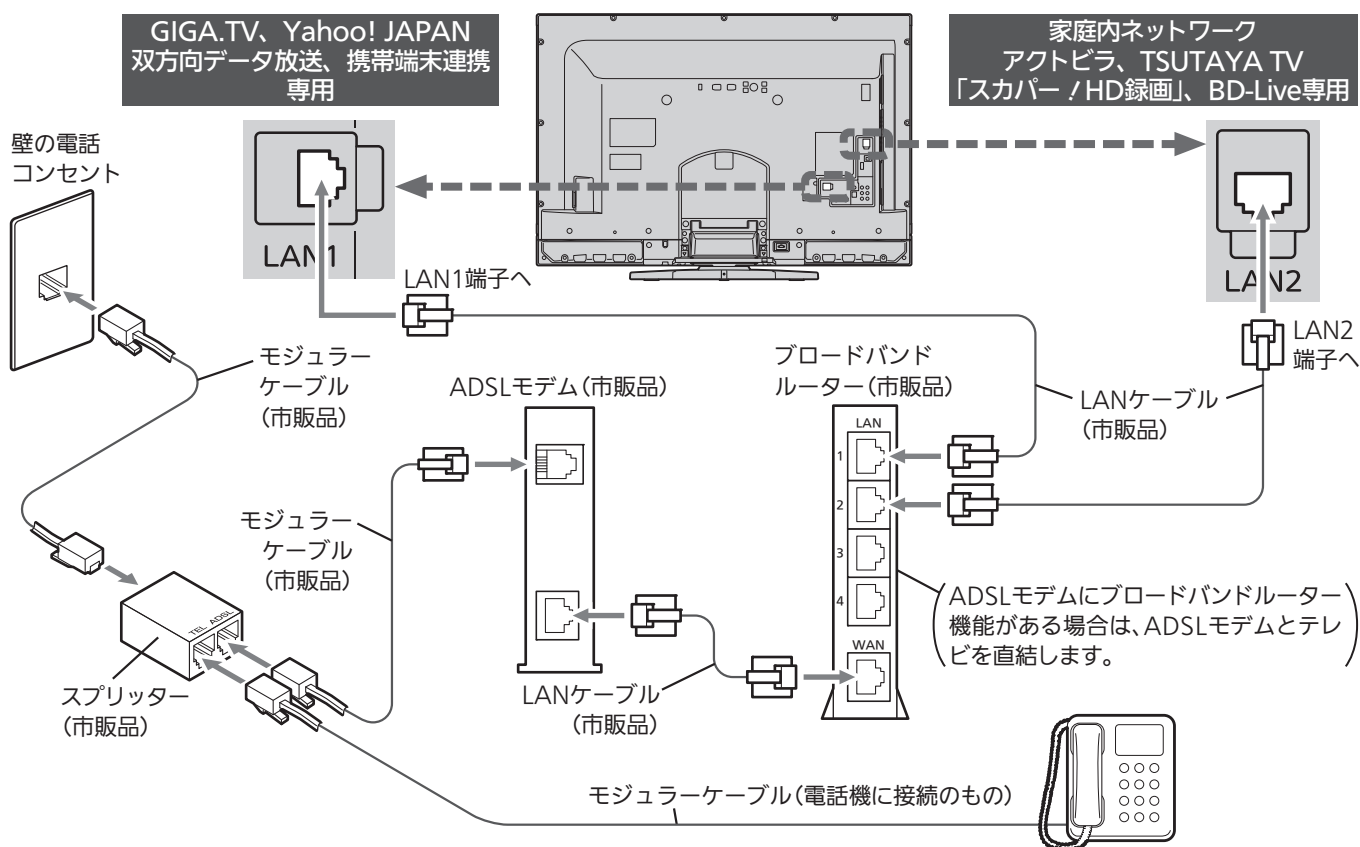
- FTTH回線終端装置、またはADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 必ず電気通信事業法に基づく認定品ルーター等に接続してください。

FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、プロバイダや回線事業者へお問い合わせください。

利用するサービスにより接続するLAN端子が異なります。どのサービスを利用するのか、よく確認して接続してください。ネットワーク（動画配信サービス）を利用するときは、デジタル放送を受信するか時刻設定 P.238 をしてください。
接続後は、「ネットワーク設定」P.211～213 を行ってください。

ADSL回線をご利用の場合

- ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いの場合などは、ADSL事業者にご相談ください。
- プロバイダや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- ADSLの接続については、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。

利用するサービスにより接続するLAN端子が異なります。どのサービスを利用するのか、よく確認して接続してください。ネットワーク（動画配信サービス）を利用するときは、デジタル放送を受信するか時刻設定 P.238 をしてください。
接続後は、「ネットワーク設定」P.211~213 を行ってください。

CATV（ケーブルテレビ）回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、ケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

● 接続についてのお願い

- LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。
- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があり、回線終端装置、またはモデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。くわしくは、回線終端装置、またはモデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。

● 本機のMACアドレスの確認方法

ルーターの設定などで本機のMACアドレスを確認する場合は、P.211 をご覧ください。

● 動画配信サービスを利用するには

時刻情報を得るために、アンテナ線を接続してデジタル放送を受信してください。P.28~30
デジタル放送の受信ができない場合は、P.238 の時刻設定を行ってください。

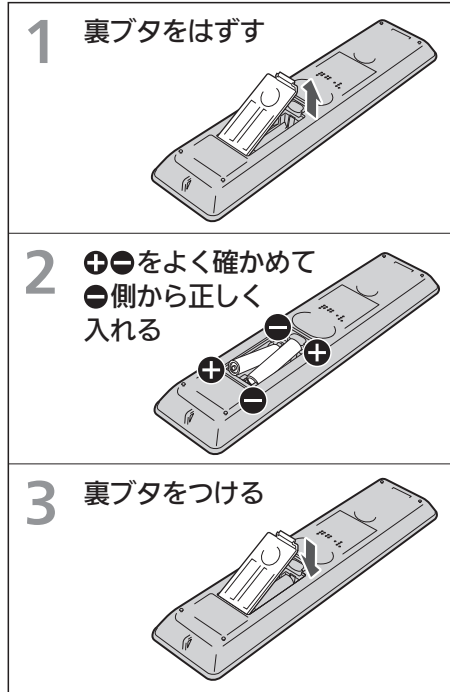
準備6 リモコンの準備をする

乾電池を入れる

単4形乾電池 R03（UM-4）を2個使用

1 裏ブタをはずす

2 ⊕⊖をよく確かめて
⊖側から正しく
入れる

3 裏ブタをつける

⚠警告

電池および電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がるところに置かない。

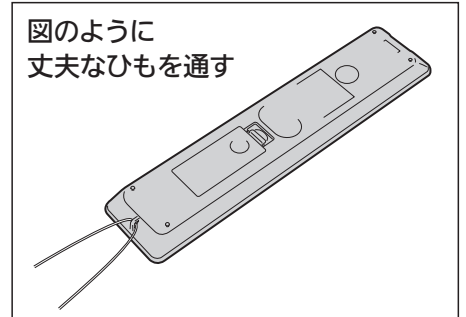
⚠注意

乾電池は⊖側から入れる

- 乾電池の寿命は約半年です。（ご使用の状態によって寿命が変わります。）
- リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、2個とも新しい乾電池と交換してください。

吊りひもをつけるとき

太さ2mm程度の丈夫なひもを用意してください。

図のように
丈夫なひもを通す

⚠注意

吊りひもを持って振り回さない

人に当たると、けがの原因になります。

お願い！ リモコンの取扱い

落としたり、物を当てたり、衝撃を与えたりしない。

禁止

リモコンの上に重いものを乗せたり、踏みつけたりしない。

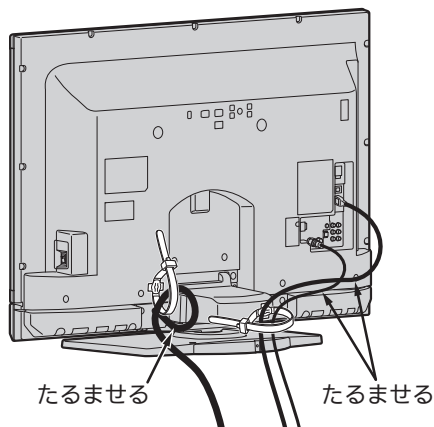
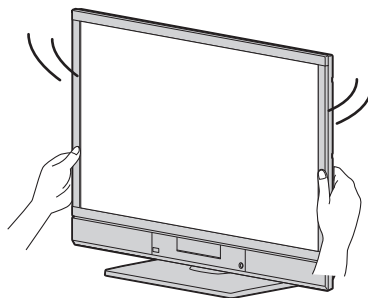
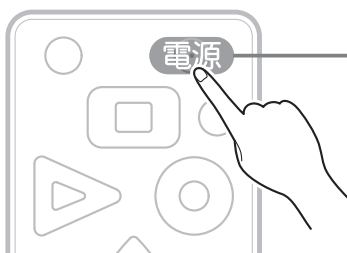
禁止

外傷には至らない場合でも、内部の基板が割れるなどの故障の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

準備7 電源を入れる

電源コードをつなぐ

電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに差し込んでください。

■ ケーブルをまとめるとき

画面を左右に回転させてみて、
配線に無理がないか確かめてください。

リモコンで電源を入れる

電源ボタンを押す

お買い上げ後、初めて電源を入れると
下記の画面（らくらく設定）が表示されます。

らくらく設定

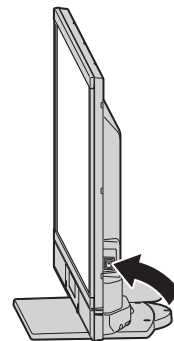
お買い上げいただきありがとうございます。
これからテレビを視聴するための初期設定を行います。

設定を始める前に「かんたんガイド」の
「テレビを見るための準備」をご覧いただき、
準備が完了していることをご確認ください。

しばらくお待ちください。

リモコンは受光部に向けて操作してください。

お知らせ

電源が入らないときは、本体右側面の主電源スイッチ P.20 が「○ 切」になっていないか確認してください。

準備8 らくらく設定をする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、画面にらくらく設定画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って、次の順で設定してください。

1. らくらく設定を開始する
2. 地域設定をする
3. 地上デジタル放送のチャンネルを設定する
4. BS･110度CSアンテナの設定をする
5. 節電画質設定をする
6. 読み上げ設定をする
7. 高速起動の設定をする
8. らくらく設定を終了する

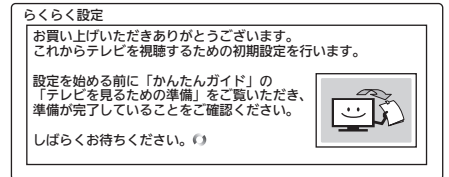
らくらく設定をする

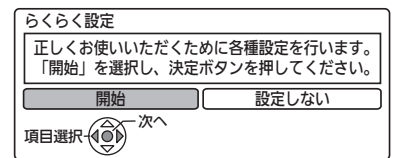
1. らくらく設定を開始する

1 らくらく設定の画面が表示されたら、しばらく待つ

開始画面が表示されます。

2 「開始」が選ばれているので、そのまま決定する

らくらく設定
正しくお使いいただくために各種設定を行います。
「開始」を選択し、決定ボタンを押してください。
開始 設定しない
項目選択 次へ

確認画面が表示されます。

- アンテナ線の接続が済んでいない場合は、いったん主電源を切り、そのあと、アンテナ線を接続してください。
- 「B-CASテストを行います」という画面が表示されるときは、B-CASカードが正しく挿入されていません。
  P.27 でB-CASカードの挿入を確認し、決定 を押してください。
  → 「OK」が表示されたときは、決定 を押して次の手順に進んでください。
  → 「NG」が表示されたときは、デジタル放送を視聴･録画できません。
  ◀▶ で「いいえ」を選んで 決定 を押し、次の手順に進んでください。

3 確認画面の表示内容を確認し、準備が済んでいれば 決定 を押す

お住まいの地域の郵便番号を設定する画面が表示されます。

次ページへつづく

お知らせ

- らくらく設定は、必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯に行ってください。チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- らくらく設定中は、主電源(本体右側)を「切」にしないでください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、らくらく設定をやり直したいときは P.229 をご覧ください。

2. 地域設定をする

4 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定する

お住まいの地域の都道府県を設定する画面が表示されます。

- 入力を間違えたときは、 黄 を押します。

5 お住まいの都道府県を確認し、決定する

お住まいの地域の市外局番を設定する画面が表示されます。

- 変更したいときは ◀ ▶ で選び、 決定 を押します。
- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都島部」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県島部」を選びます。

6 お住まいの地域の市外局番を入力し、決定する

地上デジタル放送用のチャンネル設定画面が表示されます。

- 入力を間違えたときは、 黄 を押します。

3. 地上デジタル放送のチャンネルを設定する

7 「はい」が選ばれているので、そのまま決定する

お住まいの地域を設定する画面が表示されます。

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定しない場合は、 ◀ ▶ で「いいえ」を選び、 決定 を押します。
  (そのあとは、手順11へ進んでください。)

8 お住まいの都道府県(地域)を確認し、決定する

受信帯域選択画面が表示されます。

- 変更したいときは ◀ ▶ で選び、 決定 を押します。

次ページへつづく

お知らせ

- 手順7で「いいえ」を選び、地上デジタル放送のチャンネルを設定しなかったときは、らくらく設定終了後、必ず時計を合わせてください。 P.238
  時計を合わせないと、録画予約、ネットワーク(「アクトビラ」、「TSUTAYA TV」)の利用、「スカパー！ＨＤ録画」ができません。
  (「はい」で地上デジタル放送のチャンネルを設定すると、放送を受信できる状態のときは時刻が自動的に設定・修正されます。)

9 「UHF」または「全帯域」を選び、決定する

受信帯域選択

チャンネルスキャンの帯域を設定します。
通常は「UHF」を選択してください。

ケーブルテレビ（CATV）等で、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できることがあります。
（詳しくはCATV会社にご確認ください）

決定ボタンを押すと、チャンネルスキャンを開始します。地上デジタルチャンネル設定リストが表示されましたら、内容を確認の上、よろしければ「次へ」を選択し、決定ボタンを押してください。

UHF　全帯域

項目選択　決定　戻る

「UHF」‥‥ 通常はこちらを選んでください。

「全帯域」‥‥ ケーブルテレビ（CATV）をお使いの場合で、地上デジタル放送がパススルー方式で再送信されているとき。

- チャンネルスキャンが始まり、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。

設定が終わると、画面に一覧が表示されます。
（設定が終わるまで10分程度かかることがあります。）

10 チャンネル一覧の設定内容を確認したあと、「次へ」が選ばれているので、そのまま決定する

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京MXテレビ	テレビ
10	----	----	
11	----	----	
12	121	放送大学	テレビ

修正確認

修正する　次へ

項目選択　決定

衛星アンテナ（BS･110度CSアンテナ）電源の設定画面が表示されます。

- 「UHF」を選んで設定し、一覧の「CH」や「チャンネル名」が「－－－－」になって設定ができないチャンネルがあるときは
  - ① 決定 を押して、次の手順11の画面を表示する
  - ② 戻る を押して、手順7の画面に戻す
  - ③ もう一度、手順7 ～ 10を行う
    手順9のときに「全帯域」を選んでください。
- 地上デジタル放送のチャンネルを修正したいときは、らくらく設定終了後に修正してください。P.230

4. 衛星アンテナ（BS･110 度 CS アンテナ）電源の設定をする

11 決定 を押す

らくらく設定

衛星アンテナの電源を設定します。
次の画面でアンテナの接続状況を確認しますので、画面の指示に従って、アンテナの電源を設定してください。

決定ボタンを押してください。

次へ　戻る

BS･110度CSアンテナ電源を設定する画面が表示されます。

12 BS･110度CSアンテナ電源の設定を選び、決定する

らくらく設定

マンションなどの共同アンテナで受信する場合は「供給しない」を、
個人でアンテナを設置している場合は「テレビ連動」を、
衛星アンテナを接続していない場合は「接続しない」を選択し、決定ボタンを押してください。

供給しない　テレビ連動　接続しない

項目選択　決定　戻る

「供給しない」

‥‥
- 他の機器（レコーダーなど）からBS･110度CSアンテナへ電源を供給しているとき。
- マンションなどで共同受信しているとき。
- ケーブルテレビ（CATV）で受信しているとき。

「受信設定」（衛星）画面の「アンテナ電源」が「オフ」に設定され、本機からBS･110度CSアンテナへ電源を供給しません。
この場合、他の機器からBS･110度CSアンテナへ電源が供給されていないと（他の機器が通電状態になっていないなど）、本機でBS･110度CSデジタル放送を視聴・録画することはできません。

「テレビ連動」

‥‥ 本機とBS･110度CSアンテナを直接つなぎ、他の機器からBS･110度CSアンテナへ電源を供給していないとき。

「受信設定」（衛星）画面の「アンテナ電源」が「オン」に設定され、本機からBS･110度CSアンテナへ電源を供給します。

設定後、確認画面が表示されます。

「接続しない」

‥‥ BS･110度CSアンテナを接続していないとき。
（そのあとは、手順14へ進んでください。）

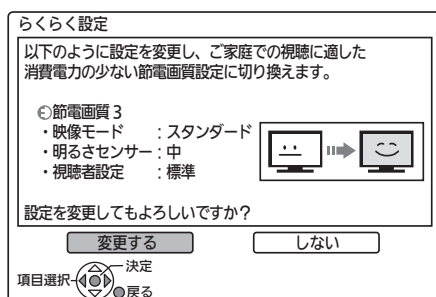
次ページへつづく

13 確認画面で正しく設定されたことを確認し、決定を押す

節電画質の設定画面が表示されます。

- 正しく設定されていないときは、◀▶で「再設定」を選び、決定を押すと手順12の画面に戻りますので、もう一度設定してください。

5. 節電画質設定をする

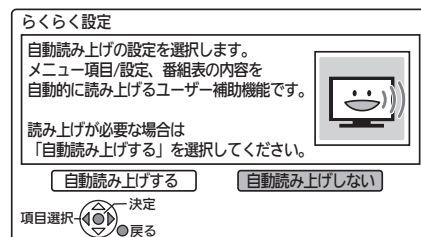
14 節電画質設定にするかどうかを選び、決定する

「変更する」･･･ ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質（節電画質3）になります。

「しない」･････ 工場出荷時の画質のままになります。

- 「変更する」で節電画質設定にすると、バックライトでの消費電力を削減します。節電画質設定 P.81 にすることで、工場出荷設定の状態のままでお使いになる場合と比べ、消費電力が削減されます。
  画面が、それまでと比べ、やや暗くなります。

自動読み上げの設定画面が表示されます。

6. 読み上げ設定をする

15 自動読み上げをするかどうかを選び、決定する

「自動読み上げする」
･･･ メニュー項目/設定や番組表の内容を自動的に読み上げます。

「自動読み上げしない」
･･･ 自動的に読み上げません。

高速起動の設定画面が表示されます。

次ページへつづく

お知らせ

- 手順13で再設定をしても正しく設定できない場合は、アンテナの向きや受信環境に問題があると考えられますので、お買上げの販売店にご相談ください。

7. 高速起動設定をする

16 高速起動するかどうかを選び、決定する

決定

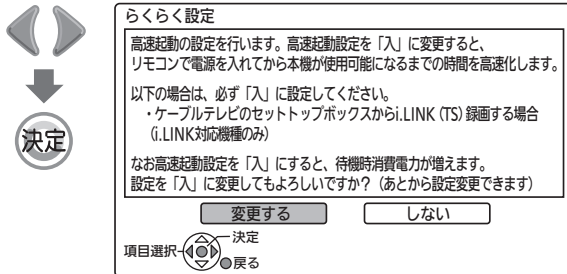
らくらく設定

高速起動の設定を行います。高速起動設定を「入」に変更すると、
リモコンで電源を入れてから本機が使用可能になるまでの時間を高速化します。

以下の場合は、必ず「入」に設定してください。
・ケーブルテレビのセットトップボックスからi.LINK（TS）録画する場合
（i.LINK対応機種のみ）

なお高速起動設定を「入」にすると、待機時消費電力が増えます。
設定を「入」に変更してもよろしいですか？（あとから設定変更できます）

変更する　しない

項目選択　決定　戻る

「変更する」

…　高速起動が「入」になり、電源が切の状態から起動して（本機の電源が入になって）から本機が使用可能になるまでの時間を高速化します。

i.LINK（TS）入力から録画予約する場合は、必ずこちらに設定してください。

再起動時刻の設定画面が表示されます。

「しない」

…　高速起動が「切」になり、起動時間を高速化しません。（そのあとは、手順18へ進んでください。）

- 高速起動を「入」にすると
  - ・内部の制御部が通電状態になるため、高速起動を「切」にしたときと比較して待機時消費電力（リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力）が増えます。
  - ・動作を安定させるために1日1回内部のシステムを再起動させます。再起動中は動作確認のため、動作音がします。（次の手順で、使用しない時間帯に変更することができます。）

17 再起動する時刻が変更不要な場合は「確定」に移動し、決定する

決定

らくらく設定

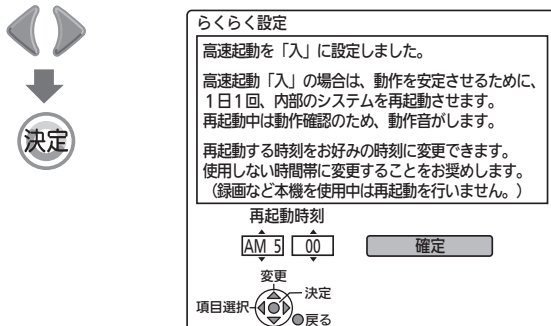
高速起動を「入」に設定しました。

高速起動「入」の場合は、動作を安定させるために、
1日1回、内部のシステムを再起動させます。
再起動中は動作確認のため、動作音がします。

再起動する時刻をお好みの時刻に変更できます。
使用しない時間帯に変更することをお奨めします。
（録画など本機を使用中は再起動を行いません。）

再起動時刻

AM 5　00　確定

変更　項目選択　決定　戻る

■ 再起動する時刻を変更する場合は

① ▲▼で「時」を選び、▶で分に移動する

② ▲▼で「分」（10分単位）を選び、▶で「確定」に移動する

③ 決定 を押して、確定する

確認事項の画面が表示されます。

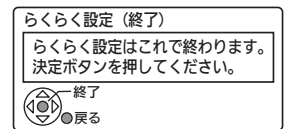
8. らくらく設定を終了する

18 確認事項を確認し、決定 を押す

19 決定 を押して、終了する

らくらく設定（終了）

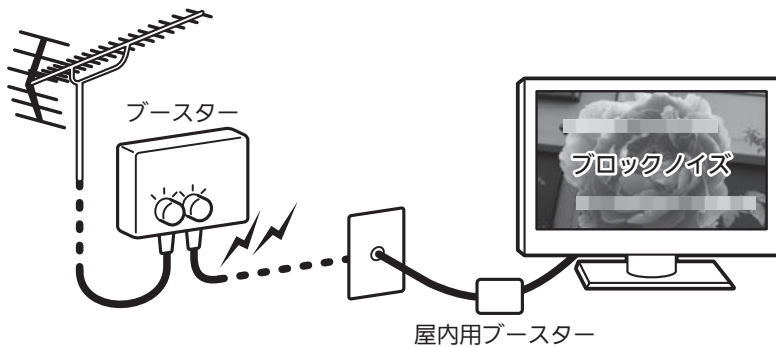
らくらく設定はこれで終わります。
決定ボタンを押してください。

終了　戻る

これで、らくらく設定は終わりです。

- 追加のメッセージが表示されるときは、メッセージに従って必要な接続や設定を行ってください。
- 「受信できません」が表示されるときは、らくらく設定中に視聴しない放送が選ばれたままになっている可能性があります。受信可能な放送に切り換えてみてください。P.56

屋内配線も重要です

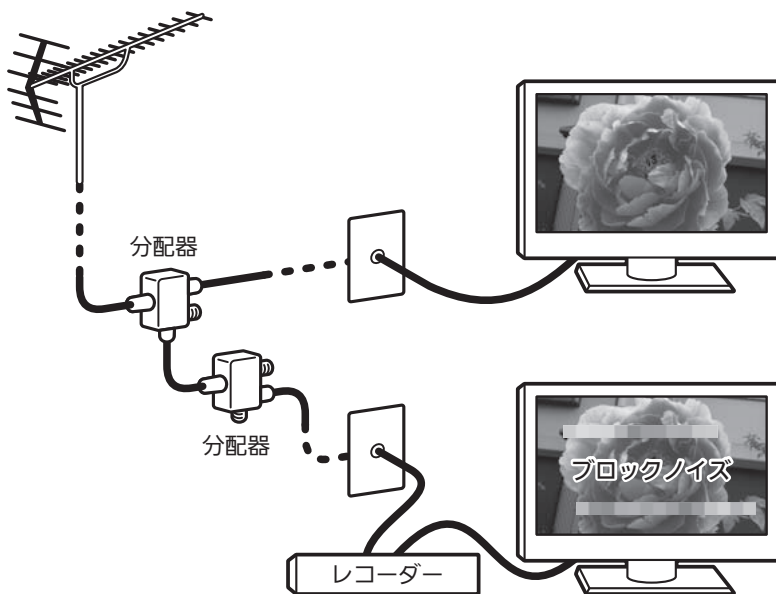
ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、屋内配線を確認してみましょう。

アナログ放送のときに使っていたブースターをそのまま使っていると、電波が強すぎて、映りが悪くなることがあります。

アッテネーターの設定を確認しましょう。

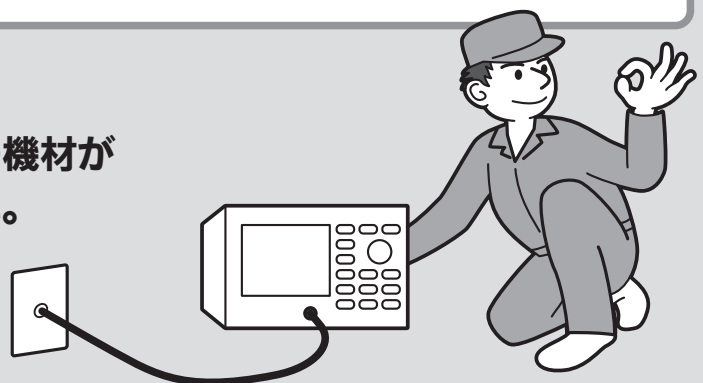
P.234 のアッテネーターを「入」にして映りが良くなれば電波が強すぎると考えられます。
ブースターの利得調整ができるなら利得を下げましょう。

屋内用ブースターを外してみましょう。

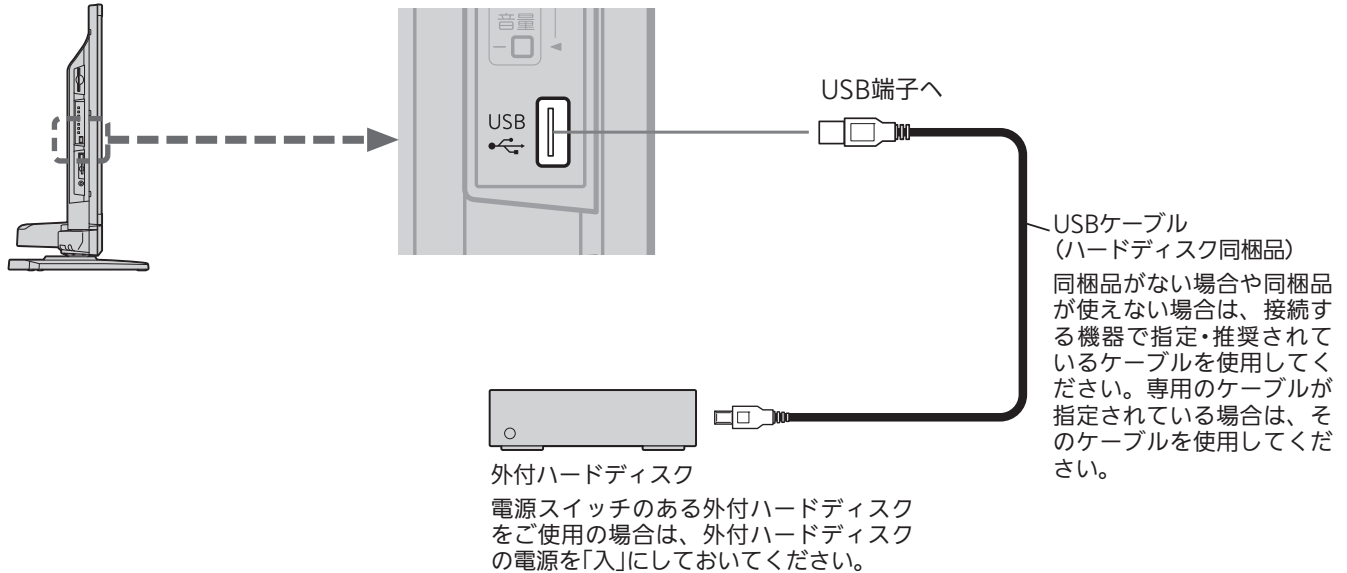
屋内用ブースターは、アンテナから壁の端子の妨害も一緒に増幅し、映りを悪くする場合があります。

分配器や録画機器を通っていると、電波が弱くなり、映りが悪くなります。

アンテナレベルを確認しましょう。

「メニュー」→「お知らせ」→「アンテナレベル」で受信レベルを確認できます。
安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安です。

電波状況の確認については、専用の機材がそろった工事業者にご相談ください。
集合アンテナをご利用の場合は、管理者にご相談ください。

準備9 外付ハードディスクを使う

本機に市販の外付ハードディスクを接続することで、本体に録画した番組を移動して、録画できる番組数を増やすことができます。
設定や操作については、P.52～55・136～139 をご覧ください。

外付ハードディスクをつなぐ

お知らせ

- デジタル放送録画用の外付ハードディスクを接続してください。
- 本機のUSB端子はデジタルビデオカメラやデジタルカメラの画像を見る場合と共用ですが、外付ハードディスクを使用するときは、本機のUSB端子にはデジタル放送録画用ハードディスクだけを接続してください。
- 本機に接続できるハードディスクは1台だけですが、8台まで登録して使用することができます。
- USBハブ（ひとつのUSB端子を複数のUSB端子に変換する機器）は使用できません。
- 本体の録画再生中やハードディスクが動作中は、ハードディスクを外さないでください。
- 本機に接続できるハードディスクは、USB2.0コネクタを持ち、USBマスストレージクラスで、容量160GBから2TBまでです。（注：160GBと表示があっても実質容量が160GBを切るものは外付として使用できません。接続するハードディスクの取扱説明書などでご確認ください。）
- 本機と接続テスト済みハードディスクのメーカーや型番については、当社のホームページ（http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/ctv/feature/external_hdd.html）やカタログ、ハードディスクのメーカーのホームページなどでご確認ください。
- 外付ハードディスクを接続していると、電源「入」時やディスク再生後の録画一覧表示時にしばらく操作ができないことがあります。ハードディスクの情報を取り込んでいるためです。しばらく待ってから操作をしてください。

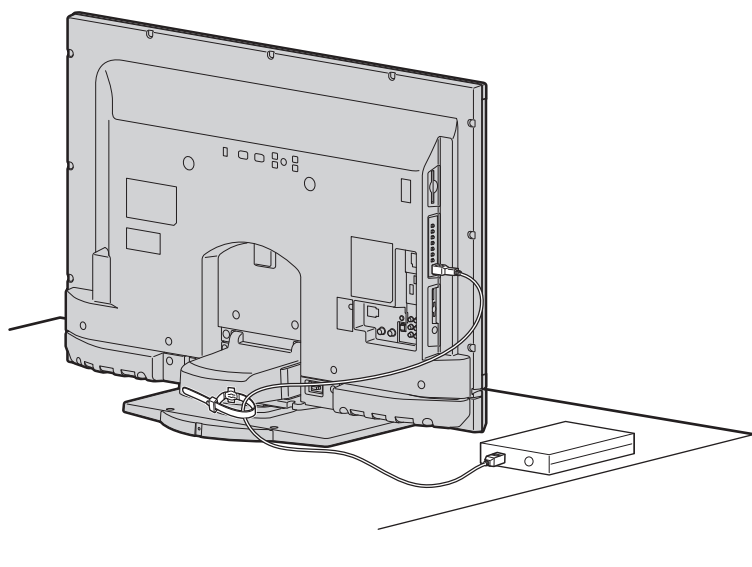
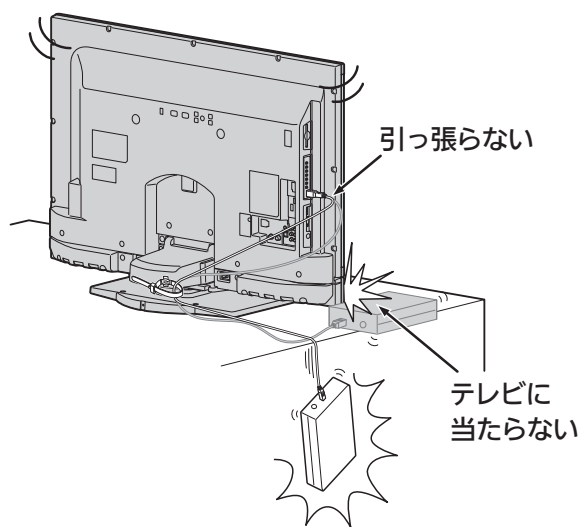
お願い！

- ハードディスクを設置するときは、オートターン P.65 などで画面を回転させたときに当ったり倒れたりしないよう、よく確かめながら設置してください。
- USBケーブルが長い場合は、オートターン P.65 などで画面を回転させたときにケーブルが引っ掛からないよう、よく確かめながら接続してください。
- USBケーブルは、ハードディスク同梱のものを使用してください。長さが合わないなどでやむを得ず同梱品以外のケーブルを使用する場合は、接続機器で指定・推奨されているケーブルを使用してください。USB規格に準拠していないケーブルは不具合の原因となりますので使用しないでください。
- ハードディスクの取り外しは、必ず次のようなときに行ってください。
  - 主電源「切」のとき P.20
  - 「メニュー」→「テレビ操作」→「外付ハードディスク取外し」で「はい」を選んでから P.55
- ハードディスクの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 「外付ハードディスクに異常が発生しました。」などの画面表示が何度も表示される、外付ハードディスクが認識されない、など、外付ハードディスクに不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーへお問い合わせください。

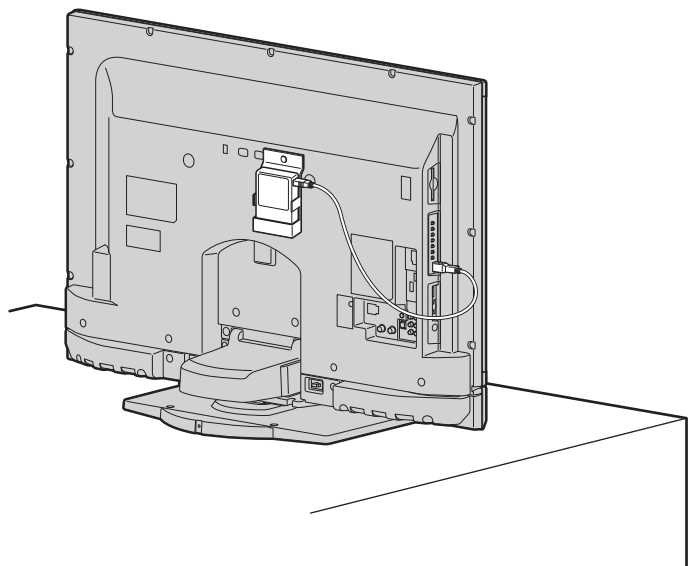
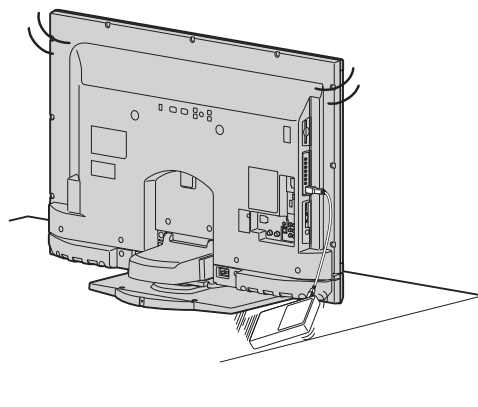
- ハードディスクは非常に精密な機器です。衝撃や振動などが加わらないよう、丁寧にお取扱ください。
  特にハードディスクの動作中(ハードディスクの表示灯が点灯や点滅をしているとき)はご注意ください。
- USBケーブルは、余裕を持たせて接続してください。きつく折れ曲がる状態にすると、ケーブルが断線する恐れがあります。

本体への取り付け例(据え置きタイプ)

据え置きタイプのハードディスクをご使用になられる場合の取り付け例です。
接続しているUSBケーブルはオートターンなどで画面を回転させたときに
ケーブルが引っ掛かったりハードディスクを引っ張らないように接続してください。
ハードディスク本体も、テレビ回転中にテレビと接触しないように設置ください。
ハードディスクの動作不良、故障の恐れがあります。

【悪い例】

本体への取り付け例(ポータブルタイプ)

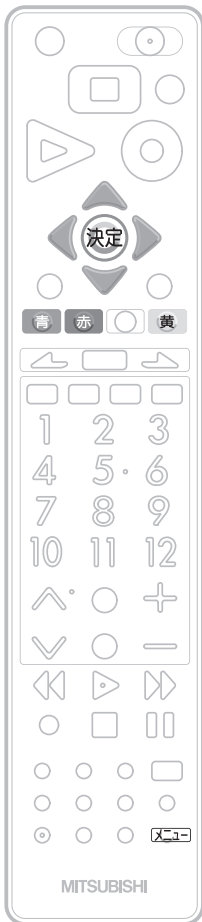
ポータブルハードディスクと、そのメーカーオプションの取付キットを
ご使用になられる場合の取り付け例です。
取付キット同梱ネジは、しっかり締まるサイズのあったものを必ずご使用ください。

【悪い例】

未登録の外付ハードディスクを登録する

※ 登録済みの外付ハードディスクをつなぎ直したときは、再登録する必要はありません

本機に接続できる外付ハードディスクは1台だけですが、8台まで登録して利用することができます。

気を付けて

- **登録すると、外付ハードディスクが初期化され、外付ハードディスクの内容はすべて消去されます。**
  本機以外（同一形名の当社モデルを含む）で使用した外付ハードディスクを本機に登録する場合も、同様に外付ハードディスクの内容がすべて消去されます。
- **初期化で消去された内容は、元には戻せません。**
- **登録後は、登録をした本機でのみ利用することができます。（同一形名の当社モデルでも利用できません。）**
- **登録を削除した外付ハードディスクを再登録する場合も、同様に初期化され、内容がすべて消去されます。**
- **外付ハードディスクの初期化中や動作中は、外付ハードディスクの電源を切ったり、本機や外付ハードディスクの電源コードやUSBケーブルを抜かないでください。**
  本体/外付ハードディスクの録画内容が損失したり、故障する恐れがあります。
  また、USBケーブルを抜いて外付ハードディスクを取り外すときは、必ず P.55 の手順を行って取り外してください。
- **万一本機が故障して主要な部品を取り替えたり、本機を交換した場合、外付ハードディスクの登録情報が削除され、外付ハードディスクの再登録（初期化）が必要となります。再登録（初期化）すると、外付ハードディスクの内容がすべて消去されます。**

1 本機の電源が「入」で放送や外部入力を視聴しているときに、未登録の外付ハードディスクをUSBケーブルで本機に接続する P.50

（外付ハードディスクに電源スイッチがある場合は、外付ハードディスクの電源を入れてください。）

- 右のメッセージが表示されます。

USB端子に大容量機器が接続されました。
外付ハードディスクとして登録してよろしいですか？

カメラなどを接続している場合は「いいえ」を選んでください。
登録を行うと記録された画像が消去されます。

はい　いいえ

■ メッセージが表示されない場合は

P.53 で「外付ハードディスク一覧」画面から登録してください。

■ 接続したUSB機器を外付ハードディスクとして利用しないときは、登録しないでください。

登録すると、USB機器に記録された内容がすべて消去されてしまいます。
「いいえ」のまま 決定 を押して決定したあと、必ず P.55 の手順を行って取り外してください。

2 外付ハードディスクとして使用する場合のみ、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

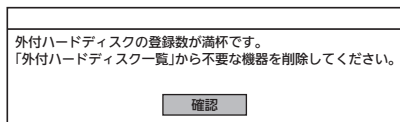
USB端子に大容量機器が接続されました。
外付ハードディスクとして登録してよろしいですか？

カメラなどを接続している場合は「いいえ」を選んでください。
登録を行うと記録された画像が消去されます。

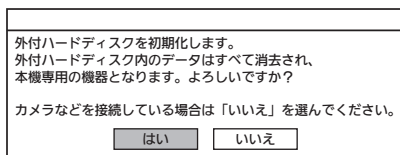
はい　いいえ

次ページへつづく

■「はい」で決定すると、次のメッセージが表示される場合は、すでに8台登録済みで9台目の登録となっています。

外付ハードディスクの登録数が満杯です。
「外付ハードディスク一覧」から不要な機器を削除してください。
確認

決定 を押して通常画面に戻したあと、P.54 で不要な外付ハードディスクの登録を削除してください。
登録を削除した外付ハードディスクの内容は再生/編集/移動できなくなります。他の機器で再生/編集することもできませんので、削除する外付ハードディスクは慎重に選んでください。

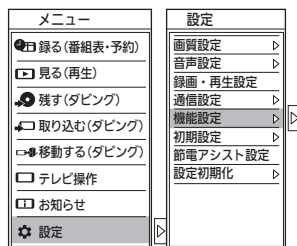
3 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

外付ハードディスクを初期化します。
外付ハードディスク内のデータはすべて消去され、
本機専用の機器となります。よろしいですか？
カメラなどを接続している場合は「いいえ」を選んでください。
はい　いいえ

- 外付ハードディスクの初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- 初期化が終わると終了画面が表示されます。

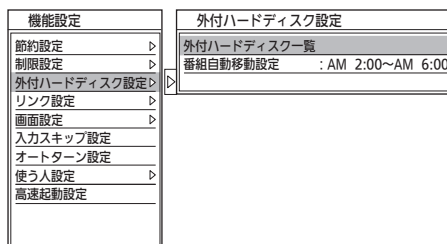
4 決定 を押し、通常画面に戻す

「外付ハードディスク一覧」画面から登録するとき

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す

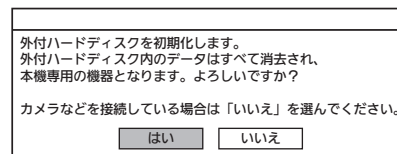
4 ▲▼ で「外付ハードディスク設定」を選び、決定 を押す

5 「外付ハードディスク一覧」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

- 「外付ハードディスク一覧」画面が表示されます。

● (緑)　　：登録済みで**接続中**
● (グレー)：登録済みで**未接続**
● (赤)　　：**未登録**で接続中

6 ▲▼ で「●(赤) 未接続」の外付ハードディスクを選び、青 を押す

7 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

外付ハードディスクを初期化します。
外付ハードディスク内のデータはすべて消去され、
本機専用の機器となります。よろしいですか？
カメラなどを接続している場合は「いいえ」を選んでください。
はい　いいえ

- 外付ハードディスクの初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- 初期化が終わると終了画面が表示されます。

8 決定 を押し、通常画面に戻す

外付ハードディスクの登録・接続状況を確認する/登録名を変更する/登録を削除する

「外付ハードディスク一覧」画面で操作します。

外付ハードディスクの登録・接続状況を確認する

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「外付ハードディスク設定」を選び、決定 を押す

5 「外付ハードディスク一覧」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

● 「外付ハードディスク一覧」画面が表示されます。

6 登録・接続状況を確認する

7 確認が終わったら
メニュー を押し、通常画面に戻す

外付ハードディスクの登録名を変更する

1 左記の手順 1 ～ 5 を行う

2 ▲▼ で登録名を変更したい外付ハードディスクを選び、赤 を押す

3 登録名を変更する
（文字の入力のしかたは、P.162 ～ 163 をご覧ください。）

4 すべての文字を確定したら
決定 を押して文字入力を終了する

5 変更が終わったら
メニュー を押し、通常画面に戻す

外付ハードディスクの登録を削除する

気を付けて

● **登録を削除した外付ハードディスクを再登録する場合は、外付ハードディスクが初期化され、内容がすべて消去されます。**
登録を削除した外付ハードディスクの内容は再生/編集/移動できなくなります。他の機器で再生/編集することもできませんので、削除する機器は慎重に選んでください。

- 接続中の外付ハードディスクは削除できません。
- 未登録の外付ハードディスクは削除できません。P.55 で取り外すと一覧から消えます。

1 左記の手順 1 ～ 5 を行う

2 ▲▼ で登録を削除したい外付ハードディスクを選び、黄 を押す

3 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

4 削除が終わったら
メニュー を押し、通常画面に戻す

外付ハードディスクを取り外す

気を付けて

●**必ず、本機の電源が「入」で停止中のときに、このページの手順に従って取り外してください。そのままUSBケーブルを抜いて外付ハードディスクを取り外すと、本機と外付ハードディスクの録画内容が損失したり、故障する恐れがあります。**

●**本機の電源が「切」の場合は、録画予約の録画実行中、番組自動移動の実行中、録画モード変換予定番組の録画モード変換中など、本機内部の電源が入っていることがありますので、外付ハードディスクを取り外さないでください。**
本機の主電源が「切」のときは、そのまま本機からUSBケーブルを抜いて外付ハードディスクを取り外すことができます。

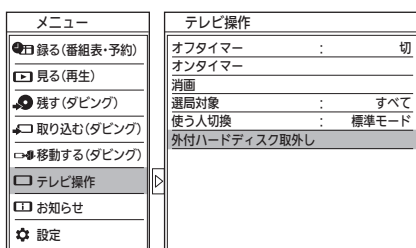
お知らせ

- ハードディスク表示灯 P.20 が点滅しているときは、外付ハードディスクに番組を移動しています P.136。手動での番組の移動中は、外付ハードディスクの取りはずしはできません。

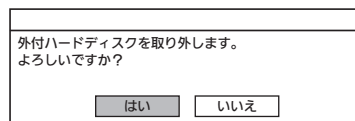
1 本機の電源が「切」の場合は、本機の電源を入れておく

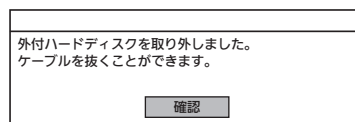
2 メニュー を押す

3 ▲▼ で「テレビ操作」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「外付ハードディスク取外し」を選び、決定 を押す

■「外付ハードディスク取外し」がグレー色で選べないときは

手順4以降の操作は不要です。
メニュー を押して通常画面に戻してください。
そのあと、本機からUSBケーブルを抜いてください。(ただし、ハードディスク表示灯 P.20 が点滅しているときは、USBケーブルを抜かないでください。)

5 次のメッセージが表示されたら、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

- 外付ハードディスクを安全に取り外すための処理を行います。

6 次のメッセージが表示されたら、決定 を押す

7 本機からUSBケーブルを抜く

- 外付ハードディスクに電源スイッチがある場合は、外付ハードディスクの電源を切ります。

デジタル放送を見る（地上・BS・110度CSデジタル）

1 電源を入れる

- 電源表示灯が赤から緑に変わります。
  （主電源 P.20 が入っているときに使えます。）

2 デジタル放送の種類を選ぶ

- CS は押すごとにCS1とCS2が切り換わります。
- 視聴しない放送波を誤って選ばないように、無効にすることができます。P.236

3 チャンネルを選ぶ

- 数字ボタンは、数字の真ん中を押してください。
- チャンネルボタンに設定する放送チャンネルを変えることができます。P.230～231
- 3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ場合は、「サブメニュー」→「番号入力」を選んでから数字ボタンで入力して選びます。サブメニューについては P.186 をご覧ください。

リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す

- BS・110度CSデジタル放送の工場出荷時に設定されているチャンネルについては、P.231 をご覧ください。

チャンネルを順送り/逆送りで選ぶ

チャンネル ∧ ∨ ボタンを押す

4 音量を調節する

- 音量は0から最大60まで変化します。
- 待機状態※のときでも、音量を小さくすることができます。
  ※電源「切」直後、5秒程度は受け付けません。
- スピーカーとヘッドホンは、別々に音量調節できます。
- 大きすぎたり小さすぎたりする音量を自動調節することができます。いつも安定した音量で楽しめます。P.199

音量、選局などの操作以外は、起動中の表示が消えてから行ってください。

お知らせ

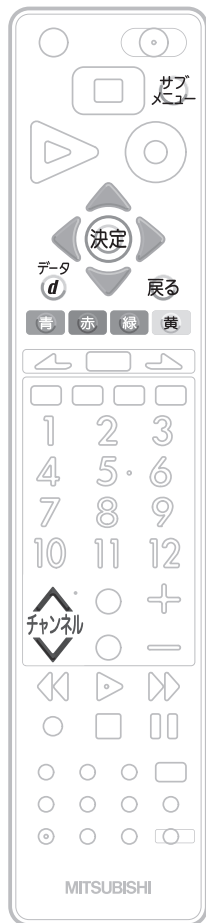
- 本体右側面の主電源が「切」の状態は、電源プラグを抜いた状態とほぼ同じになります。リモコンや本体の電源ボタンは、はたらきません。
- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。
  一部の回路が通電しています。
- 視聴年齢制限の対象番組を選んだときは、暗証番号入力画面が表示されます。P.220
- 受信状況（受信レベル）の確認ができます。P.189

お願い！

携帯電話の通話や無線機などをご使用になるとき、本機に近づきすぎると、本機の音声に異音が入ったり、画面にノイズが出たりする場合があります。
異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」P.49 をご覧ください。

データ放送を見る

デジタル放送には、テレビ放送、BSラジオ放送、データ放送の分類があります。
データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、お好みの情報を見ることができます。
データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。
またデータ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。P.40·210

1 デジタル放送を見ているときに

データ を押す

番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2

画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン（青 赤 緑 黄 ボタン）や ▲▼◀▶ ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。
操作方法は番組、内容などによって異なります。画面の指示をご覧ください。

連動データ放送を見ているときに データ をもう一度押すと、テレビ放送に戻ります。

お知らせ

- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 番組に連動したデータ放送があるかどうかは、「サブメニュー」→「番組内容」を選んで「番組内容」画面を表示し、アイコンなどで確認できます。
- 電話回線のみで通信が行われるデータ放送には、対応していません。
  くわしくは放送事業者へお問い合わせください。
- デジタル放送を録画した番組の再生中、番組ポーズした番組の再生中は、データ放送やラジオ放送を視聴することはできません。

お知らせ

- 本機ではデータ放送を録画することはできません。
- 空いている数字ボタンに、よく使うデータ放送のチャンネルを設定しておくと便利です。くわしくはP.231をご覧ください。

独立データ放送を見る

1 デジタル放送を見ているときに

チャンネル ∧ ∨ を押して、チャンネルを選ぶ

番組表P.71から選局したり、3桁のチャンネル番号を入力して選局することもできます。
- 地域により放送がない場合は選局できません。

2

画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン（青 赤 緑 黄 ボタン）や ▲▼◀▶ ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。
操作方法は番組、内容などによって異なります。画面の指示をご覧ください。

3D映像を見る

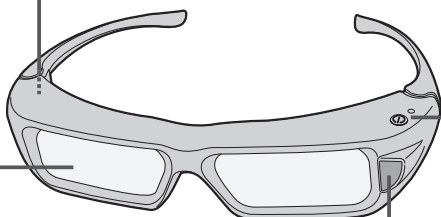
別売の3Dメガネ（EY-3DGLLC2）を使って3Dに対応した放送などを見ると、3D映像が楽しめます。
3Dメガネは、視力矯正用メガネの上からかけることができます。

※ご使用前に P.14～15 の「3D映像を視聴するときの注意」も必ずお読みください。

3Dメガネについて

電池ケース
コイン型リチウム電池（CR2032）が入っていますので、初めて使うときは絶縁シートをはずしてください。

レンズ（液晶シャッター）

赤外線受光部
テレビからの赤外線信号を受信します。
テレビからの赤外線信号を受信することで、レンズ（液晶シャッター）の開閉タイミングを制御し、3D映像を表現します。

電源ボタン、表示灯

電源を入れるとき･･･
電源ボタンを約1秒間押し続けます。
表示灯が約5秒間点灯後、消灯します。
その後、約10秒に1回、表示灯が点滅します。

電源を切るとき･･･
電源ボタンを約1秒間押し続けると、表示灯が3回点滅して、電源が切れます。

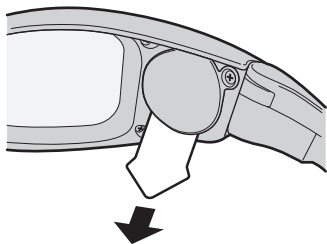
※テレビからの赤外線信号が途絶えると、待機状態となり、シャッター動作は停止します。その間、表示灯がゆっくり点滅します。
信号を受信すると、シャッター動作を開始します。
信号が途絶えたまま約3分たつと、自動的に電源が切れます。

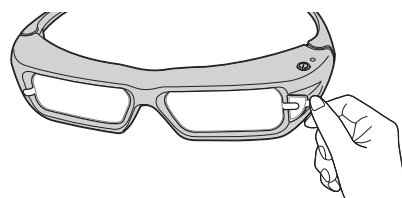
※電池の残量が少ない場合は、3Dメガネの電源を入れたときに、表示灯が5回点滅します。

※電池の持続時間は、連続使用で約65時間です。（ご使用の状態によって寿命が変わります。）

3Dメガネの準備をする

1 絶縁シートをはずす

下図の矢印の方向へ、ゆっくりと引き抜いてください。

2 保護シートをはがす

図のようにつまみを持ち上げて、赤外線受光部（1ヵ所）とレンズ（4ヵ所）の保護シートをはがしてください。

■ レンズ（液晶シャッター）について

- レンズに力を加えないでください。
  また、製品を落としたり、曲げたりしないでください。
- 鋭利なものでレンズの表面を引っかかないでください。
  レンズが破損し、3D映像の品質が低下するおそれがあります。

■ 赤外線受光部について

- 赤外線受光部を汚したり、シールなどを貼らないでください。3D赤外線発光部からの信号を受信できなくなり、3Dメガネが正常に動作しなくなることがあります。
- 別の赤外線通信装置の影響があると、正しい3D映像を見ることができない場合があります。
- リモコンを操作すると3Dメガネが誤作動することがありますが、故障ではありません。リモコンの操作をやめると正常に戻ります。
- 3D映像を視聴中は、リモコンがききにくいことがありますが、故障ではありません。

■ 3Dメガネを使用するときは

- 3Dメガネの近くで強い電磁波を生じる機器（携帯電話など）を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- 0℃～40℃の間でご使用ください。
- 蛍光灯（50Hz）をご使用の部屋で視聴すると、部屋全体の明かりがちらついて見えることがあります。このような場合は、本機を蛍光灯からなるべく離して設置してください。
- 3Dメガネは正しく装着してください。上下を反対にしたり、前後を逆にしたりすると、正しい立体像を見ることができません。
- 3Dメガネをかけた状態では、他のディスプレイ（パソコン画面、デジタル時計、電卓など）の表示が見づらくなることがあります。3D映像を視聴するとき以外は、3Dメガネをはずして見てください。
- 3Dメガネはサングラスではありません。サングラスとして使用しないでください。
- 互換性の無い他社製品用の3Dメガネは使えません。
- 映画館等で配る3Dメガネは使えません。
- 3Dメガネを装着しても、横になった状態では3D映像にはなりません。

3Dメガネの電池を交換する

別売の3Dメガネ（EY-3DGLLC2）の電源を入れたときに電源表示灯が5回点滅する場合は、新しい電池と交換してください。

コイン型リチウム電池（CR2032）を1個と精密ドライバー（No.0）を使用

電池の持続時間は、連続使用で約65時間です。（ご使用の状態によって寿命が変わります。）

1 図のようにネジをゆるめて、カバーをはずす

2 古い電池を取り出す

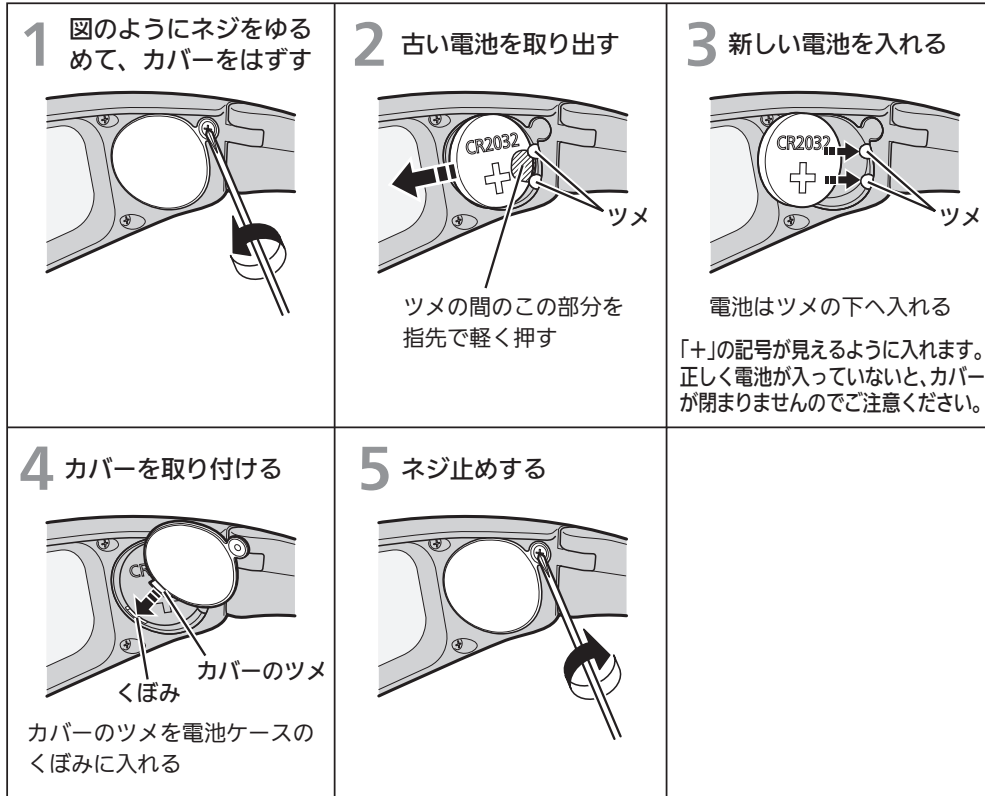
ツメの間のこの部分を指先で軽く押す

3 新しい電池を入れる

電池はツメの下へ入れる

「＋」の記号が見えるように入れます。正しく電池が入っていないと、カバーが閉まりませんのでご注意ください。

4 カバーを取り付ける

カバーのツメを電池ケースのくぼみに入れる

5 ネジ止めする

ドライバーでけがしないように注意してください。

⚠注意

電池の向きを確認して、正しく入れる

- 長時間使用しない場合は、メガネから電池をはずすことをおすすめします。メガネに電池を入れたままにしていると、使用しなくても電池は消耗します。

  はずした電池は、ショートしないよう、テープを貼る P.14 などして、お子様の手の届かないところに保管してください。

3Dの方式について

サイドバイサイド方式：

オリジナル解像度を水平方向に2分の1とした左眼用映像データと右眼用映像データを1フレーム内に配置するフォーマット

トップアンドボトム方式：

オリジナル解像度を垂直方向に2分の1とした左眼用映像データと右眼用映像データを1フレーム内に配置するフォーマット

フレームパッキング方式：

オリジナル解像度の画面を左右信号を含めてオリジナル解像度のまま伝送するフォーマット

3D映像を視聴する

本機では、次の3D映像に対応した放送や入力信号を立体的な映像として視聴することができます。（2012年4月現在）

- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の3D映像（サイドバイサイド方式、トップアンドボトム方式）
- 本体に録画または外付ハードディスクに移動した3D映像（サイドバイサイド方式、トップアンドボトム方式）
- アクトビラの3Dコンテンツ
- 3D対応ソフトを本機で再生したときの3D映像（サイドバイサイド方式、トップアンドボトム方式、フレームパッキング方式※）
- HDMI入力に接続した3D映像対応レコーダー/プレーヤーから入力した3D映像（サイドバイサイド方式、トップアンドボトム方式、フレームパッキング方式※）

※フレームパッキング方式の3D映像を視聴中は、入力切換やサブメニューなどの画面表示が他の映像のときとは異なります。くわしくは P.63 をご覧ください。

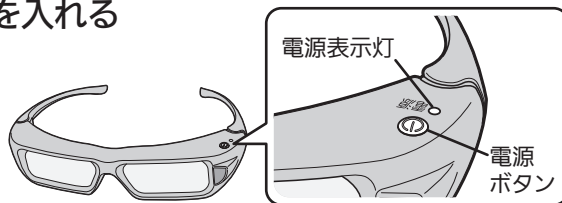
（CATV（ケーブルテレビ）からの3D映像の視聴については、CATV会社へお問い合わせください。）

3Dの方式については、P.59 をご覧ください。また、通常映像（2D）を擬似的に3Dに変換することもできます。P.61

1 3D映像を画面に映す

- 必ず3Dメガネの電源を入れる前に3D映像を映してください。
メガネのシャッタータイミングと映像が合わなくなることがあります。

2 3Dメガネの電源ボタンを約1秒間押し続けて、3Dメガネの電源を入れる

- 3Dメガネの電源表示灯が約5秒間点灯します。その後、約10秒に1回、電源表示灯が点滅します。

3 3Dメガネを装着する

4 自動で3Dに切り換わらないときは

を押して3Dモードを切り換える

で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

3D
放送（入力）のまま
☑ ▮▮ → 3D
▬ → 3D
■ → 擬似3D
▮▮ → 通常映像
▬ → 通常映像

- マークのある項目が、3Dモードになります。
- 「■→擬似3D」では、通常映像（2D）を擬似的に3Dに変換して表示します。
- 3D判定 P.224 を「自動3D」にしておくと、自動で3Dに切り換わります。通常映像（2D）に戻ると、3Dモードは自動的に解除されます。ただし、3D検出用信号が含まれない番組や動画の場合は手動で切り換える必要があります。

お知らせ

- 3D映像対応レコーダー/プレーヤーからの3D映像を映す場合、レコーダー/プレーヤー側の3Dモード（「3D設定方式」など）の切り換えが必要な場合があります。くわしくは、レコーダー/プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 3D映像の見えかたには、個人差があります。近視や遠視、乱視、左右の視力が異なる方は、視力矯正メガネの装着などによって視力を適切に矯正したうえで、3Dメガネを使用して視聴してください。
- 3D映像の視聴を始めてしばらくは、映像が少しずれて見えることがありますが、故障ではありません。
- 「3Dディスク再生設定」P.204 が「2D再生」に設定されていると、3D対応BDビデオソフトは通常映像（2D）で再生します。

お願い！

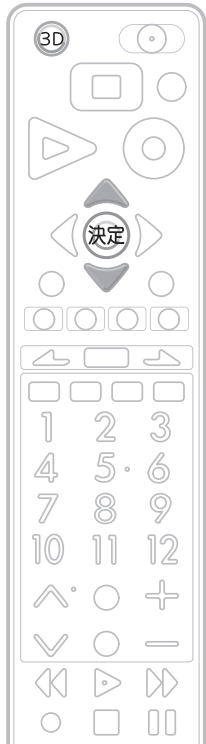
- **3D映像を視聴するときは、P.14〜15 の「3D映像を視聴するときの注意」もよくお読みください。**
- 3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止してください。そのまま視聴すると、体調不良や目の疲れの原因になることがあります。適度な休憩をとり、長時間連続して視聴しないでください。
- お子様の視聴年齢は5〜6歳以上を目安としてください。お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。お子様が視聴の際は、保護者の方がお子様の体調変化や目の疲れに注意し、適度な休憩をとるよう監督してください。

3D映像の視距離について

3D赤外線発光部に正しく向けてください。
使用範囲は角度により異なります。

- 3D映像を視聴するときは、画面の高さの約3倍以上の視距離で視聴することをおすすめします。
  - ・LCD-40MDR3… 約1.5 m〜3.2 m以内
  - ・LCD-46MDR3… 約1.7 m〜3.2 m以内
- 推奨距離より近い距離で視聴すると、体調不良や目の疲れの原因になることがあります。
- 画面から離れすぎると、3Dメガネが正常に動作しなくなることがあります。
- 本機の3D赤外線発光部と3Dメガネの間に障害物を置かないでください。

通常映像を3Dのように視聴する

本機では、通常の映像を3Dメガネを使って立体的な映像で擬似的に視聴することができます。

1 3Dのように視聴したい画面を映す

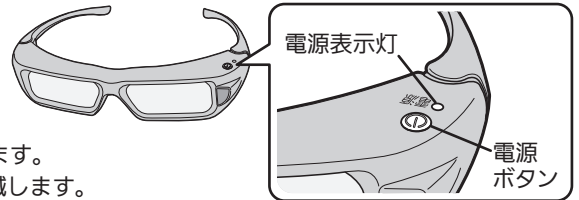
2 (3D)を押して「■→擬似3D」を選ぶ

3D
- 放送(入力)のまま
- ■■ → 3D
- ▬ → 3D
- ☑ ■ → 擬似3D
- ■■ → 通常映像
- ▬ → 通常映像

(決定)で項目を選び、(決定)を押しても切り換わります。

●「■→擬似3D」は、約2時間経つと、自動的に通常映像に戻ります。

3 3Dメガネの電源ボタンを約1秒間押し続けて、3Dメガネの電源を入れる

● 3Dメガネの電源表示灯が約5秒間点灯します。
その後、約10秒に1回、電源表示灯が点滅します。

4 3Dメガネを装着する

お知らせ

下図のⒷやⒸのような画面が出たら、3Dモードを間違えて選択しています。
正常な画面(通常映像)になるように3Dモードを切り換えてください。

Ⓐ 正常な映像	Ⓑ 左半分と右半分が重なった映像	Ⓒ 左半分が拡大された映像
	「■■→3D」が選択されています。 ➡ (3D)を6回押す	「■■→通常映像」が選択されています。 ➡ (3D)を3回押す

お願い!

テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、「■→擬似3D」機能を利用して、通常の2D映像を3Dに変換すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

見終わったら

- 3Dメガネの電源を切ってください。
- お子様の手の届かないところ、踏んだり落としたりしない場所に保管してください。
  破損や事故にご注意ください。
- 温度や湿度の高いところは避けて保管してください。
- 長時間使用しない場合は、メガネから電池をはずす P.59 ことをおすすめします。メガネに電池を入れたままにしていると、使用しなくても電池は消耗します。
  はずした電池は、ショートしないよう、テープを貼る P.14 などして、お子様の手の届かないところに保管してください。

3D映像を見る（つづき）

3D映像の見えかたを切り換える（3D奥行き切換／3Dメガネ切換）

3D映像の奥行き感を切り換えて見やすくすることができます。
また、3D映像を視聴中に違和感を感じるときは、3D映像の左右と3Dメガネのレンズ（液晶シャッター）の左右切換が合っていない可能性があります。「3Dメガネ切換」で3Dメガネ側の左右を反転させると違和感がなくなる場合があります。

- 「3Dメガネ切換」は3Dモード P.60 が「3D」のときだけ表示されます。
- 「3D奥行き切換」は、ブルーレイ再生時で3Dモードが「3D」のときだけ表示されます。

1 サブメニュー を押す

- 「メニュー機能の使いかた」 P.184～186 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「3D奥行き切換」または「3Dメガネ切換」を選び、決定 を押す

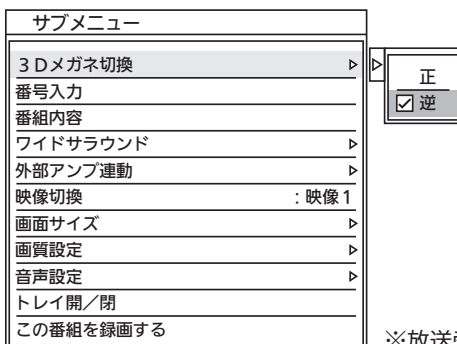
3

3D奥行き切換の場合

フレームパッキング方式で視聴しているときのみ調整できます。

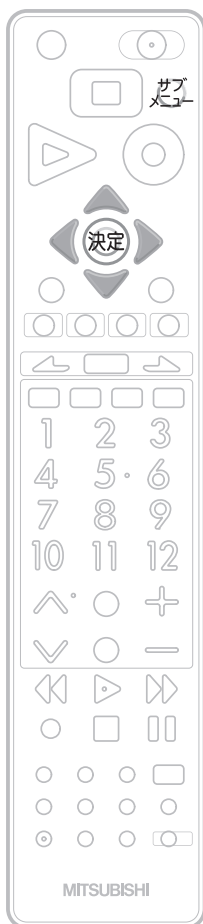
◀ ▶ で調整する

3Dメガネ切換の場合

▲ ▼ で設定を選ぶ

※放送受信時の表示例です。

4 サブメニュー を押す

お知らせ

3D映像が二重に見えるときは、右（左）目用映像へ左（右）目用映像が混入している場合があります。この場合、3D二重像低減 P.195 の設定を変えることで、二重に見えるのを低減します。

フレームパッキング方式の3Dを視聴中の表示と操作

ブルーレイソフト再生やHDMI入力でフレームパッキング方式 P.59 の3D映像を視聴中は、画面表示が放送視聴中などとは異なります。サブメニュー、3D切換、入力切換は操作方法も異なります。

サブメニューの場合

設定できる項目は次のとおりです。

- 画質設定…映像モード切換、バックライト※1、コントラスト、黒レベル、色の濃さ、色あい、色温度、シャープネス、3D二重像低減※2、3D奥行き切換※2
- 音声設定…音声モード切換、高音、低音、左右バランス、重低音、サラウンド※3
- ディスクメニュー※4
- リピート再生設定※4
- 頭だしを行う※4
- BD再生選択※5…アングル切換、セカンダリービデオ切換、セカンダリーオーディオ切換、字幕スタイル切換

※1…3Dでの視聴時は調整できません。
※2…3D→通常映像での視聴時は切り換えできません。
※3…ヘッドホン挿入時は表示されません。
※4…BD再生時のみ設定できます。
※5…BD再生中で、該当項目があるときのみ表示されます。

1 フレームパッキング方式の3D映像を視聴中に

サブメニュー を押す

画質設定　映像モード切換　で選択　で切換　戻るで終了

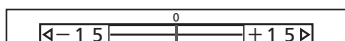
2 ▲ ▼ で設定項目を選び、 決定 を押す

画質設定　映像モード切換　で選択　で切換　戻るで終了

▲ ▼ を押すごとに項目が切り換わります。
画質設定以外は画面右側に表示されます。

3 バックライト、コントラスト、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス、3D奥行き切換、高音、低音、左右バランスの場合

◀ ▶ で調整し、 決定 を押す

0
◁－１５　＋１５▷

映像モード切換、色温度、3D二重像低減、音声モード切換、重低音、サラウンド、アングル切換、セカンダリービデオ切換、セカンダリーオーディオ切換、字幕スタイル切換の場合

◀ ▶ で設定を選び、 決定 を押す

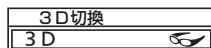
◁　ハイブライト　▷

4 サブメニュー または 戻る を押す

3D切換の場合

フレームパッキング方式の3D映像を視聴中に

3D を押す

３Ｄ切換
３Ｄ

- 現在視聴中の3Dモードのみ表示されます。

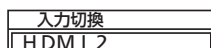
押すごとに次のように切り換わります。

3D ⟷ 3D→通常映像

入力切換の場合

フレームパッキング方式の3D映像を視聴中に

入力切換 を押す

入力切換
ＨＤＭＩ２

※HDMI2を視聴している場合の表示例。

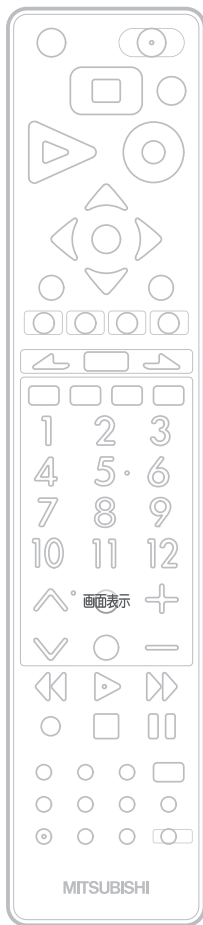
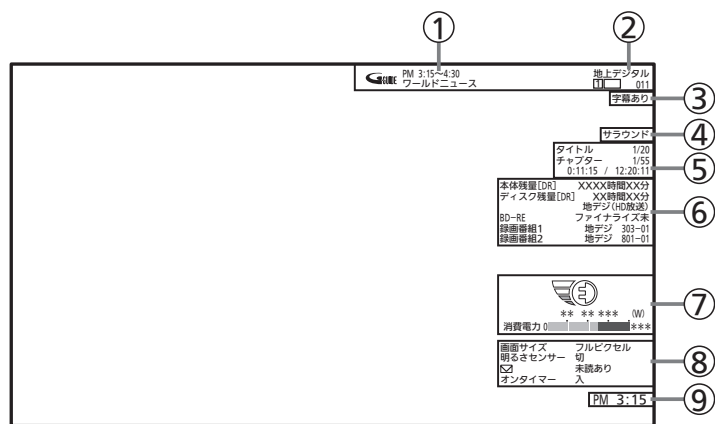
- 現在視聴中の入力のみ表示されます。

上記画面を表示中に 入力切換 を押すと、他の入力に切り換わります。

お知らせ

- **フレームパッキング方式で視聴中は、メニュー操作他制限されている操作があります。**「この3Dモード時はこの操作はできません。」と表示されるときは視聴を一時中止して操作してください。
- エラーメッセージは、フレームパッキング方式視聴を中断し、直前に視聴していた放送や入力に切り換わって表示します。
- フレームパッキング方式で視聴中に、オフタイマー P.76 の電源「切」となる時間になると、オフタイマーは解除され電源は切れません。電源「切」となる時間までにフレームパッキング方式での視聴が終わればオフタイマーは動作します。
- フレームパッキング方式で視聴中は、ヘッドホンの音声設定はできません。視聴を一時中止して操作してください。
- 画質設定についてくわしくは、P.190 をご覧ください。
- 音声設定についてくわしくは、P.196 をご覧ください。
- ディスクメニューについてくわしくは、P.147 をご覧ください。
- リピート再生設定についてくわしくは、P.152 をご覧ください。
- 頭だしについてくわしくは、P.151 をご覧ください。
- アングル切換についてくわしくは、P.153 をご覧ください。
- セカンダリービデオ切換、セカンダリーオーディオ切換、字幕スタイル切換についてくわしくは、P.148 をご覧ください。
- 3D切換についてくわしくは、P.60〜61 をご覧ください。
- 入力切換についてくわしくは、P.66 をご覧ください。

チャンネル番号などを表示する

現在見ている番組の番組名、放送の種類、チャンネル番号、外部入力、現在時刻などを確認できます。

画面表示 を押す

※イラストは表示の一例です。

押すごとに次のように切り換わります。

① ～ ⑧ → ② → ⑨ → 表示なし → ① ～ ⑧

- 「①～⑧」は、続けてボタンを押さない場合、数秒で消えます。
- 「②、⑨」は、焼き付け（映像内容が変わっても画像が消えずに残る）防止のため、電源を切ると表示は消えます。
- 「⑤」は、再生中のみ表示されます。

①…番組の開始時刻と終了時刻、番組名

②…放送の種類、チャンネル番号、外部入力など

③…字幕の有無 P.69

④…音声の種類 P.69

⑤…番組のタイトルやチャプターの現在番号/総数、
再生経過時間/総再生時間（時間、分、秒）、など
　時間やチャプター数などの数字は、とびとびに表示されることがあります。

⑥…本体（ハードディスク）などの動作状態や残量時間、いろいろな情報
　再生中、録画中、停止中によって、表示される情報が変わります。

⑦…節電メーターと節電レベル P.83
　※目盛は機種によって異なります。

⑧…画面サイズ P.84、明るさセンサー P.194、
未読のお知らせの有無 P.188、オンタイマー P.77

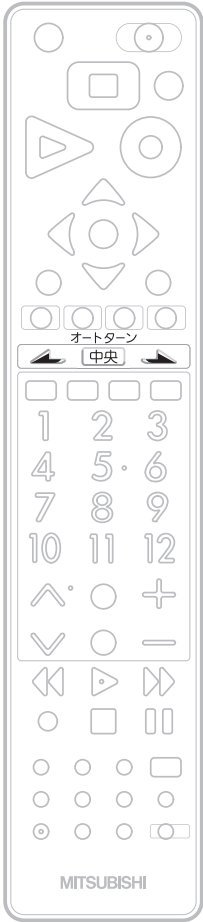
⑨…現在時刻

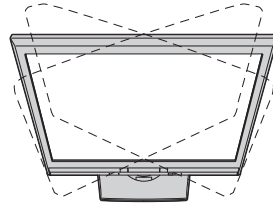
お知らせ

- **残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。**
  残量時間は、録画中、停止中の情報に表示されます。現在本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。
- 他機で録画されたディスクでは、正しく表示されないことがあります。
- ネットワークで全画面、および画面の一部で動画を表示中は、画面表示は表示されません。

リモコンで画面の向きを変える（オートターン）

リモコンでテレビ画面を見やすい方向に調整できます。

■ オートターン機能をお使いになるときは、必ずスタンドの黄色いリード線を専用コネクタ（メス） P.22 に接続してください。

を押す

画面が左右に約20°回転します。

◢ を押している間は左へ回転します。

◣ を押している間は右へ回転します。

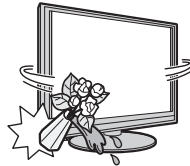
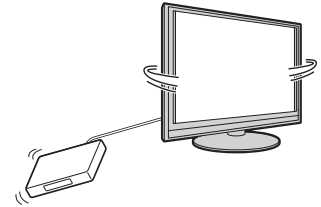
中央 を押すと、中央に戻ります。

⚠注意　特にお子様にご注意ください。

回転中に、指や物をはさまない。

本機が回転したときに、指をはさみ危険です。

本機にのったり、重い物をのせて回転させない。

回転範囲には、物を置かない。

接続機器を引きずらない。

本機が回転したときに、ケーブルが引っ掛かったり、機器が引っ張られたりしないように接続してください。

お願い！

長時間、連続回転させない。

お知らせ

- 中央ボタンを押して中央に戻っている途中で回転を止めたいときは、◢ 中央 ◣ のいずれかのボタンを一回押してください。
- お子様のいたずら防止などのため、オートターンを使えなくすることができます。また、向きを変えたまま電源を切ったとき（主電源は「入」）、自動で中央に戻るように設定することができます。
  くわしくは P.225 をご覧ください。
- オートターンを使わずに、手で回転することもできます。
- 左右で回転音に差が生じることがあります。
- 本機が中央位置のときに中央ボタンを押すと、中央位置検出のため、わずかに回転しますが、異常ではありません。また、わずかに中央を過ぎることがあります。電源オフ時に中央に戻る設定 P.225 となっている場合も同様です。

他の機器の映像を見る（入力切換）

他の機器との接続方法については、 P.31～37 をご覧ください。

お知らせ

- 「入力スキップ設定」 P.225 によりすべての入力は、スキップする（飛ばす）ことができます。
- 外部入力をスキップするには、「入力スキップ設定」 P.225 で「する」に設定してください。
- 本機のi.LINK（TS）端子に接続できる機器は、CATVのセットトップボックス1台だけです。デジタルビデオカメラなどのi.LINK（DV）対応機器や、D-VHSビデオなどのi.LINK対応機器とは、接続しても動作しません。

お願い!

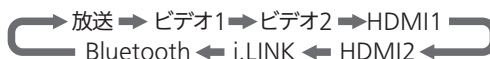
ビデオなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

例：ビデオ1に接続したビデオの映像を見る場合 P.31

1 本機とビデオの電源を入れる

2 入力切換 を押して、「ビデオ1」に切り換える

入力切換 を押すごとに次のように切り換わります。

放送 ➡ ビデオ1 ➡ ビデオ2 ➡ HDMI1 ➡ HDMI2 ➡ i.LINK ➡ Bluetooth ➡（放送に戻る）

で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

本体側面の入力切換ボタンでも切り換わります。

地上デジタル ➡ BS ➡ CS1 ➡ CS2 ➡ ビデオ1 ➡ ビデオ2 ➡ HDMI1 ➡ HDMI2 ➡ i.LINK ➡ Bluetooth ➡（地上デジタルに戻る）

- 視聴しない放送波を無効にすることができます。 P.236

3 ビデオの再生をする

他の機器の音楽を聞く

携帯音楽プレーヤーをつないで、本機で高音質な音楽が楽しめます。

お知らせ

- 携帯音楽プレーヤーを接続するときは、ビデオ2（またはビデオ1）の映像入力には接続線を差し込まないでください。
- 音量が小さい場合は、携帯音楽プレーヤー側で調節することをおすすめします。本機側だけで音量を上げると、音楽を聞き終わって他の入力に切り換えたときに音量が大きくなりすぎていることがありますのでご注意ください。音楽を聞き終わったあとは、携帯音楽プレーヤー側の音量を元の大きさに戻してください。
- 音声モード P.197 は、「音楽プレーヤー」に固定され、切り換えることはできません。
- 「人感センサー節電」 P.79 が「節電する」に設定されていても、音楽プレーヤーを再生しているときの消画中には電源は切れません。

ビデオ2に接続した携帯音楽プレーヤーを聞く場合 P.31

1 本機と携帯音楽プレーヤーの電源を入れる

2 入力切換 を押して、「ビデオ2」に切り換える

入力切換
ビデオ1
☑ビデオ2
HDMI 1
HDMI 2
i.LINK
Bluetooth
放送

- 画面に「DIATONE」ロゴが表示されます。
  その後、消画となります。
  消画を解除したいときは、電源以外のボタンを押してください。このときは、押したボタンの動作はしません。

3 携帯音楽プレーヤーの再生をする

他の機器の音楽を聞く（つづき）

お知らせ

- 音量が小さい場合は、携帯音楽プレーヤー側で調節することをおすすめします。本機側だけで音量を上げると、音楽を聞き終わって他の入力に切り換えたときに音量が大きくなりすぎていることがありますのでご注意ください。音楽を聞き終わったあとは、携帯音楽プレーヤー側の音量を元の大きさに戻してください。
- 音声モード P.197 は、「Bluetooth」に固定され、切り換えることはできません。
- 本機能で再生できるサンプリングレートは48kHzと44.1kHzのみです。
- 再生機器に表示される本機名称は「本機名称設定」P.215 で設定された名称です。一旦接続が完了してから本機名称を変更すると、再生機器の表示内容が更新されるまで、変更前の名称が表示されます。再生機器の表示内容更新については、再生機器メーカーへお問い合わせください。
- 「人感センサー節電」P.79 が「節電する」に設定されていても、音楽プレーヤーを再生しているときの消画中には電源は切れません。

お願い！

- 本機とBluetooth® 機器の距離は10m以内で、互いに直線で見通せるところでご使用ください。間に障害物があると使用距離が短くなったり通信ができなくなることがあります。間に人や動物がいても使用距離が短くなることがあります。使用距離は、通信を干渉する機器があったり、建物の構造などによっても短くなることがあります。使用範囲は、接続する相手機器の性能や状態にもよりますので、上記数値を保証するものではありません。
- 再生機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

Bluetooth® 対応再生機器をワイヤレスでつなぐ場合

再生機器のメーカー、機種、ソフトウェアのバージョンなどの違いにより細部の仕様が異なり、再生機器が本機と接続できないことがありますので予めご了承ください。

1 入力切換 を押して、「Bluetooth」に切り換える

2 再生機器をBluetooth® が使用可能な状態にする

Bluetooth® 機器が複数ある場合は

再生機器側で本機を選択する

- 再生機器側に本機が表示されるまでしばらく時間がかかることがあります。

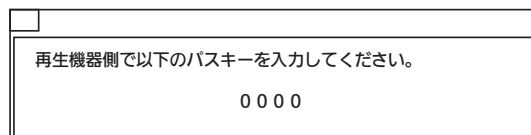
初めて接続するとき

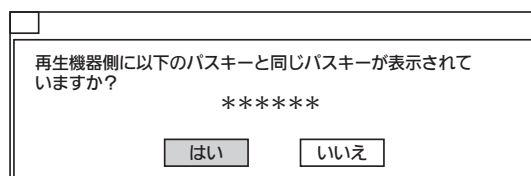
初めて接続するときは、再生機器により3つの方式があります。
ここでは代表例を記載しています。操作手順は再生機器により異なりますので、くわしくは再生機器のメーカーへお問い合わせください。

3 再生機器側で文字や数字の入力を要求される方式

再生機器側に表示される文字や数字※を入力する画面で、「0000」を入力する

再生機器によっては本機に以下の表示が出せる場合があります。
この場合に入力するのは常に「0000」で、他の文字列に変わることはありません。
※：パスキー、ピンコードなどと呼ばれます。

再生機器側で以下のパスキーを入力してください。
0000

再生機器と本機に表示される文字列を確認する方式

再生機器側の画面に同じ数字が表示されているのを確認して、◀ ▶ で「はい」を選び、決定 を押す

- ******の数字は、接続するたびに変わります。
- 再生機器と本機画面の数字が一致しないときは、再生機器側の接続操作をやり直してください。

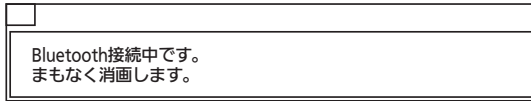
自動で接続する方式

そのまま手順4へ進む

上記2つの方式のような操作はありません。

次ページへつづく

4 接続が完了したら下図の画面が消えるので、再生機器で再生操作をする

Bluetooth接続中です。
まもなく消画します。

- しばらくすると本機の画面は自動的に消画になります。
- 再生機器により、接続に時間がかかることがあります。
- うまく接続できない場合は、本機と再生機器の必ず両方で相手機器の機器情報を削除した後、再度接続を行ってください。
  - ・本機で機器情報を削除するには、「サブメニュー」→「Bluetooth機器情報削除」
  - ・再生機器については、再生機器の取扱説明書をご覧ください。

音楽を聞きながらSDカードの写真を連続して表示（スライドショー）させるとき

音楽再生中に

本機で静止画が再生可能なSDカードを挿入する

- スライドショーは、最後まで再生されると最初に戻り、くり返し再生されます。
- SDカードについては、P.154~155 をご覧ください。

■ スライドショーをやめるときは

① 戻る または 停止 を押す

② SDカードを抜く

■ 他の再生機器と接続しなおすなど、再生機器との接続を切りたいときは

「サブメニュー」→「Bluetooth接続切断」

- 再生機器側の操作も必要な場合があります。

お知らせ

録画やダビング中は、写真の再生はできません。

Bluetooth® について

●使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

三菱電機お客さま相談センター P.250

●周波数帯について

本機は2.4GHz帯を使用します。
2.402GHzから2.480GHzまでの全帯域を使用しますが、移動体識別装置の帯域を回避不可です。
変調方式はFH-SS方式を採用しています。
電波与干渉距離は約10m以下です。

2.4FH1

●使用制限

- 本機のBluetooth® 機能を使用するには、Bluetooth® 対応機器がA2DPのソース機器である必要があります。
- 本機はAVRCPには非対応です。
- 本機はご家庭内の同一部屋内で、見通しのよいところでご使用ください。
- すべてのBluetooth® 対応機器との無線通信を保証するものではありません。
- 本機は無線通信を使用しているため、第三者が故意に傍受する可能性があります。Bluetooth® 標準規格に準拠した盗聴防止機能を搭載していますが、環境や設定により機能が十分でない場合があります。傍受にご注意ください。
- Bluetooth® 利用時のデータや情報の漏洩により発生した損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。
  無線設備名：205 WW2009008
  従って本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 本機を航空機や医療電気機器などの高精度電子機器の近くで使用すると誤動作の原因となることがあります。これらの近くで使用しないでください。特に、医療機関には設置しないでください。
- 電波の状況によっては、音が途切れたり雑音が入ったりすることがあります。
- 無線LAN（Wi-Fi）はBluetooth® と同一周波数帯を使用するため、近くでBluetooth® 機能を利用すると通信速度の低下や雑音・通信不能の原因になることがあります。無線LANの接続に支障がある場合はBluetooth® 機能の使用を中止してください。

字幕を出す/視聴中の番組の音声を切り換える(音声切換)チャンネル内の映像を切り換える(映像切換)

字幕を出す

デジタル放送の番組によっては、字幕や文字スーパーが表示できるようになっています。
本機では、字幕や文字スーパーの表示／非表示や言語を設定できます。

字幕があるデジタル放送の番組を見ているときに

字幕 を押す

- 字幕が表示できるかどうかは、次の方法で確認できます。
  - 「サブメニュー」→「番組内容」を選ぶ
    字幕表示できる番組では、番組内容画面 P.74 に 字幕 マークが表示されます。

くり返し押して「日本語」または「英語」を選ぶと字幕が表示されます。
押すごとに次のように切り換わります。

で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

「日本語」……… 番組の日本語の字幕を表示します。
「英語」………… 番組の英語の字幕を表示します。
「切」…………… 字幕や文字スーパーを表示しません。

お知らせ

- 英語の字幕が放送にないときは、「英語」を選択しても日本語が表示されます。
- 一発録画 P.118 中や番組ポーズ P.75 した番組の再生中は、再生設定によります。 P.204
- BD/DVDの場合は P.205 もご覧ください。
- 3D放送を3Dまたは通常映像で視聴しているときに、字幕の表示はできません。

視聴中の番組の音声を切り換える(音声切換)

複数の音声がある番組を見ているときは、視聴中に音声を切り換えることができます。

複数の音声がある番組を見ているときに

音声切換 を押す

押すごとに音声が切り換わります。

お知らせ

P.202「音声設定」→「光音声出力設定」を「自動」に設定してDolby Digitalの二重音声を再生しているときは、デジタル音声(光)出力端子から出力している音声を、本機の「音声切換」操作で切り換えることはできません。この場合は、「光音声出力設定」を「PCM」にするか、アンプ側で切り換えてください。

チャンネル内の映像を切り換える(映像切換)

ひとつの番組で複数の映像を放送している番組(マルチビュー放送)を楽しんだり、同じチャンネルで放送している別の番組に切り換えたりできます。

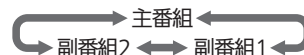
1 デジタル放送を見ているときに

サブメニュー を押す

2 ▲▼ で「映像切換」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で映像の種類を選び、決定 を押す

切り換わる映像の種類は、番組によって異なります。たとえば、主番組と副番組1、副番組2が放送されているマルチビュー放送の場合では、次のように切り換わります。

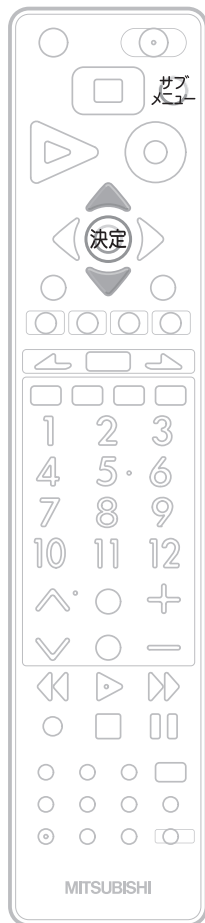
主番組 → 副番組1 ↔ 副番組2 → 主番組

お知らせ

- マルチビュー放送とは
  ひとつの番組で別の映像や違う角度からなど、最大3つの映像を同時に楽しめる放送です。
- マルチビュー放送や、他の映像信号がない場合は、映像は切り換わりません。

「サラウンド」で聞く

「サラウンド」を設定すると、スピーカーとヘッドホン端子からの出力で、音声の奥行き感や広がり感が強調されます。
ご覧になる番組や再生するソフトに合わせて設定してください。

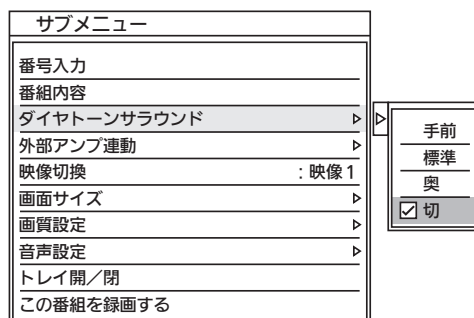
お知らせ

- モノラル音声や二重音声を左右同じ音で聞いているときにはスピーカーでの効果がありません。
- デジタル放送のAモード音声には対応していません。いずれのサラウンド機能も「切」にてご使用ください。「切」以外では音が出ません。
- ダイヤトーンサラウンドに設定したときや、ダイヤトーンサラウンド設定後にサラウンド放送の番組に切り換えたときなどに、ダイヤトーンサラウンドが機能するまでに時間がかかり音が途切れたように聞こえる場合があります。
- 「メニュー」→「設定」→「音声設定」→「サラウンド」でも設定を切り換えることができます。音声設定については P.196 をご覧ください。

例：音声が5.1ch信号の番組を見ているとき

1 サブメニュー を押す

2 ▲ ▼ で「ダイヤトーンサラウンド」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で項目を選び、決定 を押す

切り換わるサラウンドの種類は、視聴中の音声によって異なります。

3/2ch信号または5.1ch信号のとき

ダイヤトーンサラウンド5.1で臨場感あふれるサラウンド音場を楽しめます。

- サブメニューから「ダイヤトーンサラウンド」を選ぶ

内蔵スピーカーだけでスイートスポットの広いサラウンド音場を創ります。

3/2ch信号、5.1ch信号およびモノラル信号以外のとき

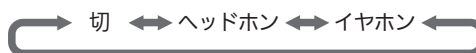
ワイドサラウンドで広がり感のある音場を楽しめます。

- サブメニューから「ワイドサラウンド」を選ぶ

2.0ch音源でも包み込むようなサラウンド感覚で楽しめます。センター定位がしっかりした自然なサラウンド感です。

ヘッドホンまたはイヤホン挿入時

ダイヤトーンサラウンドヘッドホンで5.1chやステレオでも聞き疲れしないサラウンド音場を楽しめます。

- サブメニューから「ヘッドホンサラウンド」を選ぶ

通常のヘッドホンを接続するだけで、ヘッドホンの外から聞こえてくるようなサラウンド感のある音質を実現します。

〈音声設定で選ぶ場合〉

① サブメニュー を押す
② ▲▼ で「音声設定」を選び、決定 を押す
③ ▲▼ で「サラウンド」を選び、決定 を押す
④ ▲▼ で設定項目を選び、決定 を押す

番組表(Gガイド)を見る

番組表を表示して、録画予約(簡単予約・詳細予約) P.119 ～ 121 をしたり、見たい番組を選ぶことができます。
番組表は、最大8日分まで表示できます。

番組表(Gガイド)について

番組表(G ガイド)の見かた

(例) 1画面の表示チャンネル数が、5チャンネル表示のとき

- 番組表から録画予約した番組には「 予 」が表示されます。(毎週/毎日録画の番組の場合は、1回目の予約にだけ表示されます。)
- 番組情報のジャンル情報によって、代表的な4つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ)の番組は色分け表示されます。
- 番組表の表示対象は サブメニュー で、次の中から選べます。 P.72
  「設定チャンネル」(チャンネル設定で設定されているPo1 ～ 36チャンネルだけ)、「テレビ」、「ラジオ」、「データ」、「すべて」
- 番組表を表示中に 黄 を押すと、選んでいる番組の詳しい情報(番組内容)を見ることができます。 P.74
- P.201 の「音声設定」画面の「読み上げ設定」－「自動読み上げ」を「入」に設定し、「自動読み上げ詳細設定」の「番組情報」を「読み上げする」に設定していると、選択中の番組内容の一部を読み上げます。(複数の読みかたや特殊な読みかたをする場合、本来の読みかたと異なる読みをすることがあります。)

番組表の表示について

●お買上げ後、すぐには番組表を表示できません。
らくらく設定(チャンネル設定)を済ませていないと、番組データが受信できないため、番組表を表示できません。

●それぞれのデジタル放送を受信できる環境であれば、各放送局から送信される番組表を表示できます。

- 現在視聴中の放送の種類での番組表が表示されます。
- 地上デジタル放送では、放送局ごとに番組情報を送信します。受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、◀▶ でその放送局を選択し(青色にする)、決定 を押してください。
- BS・110度CS放送では、どの放送局を選局してもすべての放送局の番組情報を表示します。
- 番組表を表示中に、サブメニューの「番組データ取得」から取得して表示することもできます。 P.72
- 番組表の内容が表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。

●ケーブルテレビ(CATV)は、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できないことがあります。
ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。

番組データの受信(取得)について

●Gガイドによる番組内容情報や番組検索のための番組データは、番組データの受信時刻に本機の電源が切のときに受信(取得)できます。
主電源を切らずに、通電状態にしておいてください。

- 番組データの受信時刻は、放送ごとに異なります。
  放送ごとの受信開始時刻を確認したいときは、 P.232 をご覧ください。
- ダウンロード更新(オンエアーダウンロード)と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。

お知らせ

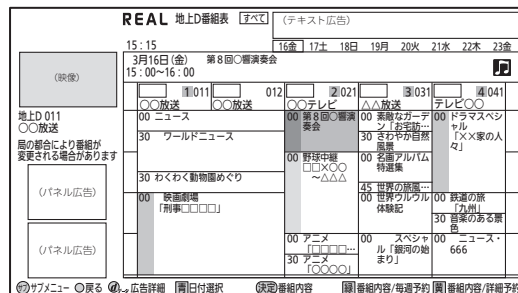
- 放送局側の都合により、実際の放送の内容が変更され、番組表の内容と異なることがあります。
- 本機は、番組表の表示機能にGガイドを採用しています。なお、当社はGガイドを利用した番組表のサービス内容については、関与しておりません。

番組表(Gガイド)を見る (つづき)

放送中の番組を番組表から選んで見る

1 予約番組表 を押して番組表を表示する

2 ◀▶ で現在放送中の視聴したい番組を選ぶ

- 選ばれた番組は青色で表示されます。

■ 別の放送の種類の番組表を見るときは

地上 BS CS を押すと、その放送の番組表に切り換わります。
CS は、押すごとにCS1とCS2が切り換わります。

- 別の日の番組表を見るときは、 青 を押して「日付選択」画面を表示し、▲▼ で日付を選んで 決定 を押します。(現在放送中以外の番組は、視聴できません。)

3 決定 を押して、番組内容画面を表示する

- 現在放送中以外の番組を選んで 決定 を押した場合は、簡単予約 P.119 になります。

4 ◀▶ で「今すぐ見る」を選び、 決定 を押す

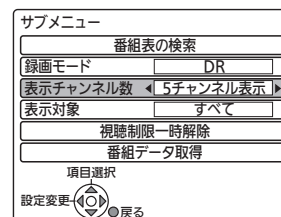
- その番組の画面に変わります。

- 「今すぐ見る」は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。

番組表の表示チャンネル数や表示対象を変更する

1 番組表を表示中に、サブメニュー を押す

- 「サブメニュー」画面が表示されます。

2 ▲▼ で設定を変更したい項目を選び、◀▶ で設定を変更する

「表示チャンネル数」‥‥ 番組表の1画面に表示されるチャンネル数
(工場出荷時の設定 :「9チャンネル表示」)

「表示対象」‥‥‥‥‥‥ 番組表に表示される対象
「設定チャンネル」(チャンネル設定で設定されているPo1〜36チャンネルだけ)、「テレビ」、「ラジオ」、「データ」、「すべて」

3 変更が終わったら 戻る を押し、番組表に戻す

お知らせ

- 番組表は、「メニュー」→「録る(番組表・予約)」→「番組表」でも、表示することができます。 P.184

選択した放送局の番組情報を取得するときは

① 番組表を表示中に、サブメニュー を押す
- 「サブメニュー」画面が表示されます。

② ▲▼ で「番組データ取得」を選び、決定 を押す
- 表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。

見たい番組を検索する

ジャンル検索、キーワード検索、人名検索、トピックス

1 番組表を表示中に、サブメニュー を押す

- 「サブメニュー」画面が表示されます。

2 「番組表の検索」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

サブメニュー
番組表の検索
録画モード DR
表示チャンネル数 5チャンネル表示
表示対象 すべて
視聴制限一時解除
番組データ取得
項目選択 決定 戻る

3 ▲▼ で検索方法を選び、決定 を押す

- 検索項目が表示されます。

4 ▲▼ で希望の項目を選び、決定 を押す

- この操作をくり返し、検索したい項目を絞り込みます。
- 絞り込みが終わると、受信できるすべての放送の検索結果画面が表示されます。

5 検索結果が表示されたら
▲▼ で見たい番組を選び、決定 を押す

- 番組内容画面が表示されます。

■ 特定の放送の検索結果だけを見るときは

地上 BS CS を押します。

- すべての放送の結果に戻すときは
  - ① サブメニュー を押し、サブメニュー画面を表示する
  - ② ▲▼ で「放送種別」を選ぶ
  - ③ ◀▶ で「全放送」を選ぶ
  - ④ 戻る を押す

■ 検索結果が2ページ以上あるときは

緑（前ページ）、黄（次ページ）を押します。

■ 別の日の検索結果を見るときは

青（前日の番組）、赤（翌日の番組）を押します。

6 ◀▶ で「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

- その番組の画面に変わります。
- 「今すぐ見る」は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。

フリーワード検索

1 左記の手順**3**のときに、「フリーワード検索」を選び、決定 を押す

2 フリーワードを登録する

① 緑 を押す
②「フリーワード」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す
③ 文字を入力する P.163
④ 文字入力が終わったら、決定 を押す
⑤「登録」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

- 複数のフリーワードを登録する場合は、手順①～⑤をくり返します。（最大5件まで）
- 登録したフリーワードを変更するときは
  ① ▲▼ でフリーワードを選び、決定 を押す
  ② ▲▼ で「フリーワード編集」を選び、決定 を押す
  ③ 上の手順②～④を行い、文字を変更して登録する
- 登録したフリーワードを削除するときは
  ① ▲▼ でフリーワードを選び、黄 を押す
  ② ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す
- 検索する放送の種類を変更するときは、赤 を押したあと、検索したい放送を「入」にし、決定 を押します。

3 青 を押す

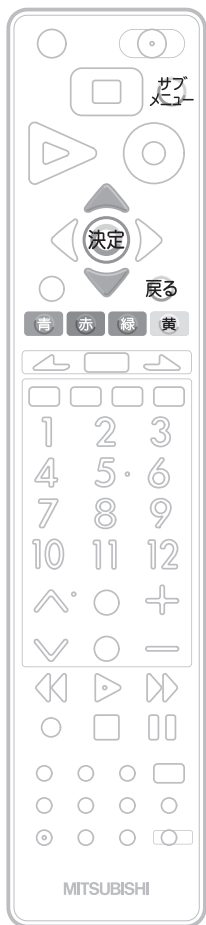
- 検索結果画面が表示されます。
- 複数のフリーワードを登録している場合は、1つでも条件を満たす番組を検索します。

4 検索結果が表示されたら
左記の手順**5**、**6**を行う

お知らせ

- 検索結果は、各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
- フリーワード検索で英数の文字入力をした場合、半角文字で登録されますが、検索は全角文字と半角文字を区別せずに行います。
- フリーワード検索の検索条件は、「フリーワード」以外に「ジャンル」、「出演者」で検索することもできます。（最大5件まで）
- フリーワード検索で複数の検索条件を登録して検索した場合は、1つでも条件を満たす番組を検索します。
- 「ジャンル検索」、「人名検索」で検索した場合とフリーワード検索の「ジャンル」、「出演者」で検索した場合では、検索結果が異なることがあります。

番組の詳しい情報(番組内容)を見る

視聴中の番組の内容や、番組表を表示中に選んでいる番組の内容を確認することができます。

番組の詳しい情報を見る(番組内容)

番組内容のアイコン(下欄)

番組のジャンルアイコン P.274

「今すぐ見る」は、現在放送中の番組の場合にだけ表示されます。

番組を視聴中のとき

1 サブメニュー を押して、「サブメニュー」画面を表示する

2 ▲▼ で「番組内容」を選び、決定 を押す

- 視聴中の番組内容画面が表示されます。

サブメニュー
- 番号入力
- 番組内容
- ワイドサラウンド
- 外部アンプ連動

■ **番組内容画面を消すときは**

番組内容画面を表示中に、戻る を押します。

番組表を表示中のとき

黄 を押す

- 選んでいる番組の番組内容画面が表示されます。

■ **番組の属性**(番組の種類、映像、音声、ジャンル、信号情報、視聴制限など)**を確認するときは**

番組内容画面を表示中に、赤 を押します。

番組内容画面に戻すときは、青 を押します。

■ **関連情報を確認するときは**

番組内容画面を表示中に、緑 を押します。

番組内容画面に戻すときは、戻る を押します。

■ **番組内容画面を消すときは**

番組内容画面を表示中に、戻る を押します。

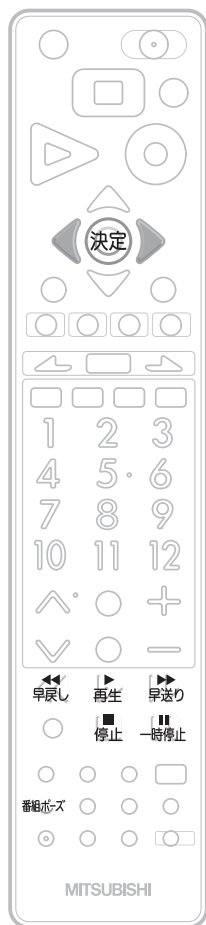
お知らせ

- P.201 の「音声設定」画面の「読み上げ設定」－「自動読み上げ」を「入」に設定し、「自動読み上げ詳細設定」の「番組情報」を「読み上げする」に設定していると、表示中の番組内容の一部を読み上げます。(複数の読みかたや特殊な読みかたをする場合、本来の読みかたと異なる読みをすることがあります。)

番組内容画面のアイコンについて

- テレビ　テレビ放送の番組
- データ　データ放送の番組
- +d テレビ　テレビ放送と連動したデータ放送がある番組
- d テレビ　テレビ放送とは別のデータ放送がある番組
- ラジオ　ラジオ放送の番組
- +d ラジオ　ラジオ放送と連動したデータ放送がある番組
- d ラジオ　ラジオ放送とは別のデータ放送がある番組
- ステレオ　ステレオ音声の番組
- モノラル　モノラル音声の番組
- 主+副　二重音声放送で「主＋副」音声の番組
- サラウンド　5.1chなどのサラウンド音声の番組
- 信号　マルチ番組　(映像や音声などが複数あり、切り換えできる番組)
- デジタル COPY 制限　「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」(コピー9回＋ムーブ1回)番組(デジタル放送)
- デジタル COPY ✕　「録画禁止」番組(デジタル放送)
- アナログ 出力 ✕　映像/S映像/D映像、音声などのアナログ出力端子から映像・音声が出力されない番組
- 16:9 1080i　番組の映像信号情報 上：画面の縦横比 下：信号方式
- 字幕　字幕がある番組
- 4才～　視聴制限がある番組

番組ポーズ機能を使う

視聴中のデジタル放送の番組の画面を一時停止しておいて、あとからその続きを見られる機能です。
急な来客などでテレビの前から離れるときに便利です。

番組ポーズは録画機能を使用しますが、一時的なものです。残したい番組は一発録画をご利用ください。

※録画モードはDRです。

録画モードについては P.108 をご覧ください。

1 番組ポーズ を押す

- 画面に「番組ポーズ準備中」と表示されます。その後、「ポーズ中　続きを見るには、番組ポーズボタンを押してください。」と表示され、静止画になります。同時に本体へ録画を開始します。（この録画は一時的なものです。）
- 番組が終了すると、自動的に録画が終了します。

2 番組の続きを視聴するときは

もう一度 番組ポーズ を押す

- 静止画が解除され、再生を始めます。
- 番組終了前の場合、録画を始めた位置からの追っかけ再生になります。追っかけ再生については、 P.152 をご覧ください。
- 番組終了後の場合、録画を始めた位置からの通常再生になります。
- 通常の再生や追っかけ再生と同様に、早送り/早戻しや一時停止などの操作ができます。

■ 番組の続きを最後まで視聴すると、

- 一時的に本体に録画されていた番組が消去されます。

■ 番組の続きを視聴中に、停止 を押すと、

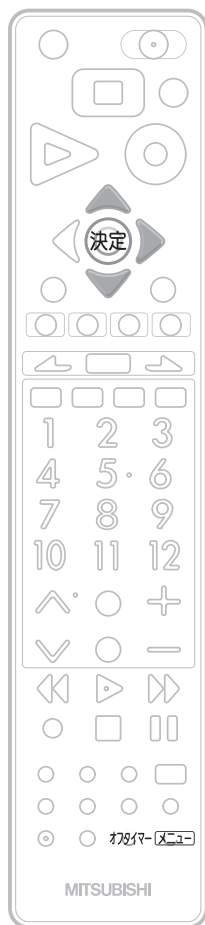
- 画面に「番組ポーズの再生を終了しますか？」と表示されます。
  - ・終了するときは ◀ ▶ で「はい」を選んで決定ボタンを押してください。一時的に本体に録画されていた番組が消去されます。
  - ・引き続き視聴するときは ◀ ▶ で「いいえ」を選んで決定ボタンを押してください。

■ 番組の続きを視聴中に、チャンネル切換や入力切換の操作を行うと、

- 再生が中止され、一時的に録画されていた番組が消去されます。

お知らせ

- 番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。購入直後などは本機の番組表が利用できるように番組データを受信してからご使用ください。P.72
- 次のような場合は、番組ポーズ機能は使えません。
  - ・メニュー表示中 P.184
  - ・らくらく設定中 P.44
  - ・録画中
- 番組ポーズ中（静止画中、再生中）に予約録画が始まると、番組ポーズは解除されます。
- 番組ポーズ終了後すぐは録画された番組を消去するため、見るボタンなどの機能が動かないことがあります。

画面だけを消す（消画）/自動的に電源を切る（オフタイマー）

画面だけを消す（消画）

何かをしながらテレビを見るときなど、音声を聞ければいいというときは、消画にすると電力の節約にもなります。

1 を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「消画」を選び、決定を押す

画面だけが消えます。

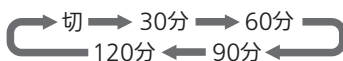
■ 画面を戻したいときは

電源以外の、何かボタンを押す

消画が解除されますが、押したボタンの動作はしません。

自動的に電源を切る（オフタイマー）

 を押す

ボタンを離したところの時間が設定されます。
押すごとに次のように切り換わります。

切 → 30分 → 60分 → 90分 → 120分 → 切

 で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

約3秒後に表示が消え、オフタイマーがスタートします。

■ オフタイマーを取消したいときは

オフタイマー「切」が選択されるまで オフタイマー を押す

■ 設定後に電源が切れるまでの時間を確認したいときは

オフタイマー を1回押す

2回以上押すとオフタイマーが設定し直されます。

■ 電源が切れる1分前になると

「オフタイマー　1分前」の表示が出ます。
引き続き見るときは、「いいえ」が選ばれている状態で決定を押してください。

お知らせ

- 「メニュー」→「テレビ操作」→「オフタイマー」でも設定することができます。
  メニューについては、P.184 をご覧ください。
- オンタイマーについては、P.77 をご覧ください。
- フレームパッキング方式で視聴 P.63 中に、オフタイマーの電源「切」となる時間になると、オフタイマーは解除され電源は切れません。電源「切」となる時間までにフレームパッキング方式での視聴が終わればオフタイマーは動作します。

自動的に電源を入れる（オンタイマー〈目覚まし〉）

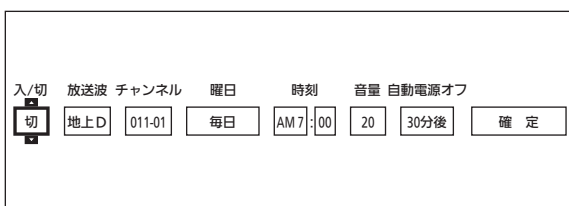
自動的に本機の電源を入れることができます。
また、オンタイマーを使う曜日と時刻や、電源が入ったときに選ばれるチャンネルと音量を設定できます。

1 メニュー を押す

- 「メニュー機能の使いかた」 P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「オンタイマー」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

- チャンネル、曜日、時刻、音量など、オンタイマーの内容を変更する場合は、手順5へ進みます。
- オンタイマーの内容に変更がない場合は、手順10へ進みます。
- オンタイマーを使わない場合は、▲ ▼ で「切」を選び、手順10へ進みます。
- 「切」では手順5～9の内容を変更することができません。

5 放送波とチャンネルを選ぶ

① ▶ でカーソルを「放送波」へ動かし、
▲ ▼ で放送波を選ぶ

- 放送波無効設定 P.236 されている放送波は選べません。

② ▶ でカーソルを「チャンネル」へ動かし、
▲ ▼ でチャンネルを選ぶ

6 オンタイマーを使う曜日を選ぶ

▶ でカーソルを「曜日」へ動かし、
▲ ▼ でオンタイマーを使う曜日を選ぶ

- 工場出荷時は「毎日」が選ばれています。

7 電源「入」にする時刻を選ぶ

▶ でカーソルを「時刻」へ動かし、
▲ ▼ ▶ で時刻を選ぶ

- 工場出荷時は「AM7時00分」が選ばれています。
- 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
- 昼の12時は「PM0：00」に、夜の12時は「AM0：00」に合わせます。

8 音量を選ぶ

▶ でカーソルを「音量」へ動かし、
▲ ▼ で音量を選ぶ

- 工場出荷時は、オンタイマー画面を表示したときの音量が選ばれています。

9 自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

オンタイマーで電源「入」になったあとは、安全のため、自動でオフタイマー P.76 が設定された状態になります。
電源「入」になってから何分後に自動で電源「切」にするかを設定してください。

▶ でカーソルを「自動電源オフ」へ動かし、
▲ ▼ で自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

- 工場出荷時は「30分後」が選ばれています。

〈オンタイマーで電源「入」になったあとの「自動電源オフ」の解除のしかた〉

オフタイマーを使います。 P.76

① オフタイマー を押す

② オフタイマー をくり返し押して「切」を選ぶ
または、▲ ▼ で「切」を選び、決定 を押す

10 ▶ で「確定」を選び、決定 を押す

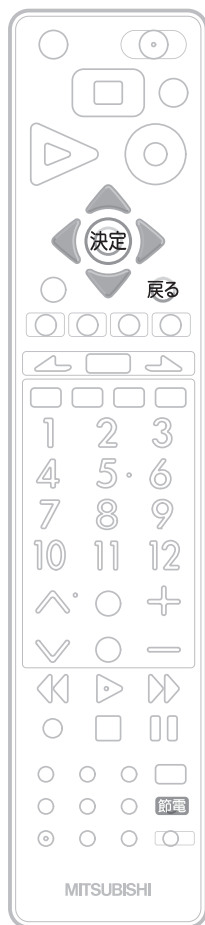
お知らせ

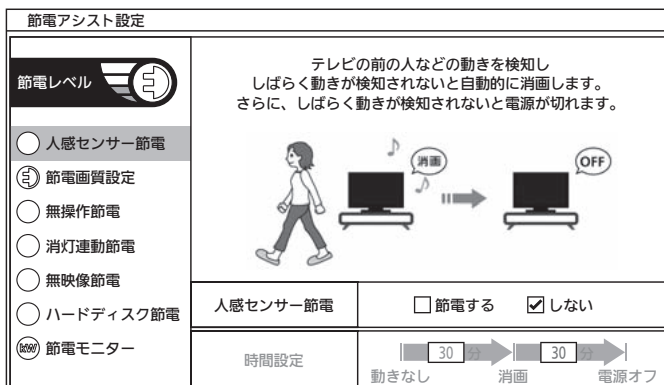
- オンタイマーを設定後は、主電源（本体右側面）を切らないでください。電源を切るときは電源ボタン（リモコンまたは本体左側面）を押してください。
- オンタイマーで電源が入ったあとは、手順9で設定された時間を経過すると、自動的に電源が切れます。
- オンタイマーを利用されるときは、主電源を「入」にしてください。

いろいろな節電設定を選ぶ（節電アシスト）

電気を効率よく使うための各種設定をまとめてできます。
画面のガイダンスをお読みになり、ご自分にあった節電内容に設定してください。

お知らせ

「メニュー」→「設定」→「節電アシスト設定」でも設定することができます。メニューについては、P.184 をご覧ください。

1 節電 を押す

節電アシスト設定画面が表示されます。

- 次の画面を表示中は、節電ボタンを押しても節電アシスト設定画面は表示されません。

  らくらく設定、メニュー、SDカード再生、本体（ハードディスク）再生、BD/DVD再生、HDMI入力の3D表示中

- 節電アシスト設定画面を表示中にSDカードを挿入すると、節電アシスト設定を終了します。

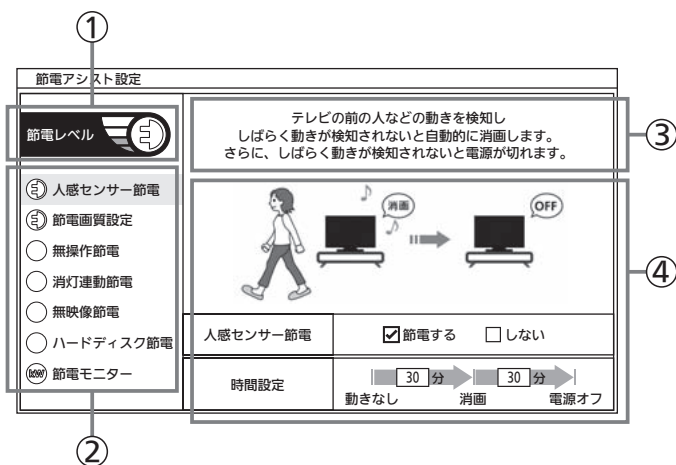
2 ▲ ▼ で節電項目を選び、決定 を押す

- 各項目のくわしい説明は、下記の参照ページをご覧ください。

・人感センサー節電 …………… P.79
・節電画質設定 ………………… P.81
・無操作節電 …………………… P.218
・消灯連動節電 ………………… P.218
・無映像節電 …………………… P.218
・ハードディスク節電 ………… P.218
・節電モニター ………………… P.82

3 ◀ ▶ で設定を選び、決定 を押す

4 設定が終わったら、節電 を押す

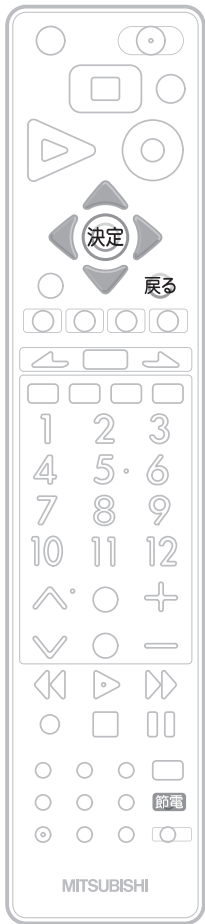
節電アシスト設定画面の見かた

① 節電レベル P.83
各節電項目の設定状態に応じて4段階で表示します。
節電レベルが上がると点灯します。

② 節電項目
設定が「切」以外の場合に が表示されます。
▲▼で選ぶと、③に機能の説明が表示されます。

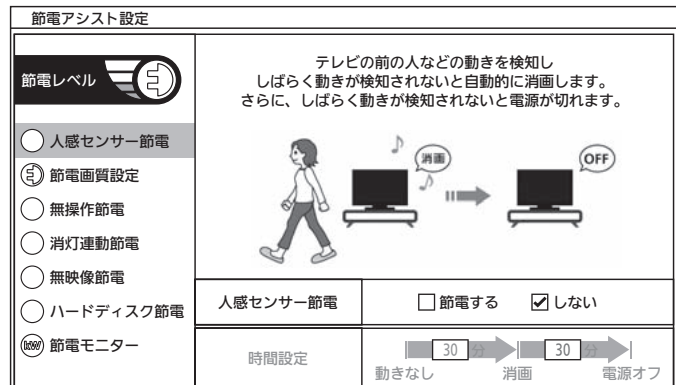
③ 機能説明エリア

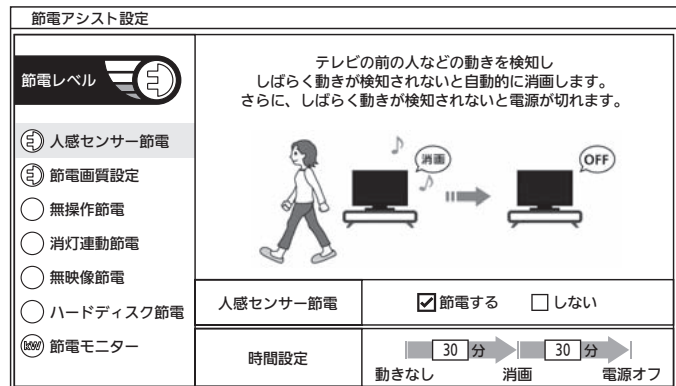
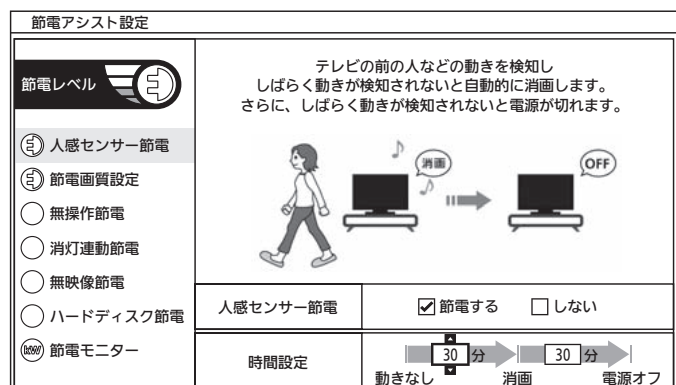
④ 設定変更エリア
◀▶で選び、決定を押して設定を変更します。

人感センサー節電設定をする

人感センサーにより「テレビの前の人の動き」を検知し、しばらく動きが検知されないと「テレビを視聴している人がいない」と見なし自動的に画面を消し（消画）、電力消費を抑えます。動きを検知すると自動で消画を解除します。
さらに、消画のあとしばらく動きが検知されないと電源を切ります。
電源が切れたあとは自動で「入」にはなりません。リモコンや本体の電源ボタンで「入」にしてください。

1 節電 を押す

節電アシスト設定画面が表示されます。
節電アシスト設定については、P.78 をご覧ください。

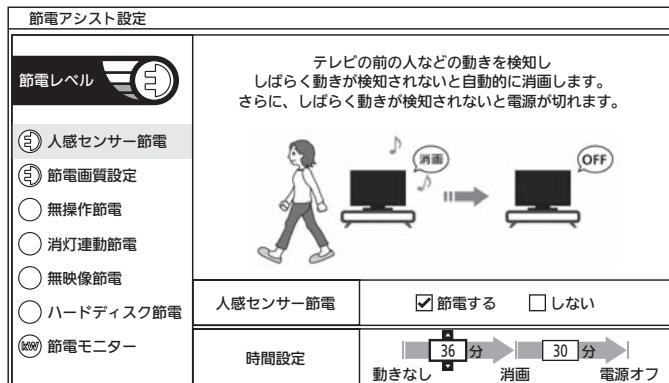
2 ▲ ▼ で「人感センサー節電」を選び、決定 を押す

3 ◀ ▶ で「節電する」を選び、決定 を押す

人の動きがなくなってから画面を消す（消画）までの時間と、その後電源を切るまでの時間を個別に設定できます。

4 ▼ で「時間設定」にカーソルを移動し、◀ ▶ で消画するまでの時間、または電源を切るまでの時間を選び、決定 を押す

お知らせ

- 「人感センサー節電」が「節電する」に設定されていても、ビデオ入力またはBluetooth® 接続で音楽プレーヤを再生 P.66～67 をしているときの消画中には電源は切れません。
- 「メニュー」→「設定」→「節電アシスト設定」でも設定することができます。メニューについては、P.184 をご覧ください。

次ページへつづく

人感センサー節電設定をする（つづき）

5 ▲▼ で時間を設定して、（決定）を押す

- 時間設定範囲はどちらも1～60分です。
- 続けてもう片方の時間を設定するときは、◀ ▶ で設定したい項目を選び（決定）を押してから、▲▼ で時間を設定してください。
- 時間を短く設定すると、集中して視聴し動きがほとんどないときに、頻繁に消画ひいては電源を「切」にすることもありますのでご注意ください。
- 続けて他の節電項目を設定するときは、◀ を1～2回押してください。左の一覧にカーソルが移動します。

6 節電 を押す

お知らせ

人感センサーについて

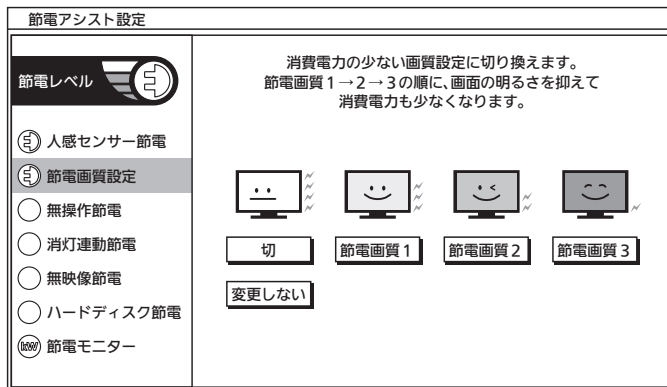
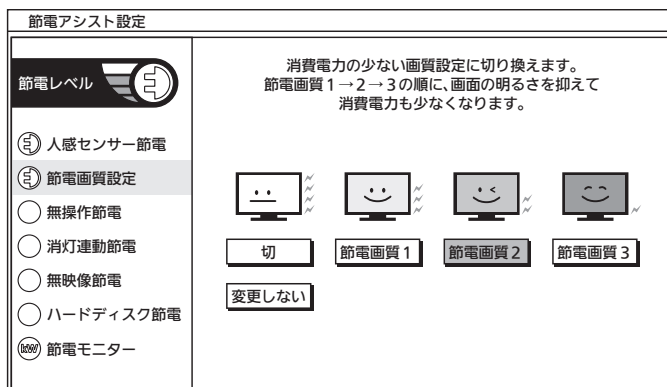
- 検出範囲の目安：左右約35°、上下約20°、3.5mまで（室温30℃以下のとき）
- 感知範囲は、テレビの設置場所や人の状態により変化します。
- 室温が30℃を超えると動きが検出できないことがあり、人がいるときでも消画となる場合があります。
- 室内を動く動物がいると、人の動きとして検出する場合があります。
- 画面に対して前後方向の動きは検出しにくいので、検出できない場合があります。
- 室温30℃以下であっても、汗を多量にかいていたり、直前に寒い場所にいた場合など、皮膚温度が低下している場合や、極端な厚着をしているなど、肌の露出が少ない場合は検出できないことがあります。
- 本体前面の人感センサーと人との間に障害物がある場合は、検出できないことがあります。
  - ・ガラス、アクリル等の透明なものでも検出できないことがあります。
- テレビ台の奥まった位置に置くと、下方向の検知範囲が狭くなることがあります。
- 次のような場合、人がいるのに検出しない、または逆に人がいないのに検出するといった正しくない動作となることがあります。
  - ・人感センサーに直射日光や風が当たる場合。
  - ・冷暖房機器の温風・冷風や加湿器の水蒸気がセンサー部に当たっている場合。

節電画質設定にする

節電画質設定にすると、一度に「映像モード」「明るさセンサー」「視聴者設定」「明るさ順応補正」を、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質の設定に切り換えることができます。

1 節電 を押す

節電アシスト設定画面が表示されます。
節電アシスト設定については、P.78 をご覧ください。

2 ▲ ▼ で「節電画質設定」を選び、 を押す

3 ◀ ▶ で設定を選び、決定 を押す

- 工場出荷時の状態に戻したい場合は、「切」を選んでください。
- 現在の設定のまま終了する場合は、「変更しない」を選んでください。

4 節電 を押す

お知らせ

- **各節電画質の設定は次のようになります。**

節電画質１
- ・映像モード　：ハイブライト
- ・明るさセンサー　：中
- ・視聴者設定　：切
- ・明るさ順応補正　：切

節電画質２
- ・映像モード　：ハイブライト
- ・明るさセンサー　：中
- ・視聴者設定　：標準
- ・明るさ順応補正　：切

節電画質３
- ・映像モード　：スタンダード
- ・明るさセンサー　：中
- ・視聴者設定　：標準
- ・明るさ順応補正　：中

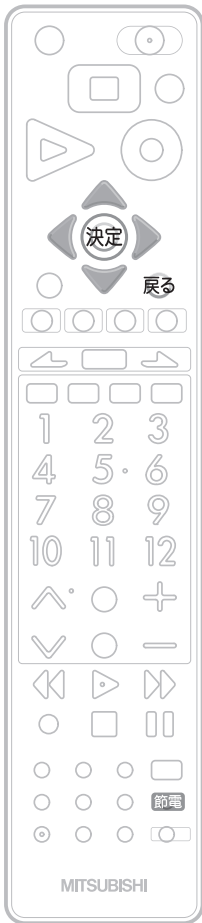
切
- ・映像モード　：ハイブライト
- ・明るさセンサー　：切
- ・視聴者設定　：切
- ・明るさ順応補正　：切

消費電力を少なくする効果の順序は、各映像モードの画質設定を工場出荷状態のままとした場合を基準としています。
映像モードの画質設定を変更された場合は順序が前後する場合があります。

お知らせ

- 主に画面の明るさを変更する機能です。設定によっては画面を暗く感じることがあります。
- 「メニュー」→「設定」→「節電アシスト設定」でも設定することができます。メニューについては、P.184 をご覧ください。
- 節電画質設定により、バックライトでの消費電力を削減します。
例えば40V型の場合、節電画質設定にすることで、工場出荷設定の状態のままでお使いになる場合と比べ、消費電力が削減されます。次の条件では約34%削減されます。
（削減量はお部屋の明るさや画面表示内容などの条件により変わります。）
平成20年度改正省エネ法に定める液晶テレビの年間消費電力量測定における「節電機能による低減消費電力」の測定条件において、
節電画質設定を行ったときの消費電力：約61 W
工場出荷状態のときの消費電力：約93 W
⇒　34%≒(1−61/93)×100

省エネ効果を確認する（節電モニター）

節電モニター画面では、ご使用を開始されてからの電力・CO_2排出の削減量や電気代の節約量を確認することができます。
省エネの目安として参考にしてください。
また、リセットできますので、月々の節約量をチェックする、といった使いかたもできます。
電力単価、CO_2排出原単位はご契約の電力会社に合わせて設定を変更することができます。

1 節電 を押す

節電アシスト設定画面が表示されます。
節電アシスト設定については、P.78 をご覧ください。

2 ▲ ▼ で「節電モニター」を選び、内容を確認する

節電レベル P.83　節電メーター P.83

- 累積値をリセットする場合は、手順3へ進みます。
- 電力会社との契約内容にあわせて電気代の単価やCO_2排出原単位を変更する場合は、手順5へ進みます。
- そのまま終了する場合は、節電 を押します。

累積値をリセットする場合

3 ◀ ▶ で「累積リセット」を選び、決定 を押す

4 ◀ ▶ 「はい」を選び、決定 を押す

累積値がリセットされ、手順2の画面に戻ります。

画面表示の有無と、電力単価やCO_2排出原単位を変更する場合

5 ◀ ▶ で「詳細設定」を選び、決定 を押す

6 画面表示の有無を設定する

画面表示 P.64 に節電メーターを表示するかどうかを設定します。

① ◀ ▶ で「入」または「切」を選び、決定 を押す

- 「入」にすると、画面表示を出したときに節電メーターが表示されます。

お知らせ

- 電力・CO_2排出の削減量や電気代の節約量は目安として表示します。
- 電気代は消費電力と電気代の単価を元に算出していますが、電気代の単価は電力会社の契約によって異なります。
  ご契約の電気代の単価については、電力会社にご確認ください。
  本機に設定されている電気代の単価を変更する場合は、手順7「電力単価」で変更してください。
- CO_2排出量は消費電力とCO_2排出原単位を元に算出していますが、CO_2排出原単位は電力会社によって異なります。
  CO_2排出原単位については、ご契約の電力会社にご確認ください。
  本機に設定されているCO_2排出原単位を変更する場合は、P.83 手順8「CO_2排出原単位」で変更してください。

次ページへつづく

7 電気代の単価を変更する

① ▼ で「電力単価」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ で1時間あたりの電気料金を選び、決定 を押す

- 工場出荷時は「22円/kWh」に設定されています。

8 CO_2排出原単位を変更する

① ▼ で「CO_2排出原単位」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ でCO_2排出原単位を選び、決定 を押す

- 工場出荷時は「0.400kg/kWh」に設定されています。

9 節電 を押す

お知らせ

- 累積電力削減量は、バックライトでの消費電力削減量の累積です。バックライトでの節電に効果のある設定*になっている間、削減された電力を加算していきます。
  バックライトでの消費電力削減量は、工場出荷設定のまま（最もバックライトが明るい状態）のバックライトでの消費電力から、
  ・バックライトでの節電に効果のある設定*にする
  ことによりバックライトの明るさを抑えたときのバックライトでの消費電力を引いたものです。
  *：バックライトでの節電に効果のある設定とは、「明るさセンサー」、「視聴者設定」が「切」以外の設定をいいます。節電画質設定を「切」以外にするとかんたんにできます。 P.81
  バックライトでの節電に効果のある設定中では、
  ・「バックライト」 P.192 を調整する（映像モードを切り換えても「バックライト」の値は変わります）
  ・「明るさ順応補正」 P.195 を「切」にする
  ことによるバックライトでの消費電力削減量も加算されます。
- 節電モニター表示内容の一例として、平成20年度改正省エネ法に定める液晶テレビの年間消費電力量測定における「節電機能による低減消費電力」の測定条件で、1日4.5時間、1年間使用時に「節電画質設定」 P.81 を行った場合、節電モニター表示値は次のようになります。
  〈例：40V型の場合〉
  ［消費電力の削減量 約32 W（＝約93 W－約61 W P.81）×4.5 h×365≒53 kWh］
  累積電力削減量 約53 kWh
  累積電気代削減量 約1166 円（電力単価＝22 円/kWh）
  累積CO_2排出削減量 約21.20 kg（排出原単位＝0.4 kg/kWh）
- 累積電力削減量は、バックライトの明るさからの算出値です。実際のテレビ全体の消費電力の差分と数値は異なります。
- 表示される電気代は、計量法で定められた算出方法とは異なるため、公的な取引に用いることはできません。
- 「メニュー」→「設定」→「節電アシスト設定」→「節電モニター」でも設定することができます。メニューについては、 P.184 をご覧ください。

節電レベルについて

この表示を節電レベルといいます。

節電レベル

節電アシスト設定に表示されている各設定の状態に応じ0〜4の4段階の節電レベルを表示します。
節電レベルが上がると緑の部分が増えていきます。また、節電設定になっているとき（節電レベルが「0」以外のとき）電源プラグマークを表示し、節電状態であることをお知らせします。

- 節電レベルについて
  各設定には下記の節電ポイントが設けてあります。ポイントの合計に応じて節電レベルが決まります。

ポイント
［節電画質］…節電画質３=3ポイント、節電画質２=2ポイント、節電画質１=1ポイント、切=0ポイント
［その他］……節電する=1ポイント、しない=0ポイント

レベル換算
節電ポイント0ポイント = レベル0
節電ポイント1〜2ポイント = レベル1
節電ポイント3〜4ポイント = レベル2
節電ポイント5〜6ポイント = レベル3
節電ポイント7〜8ポイント = レベル4

節電メーターについて

この表示を節電メーターといいます。

** ** ** (W)
消費電力 0 ***

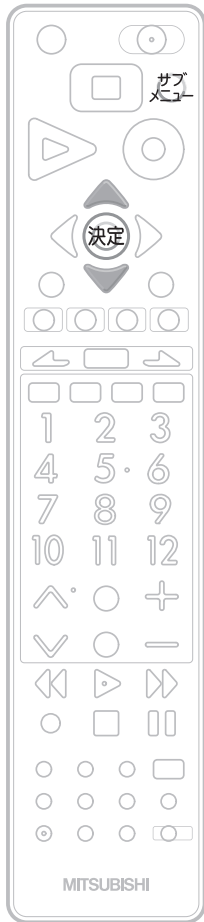
※目盛は機種によって異なります。

現在の消費電力の目安をバーグラフで表示します。

お知らせ

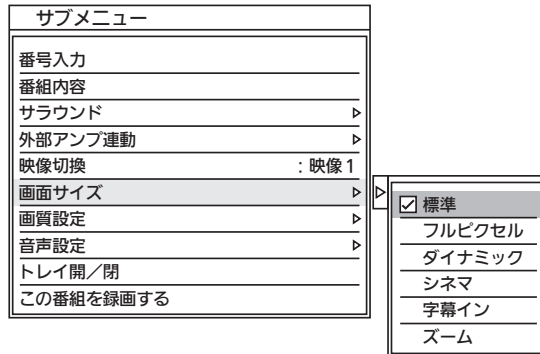
- メニューを表示中にも、右下に消費電力値を表示します。設定の変更による消費電力の変化を見ることができます。
- 消費電力値はテレビ機能のみからの算出値で、使用状況、個体差などの条件により、実際と異なります。

画面サイズを選ぶ

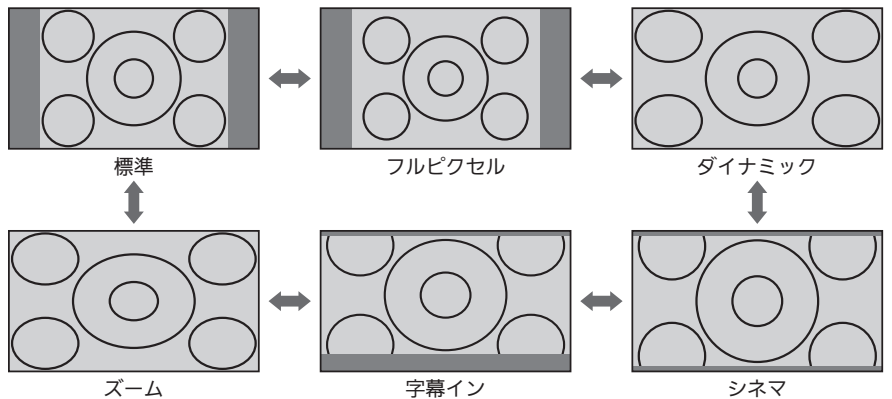
映像に合わせた画面サイズを選べます。
選べる画面サイズは、見ている番組や放送の種類によって異なります。

1 サブメニュー を押す

2 ▲ ▼ で「画面サイズ」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で項目を選び、決定 を押す

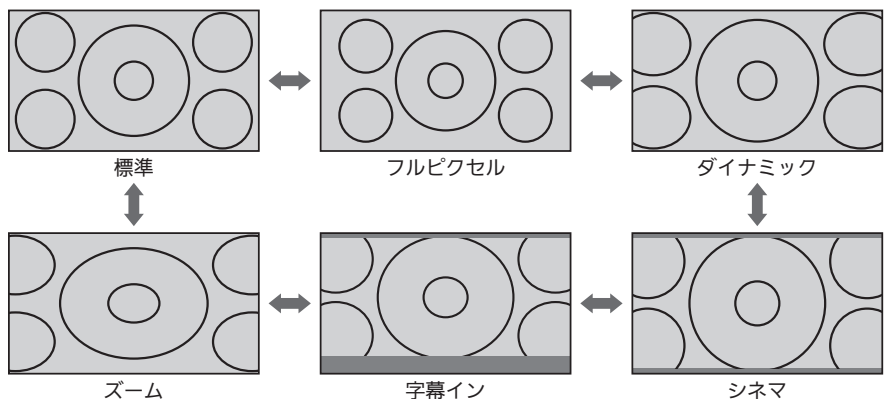
切り換わる画面サイズの種類は、標準映像とハイビジョン映像とで異なります。

ビデオ、DVDなどの場合

標準映像（480i、480p）

▼ ▲ で項目を選ぶごとに次のように切り換わります。
各画面サイズの特徴は次ページをご覧ください。

ビデオ2をご使用の場合は、見えかたが異なることがあります。

ハイビジョン番組、ブルーレイディスクプレーヤーなどの場合

ハイビジョン映像（1080i、1080p）

▼ ▲ で項目を選ぶごとに次のように切り換わります。
各画面サイズの特徴は次ページをご覧ください。

■ 720pのハイビジョン映像の場合

自動的に「標準」になります。他の画面サイズは選べません。

■ 3D映像（擬似3Dは除く）表示中の場合

自動的に「フルピクセル」になります。他の画面サイズは選べません。

■ 「ネットワーク」利用中の場合

自動的に「フルピクセル」になります。他の画面サイズは選べません。

お願い!

- 本機は、各種の画面サイズ切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるサイズを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面サイズ切換機能を利用して、画面の圧縮や引伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- 見ている映像によっては、映像の上下が画面の外にはみ出したり、映像が画面の中央からずれていることがあります。このようなとき、映像を上下に移動させることができます。P.224
- 番組やビデオソフトにより、画面の端に欠けや映像以外の輝点などが見えることがあります。
- 接続する機器によって、見えかたが異なることがあります。

画面サイズについて

標準(480i、480p)

4:3の画面サイズで見る

横と縦の比が4:3の映像に切り換わります。

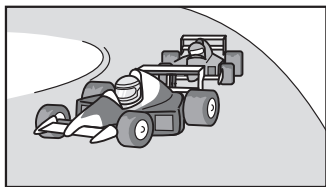
フルピクセル

ハイビジョン番組やDVDなどのスクイーズ16:9映像をすべて画面内に表示して見る

画面からはみ出した部分がなく、映像信号を全て画面内に表示し

ます。ハイビジョン映像(1080i、1080p)では、画素変換を行わないので入力信号そのままの映像となります。

- 入力信号によっては画面周辺に黒い線などがでることがあります。

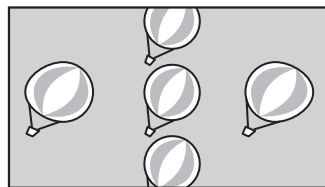
この画面サイズでは「垂直位置調整」P.224 の操作はできますが無効です。

ダイナミック/ズーム

4:3の映像を画面いっぱいにして見る

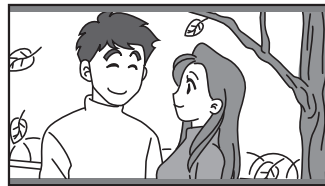
4:3映像で左右の黒帯や固定画面が気になるときにも使います。画面左右を拡大して表示します。

ダイナミックのとき
- 画面左右の映像が少し横に広がります。
- 画面上下の映像が少し外にはみ出します。

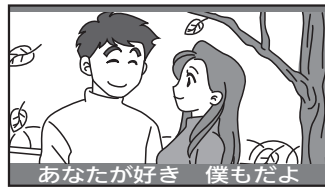
ズームのとき
- 画面が水平に均一に広がります。

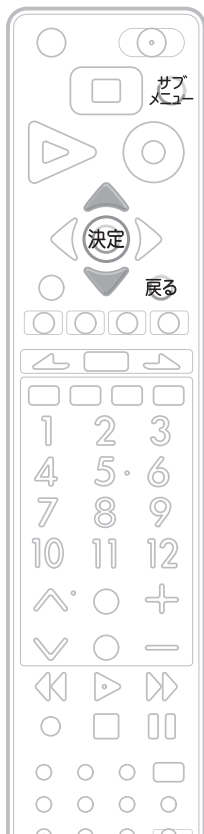
シネマ

劇場サイズの映像・ビデオを見る

劇場サイズの映像を、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

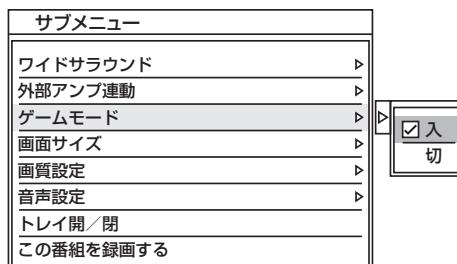
- 映像の上下の黒い帯が残るものもあります。

字幕イン

字幕付劇場サイズの映像・ビデオを見る

字幕の部分を縦方向(上)にずらして画面の中に入れ、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

ゲームモードにする

画像処理を最小限に抑えて、信号の入力から画面に表示されるまでの遅れを低減します。
画面の変化に対して素早い反応を必要とされるようなゲームをするときに便利です。

1 ゲーム機を接続した外部入力が選ばれている状態で
サブメニュー を押す

2 ▲ ▼ で「ゲームモード」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

4 サブメニュー を押す

お知らせ

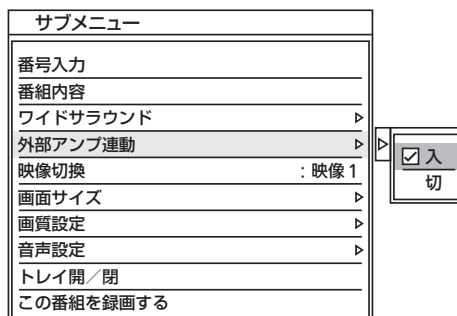
ゲームモードは、各入力（ビデオ、HDMI入力）ごとに選ぶことができます。

HDMIで接続したAVアンプの音量を調節する

「リンク制御」 P.223 を「入」に設定する必要があります。
HDMIコントロール対応のAVアンプに限ります。

1 サブメニュー を押す

2 ▲ ▼ で「外部アンプ連動」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

「入」で本機は消音され、AVアンプの電源が「入」になり、本機のリモコンで音量を調節できるようになります。

4 本機のリモコンの音量＋ −、消音 で
音量を調節する

お知らせ

- 外部アンプ連動「入」にすると、以降、本機の電源と連動してアンプの電源が立ち上がります。
  アンプに電源が入ると本機の音声は消音されます。これらが基本的な動作ですが、接続される製品により動作は異なります。
- 音量 ＋ − を押した直後に「アンプ音量　＋」（または−）の表示が出ることがあります。
- 音量 ＋ − を押し続けて音量調整すると画面表示の数字が変わらないまま音量が変わる場合があります。ボタンを放すと表示がかわりそのときの音量が表示されます。
- 本機でヘッドホンをご使用中は、外部アンプからは本機の音は出ません。

「ネットワーク」で動画を楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、役立つ情報や映画などの映像をテレビで見ることができます。
本機では「アクトビラ」「TSUTAYA TV」「Yahoo! JAPAN」「GIGA.TV」の動画配信サービスをお楽しみいただけます。
各サービスの利用には料金はかかりません（一部有料のサービスもあります）。ただし、回線利用料やプロバイダとの契約・使用料金は別途必要です。

「アクトビラ」の最新情報は

アクトビラ公式情報サイト　http://actvila.jp/

「アクトビラ」に関するお問い合わせは

アクトビラ・カスタマーセンター
受付時間　10：00 ～ 19：00　年中無休（元旦除く）
TEL　0570-09-1017
メールアドレス　info@desk.actvila.jp

（2012年4月現在）

「アクトビラ（acTVila）」について

本機は、「アクトビラ ベーシック」「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」「アクトビラ ビデオ・フル/ダウンロード」のコンテンツをお楽しみいただけます。

- 「アクトビラ」のサービスの内容は、予告なく変更されることがあります。
- 「アクトビラ」の最新情報は、アクトビラ公式情報サイト http://actvila.jp/ をご覧ください。（2012年4月現在）
- 「アクトビラ」の利用条件については、アクトビラ公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

「TSUTAYA TV」に関するお問い合わせは

TSUTAYA TV公式情報サイトでご確認ください。
または、「TSUTAYA TV」トップページの「ヘルプ」からもご確認いただけます。

「TSUTAYA TV」の最新情報は

TSUTAYA TV公式情報サイト　http://tsutaya-tv.jp/

（2012年4月現在）

「TSUTAYA TV」について

視聴形式は、レンタル（ストリーミング）/レンタル（ダウンロード）/セル（動画販売）の3種類があります。

「Yahoo! JAPAN」に関するお問い合わせは

電子メール　ydh-help@mail.yahoo.co.jp
または、「Yahoo! JAPAN」トップページの「ヘルプ」より、ヘルプセンターのページをご覧ください。

「Yahoo! JAPAN」のサービス内容は

http://digitalhome.yahoo.co.jp/dtv/index.html

（2012年4月現在）

「GIGA.TV」に関するお問い合わせは

電子メール　support@gigatv.jp

「GIGA.TV」の最新情報・サービス内容を携帯で確認できます。

iMenu→メニューリスト→動画/ビデオクリップ→TV/ドラマ/映画（NTTドコモのみの対応です。一部の機種を除く。）

（2012年4月現在）

お知らせ

■ 全般

- 録画予約の開始時刻になると、各サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
- 回線事業者やプロバイダが採用している接続方法・契約内容によっては、各サービスを利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、各サービスを表示できない場合があります。
- 各サービスを利用してホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- 本機に記録されたネットワーク履歴情報は、本機を譲渡または廃棄される場合、「ネット情報初期化」または「全情報の初期化」を行って消去してください。P.242 ～ 243

■ 接続

- お客さまの利用環境や通信環境、接続回線の混雑状況により、「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」をご利用の場合は映像が乱れる/途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出たり、「アクトビラ ビデオ・フル/ダウンロード」ではダウンロード途中で通信が途切れたりする場合があります。実行速度12Mbps以上のFTTH（光）での接続をおすすめします。
- 「アクトビラ」、「TSUTAYA TV」の場合は、時刻情報をデジタル放送から取得しますので、デジタル放送の受信が必要です。受信できない場合は時刻設定 P.238 を行ってください。

■ 再生、編集

- 視聴期限のある番組は、期限内に再生してください。期限を過ぎると、録画一覧画面から自動的に消去されます。
- 先行ダウンロード番組の場合は、視聴開始日時になるまで再生できません。
- ダウンロード中の番組を追っかけ再生する場合、ダウンロードが完了していない場面に追いつくと再生を終了します。
- 番組によっては、再生速度の変更や頭出しを禁止している場合があります。
- 最後に停止した番組がネットワークからダウンロードした番組の場合は、[再生]ボタンで直接再生を開始することはできません。録画一覧画面から再生してください。
- ダウンロードした番組のチャプター追加/削除、部分削除、分割などの編集はできません。

■ 各サービスについて

- サービスの内容は、予告なく変更されることがあります。
- サービスの最新情報は、各サービスの公式情報サイトやトップページをご覧ください。
- 利用条件については、各サービスの公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

「ネットワーク」で動画を楽しむ（つづき）

「ネットワーク」の閲覧制限について

本機には、「ネットワーク」を利用するときにお子さまなどに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が付いています。お子さまなどが本機を使って「ネットワーク」を利用になるご家庭では、「ネットワーク」を利用する際に暗証番号を入力するように設定することをおすすめします。（設定のしかたは、P.219～221 をご覧ください。）

お知らせ

- パソコン用のホームページなど、テレビ用に作られていないホームページでは、表示が崩れたり、表示ができないことがあります。
- 各サービス内容は、予告なく変更されることがあります。
- 利用するネットワークのサービスは、「メニュー」→「見る（再生）」→「ネットワーク」でも、選ぶことができます。P.184

「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定

本機で「ネットワーク」を利用するためには、ブロードバンド環境（ADSL、FTTH、CATVなど）が必要です。

P.40～41 で本機のLAN端子を接続したあと、P.211～213 でネットワーク設定を行ってください。

- 動画配信サービスを利用する場合は、光ファイバー（FTTH）のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。

利用するサービスを選び、専用画面を表示する

1 放送や外部入力を視聴中に、
ﾈｯﾄﾜｰｸ を押す

- 録画中など、本体やディスクの動作中は表示されません。

2 **▲▼ で見たいサービスを選び、決定 を押す**

■ P.220の「ネットワーク利用制限」を「する」に設定している場合は
1 ～ 10 で暗証番号の入力が必要です。P.220

3 **選択したサービスの画面が表示されるので、画面に沿って操作する**

主に使用するのは、▲▼◀▶ と 決定 です。

ここからは各サービスが提供する画面となりますので、ご不明な点等は各サービスへお問い合わせください。

携帯電話を使用するサービスでは、携帯電話の画面をよくお読みになり操作してください。

- 携帯電話から視聴情報等を送信する場合は、本機下部のリモコン受光部に携帯電話の赤外線発光部をできるだけ近づけてください。

放送や外部入力視聴に戻るとき

4 **ﾈｯﾄﾜｰｸ を押す**

5 **▲▼ で放送または外部入力を選び、決定 を押す**

■ 地上 BS CS のいずれかを押すと
手順4の画面を出さずに放送画面に変わります。

ネット操作パネルを表示して操作するとき

「アクトビラ」「TSUTAYA TV」

1 各サービスを視聴中に
サブメニュー を押す

- 画面下に「ネット操作パネル」が表示されます。

⬅戻る	➡進む	╳中止	更新	ホーム	★お好みページ

2 ◀ ▶ で項目を選び、決定 を押す

項　目	機　　能
⬅戻る	1つ前のページへ移動する。
➡進む	1つ先のページへ移動する。
╳中止	ページの読み込みを中止する。
更新	表示中のページを再度読み込む。
ホーム	ホーム画面に戻る。
★お好みページ	気に入ったページを「お好みページ」に登録したり、一覧から呼び出したりする。

3 操作が終わったら、サブメニュー を押す

- 「ネット操作パネル」が消えます。

■「アクトビラ」のポータルサイト、または「TSUTAYA TV」のホームページに戻るときは

①ネットワーク を押して、選択画面を表示する

②「アクトビラ」または「TSUTAYA TV」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

気に入ったホームページを登録して、あとで見るとき（お好みページ）

「アクトビラ」「TSUTAYA TV」

お好みページに登録する

1 ホームページを表示中に
サブメニュー を押す

- ネット操作パネルが表示されます。

2 ◀ ▶ で「お好みページ」を選び、決定 を押す

3 青 を押す

4 内容を確認し、決定 を押す

- 表示中のホームページがお好みページに登録されます。（最大20件まで）

登録したお好みページを見る

1 上記の手順3のときに、
▲▼ で表示したいタイトルを選び、
決定 を押す

- 登録したホームページが、提供者の都合で削除されたり、アドレスが変更された場合には、表示できません。

不要なお好みページを削除する

1 上記の手順3のときに、
▲▼ で削除したいタイトルを選ぶ

2 黄 を押す

3 ◀ ▶ で「はい」を選び、決定 を押す

「ネットワーク」で動画を楽しむ（つづき）

ツールバー（便利機能）を表示して操作するとき

「Yahoo! JAPAN」「GIGA.TV」

各サービスを利用中、配信された映像を全画面表示していないときは、ツールバーを表示させて便利な操作ができます。

1 各サービスを視聴中に
サブメニュー を押す

- 画面下に「ツールバー」が表示されます。

戻る	進む	再読み込み	ホーム	お気に入り	表示履歴	ポインター	検索	メニュー

2 ◀ ▶ で項目を選び、決定 を押す

項　目	機　能
戻る	1つ前のページへ移動する。
進む	1つ先のページへ移動する。
中止	ページの読み込みを中止する。（ページの読み込み中のみ表示されます。）
再読み込み	表示中のページを再度読み込む。（ページの読み込み中は表示されません。）
ホーム	ホーム画面に戻る。
お気に入り	気に入ったページを「お気に入り一覧」に登録したり、一覧から呼び出したりする。
表示履歴	表示履歴の一覧を表示する。
ポインター	画面に表示されるポインター（↖）を移動して項目を選ぶ操作を入/切する。
検索	ページ内検索を行う。
メニュー	表示する文字の大きさや各種設定を行う。

3 操作が終わったら、サブメニュー を押す

- 「ツールバー」が消えます。

全画面表示で動画コンテンツを操作するとき

「アクトビラ」「TSUTAYA TV」「Yahoo! JAPAN」「GIGA.TV」

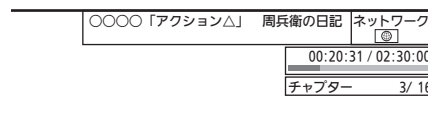
全画面表示で動画コンテンツを視聴中に、本機のリモコンで一時停止や前スキップ/次スキップなどの操作ができます。

早送り/早戻し、前スキップ/次スキップの操作は、動画コンテンツによって対応していない場合があります。

全画面表示で動画コンテンツを視聴中に
早戻し、再生、早送り、停止、一時停止、前、次/ジャンプ
で操作する

■ 動画コンテンツを視聴中に 画面表示 を押すと

視聴中のコンテンツの題名、長さと経過時間、全チャプター数と現在チャプターが確認できます。

表示例：GIGA.TVのとき

■ 操作パネルを表示して操作するときは

全画面表示で動画コンテンツを視聴中に、操作パネルを表示させて操作することもできます。

① 全画面表示で動画コンテンツを視聴中に、▲▼◀▶ のいずれかを押す

- 画面左下に「操作パネル」が表示されます。

② ▲▼◀▶、青、赤 で操作する

③ 操作が終わったら、戻る を押す

- 「操作パネル」が消えます。

文字入力のしかた

「ネットワーク」を利用中は、文字入力が必要になることがあります。

文字入力のしかたは、「アクトビラ」「TSUTAYA TV」の場合と、「Yahoo! JAPAN」「GIGA.TV」の場合で異なります。

「アクトビラ」「TSUTAYA TV」の場合

リモコンのボタンを使って、P.163 の方法で入力します。

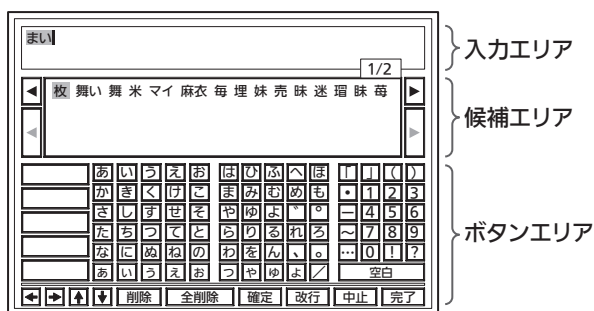
「Yahoo! JAPAN」「GIGA.TV」の場合

下記のように、画面にキーボードを表示させて、リモコンのボタンを使って入力します。

- サービスによっては独自の文字入力画面を提供している場合もあります。その場合は、画面表示に沿って操作してください。

基本的な使いかた

1 検索文字入力欄など、文字の入力ができるところを選び、決定 を押す

- 「キーボード画面」が表示されます。

2 ▲▼◀▶ でカーソル(黄色い部分)を移動し、キーボード画面のボタンエリアに表示される文字の中から入力したい文字を選び、決定 を押す

- 文字を入力していくごとに、キーボード画面の候補エリアに変換する候補の文字列が表示されます。

3 変換候補文字列が表示されたら、
▲ を何度か押してカーソルを候補エリアに移動し、変換したい文字列を ▲▼◀▶ で選び、決定 を押す

4 続けて入力したい文字があるときは、
手順 2 3 の操作を行う

5 入力したい文字をすべて確定したら、▲▼◀▶ でボタンエリア内の「完了」を選び、決定 を押す

- 元の画面に戻ります。

■ **文字入力を途中でやめて元の画面に戻るときは**

▲▼◀▶ でボタンエリア内の「中止」を選び、決定 を押します。

入力エリアに文字がないときは、戻る を押します。

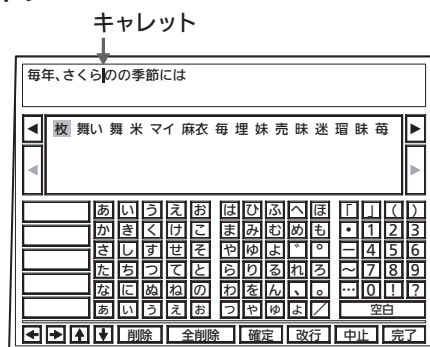
文字の削除、かな以外の文字の入力

最後に入力した文字を消す場合

戻る を押す

または、▲▼◀▶ ボタンでエリア内の「削除」を選び、決定 を押す

入力エリアの文字列の途中の文字を消す場合

▼ でカーソルを入力エリアに移動し、◀▶ でキャレット(文字と文字の間の縦線)を消したい文字の左横に移動させ、戻る を押す

入力した文字をすべて消す場合

▲▼◀▶ でボタンエリア内の「全削除」を選び、決定 を押す

かな以外の文字の入力

▲▼◀▶ で入力したい文字の種類をボタンエリア内の左端の文字種類ボタンから選び、決定 を押す

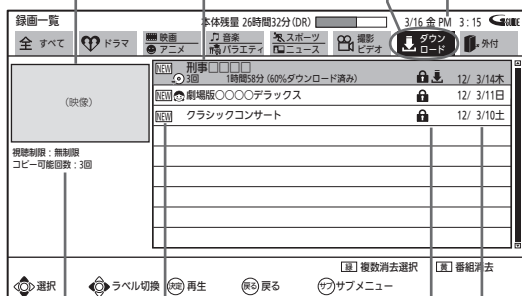
ネットワークの動画コンテンツを本機にダウンロードする

ダウンロードするときは、ネットワークに接続した状態で行ってください。

ネットワークのページから動画コンテンツを購入し、本機にダウンロードすることができます。

- ネットワークの動画コンテンツを購入する方法については、それぞれのホームページに従ってください。
- 動画コンテンツ購入の課金方法は、ネットワークのページでご確認ください。

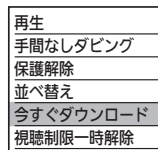
ネットワークから動画コンテンツを購入すると、録画一覧(⬇)画面にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードが自動的に開始されます。

- ダウンロードの進捗状況は、P.93 の本体/外付の録画一覧(⬇)画面でダウンロード実行中(⬇)の番組を選ぶと確認できます。

- 本機の電源が切のときでも、ダウンロードは実行されます。（本体から動作音がしますが、故障ではありません。）
- 次の操作中は、ダウンロードは実行されません。
  - 録画中
  - ダビング中
  - BDビデオ再生中
  - AVCHDで記録されたディスクの再生中
  - 各動画配信サービスのホームページを表示中
  - 家庭内ネットワークを利用し、本機に録画した番組を他のテレビで視聴中

  また、ダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。（ダウンロードだけを手動で中断することはできません。）
- ダウンロード後は、P.93 の録画一覧(⬇)画面で番組を選択し、視聴期限やコピー回数などを確認してください。

■ダウンロードを中断中に、ダウンロードを再開したいときは

① 録画一覧(⬇)画面を表示中に、サブメニュー を押してサブメニュー画面を表示する

② ▲▼ で「今すぐダウンロード」を選び、決定 を押す

お知らせ

- ダウンロードした番組が録画一覧(⬇)画面に表示されないときは
  P.206 の「録画・再生設定」画面の「再生設定」－「視聴制限設定」－「スカパー！ＨＤとダウンロード番組の視聴可能年齢」が「無制限」以外に設定されている場合は、表示されない番組があります。次の操作を行うと、表示させることができます。
  ① 録画一覧(⬇)画面を表示中に、サブメニュー を押してサブメニュー画面を表示する
  ② ▲▼ で「視聴制限一時解除」を選び、決定する
  ③ 画面の指示に従って、1 ～ 10 を押して P.219 で設定した暗証番号を入力する
- ダウンロードに失敗したときは、P.188 「テレビからのお知らせ」でお知らせします。

ダウンロードした番組を、録画一覧画面から視聴(再生)する

本体

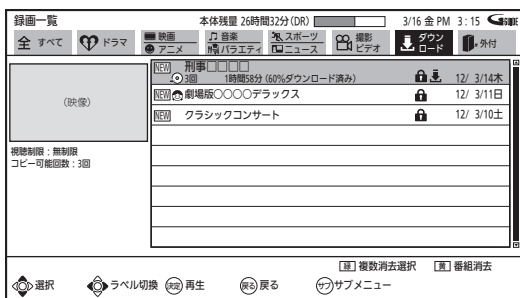
再生するときは、ネットワークに接続した状態で行ってください。

本機では、ダウンロードした番組を再生するときは、録画一覧(⬇)画面から再生します。

1 見る を押す

- 本体/外付の録画一覧画面が表示されます。

■ 録画番組/ディスクの再生選択画面が表示されるときは
「録画した番組を見る」が選ばれているので、決定を押します。

2 ◀ ▶ で録画一覧(⬇)画面に切り換える

3 ▲▼ で希望の番組を選ぶ

■ 別のページを表示するときは
前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押します。

■ 一覧画面に表示する並び順を変えたいときは

① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲▼ で「並べ替え」を選び、決定 を押す
③ ▲▼ で希望の並び順を選び、決定 を押す

- (フォルダー)がある場合に、その中の一覧を表示したいときは、P.140 をご覧ください。
- ダウンロードした番組の視聴期限やコピー回数などを確認するときは、確認したい番組を選ぶと表示されます。

4 ▶再生 または 決定 を押して、再生を始める

- 再生が始まる位置(始めから、続きから)については、P.149 をご覧ください。
- ダウンロード中の番組を追っかけ再生 P.152 することもできます。
(視聴期限のある番組を追っかけ再生すると、再生開始時点から視聴期間が開始されますので、お気を付けください。)
- 再生中に、次の操作ができます。
(番組によっては、操作できない場合があります。)
  - 再生速度の変更 P.150
  - 見たいところまでとばす P.151
(シーン検索はできません)
  - 音声切換や字幕切換 P.153

■ 確認メッセージが表示されるときは、
画面の指示に従って、▲▼◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

■ 暗証番号の入力画面が表示されたら、
画面の指示に従って、1 ～ 10 で P.219 で設定した暗証番号を入力します。

5 再生を停止するときは ■停止 を押す

- 再生を停止します。(停止位置が記憶されます。)

ダウンロードした番組を削除する

ダウンロードした番組は保護設定されていますので、削除するときは番組の保護を解除してください。

1 左記の手順1～3を行い、削除する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「保護解除」を選び、決定 を押す

4 不要な番組を削除する P.159

- 1番組だけの削除と、複数の番組の一括削除ができます。

ダウンロードした番組をBD/DVDに残す（ダビング）

本体 → BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -RW(VR) -R(AVCREC) -R(VR)

ダビングするときは、ネットワークに接続した状態で行ってください。

ネットワークからダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。
本機では、メニュー（または録画一覧画面）からダビングの操作を行います。

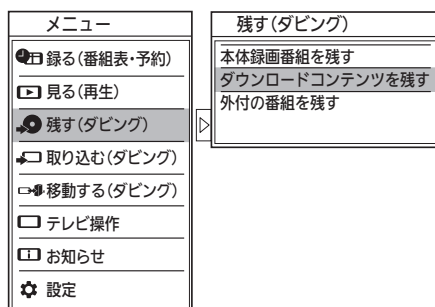
- 残す ボタンを押してもダビングはできません。
- DVD-RW/-Rにダビングする場合は、CPRM対応 P.104 のDVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)/-RW(VR)/-R(VR)にだけダビングできます。

メニューから操作するとき

1 ダビングが可能なディスク（録画が可能で残量があるディスク）を入れる P.172

2 メニュー を押す

3 ▲▼ で「残す（ダビング）」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「ダウンロードコンテンツを残す」を選び、決定 を押す

- ダビング一覧画面が表示されます。

5 P.175 ～ 179 の手順3 ～26を行い、ダビングを始める

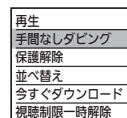
- 録画一覧画面から番組を追加するときは、録画一覧（⬇）画面だけから選ぶことができます。

録画一覧（⬇）画面から操作するとき

1 ダビングが可能なディスク（録画が可能で残量があるディスク）を入れる P.172

2 P.93（再生）の手順1～3を行い、ダビングする番組を選ぶ

3 サブメニュー を押す

4 ▲▼ で「手間なしダビング」を選び、決定 を押す

- 選んだ1番組だけがダビングされます。

お知らせ

- 番組によっては、ダビングできるディスクに制限がある場合や、ダビング（コピー）回数や期限などが設定されている場合があります。番組によってダビングできるディスクに制限がある場合、ダビング（コピー）できるディスクは録画一覧（⬇）画面の番組を選んだときに表示される情報で確認することができます。
- ダビングを途中で中止したり失敗などでキャンセルされたときは、再度ダビングすることができます。ただし、キャンセルされた番組をダビングせずに違う番組をダビングすると、キャンセルされた番組のダビング回数だけが減ってしまいます。

家庭内ネットワーク機能に対応したテレビで見る

本機に接続した家庭内ネットワーク機能（ホームサーバー機能）に対応したテレビ（プレーヤー機器）から操作をして、本機の本体に録画した番組を送信することで、その接続したテレビ（プレーヤー機器）で視聴することができます。
視聴できるのは、本体に録画した番組だけです。外付に移動した番組やディスクなどから視聴することはできません。

事前に、次の接続と設定を確認・変更しておいてください。設定が間違っていると、正しく視聴できません。

- **LAN2端子の接続** P.38
- **ホームサーバー機能の設定** P.214
- **本機の名称設定（お好みで）** P.215

接続したテレビ（プレーヤー機器）の操作については、テレビ（プレーヤー機器）の取扱説明書をご覧ください。

本体に録画した番組を家庭内ネットワーク機能対応テレビ（プレーヤー機器）で見る

本体

本機が電源「切」のときも見ることができます。
- 本機の主電源を「切」にすると見ることができません。
本機の主電源は「切」にしないでください。

家庭内ネットワーク機能対応テレビ（プレーヤー機器）とは、DLNAの定める映像と音声を通信するガイドラインに対応したデジタルメディアプレーヤーと呼ばれる機器です。
- 家庭内ネットワーク機能に対応していないテレビ（プレーヤー機器）では、視聴できません。
DLNA（Digital Living Network Alliance）：
家庭内ネットワーク上で機器間の相互接続を実現するための標準化活動を推進する業界団体です。

本機（本体）から送信することができる録画番組

- 放送を録画した番組、i.LINK（TS）から録画した番組
録画モード：DR、AF ～ AE、XP ～ EP
- ビデオ2入力から録画した番組
録画モード：XP ～ EP
- 「スカパー！ＨＤ録画」した番組
ハイビジョン画質番組、標準画質番組
- DVDから取り込み（ダビング）した番組
AVCREC方式、VR方式
- デジタルビデオカメラなどから取り込み（ダビング）した番組
AVCHD方式
- BD-RE/-Rから取り込み（ダビング）した番組

接続したテレビ（プレーヤー機器）によっては、見ることができない録画の種類があります。接続したテレビ（プレーヤー機器）の取扱説明書も合わせてお読みください。

次のようなことはできません

- 同時に複数のテレビ（プレーヤー機器）で見る
- 外付に移動した番組やディスクなどから見る
- 挿入されたSDカード、USB接続されたデジタルビデオカメラなどの動画を見る（本体に取り込む（ダビングする）必要があります）

本機に録画した番組をテレビ（プレーヤー機器）で視聴（再生）中は、次の操作はできません

- ネットワークからのダウンロードの中断または開始
- 録画一覧画面の左上の映像表示
- 番組の消去
- テレビ（プレーヤー機器）で再生中の番組の、番組名の変更などの編集操作

次の番組やコンテンツは見ることができません

- アクトビラ/TSUTAYA TVのダウンロードしたコンテンツ
- 録画中の番組
- 本機の録画一覧で選択中の番組
- 接続したテレビ（プレーヤー機器）と本機で、同一の番組を同時に見る
- テレビ（プレーヤー機器）側で対応していない録画方式の番組
（例）AVCデコード機能がないテレビ（プレーヤー機器）では、録画モードAF-AEの放送録画番組、AVCREC方式のDVDからダビングした番組、カメラなどから取り込んだAVCHD方式の動画などを視聴できません。

本機の状態が以下の場合、接続したテレビ（プレーヤー機器）で見ることができません

- 録画一覧で選択され、小画面を表示中の番組
- 番組の消去

先に視聴を始めていた場合でも、本機が以下の状態になると視聴が中断されます。
- 2番組同時録画
- 高速/等速ダビング、SD/USBから本体へのダビング
- 本体/外付間の番組移動
- 「スカパー！ＨＤ録画」での録画
- 番組ポーズ中、ポーズ番組再生
- 市販のBDソフトの再生
- AVCHDで記録されたディスクの再生
- ネットワークのホームページや動画の全画面表示
- 部分削除、番組分割など編集画面表示
- ダビング関係の操作
- メニューの設定画面表示（通信設定、初期設定、設定初期化）
- オンエアーダウンロード更新

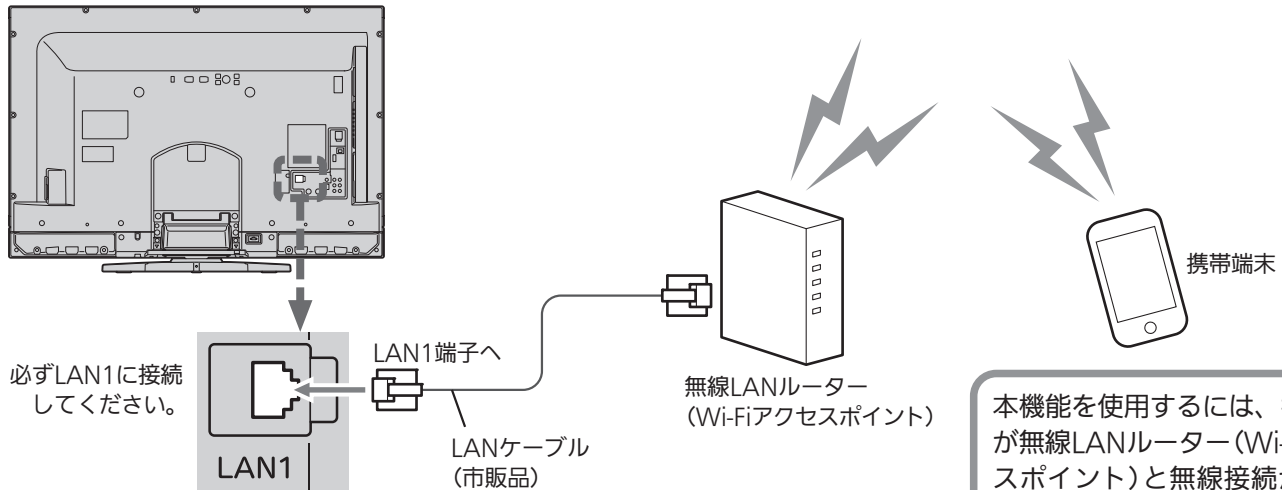
お知らせ
- お客様のネットワーク環境やその状況、本機の動作状況により、視聴中に画像や音声が乱れたり、視聴できない場合があります。
- LAN接続を無線化される場合は、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますのでご注意ください。
無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところへご相談ください。
- 録画モード変換中、番組自動移動中はプレーヤー機器からの再生操作で動作を中断しますので、動作停止後に再生できます。
- 録画回数制限のある録画した番組を接続したテレビ（プレーヤー機器）で視聴するときは、接続したテレビ（プレーヤー機器）側がDTCP-IP規格に対応している必要があります。
DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）：
ネットワーク上で著作権保護されたデータを伝送するための規格です。

携帯端末で本機を操作する

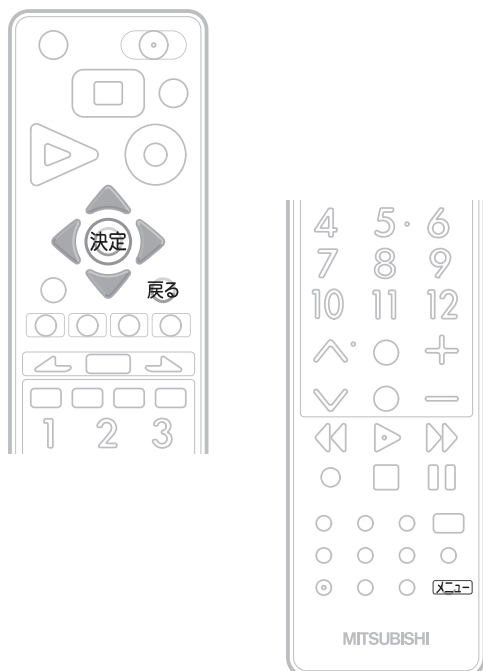
無線LAN（Wi-Fi）環境があるご家庭では、本機と連携して、携帯端末で本機を操作することができます。
対応している携帯端末は、iPhone 3GS、iPhone 4、iPhone 4S、iPod touch第3世代、iPod touch第4世代、iPadおよびiPad 2 のiOS 5以降です。（2012年4月現在）

携帯端末で本機を操作するために必要な接続と設定

接続のしかた

本機能を使用するには、携帯端末が無線LANルーター（Wi-Fiアクセスポイント）と無線接続が成立していることが必要です。

本機と携帯端末は直接無線接続できません。
本機に無線LAN機能はありません。

※無線LANルーター以外にも機器を使ってネットワークを構成している場合、本機と携帯端末とが同一サブネット内に無い構成においては、本機能をお使いになれません。同一サブネット内となるように構成を変更してください。ネットワークの構成については、お使いのネットワーク機器メーカーにお問い合わせください。

本機の設定

① ネットワーク設定をする

「メニュー」→「設定」→「通信設定」→「ネットワーク設定」 P.211 で、ご使用のネットワーク環境に応じてLAN1の設定を行ってください。

② 携帯端末設定をする

「メニュー」→「設定」→「通信設定」→「携帯端末設定」 P.216 で、携帯端末連携を「入」にしてください。

※ 画面デザインや操作のしかたは2012年4月現在開発中のものです。実際と異なる場合があります。

携帯端末の設定

例：iPhoneをご使用の場合

準備 Apple社 App Store から対応アプリをダウンロードする

対応アプリ名：REAL Remote　（2012年4月現在）

- ダウンロードに発生する通信費用はお客様の負担となります。

1 本機の電源が「入」のときに、ダウンロードしたアプリを起動する

対応アプリのアイコン

REAL Remote

起動中の画面

- 右の画面が表示されるときは、iPhoneと無線LANルーターとの接続を確認してください。本機に係るところではありませんので、わからないときはiPhoneサポート部門や無線LANルーターのメーカーへお問い合わせください。

2 メニュー画面の設定アイコンをタップして、「設定画面」を開く

メニュー画面

設定画面

- 「設定画面」に本機の名称が表示されていればiPhoneで本機を操作できる状態です。

- 「接続先テレビ」に表示される名称は、「本機名称設定」P.215 で設定された名称です。
工場出荷時の名称は、「三菱テレビーMDR3」です。
- 形名の後に"−2"が表示されます。本機の2つあるLAN端子を区別するための数字です。LAN1、LAN2に必ずしも一致しません。また、この表示は消せません。
- 「接続先テレビ」に本機名称が表示されないときは、本機と無線LANルーター（Wi-Fiアクセスポイント）との接続を確認してください。本機や無線LANルーターに電源を入れた後は、表示されるまでに時間がかかることがあります。

■ 本機または本機能に対応している当社製テレビが複数台あるときは

「本機名称設定」P.215 を工場出荷時から変更していないとき、同じ名称が複数表示されますので、「本機名称設定」P.215 で名称を変更して区別がつくようにしておくと便利です。
チェックマークがついているテレビが現在操作できるテレビです。

3 左上の ▦ をタップして、メニュー画面に戻る

- そのままテレビの操作をするときは P.98 手順2へ

※ 画面デザインや操作のしかたは2012年4月現在開発中のものです。実際と異なる場合があります。

携帯端末で本機を操作する

例 : iPhoneをご使用の場合

1 本機の電源が「入」のときに、ダウンロードしたアプリを起動する

対応アプリのアイコン

REAL Remote

起動中の画面

● 主電源を「入」にした直後は、携帯端末との接続に時間がかかる場合があります。少し待ってから操作してください。接続が完了すると「現在選局中」のマークが表示されます。

2 メニュー画面のリモコンアイコンをタップして、「REALリモコン画面」を開く

メニュー画面

REALリモコン画面

● 本機に付属のリモコンと同じ操作ができます。

● 表示されるリモコンは、携帯端末連携機能を持つ当社製テレビ用の汎用リモコンとなります。本機付属のリモコン上にない機能のボタンについては動作保証いたしません。
● 本機にない機能のボタンを操作しても動作しません。

■「前回操作していたテレビが見つかりません」と表示されるときは

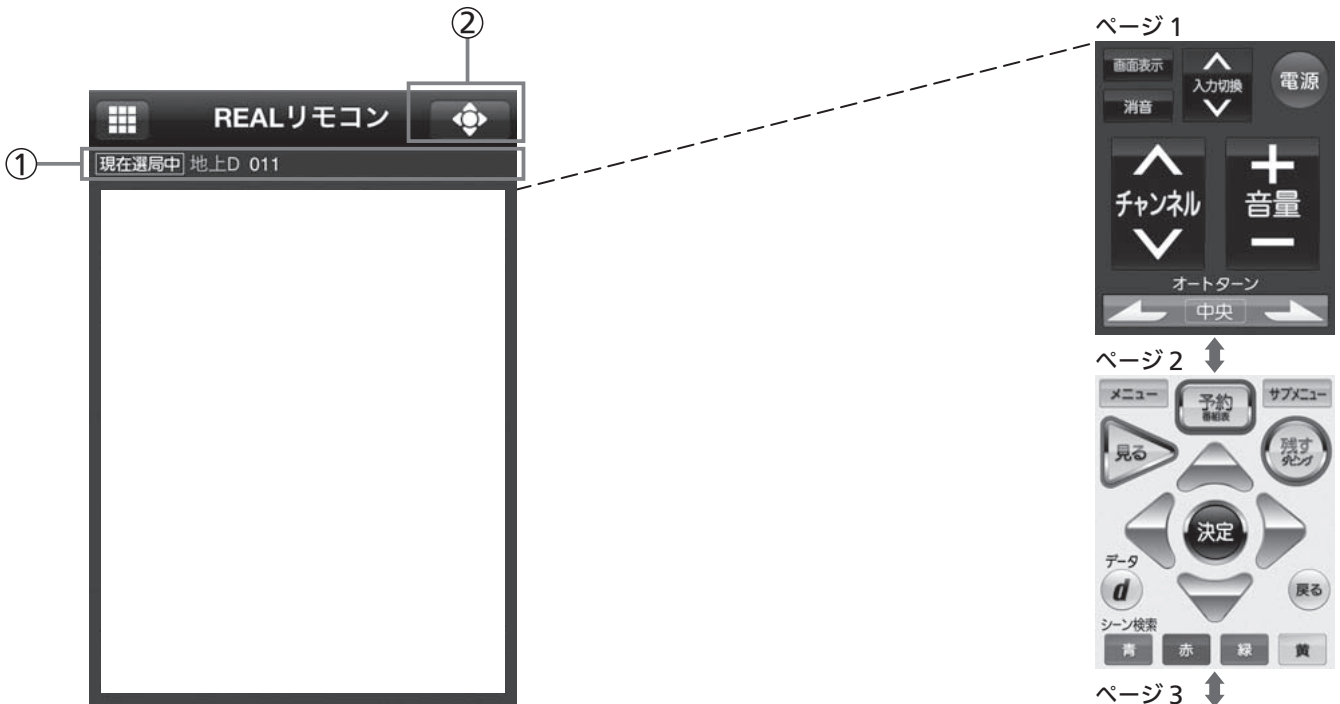
お使いの携帯端末で直前まで操作していたテレビと接続できない状態です。同じテレビを使う場合は、そのテレビの主電源が「切」になっていないか、「携帯端末設定」P.216が「切」になっていないか確認してください。別のテレビを使う場合は、携帯端末の「設定画面」P.97手順2で操作したいテレビを選び直します。

3 本機を操作する

● 携帯端末で操作してから本機が反応するまでに間があくことがあります。

※ 画面デザインや操作のしかたは2012年4月現在開発中のものです。実際と異なる場合があります。

REALリモコン画面の見かた

上下スクロールで
ページが切り換わります。

① 現在の選局状態を表示します。

〈地上波〉

現在選局中 地上D 011

〈BS〉

現在選局中 BS 101

〈CS〉

現在選局中 CS 315

〈本機と接続ができないとき〉

テレビが見つかりません テレビの電源・ネッ…

〈本機が電源「切」のとき〉

テレビの電源が切れています

② アイコンをタップして別のページに飛べます。

REALリモコン

をタップすると、ページ2に飛びます。

ページ 3～5 からページ 2 へ飛んできたとき

REALリモコン

をタップすると、元の画面に戻ります。

ページ 1 からページ 2 へ飛んできたとき

REALリモコン

をタップすると、元の画面に戻ります。

スクロールでページを移動したときは、 が表示されます。

本機で使えるメディア（ディスク・カード）

本機で録画・再生ができるディスク

本機で使えるディスクは、ここの表に載っている次のディスクだけです。

● ディスクのバージョン（Ver）が違う場合や、ディスクのメーカーや個体差などにより、本機では使えないことがあります。

○：できる　×：できない

メディアの種類 P.103 の「ハードディスク（本体、外付）について」もあわせてご覧ください。 本機と接続テスト済みの外付ハードディスクについては、P.50 をご覧ください。		ハードディスク（HDD） 本体 内蔵ハードディスク	外付 外付ハードディスク 録画することはできませんが、本体との間で録画された番組の移動を行い、再生したりBD/DVDへダビングできます。
録画予約で直接録画／一発録画	デジタル放送	○／○	×／×
	ビデオ2入力	○／○	×／×
	i.LINK（TS）入力	○／○ ※2	×／×
「スカパー！HD録画」		○	×
本体と外付の間での番組の移動（コピー不可、移動のくり返し可能）		○（録画モードDR、AF～AEのみ）	
BD/DVDからダビング	「1回だけ録画可能」番組　※1	○（BD-RE/BD-Rのみ）	×
	「制限なしに録画可能」番組	○	×
くり返し録画		○	
再生		○	○
録画一覧からの再生		○	○
追っかけ再生／見どころ再生		○／○	×／○

メディアの種類 P.104 の「BD/DVD/CDディスクについて」もあわせてご覧ください。		BD　ブルーレイディスク BD-RE BD-RE SL（片面1層） BD-RE DL（片面2層） BD-RE BDXL（片面3層） Ver 2.1 高速記録2倍速ディスクまで Ver 3.0 高速記録2倍速ディスクまで	BD-R BD-R SL、BD-R SL LTH（片面1層） BD-R DL（片面2層） BD-R BDXL（片面3層） BD-R BDXL（片面4層） Ver 1.1、1.2、1.3 高速記録6倍速ディスクまで Ver 2.0 高速記録4倍速ディスクまで
録画予約で直接録画／一発録画	デジタル放送	○／×	○／×
	ビデオ2入力	○／×	○／×
	i.LINK（TS）入力	×／×	×／×
「スカパー！HD録画」		×	×
本体からダビング	「1回だけ録画可能」番組 「ダビング10」番組　※1	○	○
	「制限なしに録画可能」番組	○	○
外付からのダビング（高速ダビングのみ）　※1		○	○
くり返し録画		○	×
再生		○	○
録画一覧からの再生		○	○
追っかけ再生／見どころ再生		×／×	×／×

● 2012年4月現在、BD-R BDXL（片面4層）は発売されていません。また、BD-RE BDXL（片面4層）はありません。

○：できる　×：できない

メディアの種類

P.104 の「BD/DVD/CDディスクについて」もあわせてご覧ください。

デジタル放送をDVD-RW/DVD-Rにダビングする場合は、CPRM対応のディスクをお使いください。

DVD-RW/DVD-Rには録画方式が3種類（AVCREC、VR、Video）あります。P.173

メディアの種類		DVD　デジタルビデオディスク					
		-RW DVD-RW			-R DVD-R　（1層） DVD-R DL（2層）※7		
		Ver 1.1、1.2 高速記録6倍速ディスクまで			Ver 2.0、2.1 高速記録16倍速ディスクまで		Ver 3.0 高速記録8倍速ディスクまで
		-RW (AVCREC) DVD-RW（AVCREC）	-RW (VR) DVD-RW（VR）	-RW (Video) DVD-RW（Video）	-R (AVCREC) DVD-R（AVCREC）	-R (VR) DVD-R（VR）	-R (Video) DVD-R（Video）
録画予約で直接録画／一発録画		×／×	×／×	×／×	×／×	×／×	×／×
「スカパー！HD録画」		×	×	×	×	×	×
本体からダビング	「1回だけ録画可能」番組「ダビング10」番組 ※1	○ ※3	○※3（標準画質）	×	○ ※3	○※3（標準画質）	×
	「制限なしに録画可能」番組	○ ※4	○	○ ※5	○ ※4	○	○※5
外付からのダビング（高速ダビングのみ） ※1		○	×	×	○	×	×
くり返し録画 ※6		○	○	○	×	×	×
再生		○	○	○ ※5	○	○	○※5
録画一覧からの再生		○	○	× ※5	○	○	× ※5
追っかけ再生／見どころ再生		×／×	×／×	×／×	×／×	×／×	×／×

※1　デジタル放送をダビングする場合、「コピー」、「ムーブ（移動）」のどちらになるかについては、P.106 をご覧ください。
- ケーブルテレビ（CATV）、スカパー！ＨＤ、スカパー！e2、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。

※2　i.LINK（TS）入力から録画予約する場合は、ケーブルテレビのi.LINK（TS）対応セットトップボックス側で予約の設定をします。（本機側では予約の設定は行いません。）

※3　DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）には録画モードAF～AEでのみ、DVD-RW（VR）/-R（VR）には録画モードXP～EPでのみダビングできます。P.110

※4　ビデオ2入力から本体に録画された番組（録画モードXP～EP）は、ダビングできません。

※5　DVD-RW（Video）/DVD-R（Video）にダビングしたときは、ダビングを終了後、自動的にファイナライズ P.167 が行われます。本書では、ファイナライズされたDVD-RW（Video）/DVD-R（Video）は P.102 の DVDビデオ として扱います。

※6　ファイナライズされたDVD-RWに録画できるようにする場合は、初期化（再フォーマット） P.241 を行ってください。ただし、初期化を行うと録画内容は消去されます。（本機でファイナライズしたDVD-RW（VR）の場合のみ、ファイナライズの解除 P.167 で録画できるようになります。）

※7　DVD-R DL（2層）ディスクの場合、本機ではDVD-R（AVCREC）にだけダビングできます。

＋RW/＋R、DVD-RAMについては、本機では対応していません。

推奨ディスクについて

本機の性能を充分に発揮するため、次のメーカー製ディスクの使用をおすすめします。（2012年4月現在）
ただし、推奨メーカー製のディスクであっても、動作を保証するものではありません。

- BD-RE……… SL（1層）　：パナソニック、三菱化学メディア、ビクター・JVC、ソニー、TDK
  DL（2層）　：パナソニック、三菱化学メディア、ソニー
  BDXL（3層）　：パナソニック
- BD-R ……… SL（1層）　：パナソニック、三菱化学メディア、ビクター・JVC、ソニー、TDK、That's
  DL（2層）　：パナソニック、三菱化学メディア、ビクター・JVC、TDK
  BDXL（3層）　：パナソニック、TDK
- DVD-RW ………………　：[2倍速] 三菱化学メディア、ビクター・JVC　[4倍速] 三菱化学メディア、ビクター・JVC
  [6倍速] ビクター・JVC
- DVD-R …… SL（1層）　：[8倍速] 三菱化学メディア、ソニー、That's　[16倍速] 三菱化学メディア、ソニー、That's
  DL（2層）　：[8倍速] 三菱化学メディア

本機で再生だけができるディスク

本機で使えるディスクは、ここの表に載っている次のディスクだけです。

● ディスクのバージョン（Ver）が違う場合、本機では使えないことがあります。

○：できる　×：できない

メディアの種類 P.104 の「BD/DVD/CDディスクについて」もあわせてご覧ください。	市販のBDソフト、など BDビデオ リージョンコードに「A」が含まれるディスク	市販のDVDソフト、など DVDビデオ リージョンコードに「2」や「ALL」が含まれるディスク	市販の音楽用ソフト、など 音楽用CD ・音楽用CD（CD-DA） ・音楽用CD形式で記録され、ファイナライズ済みのCD-RW/CD-R
再生	○	○	○
録画一覧/曲再生一覧からの再生	×	×	○（音楽用CD専用）

メディアの種類 P.104 の「BD/DVD/CDディスクについて」もあわせてご覧ください。 本機で再生できるJPEG形式については、P.156 をご覧ください。	JPEGで記録されたディスク CD (JPEG) JPEGファイル（デジタルカメラで撮影された写真など）が記録された、CD-RW/CD-R	AVCHDで記録されたディスク DISC(AVCHD) AVCHD（デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質の動画）が記録され、ファイナライズ済みのDVD-RW/DVD-R（2層ディスクを含む）
再生	○	○
録画一覧からの再生	○（JPEG専用）	× ※1

※1　本体に取り込んで（ダビングして）、本体の録画一覧（🎥）画面から再生することができます。

本機で再生できるSDカード、USB

本機で使えるSDカード、USBは、ここの表に載っているものだけです。

● SDカード、USBのバージョン（Ver）が違う場合、本機では使えないことがあります。

○：できる　×：できない

メディアの種類 P.156 の「SDカードについて」、「USB機器について」もあわせてご覧ください。 本機で再生できるJPEG形式については、P.156 をご覧ください。	JPEGで記録されたSD、USB SD (JPEG)　USB (JPEG) JPEGファイル（デジタルカメラで撮影された写真など）が記録された、 ・SDHC（4GB～32GB）　・USB機器 ・SD（8MB～2GB）	AVCHDで記録されたSD、USB SD (AVCHD)　USB(AVCHD) AVCHD（デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質の動画）が記録された、 ・SDHC（4GB～32GB）　・USB機器 ・SD（8MB～2GB）
再生	○	× ※1
録画一覧からの再生	○（JPEG専用）	

※1　直接再生はできませんが、本体に取り込んで（ダビングして）、本体の録画一覧（🎥）画面から再生することができます。

ディスクの構成の区分

本体 / 外付 /BD/DVD

「番組(タイトル)」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りで構成されます。

本体/外付/BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-R

- 1回の録画が1番組(タイトル)となります。
- チャプターは、チャプターマークを追加することによって、さらに細かく区切ることができます。

BDビデオ/DVDビデオ

- 一般的には1つの映画が1番組(タイトル)になっており、番組(タイトル)ごとに複数のチャプターで構成されています。

音楽用 CD

一般的には、曲ごとに「トラック」という区切りが付けられています。

ハードディスク(本体、外付)について

本書では、本機の内蔵ハードディスクを「本体」、外付ハードディスクを「外付」、ハードディスクを「HDD」と表現している場合があります。

■ ハードディスク(ドライブ)[HDD]とは?

大容量データ記録装置の1つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。
本機は、このハードディスクを内蔵しています。
また、外付ハードディスク対応機種では、外付ハードディスクを1台接続することができます。

■次のようなことは行わないでください!

- **本機や外付ハードディスクに振動や衝撃を与えないでください。特に本機や外付の電源が入っているときは、お気を付けください。**
- **本書で指示している場合を除き、本機や外付ハードディスクの電源が入っている状態で、本機の主電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。また、本機や外付ハードディスクの動作中にUSBケーブルを抜かないでください。**
  録画内容が損失したり、故障する恐れがあります。
- **本機の電源が入っている状態や電源を切った直後は、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。**
  (電源を切ったあと、2分以上経過してから行ってください。)
- **ハードディスクが結露した状態で使わないでください。**
- ハードディスクは、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画(録音)内容が失われたり、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- ハードディスクが故障すると、ハードディスクの録画(録音)内容が失われることがあります。

■ハードディスクやディスクドライブを外して、お客さま自身で交換することはできません。

- **正常に動作しません。また、保証が無効となります。**
- 故障のときは、お買上げの販売店にご相談ください。

■ハードディスクは、録画(録音)内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。

- 大切な録画(録音)内容は、BD/DVDディスクに保存しておくことをおすすめします。
- ハードディスクは、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合、数年で寿命となり、録画(録音)内容が再生できなくなることがあります。
- ハードディスクに異常が発生した場合、ハードディスクの録画(録音)内容は失われます。
- 部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合、ハードディスクが寿命近くになっています。
  - 再生できない、再生一時停止をくり返す
  - ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が発生する
  - 映像が乱れる
- 外付ハードディスクに移動した番組は、コピー防止・内容の保護の目的により、本機以外では再生できません。
  万一本機が故障して主要な部品を取り替えたり、本機を交換した場合でも、外付ハードディスクに移動した番組は再生できなくなりますので、ご了承ください。
- 外付ハードディスクに不具合が起きた場合は、お買上げのメーカーにお問い合わせください。

■ その他

- 本機や外付ハードディスクを長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- 本機の内蔵ハードディスクは、お買上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画してから、再生をお楽しみください。

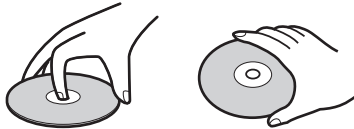
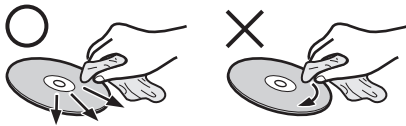
BD/DVD/CDディスクについて

BD/DVD/CD 全般

■ 次のような場合は、正常に録画・再生できません。

- **記録状態が悪い、ディスクの特性、傷、汚れ、本機の録画/再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。**
- **本機で録画したディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。**
- **パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。**
- PAL方式（海外のテレビ方式）など、NTSC方式（日本のテレビ方式）以外で記録されたDVDディスク。
- 無許諾（海賊版など）のディスク。
- クローズド・キャプション（Closed Caption）（コピー防止機能）の録画・再生。

■ ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央を持ち、記録･再生面（光っている面）には手を触れないでください。

- 指紋が付いたり汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。
  布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。

- 市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

■ 次のようなディスクは使わないでください！

- ディスク自体の破損や本体の故障の原因となります。
  - 傷が付いているディスク
  - ラベルやシールが貼られているディスク
  - ラベルがはがれているディスク
  - のりがはみ出しているディスク
  - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク
  - 六角形など、特殊な形状のディスク

■ 8cm盤のディスクを使用するときは

- **本機では再生だけができます。録画や編集はできません。**
- 8cmアダプターなしで使用できます。

ブルーレイ（BD-RE/BD-R）

- **他の機器で録画してファイナライズ P.167 していないBD-Rは、本機で正常に再生・録画・編集ができなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。**
- BD-RE/BD-Rは、お買上げ時には初期化（フォーマット）されていません。
  使用する前に初期化 P.173 してください。
- BD-RE Ver1.0（カートリッジタイプ）は、本機では使用できません。

DVD-RW/DVD-R

- **他の機器で録画してファイナライズしていないディスクは、本機で正常に再生・録画・編集ができなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。**
- DVD-RW（AVCREC）/DVD-R（AVCREC）は、AVCREC方式に対応したレコーダー /プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW（VR）は、RW COMPATIBLE 表示の付いたVR方式対応のレコーダー /プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-R（VR）は、DVD-RのVR方式に対応したレコーダー /プレーヤーでのみ再生できます。
- CPRM対応のディスクは、CPRM対応のレコーダー /プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW（Video）/DVD-R（Video）は、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後は、本機ではDVDビデオと同様の扱いとなります。
- 1倍速ディスクを使用する場合は、ディスクの取り出しに時間がかかることがあります。

BD ビデオ、DVD ビデオ（レンタルや市販の映画などすでに内容が入っているもの）

- ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。くわしくは、ディスクの説明書をご覧ください。

音楽用 CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外の音楽用CD（コピーコントロール付きCDなど）やMP3ファイル形式で録音されたディスクは、まったく再生できないか、正常に再生できません。

CPRM（シーピーアールエム）について

CPRMとは、「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10（コピー 9回＋ムーブ1回）」番組に対する著作権保護技術です。
デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10（コピー 9回＋ムーブ1回）」番組をDVDに記録するときは、CPRM対応のディスクを使います。

お知らせ

- 次のような場合、実際に録画できる時間は短くなります。
  - ディスクに傷や汚れなどによって録画できない部分があるとき。
  - 映りの悪い（電波状態が悪い、弱い）番組など、画質が良くない映像を録画したとき。
- 高速記録対応のディスクを使用して高速ダビングをしているときは、本機の動作音が通常よりも大きくなりますが、故障ではありません。

録画・録画予約の前に

 お願い!

● **録画予約をしたときは、必ず主電源（本体右側 P.20）を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**

本機でできる録画・録画予約について

本機では、最大80番組まで録画予約できます。おすすめ自動録画 P.124 は最大40番組まで予約でき、ユーザー予約（自分で予約）は80番組からおすすめ自動録画の予約数を除いた番組数まで予約できます。

今すぐ録る（一発録画）

番組を今すぐ録る（一発録画） P.118　*デジタル放送、ビデオ2入力、i.LINK（TS）入力*　本体

こんなときに		
	番組を今すぐ録画したいとき	［一発録画］ボタンを押すだけで、今見ている番組をすぐに録画できます。

ユーザー予約（自分で予約）　番組指定予約

番組表（Gガイド）から簡単に予約する（簡単予約） P.119　*デジタル放送*　本体

こんなときに		
	番組表から簡単に番組を予約したいとき	番組表から予約したい番組を選ぶだけで、簡単に予約できます。（8日先まで） 毎週録画の設定も簡単にできます。

番組表（Gガイド）から好みの設定で予約する（詳細予約） P.120　*デジタル放送*　本体　BD-RE　BD-R

こんなときに		
	番組表から好みの設定で番組を予約したいとき	番組表から予約したい番組を選んで、好みの設定で予約できます。（8日先まで） また、ジャンル検索やブルーレイディスクへの予約、毎週/毎日録画の設定などもできます。

ユーザー予約（自分で予約）　時刻指定予約

予約内容を手動で入力して予約する（時刻指定予約） P.122　*デジタル放送、ビデオ2入力*　本体　BD-RE　BD-R

こんなときに		
	番組表を利用できない番組を予約したいとき	自分でチャンネル、予約日、開始/終了時刻などを入力して予約できます。（約1カ月先まで）

おすすめ自動録画（自動予約）　番組指定予約

過去の録画履歴などをもとに、本機におまかせで自動予約する（おすすめ自動録画） P.124　*デジタル放送*　本体

こんなときに		
	本機におまかせで自動予約したいとき	自分で予約をする必要はありません。過去の録画履歴などをもとに、1日最大4番組まで自動予約できます。（8日先まで）

録画予約をしたときの本機の動き

希望の時刻に録画するには、デジタル放送を受信する必要があります。

■ 予約があるときは

● 本体の予約/録画表示灯 P.20 が橙に点灯します。

■ 予約の開始時刻になると

● 本機の電源の入/切に関係なく、予約の録画が実行されます。（本機の電源が切のときは、録画開始の少し前になると本機内部の一部の電源が入ります。画面は映りません。）

■ 予約の録画中は

● 本体の予約/録画表示灯が赤色でゆっくり点滅します。

■ 予約の終了時刻になると

● 自動的に録画が終わり、本体の予約/録画表示灯が消えます。（他に予約があるときは、橙に点灯します。）
● 録画中に残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。
● 録画を停止した位置までが、1番組（タイトル）となります。

ブルーレイディスク（BD-RE/BD-R）に録画予約した録画を本体に録画する場合（代理録画）

● 次のような場合は本体に録画し、P.188「テレビからのお知らせ」でお知らせします。（本体が録画可能な場合のみ）
・ディスクを再生しているとき。 P.145 ～ 147
・録画不可のディスク（ソフトなど）が入っているときや、ディスクが入っていないとき。
・ブルーレイディスク（BD-RE/BD-R）の残量時間が不足しているとき。

等速ダビングと、予約の録画が重なった場合

等速ダビングが優先して録画されます。
予約は取り消され、録画されません。

録画・録画予約の前に（つづき）

番組の録画制限、ダビング制限について

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

番組の録画制限 ○：できる ×：できない	本体	外付	BD-RE BD-R （録画予約のみ）	-RW -R
制限なしに録画可能	○	×	○	×
1回だけ録画可能	○	×	○	×
ダビング10	○	×	○	×
録画禁止	×	×	×	×

デジタル放送の場合は、ほとんどの番組が「1回だけ録画可能」番組または「ダビング10」番組です。

本体⇄外付間の移動制限 ○：移動のみ可能 （コピー不可）	本体 ↓ 外付　本体 ⇧ 外付
制限なしに録画可能	○
1回だけ録画可能	○
ダビング10	○
録画禁止	／

「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」番組を移動しても、ダビングの残り回数は減りません。

ダビング制限 ◎：「コピー」 ○：「ムーブ（移動）」 ×：できない	本体 ↓ BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR)	本体 ↓ -RW (Video) -R (Video)	外付 ↓ BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC)	外付 ↓ -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	本体 ⇧ BD-RE BD-R	本体 ⇧ -RW -R	外付 ⇧ BD-RE BD-R -RW -R
制限なしに録画可能	◎	◎	◎	×	◎	◎	×
1回だけ録画可能	○	×	○	×	○	×	×
ダビング10（9回目まで）	◎	×	◎	×	／	／	／
ダビング10（10回目）	○	×	○	×	／	／	／

デジタル放送をDVD-RW/-Rにダビングする場合は、**CPRM対応** のディスクをお使いください。

■「制限なしに録画可能」番組について

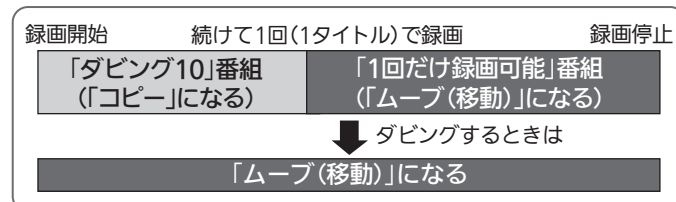
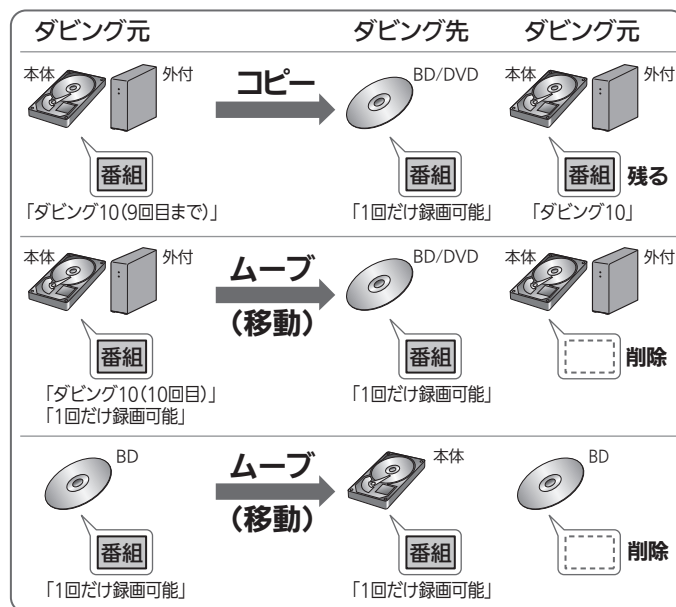
ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング後も本体の元の番組はそのまま残ります。

■ デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組について

ダビングする場合は「ムーブ（移動）」となり、ダビング後に本体の元の番組が削除されます。

■ デジタル放送の「ダビング10」（コピー 9回＋ムーブ 1回）番組について

ダビングする場合、9回目までは「コピー」となり、ダビング後も本体の元の番組はそのまま残ります。
10回目は「ムーブ（移動）」となり、ダビング後に本体の元の番組が削除されます。
BD/DVDにダビングされた番組は、「1回だけ録画可能」番組となります。

- 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢制限のある番組になったときは、録画を一時停止します。
  録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。
- 「ダビング10（コピー）」「制限なしにコピー可能」になる番組と、「1回だけ録画可能」「ダビング10（ムーブ）」番組を続けて1回で録画すると、　録画の開始から停止までが1番組（タイトル）となるため、ダビングする場合はすべての部分が「ムーブ（移動）」となります。

● ケーブルテレビ（CATV）、スカパー！HD、スカパー！e2、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。

● ケーブルテレビ（CATV）のホームターミナル/セットトップボックス経由で「ダビング10（コピー 9回＋ムーブ1回）」番組を録画する場合は、「1回だけ録画可能」番組として録画されます。

● 本機にケーブルテレビ（CATV）のホームターミナル/セットトップボックスや外部チューナーなどを接続して、ビデオ2入力でコピー制限のある番組を録画する場合は、著作権保護の規定により、DVD-RW（AVCREC）/DVD-R（AVCREC）にダビングしたりすることはできません。
この場合は、BD-RE/BD-RまたはCPRM対応のDVD-RW（VR）/DVD-R（VR）にダビングすることをおすすめします。

- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は、録画できません。
- デジタル放送の4：3の映像を録画したときや、ビデオ2入力のワイド映像（16：9）を「録画・再生設定」画面の「録画設定」ー「Video高速ダビング」 P.208 の設定を「入」にして録画したときは、4：3の映像に左右に黒帯が付いた状態で録画されます。16：9の映像で録画するには、「録画・再生設定」画面の「録画設定」ー「Videoアスペクト」を「16：9」に設定します。
- BD-R→本体へ「1回だけ録画可能」番組をダビングした（「ムーブ（移動）」した）場合、BD-Rの残量時間は増えません。
- 録画モードや音声、字幕による録画の制限は、 P.108 ～ 112 をご覧ください。

番組の最大記録可能数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大記録可能数は、ディスクの傷や汚れ、停電などにより、下記の数値より少なくなることがあります。（ P.158 もご覧ください。）

- 本体 ･･････････････････････････ 1000番組
- 外付（本体からの移動のみ）･････ 1000番組
- ブルーレイ（BD-RE/BD-R）･････ 200番組

停電があった場合

■ 全般

- 停電から復帰すると、自動的に停電の前の状態に戻ります。
- 停電によって録画が中断したときは、 P.188 「テレビからのお知らせ」でお知らせします。

■ 録画の種類別では

録画予約の録画開始前に停電したとき

- 停電復帰後に、時刻が自動修正される（または時刻を合わせ直す）と予約内容が復活します。

デジタル放送の一発録画中に停電したとき、および録画予約の録画実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻（時間）前に復帰したときは、録画終了時刻（時間）まで録画されます。
- 録画終了時刻後に復帰したときは、録画は停電したところで終了します。

デジタル放送以外の一発録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで終了します。

■ 本体・ディスク別では

本体

- 停電前後の番組が分割して録画一覧画面に登録されます。
- 停電直前の10分程度が録画されていないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、初期化が必要となることがあります。

ブルーレイ（BD-RE/BD-R）

- 停電前に録画された録画内容は録画一覧画面に登録されないため、再生することができません。また、録画された分だけディスクの残量時間が減ります。
- 停電復帰後にディスクの認識に時間がかかる場合（番組数が多い場合など）は、本体に代理録画されることがあります。本体に代理録画された場合は、本体の録画一覧画面に登録されます。
- 停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。

録画モードとおよその録画時間（目安）

録画モードは、「録画・再生設定」画面の「録画設定」−「録画モード」 P.208 で設定します。

本体に番組を録画するときの、用途別おすすめの録画モード

- 録画した番組を、ハイビジョン画質で見たい
- 本体に録画した番組を、外付に移動したい
- ブルーレイ（BD-RE/-R）に、ハイビジョン画質で高速ダビングすることが多い

⇒ **DR、AF～AE** ※1

- 録画した番組を見終わったら、こまめに消去することが多い
- 放送そのままのサラウンド音声で録画して、再生したい

⇒ **DR**

- たくさんの番組を録画して、本体にしばらく残しておきたい
- DVD-RW/-Rに、ハイビジョン画質で高速ダビングすることが多い

⇒ **AF～AE** ※1

- DVD-RW（VR）/-R（VR）やDVD-RW（Video）/-R（Video）にダビングすることが多い

⇒ **XP～EP** ※2

※1　AF ～ AEの場合、同時操作の組み合わせによっては録画モード変換予定番組 P.109 となります。
※2　録画モード変換予定番組 P.109 となります。

- **録画時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。**

- BS・110度CSデジタルのSD放送は、DR、AF～AEで録画しても標準画質で録画されます。
- 110度CSデジタル放送は、番組ごとに時間当たりの情報量が異なるため、番組ごとに録画可能時間（残量）が変わります。
- AE、EPは、「録画・再生設定」画面の「録画設定」−「AEモード」、「EPモード」の設定によって録画できる時間が変わります。 P.208
- スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をAEで録画すると、ブロックノイズなどが目立つことがあります。
- i.LINK（TS）入力から録画予約で本機に録画する場合は、DRで録画されます。
  i.LINK（TS）入力から一発録画で本機に録画する場合は、本機で現在選ばれている録画モードで録画されます。
- ディスクに管理情報が含まれるなどの理由によって、実際にディスクに記録される時間がダビングする番組の合計時間よりも多くなり、ダビングできないことがあります。また、残量時間が不足していない場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできないことがあります。
- 本機は、効率よく録画を行うために時間当たりの情報量を可変して録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 1番組あたりの連続録画可能時間は、最大8時間です。（連続録画時間が8時間になると、録画が自動的に停止します。）
  8時間を越える番組を予約するには、時刻指定予約 P.122 で8時間以内となるよう番組を分割して録画してください。

本体の録画モードとおよその録画時間(目安)

本体(HDD)

録画モード		本体(1 TB)	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
DR	地上デジタル(HD放送)	約127時間	デジタル放送 i.LINK(TS)入力	放送そのままの画質(ハイビジョン画質)	高画質 画質優先
	BSデジタル(HD放送)	約90時間			
	BSデジタル(SD放送)	約180時間			
AF		約160時間	デジタル放送 i.LINK(TS)入力	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質	
AN		約254時間			
AE	5.5倍モード	約508時間			
	12倍モード	約1080時間			時間優先
XP		約220時間	デジタル放送 ビデオ2入力 i.LINK(TS)入力	標準画質(従来の画質)	画質優先
SP		約443時間			
LP		約883時間			
EP	6時間モード	約1330時間			
	8時間モード	約1773時間			従来の画質 時間優先

「スカパー！HD録画」の場合

録画モード ※		本体(1 TB)	録画できる放送	記録される画質
DR	スカパー！HD(ハイビジョン画質番組)	約240時間(約130〜300時間) ※	スカパー！HD	ハイビジョン画質
	スカパー！HD(標準画質番組)	約410時間(約260〜790時間) ※	スカパー！HD	標準画質

※「スカパー！HD録画」の録画モードは、DRだけとなります。
「スカパー！HD録画」の( )内の時間は、変動する録画可能時間の目安です。

録画モード変換予定番組について

■ 録画モード変換予定番組になる番組

デジタル放送を本体に録画するとき、次のような場合は、いったん録画モードDRで録画されます。

- 本体に録画モードXP〜EPで録画する場合
- P.115〜117 の同時操作の組み合わせによって、録画モードAF〜AEの番組がいったん録画モードDRで録画される場合

■ 録画モードの変換動作について

本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。

- 録画モード変換予定番組は、P.140 録画一覧画面の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
  (例) 録画モードAFに変換予定の番組の場合
  変換前 ・・・・・・・ 変換予定➔AF　　変換終了後 ・・・ HD画質AF
- 変換順は前後することがあります。
- 変換時間は番組の録画時間と同じだけかかります。(変換対象が2番組ある場合は、2番組分の時間がかかります。)
- 変換中に本機の電源が入になったときや、録画モードの変換よりも優先順位の高い動作(録画予約の録画実行、ダウンロード更新、本体/外付間の番組自動移動、など)が始まったときは、その時点で実行中の番組の変換は中止となり、次回の変換可能なときに再びその番組の最初から変換されます。

ブルーレイ（BD-RE/-R）、DVD（-RW/-R）の録画モードとおよその録画時間（目安）

BD-RE BD-R （詳細予約 P.120、時刻指定予約 P.122 で直接録画できます）

録画モード		片面1層（25 GB）	片面2層（50 GB）	片面3層（100 GB）	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
DR	地上デジタル（HD放送）	約3時間	約6時間	約12時間	デジタル放送	放送そのままの画質（ハイビジョン画質）	高画質 画質優先
	BSデジタル（HD放送）	約2時間10分	約4時間20分	約8時間40分			
	BSデジタル（SD放送）	約4時間20分	約8時間40分	約17時間20分			
AF		約4時間	約8時間	約16時間	デジタル放送	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質	
AN		約6時間	約12時間	約24時間			
AE	5.5倍モード	約12時間	約24時間	約48時間			時間優先
	12倍モード	約26時間	約52時間	約104時間			
XP		約5時間15分	約10時間30分	約21時間	デジタル放送 ビデオ2入力	標準画質（従来の画質）	画質優先
SP		約10時間30分	約21時間	約42時間			
LP		約21時間	約42時間	約84時間			
EP	6時間モード	約31時間30分	約63時間	約126時間			
	8時間モード	約42時間	約84時間	約168時間			従来の画質 時間優先

-RW -R （ダビングのみできます）　-RW (AVCREC) -R (AVCREC)・・・AF～AEのみ可能　-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)・・・XP～EPのみ可能

録画モード		1層（4.7 GB）	片面2層（8.5 GB）	録画できる放送	記録される画質	画質と時間の関係
AF		約42分	約1時間20分	デジタル放送	放送のデータを圧縮変換したハイビジョン画質	高画質 画質優先
AN		約1時間5分	約2時間			
AE	5.5倍モード	約2時間10分	約4時間10分			時間優先
	12倍モード	約4時間50分	約9時間			
XP		約1時間	―	デジタル放送 ビデオ2入力	標準画質（従来の画質）	画質優先
SP		約2時間	―			
LP		約4時間	―			
EP	6時間モード	約6時間	―			
	8時間モード	約8時間	―			従来の画質 時間優先

およその残量時間について（目安）

残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。

- 現在本機で選ばれている録画モードの残量時間が表示されます。

■ 本体の場合

- 残量時間は、画面表示や、予約内容、予約一覧、本体の録画一覧（外付 外 の場合は、本体/外付の録画一覧の「」ラベル以外の一覧）、などの画面で確認できます。
- 残量が少なくなったときは、予約内容、予約一覧、録画一覧の各画面の残量時間表示に「!」が表示され、録画モードが表示されません。

■ 外付の場合

- 残量時間は、本体/外付の録画一覧画面の「」ラベルの一覧を表示しているときに確認できます。
- 残量が少なくなったときは、録画一覧画面の「」ラベルが「」になり、残量時間表示に「!」が表示され、録画モードが表示されません。

■ BD-RE/-R、DVD-RW/-Rの場合

- 残量時間は、画面表示で確認できます。
  BD-RE/-Rの場合は、予約内容、ディスクの録画一覧の各画面でも確認できます。

二重音声、マルチ番組、サラウンド音声、字幕の録画

録画モードや「録画・再生設定」画面の「録画設定」、「録画予約設定」 P.208 ~ 209 の設定によって、記録される映像や音声が異なります。録画前に、設定を確認してから録画してください。

デジタル放送、i.LINK(TS)入力

録画先 ( )は移動・ダビングのみ	本体 BD-RE BD-R (外付)	本体 BD-RE BD-R (外付 -RW (AVCREC) -R (AVCREC))	本体 BD-RE BD-R (-RW (VR) -R (VR))
録画モード	**DR**	**AF～AE**	**XP～EP**
二重音声	主音声/副音声の両方が記録されます。※1 ● 再生中は・・・ 音声が選べます。		主音声/副音声の両方が記録されます。※2 ● 再生中は・・・ 音声が選べます。
マルチ番組の映像・音声	複数の映像・音声が記録されます。 ● 再生中は・・・ 映像・音声が選べます。	【映像】 1つの映像だけが記録されます。 ■ 一発録画するとき 視聴中の映像 ■ 番組表から録画予約で録画するとき 「予約設定」画面で選んだ映像 ■ 時刻指定予約で録画するとき 主映像または映像1 ■ 手間なしダビングするとき 再生中の映像 ■ ダビングリストからダビングするとき 主映像または映像1 ■ 上記以外の録画をするとき 主映像または映像1 【音声】 2つの音声が記録されます。 ■ 視聴中の音声が「音声1」のとき 「音声1」と「音声2」 ■ 視聴中の音声が「音声1」以外のとき 視聴中の音声と「音声1」 ● 再生中は・・・ 映像の切り換えはできません。 音声のみ選べます。	1つの映像・音声だけが記録されます。 ■ 一発録画するとき 視聴中の映像・音声 ■ 番組表から録画予約で録画するとき 「予約設定」画面で選んだ映像・音声 ■ 時刻指定予約で録画するとき 主映像または映像1、主音声または音声1 ■ 手間なしダビングするとき 再生中の映像・音声 ■ ダビングリストからダビングするとき 主映像または映像1、主音声または音声1 ■ 上記以外の録画をするとき 主映像または映像1、主音声または音声1 ● 再生中は・・・ 映像・音声の切り換えはできません。
サラウンド音声	放送そのままのサラウンド音声で記録されます。	放送の音声方式を変換したサラウンド音声で記録されます。※3	ステレオ音声で記録されます。
字幕	字幕の情報が記録されます。※4 ● 再生中は・・・ 字幕表示の入/切ができます。		■ 番組表から録画予約、おすすめ自動録画で録画予約した場合 「録画予約設定」−「字幕焼きこみ」を「あり」に設定して録画予約したときだけ、映像といっしょに字幕(「録画予約設定」−「字幕焼きこみ言語」で設定された言語)が記録されます。※5 ■ 時刻指定予約の場合 字幕の設定 P.69 に応じて映像といっしょに字幕が記録されます。 ● 再生中は・・・ 字幕表示の入/切はできません。

次ページへつづく

録画・録画予約の前に（つづき）

ビデオ2入力

録画先 （　）はダビングのみ	本体 BD-RE BD-R	（-RW(VR) -R(VR)）	（-RW(Video) -R(Video)）
録画モード	XP～EP	XP～EP	XP～EP
二重音声	■「Video高速ダビング」の設定が「切」のとき 主音声/副音声の両方が記録されます。※6 ● 再生中は･･･ 音声が選べます。 ■「Video高速ダビング」の設定が「入」のとき 「二重音声選択」で設定している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。※7 ● 再生中は･･･ 音声の切り換えはできません。	主音声/副音声の両方が記録されます。※6 ● 再生中は･･･ 音声が選べます。	「二重音声選択」で設定している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。※7 ● 再生中は･･･ 音声の切り換えはできません。

※1　i.LINK（TS）入力の音声方式がAAC以外の二重音声放送の場合、次のようなときには「録画設定」－「二重音声選択」で設定している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。（この場合、再生時に音声は選べません。）
・録画モードAF ～ AEで録画するとき
・本体に録画モードDRで録画した番組を、ディスクに録画モードAF ～ AEでダビングするとき

※2　「録画設定」－「XP記録音声」の設定を「LPCM」にして録画モードXPで録画するときは、「録画設定」－「二重音声選択」で設定している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。（この場合、再生時に音声は選べません。）

※3　i.LINK（TS）入力から録画するときは、放送の音声方式を変換したステレオ音声（ダウンミックス2チャンネル）で記録されます。

※4　ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組（再生時に字幕表示が選べる番組）を高速ダビングまたはAF ～ AEモードへ等速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。

※5　ダビングするときは、映像といっしょに字幕が記録されている場合（再生時に字幕が常に表示される場合）は字幕もダビングされます。

※6　「録画設定」－「XP記録音声」の設定を「LPCM」にして録画モードXPで録画するときは、「録画設定」－「二重音声選択」で設定している音声（主音声または副音声）だけが記録されます。（この場合、再生時に音声は選べません。）

※7　外部入力の二重音声のどちらか一方だけを記録する場合は、必ず「録画設定」－「外部音声選択」の設定を「二重音声」にしてください。設定が「ステレオ」になっていると、再生時に主音声と副音声が重なって再生されます。

録画中のチャンネルや入力の切り換え

■ デジタル放送の録画中は

- デジタル放送の他のチャンネルや、外部入力（i.LINK（TS）入力以外）に切り換えることができます。
- i.LINK（TS）入力に切り換えることはできません。

■ 他の機器からの映像･音声を外部入力で録画中は

- デジタル放送のチャンネルや、他の外部入力に切り換えることができます。
- i.LINK（TS）入力視聴中にデジタル放送の録画が始まると、デジタル放送に切り換わります。

お知らせ

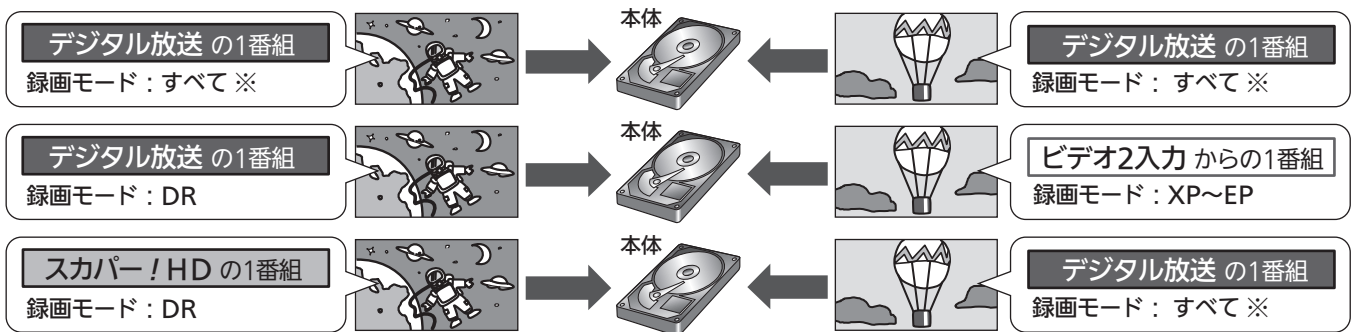
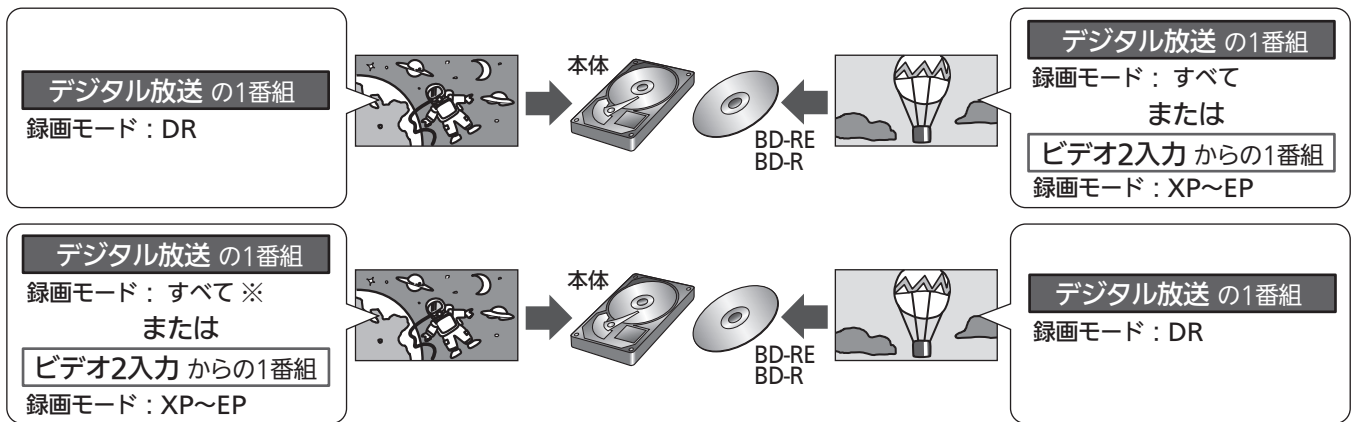
- 他の機器から外部入力で録画する場合は、ビデオ2入力、i.LINK（TS）入力だけから録画できます。

2番組を同時に録画する場合（2番組同時録画）

「同時操作について」P.115～117 もご覧ください。

本機で可能な2番組同時録画の組み合わせ

- 本機では、次の組み合わせのときに、録画予約の2番組、一発録画の2番組、または一発録画と録画予約の2番組を同時に録画することができます。
  - ・ デジタル放送の2番組（本体に2番組、または本体とBD-RE/-Rに各1番組）
  - ・ デジタル放送とビデオ2入力からの各1番組（本体に各1番組、または本体とBD-RE/-Rに各1番組）
  - ・ スカパー！ＨＤとデジタル放送の各1番組（本体に各1番組）
- 録画する番組の録画モードによって、2番組同時録画できる/できないが異なります。

【2番組とも 本体 に録画するとき】

【 本体 と BD-RE BD-R に1番組ずつ録画（またはダビングで録画）するとき】

※ デジタル放送を録画モードDR以外で同時録画する場合は、同時録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に（変換順は前後することがあります）自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組 P.109）

- 本体/外付→BD/DVDへ高速ダビング中は、ダビング中の番組のほかに本体に1番組同時に録画することができます。（「スカパー！ＨＤ録画」はできません。）
- デジタル放送の1つの番組（同じ番組）を2番組同時録画することはできません。

次の場合、2番組の同時録画はできません

- ・ スカパー！ＨＤとビデオ2入力からの各1番組
- ・ スカパー！ＨＤとBD-RE/-Rへの各1番組
- ・ BD-RE/-Rへの2番組
- ・ ダビング中
- ・ i.LINK（TS）入力から録画するとき
- ・ 本機のi.LINK（TS）端子に接続したケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスなどから録画するとき

2番組同時録画をする場合のご注意

- 同時録画ができない場合、2番組の録画予約が重なった部分は後の番組が優先して録画されます。前の番組は、後の番組と重なる部分の手前1分ほどから先が録画されません。P.114

予約が重なった場合

予約が重なっている場合は、「予約一覧」画面で重なっている予約に「重○」「重×」が表示されます。（前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を除く）P.128

重○…その番組の全部が録画されます。

重×…その番組の全部または一部が録画されません。

3つ以上の予約が重なった場合

■ おすすめ自動録画以外の予約（ユーザー予約）が重なった場合

- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。

（例）

- 開始時刻が同じ場合は、「予約一覧」画面で順番が上の方の予約が優先的に録画されます。

（例）

- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合

（例）

■ ユーザー予約とおすすめ自動録画が重なった場合

- ユーザー予約が優先的に録画されます。

（例）

■ 予約が重なる手前の▨の部分について

- 前の予約の場合、後の予約と重なる部分の手前1分ほど（▨部分）は録画されません。

本機の予約とi.LINK（TS）入力からの予約が重なった場合

- 2番組同時録画はできません。
  録画開始時刻が早い方の予約が優先的に録画されます。

（例）

予約	本機 i.LINK(TS)
実際の録画	

（例）

予約	i.LINK(TS) 本機
実際の録画	

- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合でも、後の予約が取り消されて録画されません。

（例）

予約	本機 i.LINK(TS)
実際の録画	

（例）

予約	i.LINK(TS) 本機
実際の録画	

2番組同時録画ができない組み合わせ（P.113）で、2つ以上の予約が重なった場合

■ ユーザー予約が重なった場合

- 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。
- 開始時刻が同じ場合は、「予約一覧」画面で順番が上の方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約の場合、後の予約と重なる部分の手前1分ほどは録画されません。（前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む）

■ ユーザー予約とおすすめ自動録画が重なった場合

- ユーザー予約が優先的に録画されます。

同時操作について

視聴中、再生中、録画中、ダビング中によって、同時にできる操作が異なります。

視聴中の同時操作について

■ 視聴中の録画・ダビング・番組手動移動　○：できる　×：できない　中断：録画中は中断し、録画終了後に再開する

これから始める(始まる)こと / 今やっていること	本体へ一発録画する	本体へ予約した録画を実行する	i.LINK(TS)入力から録画する	「スカパー！HD録画」する	BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する	ダビングする番組手動移動をする
放送の視聴中	○	○	○	○	○	○
ビデオ2入力からの映像を視聴中	○	○	視聴：×(※1) 録画：○	○	○	○
i.LINK(TS)入力からの映像を視聴中	○	視聴：×(※2) 録画：○	○	視聴：×(※2) 録画：○	視聴：×(※2) 録画：○	○
上記以外の外部入力からの映像を視聴中	視聴：○ 録画：×	○	○	○	○	○
ネットワークのホームページ表示中 ネットワークから動画コンテンツを表示(視聴)中	表示：○ 録画：×	表示：× 録画：○	表示：○ 録画：×	表示：× 録画：○	表示：× 録画：○	表示：○ ダビング/番組手動移動：×
ネットワークのダウンロード(DL)中	DL：中断 録画：○	DL：中断 録画：○	DL：中断 録画：○	DL：中断 録画：○	DL：中断 録画：○	DL：中断 ダビング/番組手動移動：○

※1　画面が録画中の映像に切り換わりますが、入力切換 P.66 を切り換えて、引き続き映像を視聴することができます。
※2　画面が録画中の映像に切り換わりますが、入力切換 P.66 をCATVのセットトップボックスを接続している端子(「HDMI1、2」、「ビデオ1」、「ビデオ2」など)の入力に切り換えて、引き続き視聴することができます。

再生中の同時操作について

■ 再生中の録画、ダビング・番組手動移動

○：できる　×：できない　代理：本体が録画可能な場合は、本体に代理録画 P.105 される　終了：再生停止

これから始める(始まる)こと / 今やっていること	本体へ予約した録画を実行する：放送	本体へ予約した録画を実行する：ビデオ2入力	i.LINK(TS)入力から録画する	「スカパー！HD録画」する	BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する	ダビングする番組手動移動をする
本体の再生中	○ (※1)	○	再生：終了 録画：○	○	○	再生：× ダビング：○ (本体→ディスクへの手間なしダビングのみ) 番組手動移動：×
外付の再生中	○ (※1)	○	再生：終了 録画：○	○	○	再生：○ ダビング/番組手動移動：×
BD-RE/-R、DVD-RW/-Rの再生中	○ (※1)	○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：○ 録画：代理	再生：○ ダビング：○ (録画モードDR以外で「制限なしに録画可能」番組の手間なしダビングのみ) 番組手動移動：×
DVDビデオ、音楽用CDの再生中	○ (※1)	○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：○ 録画：代理	再生：○ ダビング/番組手動移動：×
BDビデオ、DISC(AVCHD)の再生中	○ (※2)	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：○ 録画：代理 (※2)	再生：○ ダビング/番組手動移動：×
CD(JPEG)、SD(JPEG)、USB(JPEG)の再生中	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：○	再生：終了 録画：代理 (CD) ○ (SD、USB)	再生：○ ダビング/番組手動移動：×

※1　録画モードXP ～ EPで録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」(主電源は「入」)になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。(録画モード変換予定番組 P.109)
※2　録画モードDR以外で録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」(主電源は「入」)になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。(録画モード変換予定番組 P.109)

録画中の同時操作について

■ 録画中の再生・ダビング・番組手動移動

○：録画中に再生できる（★は追っかけ再生 P.152 もできます）　×：録画中に再生・ダビングできない

これから始める（始まる）こと ＼ 今やっていること		再生する					ダビングする
		本体 外付	BD-RE/-R DVD-RW/-R DVDビデオ	音楽用CD	BDビデオ DISC（AVCHD）	CD（JPEG） SD（JPEG） USB（JPEG）	番組手動移動をする
本体に録画中	放送を録画中	○★	○	○	○（※1）	×	×
	ビデオ2入力から録画中	○★	○	○	×	×	×
	i.LINK（TS）入力から録画中	○★	○	×	○（録画モードDRのみ）	×	×
	「スカパー！ＨＤ録画」中	○★	×	×	×	×	×
BD-RE/Rに録画中		○	×	×	×	×	×

※1　録画モードDR以外で録画している場合は、再生開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組 P.109）

■ 録画中に別の番組の録画（2番組同時録画） P.113

○：録画できる　△：録画モードによって録画できる/できないが異なる　×：録画できない　終了：録画停止（録画終了）
代理：本体が録画可能な場合は、本体に代理録画 P.105 される

これから始める（始まる）こと（2番組目の録画） ＼ 今やっていること（1番組目の録画）		② 本体へ一発録画する		② 本体へ予約した録画を実行する		② i.LINK（TS）入力から録画する	② 「スカパー！ＨＤ録画」する	② BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する
		放送	ビデオ2入力	放送	ビデオ2入力			
① 本体に録画中	放送を録画中	①：○ ②：○ （※2）	①：○ ②：△ （※3）	①：○ ②：○ （※2）	①：△ ②：○ （※2）	①：○ ②：×	①：○ ②：○ （※2）	①：△ ②：○ （※2）
	ビデオ2入力から一発録画中	①：○ ②：△ （※3）	①：○ ②：×	①：○ ②：△ （※3）	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：△ （※3）
	ビデオ2入力から予約の録画中	①：○ ②：△ （※3）	①：○ ②：×	①：△ ②：○ （※2）	①：終了 ②：○	①：○ ②：×	①：終了 ②：○	①：△ ②：○ （※2）
	i.LINK（TS）入力から録画中	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×	①：○ ②：×
	「スカパー！ＨＤ録画」中	①：○ ②：○ （※2）	①：○ ②：×	①：○ ②：○ （※2）	①：終了 ②：○	①：○ ②：×	チューナーの仕様による	①：終了 ②：○
① BD-RE/Rに録画中		①：○ ②：△ （※3）	①：○ ②：△ （※3）	①：△ ②：○ （※2）	①：△ ②：○ （※2）	①：○ ②：×	①：終了 ②：○	①：△ ②：代理 （※2）

※2、※3　どちらかの番組を録画モードDR以外で録画する場合は、同時録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組 P.109）

※2のみ　2番組同時録画できない場合は、先の番組（①）の録画が終了し、後の番組（②）が録画されます。P.114

※3のみ　2番組同時録画できない場合は、先の番組（①）の録画が継続し、後の番組（②）は録画されません。

- デジタル放送の1つの番組（同じ番組）を2番組同時録画することはできません。

ダビング中の同時操作について

■ ダビング中・番組手動移動中の視聴

○：できる　×：できない

今やっていること ＼ これから始める（始まる）こと	放送の画面の映像を見る	外部入力の映像を見る	ダビング中の映像を見る
ダビング中、番組手動移動中	○	○（※1）	×

※1　本体→DVD-RW（Video）/-R（Video）へダビング中、ビデオ2入力は選べません。

■ ダビング中・番組手動移動中の再生

○：できる　×：できない

今やっていること ＼ これから始める（始まる）こと	再生する	
	本体、外付 外	本体、外付以外
本体→BD/DVDへ高速ダビング中 BD/DVD→本体へ高速ダビング中	○（※2）	×
外付→BD/DVDへ高速ダビング中	×	×
上記以外のダビング中、番組手動移動中	×	×

※2　ダビングが「コピー」になる場合だけ、再生できます。「ムーブ（移動）」になる場合は、再生できません。

■ ダビング中・番組手動移動中の録画

○：できる　×：できない　代理：本体が録画可能な場合は、本体に代理録画 P.105 される

今やっていること ＼ これから始める（始まる）こと	本体へ一発録画する		本体へ予約した録画を実行する		i.LINK（TS）入力から録画する	「スカパー！HD録画」する	BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する
	放送	ビデオ2入力	放送	ビデオ2入力			
高速ダビング中	○（※3）	○	○（※3）	○	×	×	代理（※3）
等速ダビング中	×	×	×	×	×	×	×
番組手動移動中	○（※3）	○	○（※3）	○	×	×	代理（※3）

※3　録画モードDR以外で録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組 P.109）

番組自動移動と他の動作の同時操作について

■ 他の動作中の番組自動移動 ‥‥本機が他の動作中は、番組自動移動はできません。

■ 番組自動移動中の他の動作

○：できる　×：できない　中止：移動中止
㊟：録画モードAF ～ AE以外のときは移動できる、AF ～ AEのときは移動中止

今やっていること ＼ これから始める（始まる）こと	本体へ一発録画する	本体へ予約した録画を実行する		i.LINK（TS）入力から録画する	「スカパー！HD録画」する	BD-RE/-Rへ予約した録画を実行する	再生する	ネットワークのダウンロード（DL）をする
		放送	ビデオ2入力					
本体→外付へ番組自動移動中 外	移動：㊟ 録画：○ （※1）	移動：㊟ 録画：○ （※1）	移動：○ 録画：○	移動：中止 録画：○	移動：中止 録画：○	移動：中止 録画：○	移動：中止 再生：○	移動：○ DL：×

※1　録画モードDR以外で録画する場合は、録画開始時点からいったん録画モードDRで録画され、本機の電源が切になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。（録画モード変換予定番組 P.109）

- 2番組同時録画が始まると、番組自動移動を中止します。
- 番組自動移動中に自動移動が中止となるような操作をした場合、自動移動の中止処理完了後に次の動作に移行しますので、番組自動移動を中止するのに時間がかかる場合は、番組の最初の部分が録画されなかったり、録画が中止されることがあります。

お知らせ

- 家庭内ネットワーク機能を利用時の同時操作については、P.95 をご覧ください。

テレビ番組を今すぐ録る（一発録画）

視聴中の番組を、今すぐ録画できます。

録画モードをDR以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。（録画モード変換予定番組 P.109）

一発録画をする

デジタル放送、ビデオ2入力、i.LINK（TS）入力 **本体**

1 一発録画 を押す

- 本体が録画可能な状態のときは、録画が始まります。
- 本機で現在選ばれている録画モードで録画されます。
  （一発録画する前に本機の録画モードの設定を確認・変更するときは、P.208 をご覧ください。）

デジタル放送の一発録画中は

- 番組を録画中に、放送やチャンネルを切り換えて別の番組を見ることができます。
- 番組を録画中に、別の番組に切り換えてもう一度押すと一発録画の2番組同時録画になります。
  （2番組同時録画できる組み合わせがありますので、P.113 のご注意もご覧ください。）
- 番組が終了すると、自動的に録画を停止します。

他の機器からの映像・音声の一発録画中は

- 番組終了時に自動で録画停止できませんので、停止 で録画を停止してください。
  そのまま録画を続けると8時間後に録画停止します。

2 録画を一時停止するときは

一時停止 を押す

- もう一度押すと、再び録画が始まります。
- 2番組同時録画中は、録画を一時停止したい番組を選局してから実行してください。

3 録画中に録画を停止するときは

停止 を押す

- 確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選んで 決定 を押します。

■ 2番組同時録画中/追っかけ再生中/録画同時再生中に録画を停止するときは

P.130 をご覧ください。

お願い！

● **録画中は、必ず主電源（本体右側 P.20）を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**
録画中は、本体の予約/録画表示灯 P.20 が赤色でゆっくり点滅します。

お知らせ

- 番組情報が取得できていない番組については、一発録画できません。
- 停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 停止した位置までが、1番組（タイトル）となります。
- 現在録画中の番組の放送、チャンネル、録画モードを確認したいときは、画面表示 を押して画面表示を表示すると確認できます。
- 他の機器から外部入力で録画する場合は、ビデオ2入力、i.LINK（TS）入力だけから録画できます。
- 視聴中に、「サブメニュー」→「この番組を録画する」でも、視聴中の番組の一発録画を始めることができます。P.186
- 前の番組の本編が終わった直後など、まだ前の番組の時間内であるときに次の番組を録画しようとして 一発録画 ボタンを押しても、前の番組が短く録画されたり、一発録画が開始されない場合があります。録画したい番組の時間帯になってから録画を開始してください。

番組を録画予約する ［簡単予約］

番組表から予約したい番組を選ぶだけで、簡単に予約できます。

番組表（Gガイド）から簡単に予約する（簡単予約）

デジタル放送 **本体**

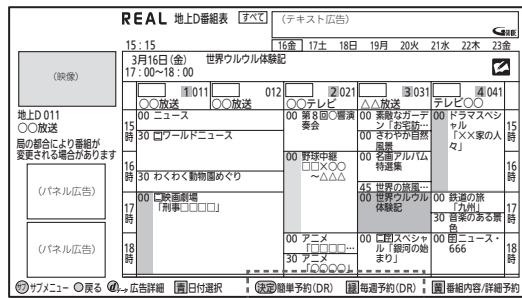
録画モードをDR以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。（録画モード変換予定番組 P.109）

1 ［予約 番組表］を押す

- 番組表が表示されます。（番組表の見かたは P.71 をご覧ください。）

■ 別の放送の種類の番組表を見るときは

［地上］［BS］［CS］を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

2 ▲▼◀▶で予約したい日の番組を選ぶ

簡単予約で録画するときは、ガイド表示に表示されている録画モード（現在本機で選ばれている録画モード）で録画されます。
（現在放送中の番組の場合は表示されません。）

■ 別の日の番組表を見るときは

［青］を押して「日付選択」画面を表示し、▲▼で日付を選んで［決定］を押します。

3 ［決定］または［予約 番組表］を押す

- 予約が確定し、選んだ番組に「予」が表示されます。
（現在放送中の番組の場合は、番組内容画面が表示されます。P.120 の手順3～7を行って、予約を確定してください。）
- 予約が重なって、一部またはすべての録画ができない場合は確認メッセージが表示されます。
「はい」のままで［決定］を押すと、「予約一覧」画面が表示され、重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。P.128
◀▶で「いいえ」を選んで［決定］を押すと、「予約一覧」画面は表示されず、確認メッセージが消えます。

■ 毎週この番組を予約するときは

［緑］を押します。

■ 他の番組を続けて予約するときは

このあと、手順2、3をくり返します。

4 予約の設定が終わったら
［戻る］を押し、通常画面に戻す

お願い

- **録画予約をしたときは、必ず主電源（本体右側 P.20）を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**

お知らせ

- **番組表を表示中に本機の録画モードの設定を確認・変更するときは**
（番組表を表示していないときに本機の録画モードの設定を確認・変更するときは、P.208 をご覧ください。）
  ① 手順2のときに、［サブメニュー］を押して、サブメニュー画面を表示する
  ② ▲▼で「録画モード」に移動し、◀▶で希望の録画モードを選ぶ
  ③ 確認・変更が終わったら、［戻る］を押して、サブメニュー画面を消す
- 番組表は、「メニュー」→「録る（番組表・予約）」→「番組表」でも、表示することができます。P.184

番組表から予約したい番組を選んで、好みの設定で予約できます。

番組表（Gガイド）から好みの設定で予約する（詳細予約）

デジタル放送 **本体** **BD-RE** **BD-R**

ブルーレイ（BD-RE/-R）に予約して、直接録画することもできます。

録画モードをDR以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。（録画モード変換予定番組 P.109）

準備 ブルーレイ（BD-RE/-R）に録画するときは、初期化されていて録画が可能で残量があるディスクを入れておく P.172

- ディスク再生/ダビング選択画面が表示される場合は、戻る を押して選択画面を消しておきます。

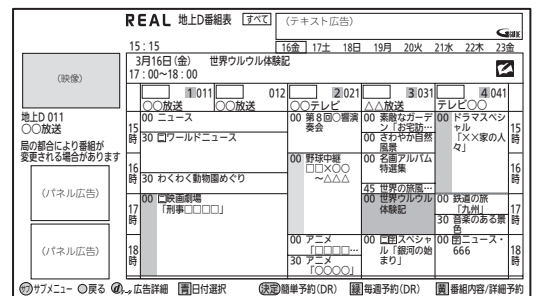
1 予約番組表 を押す

- 番組表が表示されます。（番組表の見かたは P.71 をご覧ください。）

■ 別の放送の種類の番組表を見るときは

地上 BS CS を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

2 ▲▼◀▶ で予約したい日の番組を選び、黄 を押す

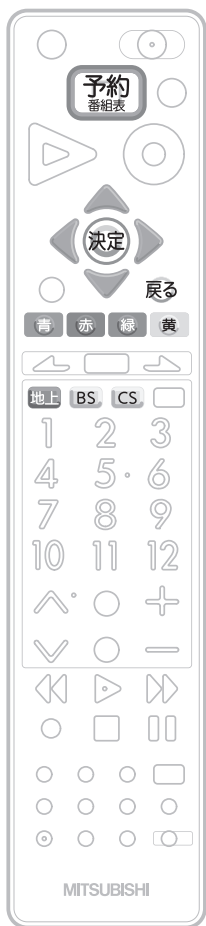
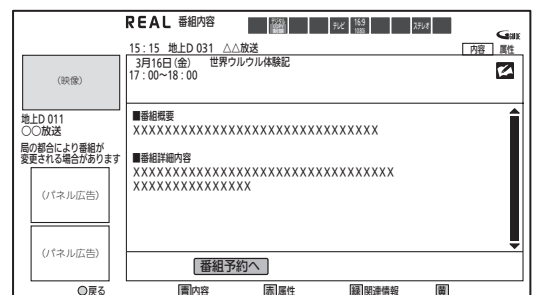
- 「番組内容」画面が表示されます。

■ 別の日の番組表を見るときは

青 を押して「日付選択」画面を表示し、▲▼ で日付を選んで 決定 を押します。

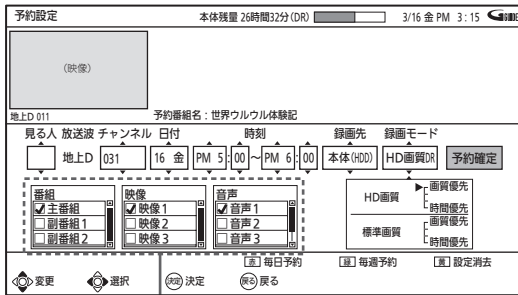
■ フリーワード、ジャンル、キーワード、人名などから予約する番組を探すときは P.73

3 「番組予約へ」が選ばれているので、決定 を押す

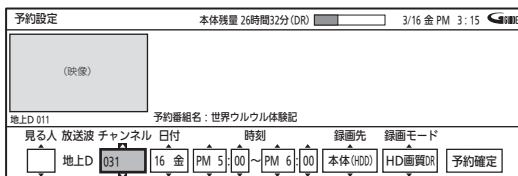
- 「予約設定」画面が表示されます。
- 現在放送中の番組の場合は、「番組予約へ」の横に「今すぐ見る」も表示されます。

お願い

● **録画予約をしたときは、必ず主電源（本体右側 P.20）を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**

次ページへつづく

4 予約内容を確認する

映像・音声が複数ある番組を録画モードDR以外で予約するときにだけ、表示されます

5 予約内容を変更するときのみ、

で希望の項目に移動し、 で内容を変更する

■毎週/毎日録画をするときは

「日付」項目に移動し、希望の表示(毎週土、毎日、月ー土、月ー金など)に変更します。

- を押していくと、毎週/毎日録画用の表示を早く表示することができます。
- 毎週録画、毎日録画(「毎日」)は、手順7で簡単に設定することもできます。

■ブルーレイ(BD-RE/-R)に予約するときは

「録画先」項目に移動し、「BD」に変更します。

■録画モードを変更するときは

「録画モード」項目に移動し、希望の録画モードに変更します。(録画モードについては P.109)

■放送局(チャンネル)の枝番を切り換えるときは

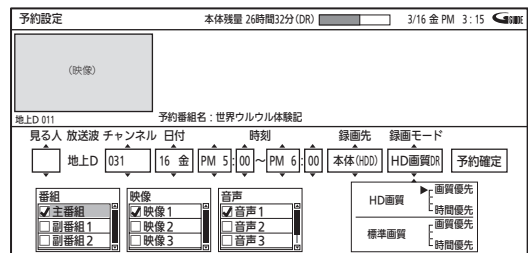
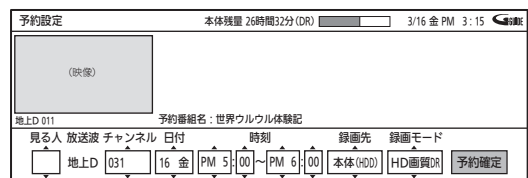
「チャンネル」項目に移動し、希望の枝番がついたチャンネルに変更します。

■ユーザーを設定するときは (本体のみ)

「見る人」項目に移動し、希望のユーザーアイコンに変更します。

6 映像・音声が複数ある番組(マルチ番組)を録画モードDR以外で予約するときのみ、

で希望の項目(番組、映像、音声)に移動し、 で内容を変更したあと、 決定 を押す

番組、映像、音声を選んで予約する必要がありますので、予約したい内容を選んでください。

7 で「予約確定」に移動し、 決定 を押す

- 予約が確定して「番組内容」画面に戻ります。
- 予約が重なっているときは「予約一覧」画面が表示され、重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。P.128

■毎週/毎日録画を簡単に設定するときは

毎週録画をするときは
この手順のときに、 緑 を押します。

毎日録画(「毎日」)をするときは
この手順のときに、 赤 を押します。

8 戻る を押し、番組表に戻す

- 録画予約した番組に「予」が表示されます。

■他の番組を続けて予約するときは

このあと、手順2～7をくり返します。

9 予約の設定が終わったら

戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

- チャンネルを変更して予約を行った場合、番組表に「予」は表示されません。
- 現在放送中の番組を詳細予約で毎週/毎日録画した場合は、現在放送中の番組から録画が開始されます。
- 番組表は、「メニュー」→「録る(番組表・予約)」→「番組表」でも、表示することができます。P.184

番組を録画予約する（つづき） ［時刻指定予約］

自分でチャンネルや予約日、開始/終了時刻などを入力して予約できます。

予約内容を手動で入力して予約する（時刻指定予約）

デジタル放送、ビデオ2入力 **本体** **BD-RE** **BD-R**

ブルーレイ（BD-RE/-R）に予約して、直接録画することもできます。

録画モードをDR以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。（録画モード変換予定番組 P.109）

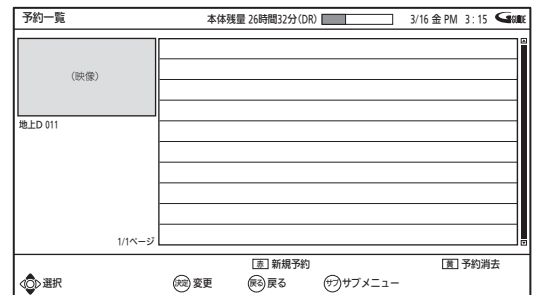
準備 ブルーレイ（BD-RE/-R）に録画するときは、初期化されていて録画が可能で残量があるディスクを入れておく P.172

- ディスク再生/ダビング選択画面が表示される場合は、戻る を押して選択画面を消しておきます。

1 地上 BS CS で予約したい放送を選ぶ

- 他の機器からの映像･音声を録画予約するときは、「ビデオ2」に切り換えます。P.66

2 予約一覧 を押す

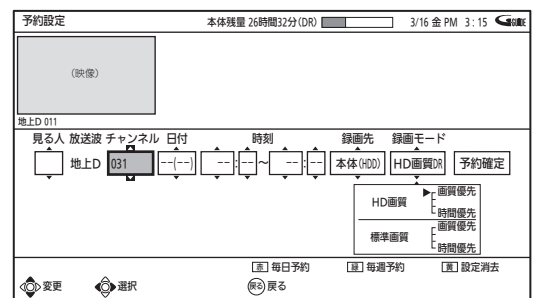
- 「予約一覧」画面が表示されます。

3 赤 を押す

- 「予約設定」画面が表示されます。

4 ▲▼ で予約内容を設定し、◀▶ で項目を移動する

チャンネル、
日付、
開始時刻（時、分）、
終了時刻（時、分）、
録画先、
録画モード

を合わせます。

予約設定　本体残量 26時間32分(DR)　3/16 金 PM 3：15
(映像)
地上D 011
見る人 放送波 チャンネル 日付 時刻 録画先 録画モード
地上D 031 --(--) --:-- ～ --:-- 本体(HDD) HD画質DR 予約確定
HD画質 画質優先 時間優先
標準画質 画質優先 時間優先
赤 毎日予約　緑 毎週予約　青 設定消去
変更　選択　戻る 戻る

- 昼の12時は「PM 0:00」に、夜の12時は「AM 0:00」に合わせます。
- チャンネルは、手順1で選んだ放送だけが選べます。

次ページへつづく

お願い！

- **録画予約をしたときは、必ず主電源（本体右側 P.20）を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**

決定　戻る　赤　緑　地上　BS　CS　1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12　予約一覧　MITSUBISHI

■毎週/毎日録画をするときは

毎週録画をするときは

項目をすべて設定したあと 緑 を押すと、「日付」で設定した日からの毎週録画で確定します。（この場合は、手順5の操作は不要です。）

毎日録画（「毎日」）をするときは

項目をすべて設定したあと 赤 を押すと、「日付」で設定した日からの毎日録画で確定します。（この場合は、手順5の操作は不要です。）

毎日録画（「月ー土」、「月ー金」など曜日指定）をするときは

「日付」項目に移動し、希望の表示に変更します。

- ▼を押していくと、毎週/毎日録画用の表示を早く表示することができます。

■ブルーレイ（BD-RE/-R）に予約するときは

「録画先」項目に移動し、「BD」に変更します。

■録画モードを変更するときは

「録画モード」項目に移動し、希望の録画モードに変更します。

■放送局（チャンネル）の枝番を切り換えるときは

「チャンネル」項目に移動し、希望の枝番がついたチャンネルに変更します。

■ユーザーを設定するときは（本体のみ）

「見る人」項目に移動し、希望のユーザーアイコンに変更します。

5 ◀▶で「予約確定」に移動し、決定を押す

- 予約が確定し、「予約一覧」画面に戻ります。
- 予約が重なっているときは「予約一覧」画面が表示され、重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。

■他の番組を続けて予約するときは

このあと、手順3 ～ 5をくり返します。

6 確認が終わったら 戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

- 時刻指定予約を行った場合、番組表に「予」は表示されません。
- 「予約一覧」画面は、「メニュー」→「録る（番組表・予約）」→「予約変更・確認」でも、表示することができます。P.184
  また、「メニュー」→「録る（番組表・予約）」→「時刻指定予約」でも、時刻指定予約することができます。P.184
- 他の機器から外部入力で予約する場合は、ビデオ2入力だけから予約することができます。

過去の録画履歴などをもとに、条件に合った番組を番組表から抽出して自動予約できます。

過去の録画履歴などをもとに、本機におまかせで自動予約する（おすすめ自動録画）

デジタル放送 **本体**

工場出荷時は、自動予約･録画されない設定になっていますので、自動予約･録画をしたいときは設定を変更してください。

録画モードをDR以外にして録画する場合、同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードDRで録画され、本機の電源が「切」のときに自動的に録画モードが変換される場合があります。（録画モード変換予定番組 P.109）

おすすめ自動録画の設定を変更するとき

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

メニュー
録る（番組表・予約）
見る（再生）
残す（ダビング）
取り込む（ダビング）
移動する（ダビング）
テレビ操作
お知らせ
設定

設定
画質設定
音声設定
録画・再生設定
通信設定
機能設定
初期設定
節電アシスト設定
設定初期化

3 ▲▼ で「録画・再生設定」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「録画予約設定」を選び、決定 を押す

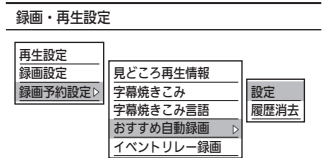
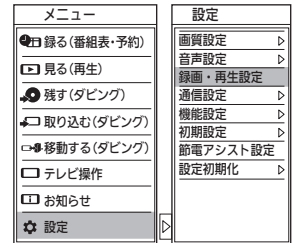
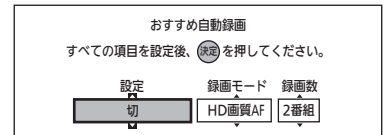
5 ▲▼ で「おすすめ自動録画」を選び、決定 を押す

録画・再生設定
再生設定
録画設定
録画予約設定
見どころ再生情報
字幕焼きこみ
字幕焼きこみ言語
おすすめ自動録画
イベントリレー録画
設定
履歴消去

6 「設定」が選ばれているので、決定 を押す

- 「おすすめ自動録画情報」画面が表示されます。

7 ◀▶ で希望の項目を選び、▲▼ で設定を変更する

おすすめ自動録画
すべての項目を設定後、決定 を押してください。
設定　録画モード　録画数
切　HD画質AF　2番組

＿は工場出荷時の設定です。

番組の抽出方法の設定

「入（安心型＋発掘型）」･･･ 安心型と発掘型の両方から抽出された番組を自動予約･録画するとき。
「入（発掘型のみ）」･･･････ 過去の録画履歴や再生履歴などをもとに、ユーザーの嗜好（しこう）に合った番組を番組表から抽出して自動予約･録画するとき。
「入（安心型のみ）」･･･････ 過去の録画履歴があるのに予約されていない番組を番組表から抽出して自動予約･録画するとき。
「切」･･････････････････ 自動予約･録画をしないとき。

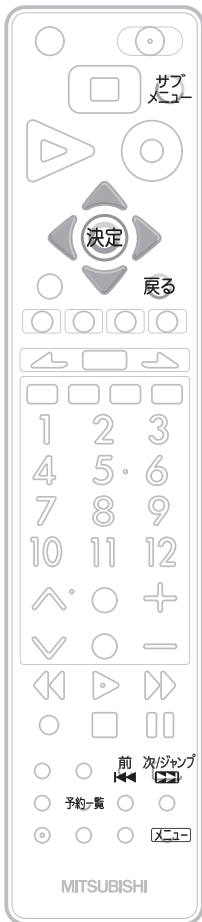
録画モード（自動予約・録画するときの録画モード）

「HD画質DR」「HD画質AF」「HD画質AN」「HD画質AE」

録画数（1日の最大自動予約・録画番組数）

「4番組」「2番組」「1番組」

8 決定 を押し、変更を確定する

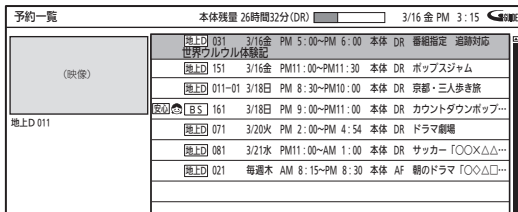
9 変更が終わったら
戻る をくり返し押し、通常画面に戻す

おすすめ自動録画の予約状況を確認するとき

1 予約一覧 を押す

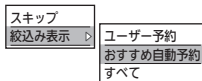
- 「予約一覧」画面が表示されます。

予約一覧　本体残量 26時間32分（DR）　3/16 金 PM 3：15　GUIDE

（映像）
地上D 011

	地上D	031	3/16金	PM 5：00~PM 6：00	本体	DR	番組指定 追跡対応 世界ウルウル体験記
	地上D	151	3/16金	PM11：00~PM11：30	本体	DR	ポップスジャム
	地上D	011−01	3/18日	PM 8：30~PM10：00	本体	DR	京都・三人歩き旅
安心	BS	161	3/18日	PM 9：00~PM11：00	本体	DR	カウントダウンポップ…
	地上D	071	3/20火	PM 2：00~PM 4：54	本体	DR	ドラマ劇場
	地上D	081	3/21水	PM11：00~AM 1：00	本体	DR	サッカー「○○×△△…
	地上D	021	毎週木	AM 8：15~PM 8：30	本体	AF	朝のドラマ「○◇△□…

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「絞込み表示」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「おすすめ自動予約」を選び、決定 を押す

5 予約を確認する

■ 別のページを表示するときは
前⏮、次/ジャンプ⏭ を押します。

■内容を変更したい予約があるときは P.129

■ 不要な予約を削除するときは P.129

6 確認が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

おすすめ自動録画の番組抽出タイミング

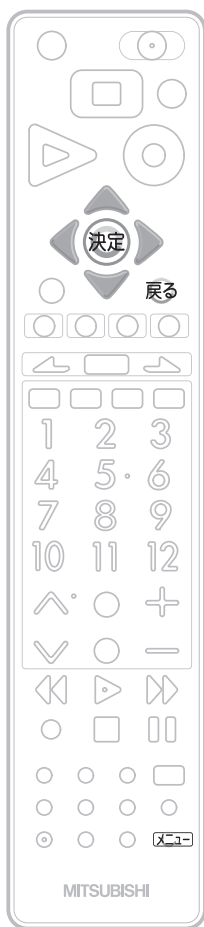
- **1日1回、番組表（Gガイド）の番組データを受信終了後に抽出されます。**
- 「入（安心型＋発掘型）」の場合は、まず「安心型」の番組を抽出し、予約数に余裕があれば「発掘型」の番組を抽出します。同一番組が両方で抽出された場合は、「安心型」で画面に表示されます。

おすすめ自動録画で録画された番組の自動削除

- **本体（HDD）の残量が10%未満になった場合、本体の残量が10%以上になるように、次の条件の番組が録画日付の古い順に自動削除されます。**
  - おすすめ自動録画された番組の中で、録画後8日以上経過した番組。
- 自動削除は、おすすめ自動録画の番組抽出と同時に実行されます。
- 一度も再生していない番組でも、再生の有無にかかわらず削除されます。
- 外付を接続しているときでも、外付に自動的には移動せずに削除されます。外
- **保護されている番組は、自動削除されません。**
  自動削除されたくない番組は、番組を保護しておいてください。P.161
- 本体の残量が10%以上ある場合、自動削除は実行されません。
- おすすめ自動録画の抽出方法を「切」に設定しているときは、自動削除は実行されません。

お知らせ

- 自動予約数が40番組になった場合や、総予約数が80番組になった場合、それ以上は予約されません。
- 本体（HDD）の残量（1週間先までの録画予約分の容量を含む）が10%未満になった場合は、自動予約されません。また、本体の残量がなくなった場合、おすすめ自動録画は実行されません。
- 毎週放送の連続ドラマなどの場合、毎回自動予約されるとは限りませんので、確実に録画したいときはユーザー予約で毎週録画してください。
- 毎日、月～金、月～土の同じ時間に放送されている番組を録画した場合は、最初に録画された曜日の番組だけが自動予約の対象となります。
  （例） 月～土曜日に放送の朝の連続ドラマを予約・録画した場合は、次週の同じ曜日の番組だけが自動予約の対象となります。翌日など、録画した曜日とは違う曜日は、自動予約の対象となりません。
  毎日録画をする場合は、ユーザー予約してください。
- 不要な予約が自動予約によって予約一覧に登録されている場合は、その予約を手動で削除してください。
  削除すると、以降はその番組は自動予約されません。
- おすすめ自動録画の履歴は、おすすめ自動録画の「設定」を「切」にしていても蓄積されていきます。
- おすすめ自動録画の履歴は、消去することができます。
  ① P.124 の手順1 ～ 5を行い、「録画・再生設定」画面の「録画予約設定」－「おすすめ自動録画」を選ぶ
  ② ▲▼ で「履歴消去」を選び、決定 を押す
  ③ ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
- おすすめ自動録画機能は、当社独自の機能です。
  Gガイドの機能ではありません。

予約の便利な機能

番組指定予約したデジタル放送の予約を自動追跡する

デジタル放送 **本体**

自動追跡

デジタル放送の番組を番組指定予約した場合、次のようなときに自動的に録画開始/終了時刻が変更されて録画されます。

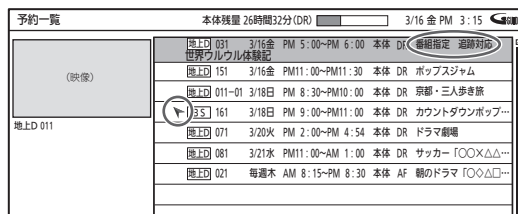
(例)・毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
・特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
・予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
・予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。

- 自動追跡による録画は、録画開始時点や録画中に受信した最新の番組データをもとに録画され、このときに放送時刻が変更されている場合は録画終了時刻を自動的に変更します。(自動追跡によって予約が重なったときは、P.114をご覧ください。)
- 自動的に録画開始/終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週/毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。
- 時間変更の情報が番組データに反映されていない場合や、放送局からの番組情報の送信状況によって番組変更情報(放送時間、番組名変更など)が本機で判別できない場合は、自動追跡されません。

■自動追跡対象の番組には

「予約一覧」画面の番組情報欄に、「番組指定　追跡対応」と表示されます。

■自動追跡できていない(番組が見つからず追跡録画できない)予約には

「予約一覧」画面の該当予約に「▶」が表示されます。

■自動追跡できずに、時刻指定予約で録画された番組には

「録画一覧」画面の該当番組に「▶」が表示されます。

※ 外

「▶」が表示された予約/番組は自動追跡していないため、録画したい番組が録画されない/録画されていないことがあります。

イベントリレー録画

P.209の「録画・再生設定」画面の「録画予約設定」－「イベントリレー録画」の設定を「する」にすると、野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。(イベントリレーによって予約が重なったときは、P.114をご覧ください。)

(例) 昼の時間帯に「NHK総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHKEテレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。

お知らせ

- 番組名が似ている番組がある場合は、自動追跡で別の番組が録画されることがあります。
- 自動追跡をしたくないときは、時刻指定予約で予約してください。
- 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組指定予約した場合だけ有効となります。
番組表から予約した番組であれば、適宜受信した最新の番組情報から予約された番組が放送されることや終了時間を確認して録画を行います。もし、放送時刻の変更を検出した場合は、録画時刻を自動で変更し録画を続けます。従い、放送局からの番組情報の送信され方により、番組変更情報を本機で判別できない場合は録画できなかったり、中断されます。放送時刻の変更により他の録画と重なってしまった場合などもうまく録画できない場合があります。

見どころ再生(スポーツ)/見どころ再生(音楽)用の情報を盛り込んで録画する
(見どころ再生情報)

本体

見どころ再生 P.142 のハイライト部分または楽曲部分の情報を盛り込んで録画することができます。

本機の番組表(Gガイド)を使って予約するとき

通常は、設定を変更する必要はありません。

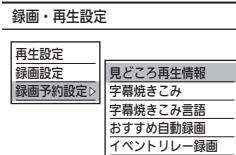
工場出荷時の設定は、
- ジャンルが「スポーツ」の番組の場合は、見どころ再生のハイライト部分の情報が盛り込まれて録画されます。
- ジャンルが「音楽」の番組の場合は、見どころ再生の楽曲部分の情報が盛り込まれて録画されます。

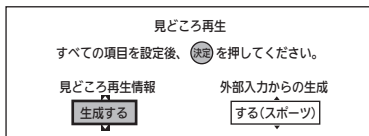
設定を変更するときは

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「録画・再生設定」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「録画予約設定」を選び、決定 を押す

5 ▲▼ で「見どころ再生情報」を選び、決定 を押す

6 ▲▼ で「見どころ再生情報」の設定を変更し、決定 を押す

「生成する」…… 見どころ再生の情報を盛り込むとき。
「生成しない」…. 見どころ再生の情報を盛り込まないとき。

7 変更が終わったら
戻る をくり返し押し、通常画面に戻す

他の機器から外部入力で予約するとき P.131 ～ 133

(ケーブルテレビ(CATV)のセットトップボックスや、スカパー！ e2のチューナーなど)

ビデオ2入力、i.LINK(TS)入力だけから録画できます。

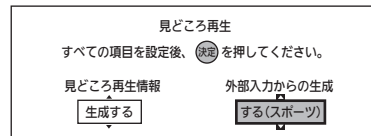
工場出荷時の設定は、スポーツ番組のハイライト部分の情報が盛り込まれて録画されます。

音楽番組の楽曲部分の情報を盛り込んで録画したいときは、設定を変更してください。

設定を変更するときは

1 左記の手順**1** ～ **5**を行い、「見どころ再生」の設定画面を表示する

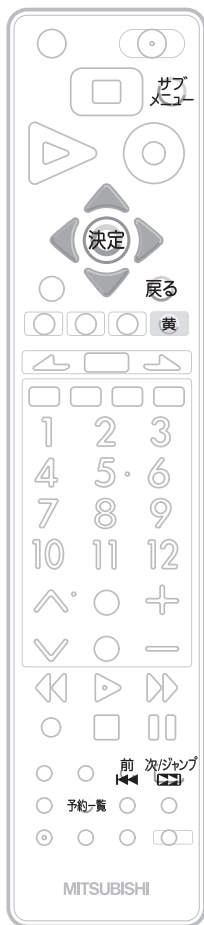
2 ◀▶ で「外部入力からの生成」に移動する

3 ▲▼ で設定を変更し、決定 を押す

「する(スポーツ)」… ハイライト部分の情報を盛り込むとき。
「する(音楽)」……. 楽曲部分の情報を盛り込むとき。
「しない」………… 情報を盛り込まないとき。

4 変更が終わったら
戻る をくり返し押し、通常画面に戻す

お知らせ

- 他の機器から外部入力で予約する場合、ハイライト部分と楽曲部分の情報のどちらか一方だけを盛り込んで録画することができます。

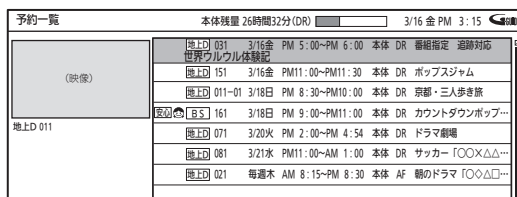
予約の確認・変更・削除をする

設定済みの予約を確認する（「予約一覧」画面の表示）

1 予約一覧 を押す

● 「予約一覧」画面が表示されます。

予約一覧　本体残量 26時間32分（DR）　3/16 金 PM 3：15

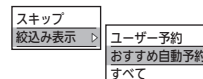
（映像）
地上D 011

地上D 031	3/16金	PM 5：00~PM 6：00	本体	DR	番組指定 追跡対応 世界ウルウル体験記
地上D 151	3/16金	PM11：00~PM11：30	本体	DR	ポップスジャム
地上D 011−01	3/18日	PM 8：30~PM10：00	本体	DR	京都・三人歩き旅
安心 BS 161	3/18日	PM 9：00~PM11：00	本体	DR	カウントダウンポップ…
地上D 071	3/20火	PM 2：00~PM 4：54	本体	DR	ドラマ劇場
地上D 081	3/21水	PM11：00~AM 1：00	本体	DR	サッカー「○○×△△…
地上D 021	毎週木	AM 8：15~PM 8：30	本体	AF	朝のドラマ「○◇△□…

■一覧に表示される予約の種類 P.105（すべて、ユーザー予約だけ、おすすめ自動録画だけ）を絞り込みたいときは

① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

② ▲▼ で「絞込み表示」を選び、決定 を押す

③ ▲▼ で表示方法を選び、決定 を押す

スキップ
絞込み表示 ▷　ユーザー予約
　　　　　　　おすすめ自動予約
　　　　　　　すべて

■別のページを表示するときは

前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押します。

2 確認が終わったら 戻る を押し、通常画面に戻す

● 次回に「予約一覧」画面を表示するときは、上の一覧の切り換えは保持されず、「すべて」の予約の一覧が表示されます。

お知らせ

● 「予約一覧」画面は、「メニュー」→「録る（番組表・予約）」→「予約変更・確認」でも、表示することができます。P.184

「予約一覧」画面の見かた

（例）「すべて」の予約を表示する設定にしているとき

選択中の予約
● 背景が青色になります。

およその残量時間 P.110

現在時刻

受信中の放送や外部入力の映像
（2番組同時録画中は黒画面となります）

現在のページ/総ページ

ガイド表示

予約一覧　本体残量 26時間32分（DR）　3/16 金 PM 3：15

地上D 031	3/16金	PM 5：00~PM 6：00	本体	DR	番組指定 追跡対応 世界ウルウル体験記
地上D 151	3/16金	PM11：00~PM11：30	本体	DR	ポップスジャム
地上D 011−01	3/18日	PM 8：30~PM10：00	本体	DR	京都・三人歩き旅
安心 BS 161	3/18日	PM 9：00~PM11：00	本体	DR	カウントダウンポップ…
地上D 071	3/20火	PM 2：00~PM 4：54	本体	DR	ドラマ劇場
地上D 081	3/21水	PM11：00~AM 1：00	本体	DR	サッカー「○○×△△…
地上D 021	毎週木	AM 8：15~PM 8：30	本体	AF	朝のドラマ「○◇△□…

1/1ページ

赤 新規予約　黄 予約消去
選択　決定 変更　戻る 戻る　サブ サブメニュー

番組指定：番組指定予約で予約した番組
時刻指定：時刻指定予約で予約した番組
追跡対応：自動追跡の対応番組 P.126
見どころ再生マーク：見どころ再生の対象番組

ユーザー（本体のみ）

予約一覧
上から録画開始時刻の早い順に並びます。
（並び順は自動的に変わります。）

重○、重×：予約重なり P.114
重○：その番組の全部が録画されます
重×：その番組の全部または一部が録画されません
● 重なっている予約は、背景が黄色になります。

安心、発掘：おすすめ自動録画（本体のみ）P.124
● 予約内容を変更した場合は、マークが消え、ユーザー予約に変わります。

スキップ：予約スキップ中の予約 P.129
➤：追跡対応だが追跡できていない予約 P.126
◉：録画中の予約

一時的に毎週/毎日録画をやめる（予約スキップ）

祝日などでその週/日の番組の放送がない場合、予約をそのまま残して録画だけ実行されないようにすることができます。

● 予約スキップの設定をした予約は、1回だけスキップされます。（次回からは録画されます。）

1 P.128（「予約一覧」画面の表示）の手順1で「予約一覧」画面を表示したあと
▲▼ で一時的に毎週/毎日録画をやめたい予約を選ぶ

2 **サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する**

3 **「スキップ」が選ばれているので、決定 を押す**

スキップ
絞込み表示

予約一覧　本体残量 26時間32分（DR）　3/16 金 PM 3：15 G-GUIDE

（映像）
地上D 011

	地上D	031	3/16金	PM 5：00~PM 6：00	本体	DR	世界ウルウル体験記
	地上D	151	3/16金	PM11：00~PM11：30	本体	DR	ポップスジャム
	地上D	011−01	3/18日	PM 8：30~PM10：00	本体	DR	京都・三人歩き旅
安心	BS	161	3/18日	PM 9：00~PM11：00	本体	DR	カウントダウンポップ…
	地上D	071	3/20火	PM 2：00~PM 4：54	本体	DR	ドラマ劇場
	地上D	081	3/21水	PM11：00~AM 1：00	本体	DR	サッカー「〇〇×△△…
スキップ	地上D	021	毎週木	AM 8：15~PM 8：30	本体	AF	番組指定　追跡対応 朝のドラマ「〇◇△□繁盛物語」

● 予約スキップを設定した予約には、「スキップ」が表示されます。

4 設定の変更が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

■ 予約スキップを中止するときは

「予約一覧」画面で予約スキップを中止する予約を選び、手順3で「スキップ解除」のまま 決定 を押すと、「スキップ」が消えます。

設定済みの予約の内容を変更する

録画実行中の予約は変更できません。

1 P.128（「予約一覧」画面の表示）の手順1で「予約一覧」画面を表示したあと
▲▼ で変更したい予約を選び、決定 を押す

2 **◀▶ で変更したい項目に移動し、▲▼ で内容を変更する**

3 **◀▶ で「予約確定」に移動し、決定 を押す**

● 予約が確定し、予約一覧画面に戻ります。
● 予約が重なっているときは、重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。
● 自動予約の内容を変更したときは、安心 や 発掘 マークが消え、ユーザー予約に変わります。

4 設定の変更が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

不要な予約を取り消す

予約の取り消しは1予約ずつのみとなります。
録画実行中の予約の取り消しはできません。録画を停止させると取り消されます。P.130

番組表から予約を取り消す

1 番組表を表示中に
「予」が表示されている番組で、予約を取り消したい番組を選ぶ P.119

2 **決定 を押して、「予」を消す**

3 予約の取り消しが終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

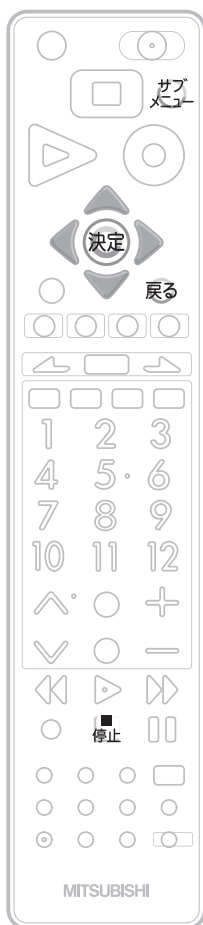
「予約一覧」画面から予約を取り消す

1 P.129（「予約一覧」画面の表示）の手順1で「予約一覧」画面を表示したあと
▲▼ で取り消したい予約を選ぶ

2 **黄 を押す**

3 **◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す**

4 予約の取り消しが終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

録画実行中の予約の録画を停止する

1番組だけ録画している場合

1 追っかけ再生中や、録画/再生を同時に行っているときのみ
停止 を押して、再生を停止する

■ 録画一覧画面が表示される場合は
戻る を押して通常画面に戻します。

2 停止 を押す

■ このあと、確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

2番組同時録画中の場合

1 追っかけ再生中や、録画/再生を同時に行っているときのみ
停止 を押して、再生を停止する

■ 録画一覧画面が表示される場合は
戻る を押して通常画面に戻します。

2 停止 を押す

● サブメニュー画面が表示されます。

3 ▲▼ で録画を停止したい番組の「録画を停止する」を選び、決定 を押す

（例）

サブメニュー
録画を停止する【地デジ】【011ch】
録画を停止する【地デジ】【051ch】

4 録画中のもう一方の番組も録画を停止する場合は
もう一度、停止 を押す

■ このあと、確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

お知らせ

- 録画を停止すると、その番組の予約が取り消されます。（毎週/毎日録画の設定は残ります。）
- 停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 停止した位置までが、1番組（タイトル）となります。
- 録画中に、サブメニュー画面から録画を停止することもできます。
  ① 録画中に サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  ② ▲▼ で録画を停止したい番組の「録画を停止する」を選び、決定 を押す

他の機器の映像を録画する

CATV（ケーブルテレビ）で受信している番組を録画する

ビデオ2入力、i.LINK（TS）入力

事前に、次の接続と設定を確認・変更しておいてください。
設定が間違っていると、正しく録画できません。

- 本機とケーブルテレビのアンテナやホームターミナル/セットトップボックスの接続 P.30・35

  他の機器から外部入力で録画する場合は、ビデオ2入力、i.LINK（TS）入力だけから録画できます。
- 「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「外部音声選択」の設定 P.208（工場出荷時の設定：ステレオ）
- 二重音声を録画する場合は、「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「二重音声選択」、「外部音声選択」の設定 P.208

お願い!

- **録画中や録画予約をしたときは、必ず主電源（本体右側 P.20）を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**

  録画中は、本体の予約/録画表示灯 P.20 が赤色でゆっくり点滅します。

ビデオ2入力から録画・録画予約する

ビデオ2入力 本体 BD-RE BD-R

デジタル放送のハイビジョン映像は、標準画質で録画されます。

一発録画するときの例

本体 のみ

1 ケーブルテレビのセットトップボックス
録画するチャンネルに合わせる

2 本機
入力を「ビデオ2」に切り換える P.66

3 本機
一発録画する P.118

- 自動で録画は停止しません。［停止］で停止してください。

録画予約で録画するときの例

本体 BD-RE BD-R

1 ケーブルテレビのセットトップボックス
録画するチャンネルに合わせる

2 本機
入力を「ビデオ2」に切り換える P.66

3 本機
時刻指定予約をする P.122

4 ケーブルテレビセットトップボックス
予約開始時刻に、電源が入っているようにしておく

- 電源が入っていないと、録画できません。

i.LINK(TS)入力からの録画・録画予約をする

i.LINK(TS)入力 **本体**

デジタル放送のハイビジョン映像を、ハイビジョン画質のままで録画できます。

i.LINK(TS)入力から録画予約をするときは、必ず P.227 の「機能設定」画面の「高速起動設定」の設定を「入」にしてください。（「切」にすると録画できません。）

お願い！

- P.114 の「i.LINK(TS)入力から録画･録画予約する場合の補足事項」や、P.278 の「【解説】i.LINK(TS)入力からの録画」もご覧ください。

一発録画するときの例

1 ケーブルテレビのi.LINK(TS)セットトップボックス
録画するチャンネルに合わせる

2 本 機
入力を「i.LINK」に切り換える P.66

3 本 機
一発録画する P.118
- 自動で録画は停止しません。■停止 で停止してください。

録画予約で録画をするときの例

1 本 機
入力を「i.LINK」以外に切り換える
P.66

2 ケーブルテレビのi.LINK(TS)セットトップボックス
i.LINKの設定をし、本機がi.LINK機器として認識されていることを確認する

3 ケーブルテレビのi.LINK(TS)セットトップボックス
録画予約の設定をする
- 録画機器を「D-VHS」に、録画モードを「自動」に設定してください。（本機には録画モードDRで録画されます。）

4 本 機
電源を切る
- 録画予約の開始時刻になると、自動的に本機の録画が始まります。（本機の電源が切のときは自動的に電源が入り、録画が始まります。）
- 録画予約の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

お知らせ

- i.LINK(TS)入力からの録画を予約するときは、番組の最初の部分が録画されない場合があるため、録画開始時刻を多少早めに設定しておくことをおすすめします。
- i.LINK(TS)入力から録画予約で本機に録画する場合は、録画モードDRで録画されます。

i.LINK(TS)入力から録画・録画予約する場合の補足事項

- **i.LINK(TS)入力から録画予約する場合は、必ず** P.227 **の「機能設定」画面の「高速起動設定」を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**
- i.LINK(TS)入力から録画中に、本機の操作を行うと録画が中断することがあります。
  また、次のような場合、本機の状態によってはi.LINK(TS)入力からの録画予約が開始されない場合があります。
  - ・本機を操作中
  - ・本機の他の動作(録画、ダビング、ネットワーク、各種設定など)を実行中
  - ・本機の電源が入ってから操作可能になるまで
- ディスクが挿入された状態で本機の電源を入れた場合、本機が操作可能になるまでに時間がかかり、i.LINK(TS)入力からの録画予約が開始されない場合があります。
  i.LINK(TS)入力から録画予約する場合は、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
- i.LINK(TS)入力から録画中に、本機の電源を切らないでください。
- i.LINK(TS)入力から録画する番組は、2番組同時録画できません。
- 本機からケーブルテレビのセットトップボックスを操作したり、セットトップボックスから本機を操作したりすることはできません。
- ケーブルテレビのセットトップボックスによっては、i.LINK(TS)端子からは録画できない場合があります。
- ケーブルテレビの専用チャンネル(地上デジタル/アナログ、BSデジタル、110度CSデジタル以外)の番組をi.LINK(TS)入力から録画予約して本機に録画した場合、その番組に対して次の再生はできません。
  - ・ 見どころ再生
  - ・ シーン検索

- **本機の予約とi.LINK(TS)入力からの予約が重なった場合は、** P.269 **をご覧ください。**
- P.278 **の「【解説】 i.LINK(TS)入力からの録画」もご覧ください。**

スカパー！ＨＤ対応チューナーから録画する（「スカパー！ＨＤ録画」）

本体

事前に、次の接続と設定を確認・変更しておいてください。
設定が間違っていると、正しく録画できません。

- 本機とスカパー！ＨＤ対応チューナーの接続 P.36
- ネットワーク設定 P.211
- 「スカパー！ＨＤ録画」をするときは、必ず P.214 「通信設定」画面の「ホームサーバー設定」–「ホームサーバー機能」の設定を「入」にする（「切」にすると録画できません）

お願い！

- **録画中や録画予約をしたときは、必ず主電源（本体右側 P.20）を「入」にしておいてください。「切」にすると録画できません。**
  録画中は、本体の予約/録画表示灯 P.20 が赤色でゆっくり点滅します。
- **P.135 の『「スカパー！ＨＤ録画」をする場合の補足事項』や、P.279 の『【解説】「スカパー！ＨＤ録画」』もご覧ください。**

お知らせ

- 番組の最初の部分が録画されない場合があります。
- 視聴制限のある番組は、録画一覧画面、ダビング一覧画面などに表示されないことがあります。視聴制限を解除すると、表示されるようになります。

スカパー！ＨＤ対応チューナーから録画・録画予約をする

現在放送中の番組を録画するときの例

1 スカパー！ＨＤ対応チューナー
本機が録画先になるように設定する

- 設定については、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

2 スカパー！ＨＤ対応チューナー
録画するチャンネルに合わせる

3 スカパー！ＨＤ対応チューナー
スカパー！ＨＤ対応チューナーのリモコンを操作し、現在放送中の番組の録画を開始する

- 録画番組の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

お知らせ

- 本機の電源が切のときは自動的に電源が入り、録画が始まります。この場合、電源入から録画ができる状態になるまでしばらく時間がかかりますので、録画の最初の部分は録画されません。

録画予約で録画するときの例

1 スカパー！ＨＤ対応チューナー
本機が録画先になるように設定する

- 設定については、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

2 スカパー！ＨＤ対応チューナー
録画予約の設定をする

- スカパー！ＨＤ対応チューナーで設定した予約が、本機の「予約一覧」画面に登録されます。

3 本　機
予約を確認する P.128

- 本機には録画モードDRで録画されます。
- 接続しているスカパー！ＨＤ対応チューナーによって、または視聴制限がある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。視聴制限を解除すると、表示されるようになります。
- 録画予約の開始時刻になると、自動的に本機の録画が始まります。
- 録画予約の終了時刻になると、録画が自動的に停止します。

お知らせ

- 予約によっては、番組の最初の部分が録画されないことがあります。

スカパー！ＨＤ対応チューナーからの録画予約の設定の変更・取り消し

録画予約の設定の変更

- 本機では変更できません。
- 本機とスカパー！ＨＤ対応チューナーの電源を入れた状態で、スカパー！ＨＤ対応チューナー側で変更してください。

録画予約の設定の取り消し

- 本機とスカパー！ＨＤ対応チューナーの電源を入れた状態で、スカパー！ＨＤ対応チューナー側で取り消しを行ってください。自動的に本機の予約一覧から消去されます。
  スカパー！ＨＤ対応チューナー側で取り消し操作を行っても本機の予約一覧から消去されない場合は、本機の予約一覧画面から取り消しを行ってください。

「スカパー！ＨＤ録画」をする場合の補足事項

- **「スカパー！ＨＤ録画」をするときは、必ず** P.214 **「通信設定」画面の「ホームサーバー設定」－「ホームサーバー機能」の設定を「入」にしてください。「切」にすると録画できません。**
- スカパー！ＨＤのデータ放送、ラジオ放送は本機に録画できません。
- 地上デジタル放送を受信可能なスカパー！ＨＤ対応チューナーから、地上デジタル放送を本機に録画予約することはできません。本機側で録画予約してください。
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」番組の場合は、最初の部分が録画されないことがあります。
- ディスクが挿入された状態で本機の電源を入れた場合、本機が操作可能になるまでに時間がかかり、「スカパー！ＨＤ録画」の録画開始が遅れる場合があります。
  「スカパー！ＨＤ録画」をする場合は、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
- 「スカパー！ＨＤ録画」の録画中に、本機の主電源を切らないでください。
- ネットワーク環境により、通信速度が遅い場合は録画が停止することがあります。
- 本機からスカパー！ＨＤ対応チューナーを操作したり、スカパー！ＨＤ対応チューナーから本機を操作したりすることはできません。
- 視聴制限のある番組は、録画一覧画面、ダビング一覧画面などに表示されないことがあります。視聴制限を解除すると、表示されるようになります。
- 次のような場合、録画したスカパー！ＨＤの番組の字幕表示の入/切や文字スーパーの記録はできません。
  - スカパー！ＨＤ対応チューナーが字幕や文字スーパーの出力に対応していないとき
  - 標準画質の番組のとき
  - 「スカパー！ＨＤ録画」した番組を等速ダビングするとき
  - 本機以外で「スカパー！ＨＤ録画」した番組のとき
- 「スカパー！ＨＤ録画」した番組に対して、次の再生はできません。
  - 見どころ再生
  - シーン検索

- **「スカパー！ＨＤ録画」と他の動作が重なったときは、** P.115 ～ 117 **をご覧ください。**
- P.279 **の『【解説】「スカパー！ＨＤ録画」』もご覧ください。**

スカパー！放送サービスおよびご契約内容の変更に関するお問い合わせは

（2012年4月現在）

スカパー！カスタマーセンター
0570-039-888（PHS・IP電話のお客様は045-287-7777）
受付時間　10：00 ～ 20：00　<年中無休>

電話番号はお間違いのないようにお願いします。
お電話いただく前に、有料放送役務契約約款（http://www.skyperfectv.co.jp/top/legal/yakkan/）の内容をご確認ください。
※個人情報の取扱いに関しましては、プライバシーポリシー（http://www.skyperfectv.co.jp/privacypolicy/）に記載しております。

録画した番組を本体と外付の間で移動する

本体/外付間の番組の移動について

本体と本機に接続・登録した外付の間で番組を移動することができます。
（外付の接続については P.50、外付の登録については P.52 をご覧ください。）

■ 外付に移動した番組は、外付を登録したこの機器でのみ、本体に録画した番組と同様に次のような操作ができます。（同一形名の当社モデルでも利用できません。）

- 再生
- 番組の消去、番組名の変更、ユーザーの変更、番組保護/保護解除
- 外付→BD-RE/-R、DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）への高速ダビング

● 外付に移動した番組は、次のような操作はできません。（本体に移動して操作してください。）
- 再生中のカメラアングル切換
- 番組の部分削除/分割
- 家庭内ネットワーク機能を利用して家庭内ネットワーク機能対応テレビ（プレーヤー機器）から視聴　など

■ 移動できる番組は、録画モードDR、AF ～ AEの番組だけです。

● 次の番組は、移動できません。
- 録画モードXP ～ EPの番組
- 保護されている番組
- ネットワークからダウンロードしたコンテンツ

以下は、自動移動のみできません。
- おすすめ自動録画された番組
- 録画モード変換予定番組
- 家庭内ネットワーク機能を利用して本機から送信中の番組

■ 本体/外付間の番組の移動方法には、自動移動と手動移動があります。（番組のコピーはできません。）

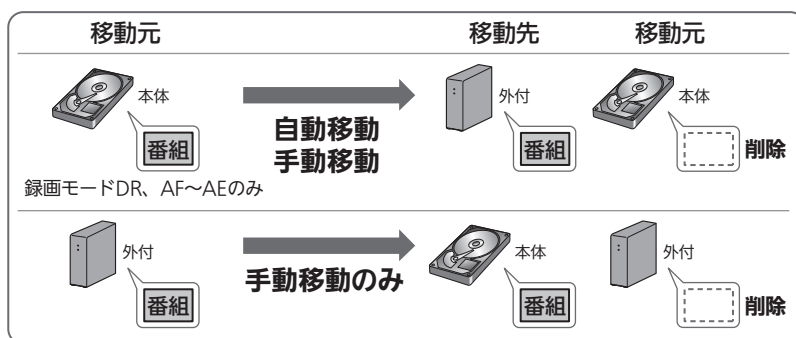
● 自動移動は、本体の残量が少なくなったときに、本機の電源の入/切に関係なく、番組自動移動設定の指定時間内で番組を自動的に外付に移動します。
● チャプターマーク、録画モード、映像・音声・字幕などの情報が、そのまま引き継がれます。

■ 移動の実行時間は、高速ダビングのときと同等となります。

● 録画モードを変更することはできません。

■ 番組の移動完了後は、移動元の番組が削除されます。

■ 本体/外付間の番組の移動は、何度でも可能です。

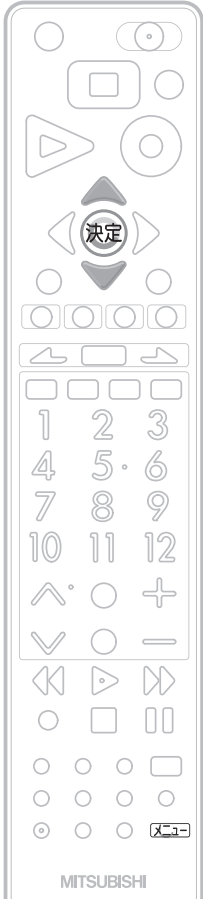
● コピー回数も保持されます。

気を付けて

● 番組の移動中は、外付の電源を切ったり、本機や外付の電源コードやUSBケーブルを抜かないでください。本体/外付の録画内容が損失したり、故障する恐れがあります。

● 外付を取り外すときは、必ず P.55 の方法で取り外してください。
● ハードディスクは録画内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。大切な録画（録音）内容は、BD/DVDディスクに保存しておくことをおすすめします。
● 万一本機が故障して主要な部品を取り替えたり、本機を交換した場合、外付の登録情報が削除され、外付の再登録（初期化）が必要となります。再登録（初期化）すると、外付の内容がすべて消去されます。

本体の残量が少なくなったときに、番組を外付に自動的に移動する(番組自動移動)

本体 → 外付 のみ

工場出荷時は、「AM2：00 ～ AM6：00」(午前2時～午前6時)の間に自動移動するように設定されています。
同時操作の組み合わせなどによって番組自動移動が中断することがありますので、本機で録画をしないことが多い時間帯を指定してください。

番組自動移動するための指定時間を変更するとき

1 メニュー を押す

メニュー
録る(番組表・予約)
見る(再生)
残す(ダビング)
取り込む(ダビング)
移動する(ダビング)
テレビ操作
お知らせ
設定

設定
画質設定
音声設定
録画・再生設定
通信設定
機能設定
初期設定
節電アシスト設定
設定初期化

2 ▲▼ で「設定」を選び、 決定 を押す

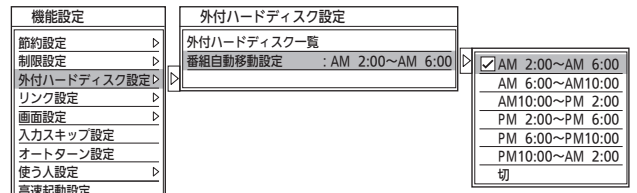
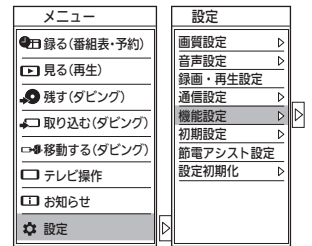
3 ▲▼ で「機能設定」を選び、 決定 を押す

4 ▲▼ で「外付ハードディスク設定」を選び、 決定 を押す

5 ▲▼ で「番組自動移動設定」を選び、 決定 を押す

6 ▲▼ で指定時間を変更し、 決定 を押す

■ **自動的に移動しないようにするときは**
「切」に設定します。

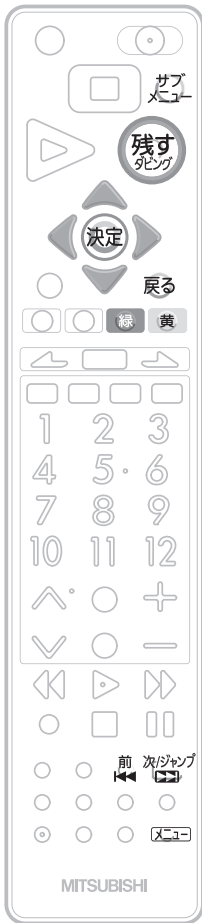
7 変更が終わったら
メニュー を押し、通常画面に戻す

番組自動移動の実行について

- 本体の残量が約12時間(地上デジタル放送を録画モードDRで録画時)以下になったときに実行されます。
- 次のすべての条件を満たしているときに、保護されていない録画日付の古い番組から順に自動移動が実行されます。
  - 「番組自動移動設定」が「切」以外に設定されている
  - 「番組自動移動設定」で設定された指定時間内
  - 自動移動対象の番組がある
  - 一番古い自動移動対象番組の容量よりも外付の残量のほうが多い
  - 本機の電源入時に外付が接続されている
    (本機の電源切時に接続した外付は登録が確認できないため、未接続となります。)
- 自動移動は、本機の電源の入/切に関係なく実行されます。
- 「番組自動移動設定」で設定された指定時間を過ぎると、自動移動を終了します。
- 自動移動終了時点で実行中の移動は中止となり、次回の自動移動時に再びその番組の最初から移動します。
- 番組自動移動中に、番組自動移動よりも優先順位の高い動作(録画予約の録画実行、ダウンロード更新など)が始まったときは、その時点で実行中の移動は中止となり、次回の移動可能なときに再びその番組の最初から移動します。
- 自動移動させないようにするときは、P.161 で番組を保護してください。

お知らせ

- 番組自動移動中に番組表を表示するなど、自動移動が中止となるような操作をした場合、自動移動の中止処理完了後に次の動作に移行しますので、通常の操作時より時間がかかります。
- 家庭内ネットワーク機能を利用して家庭内ネットワーク機能対応テレビ(プレーヤー機器)から視聴したい番組は、P.161 で番組を保護して、外付に自動移動されないようにしておいてください。

録画した番組を手動で移動する（番組手動移動）

本体 → **外付**、**外付** → **本体**

1 メニュー を押す

（例）本体→外付に移動するとき

2 ▲▼ で「移動する（ダビング）」を選び 決定 を押す

3

本体→外付に移動するとき

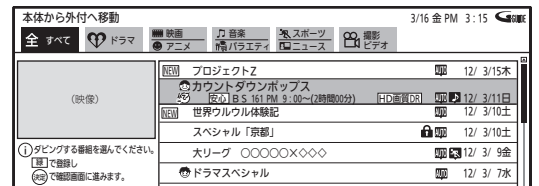
「本体から外付へ番組を移す」で、そのまま 決定 を押す

外付→本体に移動するとき

▲▼ で「外付から本体へ番組を移す」を選び、決定 を押す

- 番組移動用の録画一覧画面が表示されます。

4 ▲▼ で番組移動一覧に登録（追加）する番組を選ぶ

- 移動用の録画一覧には、移動元の番組だけ（ダウンロード番組を除く）だけが表示されます。

■ 別のページを表示するときは

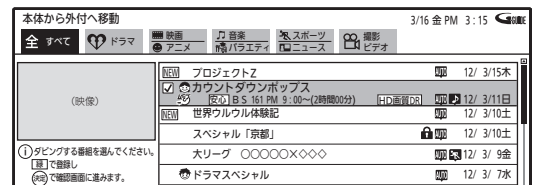
前、次/ジャンプ を押します。

■ 一覧の並び順を変えたいときは

① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲▼ で「並べ替え」を選び、決定 を押す
③ ▲▼ で希望の並び順を選び、決定 を押す

■ ラベルを切り換えるときは

◀▶ で切り換えます。

5 緑 を押し、登録（追加）する番組（1番組目）の左に「☑」を表示する

6

2番組以降を一括して登録（追加）する場合のみ

上記の手順4～5を行い、登録（追加）する番組（2番組目以降）の左に「☑」を表示する（最大18番組まで）

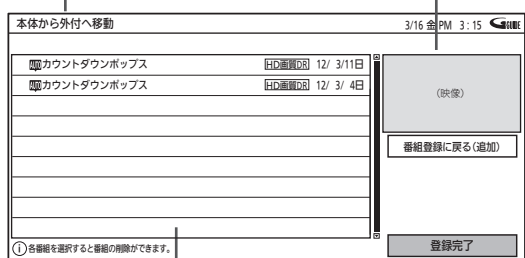
- 2番組目以降を選ぶ場合、ラベルの切り換えはできません。
  複数のラベルをまたがってダビングしたいときは、「全」の一覧から登録してください。

お知らせ

- 1度に移動できるのは、18番組までです。19番組以上を移動したいときは、複数回に分けて移動してください。

次ページへつづく

7 登録(追加)する番組を選び終わったら、決定 を押す

● 番組が登録(追加)された番組移動一覧が表示されます。

■ **確認メッセージが表示される場合は**

◀▶ で「はい」を選び、決定 を押してください。

■ **別の番組を追加するときは**

▲▼ で右側の「番組登録に戻る(追加)」に移動し、決定 を押します。
(左側の一覧が選ばれている場合は、▶ ▲▼ で「番組登録に戻る(追加)」に移動し、決定 を押します。)
番組移動用の録画一覧画面が表示されますので、手順4 ～ 7の操作を行ってください。

■ **番組移動一覧に登録した全番組を削除するときは**

◀▶ で左側の一覧に移動し、緑 を押します。
確認メッセージが表示されますので、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

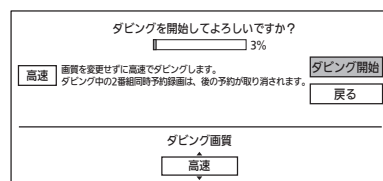
■ **番組移動一覧に登録した一部の番組を削除するときは**

① ◀▶ で左側の一覧に移動する
② ▲▼ で削除したい番組を選ぶ
(別のページを表示するときは、前 、 次/ジャンプ を押す)
③ 黄 を押す
④ 確認メッセージが表示されるので、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

8 右側の「登録完了」が選ばれている場合は、そのまま 決定 を押す

(左側の一覧が選ばれている場合は、▶ ▲▼ で「登録完了」に移動し、決定 を押す)

● 容量が計算されたあと、次の手順の画面が表示されます。

9 「ダビング開始」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

■ **番組手動移動の開始を中止するときは**

「戻る」を選び、決定 を押してください。
(または、戻る を押します。)

番組の移動が始まります。

番組の移動実行中に途中で中止するときは

1 移動実行中に、「中止しています」メッセージが表示されるまで 残す ダビング を押し続ける

2 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

お知らせ

● 番組の移動実行中に、サブメニュー画面から番組の移動を中止することもできます。
① 番組の移動実行中に サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲▼ で「ダビングを中断する」を選び、決定 を押す
③ ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
④ 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

番組の移動実行中に途中で中止したときの番組の内容

● 移動元 ････内容がそのまま残ります。
● 移動先 ････移動しません。

番組の移動実行中に停電があったときは

番組の移動を中止します。

● 停電で番組の移動を中止したときの番組の内容については、上記「番組の移動実行中に途中で中止したときの番組の内容」の場合と同様となります。
● 停電発生の状況によっては、本体や外付の初期化が必要となることがあります。

本体に録画/外付に移動した番組を見る

本機で録画した番組や外付に移動した番組を見るときは、画面に録画一覧画面を表示させて、見たい番組を選んで再生します。

録画した番組の一覧について（録画一覧画面）

録画一覧画面の見かた

（例）本体/外付の録画一覧（全）で日付順に並んでいるとき

※1　本体/外付の録画一覧にだけ、表示されます。
※2　本体/外付の「全」「ジャンル」「外付」の一覧にだけ表示されます。
※3　本体/外付の「全」「ジャンル」の一覧にだけ表示されます。

およその残量時間 P.110
本体/外付の「外付」以外の一覧のとき・・・本体
本体/外付の「外付」の一覧のとき・・・・・・外付
ディスク（BD）の一覧のとき・・・・・・・・ディスク（BD）
の、およその残量時間が表示されます。

ラベル　※1
ラベルごとに下記の内容で分類された番組の録画一覧が表示されます。
- 「全」以外は、表示される番組がないときは薄く表示され選べません。
- 「全」「ジャンル」「撮影ビデオ」には、本体/外付両方の番組が表示されます

全：再生可能なすべての番組
（ネットワークでダウンロードした番組を除く）

ジャンル（ドラマ、映画など）
：番組指定予約で録画した番組のジャンルに該当する番組

撮影ビデオ：デジタルビデオカメラなどからダビングしたAVCHDの動画 P.157

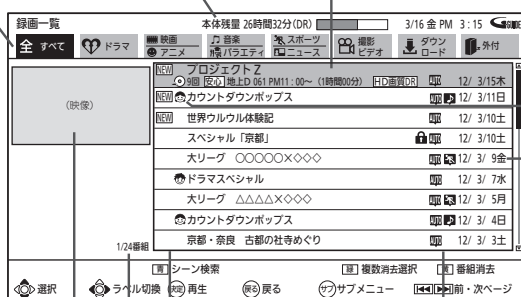
ダウンロード：ネットワークでダウンロードした番組 P.92

外付：外付の番組 P.136

選択中の番組の早見再生（約1.3倍速音声付き）画面
- 録画中の番組は、「録画中のため表示できません」と表示されます。
- 外付の番組を「外付」以外の一覧で選択中は、黒画面に「外付」と表示されます。

選択中の番組の順番/総数

選択中の番組と情報（青色）

9回	：	コピー可能（数字はコピー可能回数） P.106・171
ムーブ	：	ムーブ（移動）のみ可能 P.106・171
安心　発掘	：	おすすめ自動録画で録画された番組　※2 P.124
変換予定→○○	：	録画モード変換予定番組　※3 P.109（○○は変換後の録画モード）

ユーザー　※2

録画番組一覧
- 外付の番組は、背景が薄い青色になります。

ガイド表示

鍵：保護されている番組 P.161

AUTO：おすすめ自動チャプターが記録されていてCMのある番組　※2 P.141・208

見どころ：見どころ再生が可能な番組　※2 P.142

NEW：まだ一度も見ていない（未再生の）番組　※2
- 再生すると消えます。

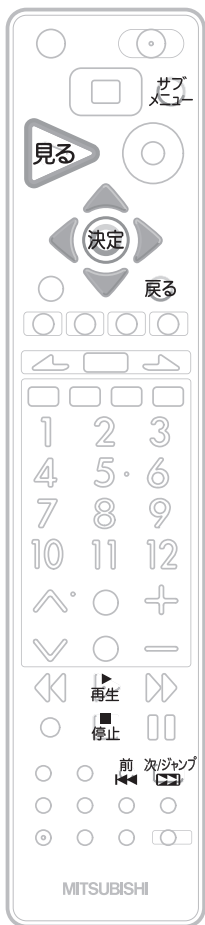
矢印：自動追跡できず、時刻指定で録画された番組　※2 P.126

●：録画中の番組　※3

DLNA：本機と接続したDLNA対応のプレーヤー機器の録画一覧で選択中、または再生中の番組　※3

- 本機の録画一覧画面は、本体/外付、ディスクごとに別々の画面になっています。
- 一覧の並び順は、「番組名順」（本体/外付のみ）、「読み込み順」（ディスクのみ）、「日付順」、「未再生順」から選べます。
日付順、未再生順の番組は、録画日付の新しい順に並びます。
- 番組名順で最初の5文字が同じ名前の番組は、（フォルダー）でまとめて表示されます。（連続ドラマ一括機能）
（フォルダー）内の一覧を表示したいときは、▲▼ で の付いた番組名を選んで決定すると、フォルダー内の一覧が表示されます。フォルダー内から元の一覧に戻るには、戻る を押します。
- 番組の情報欄の録画モードが「変換予定」となっている番組は、録画された際に録画モードがいったんDRで録画され、本機の電源が「切」（主電源は「入」）になってから数分後、録画日時の古い番組から順に（変換順は前後することがあります）自動的に録画モードが変換されます。（録画モード変換予定番組） P.109
- P.201 の「音声設定」画面の「読み上げ設定」－「自動読み上げ」を「入」に設定していると、選択中の番組内容の一部を読み上げます。（複数の読みかたや特殊な読みかたをする場合、本来の読みかたと異なる読みをすることがあります。）
- 番組名をGガイドから引用しているときは、番組名の左に「GG」が表示されます。（本体/外付のみ）

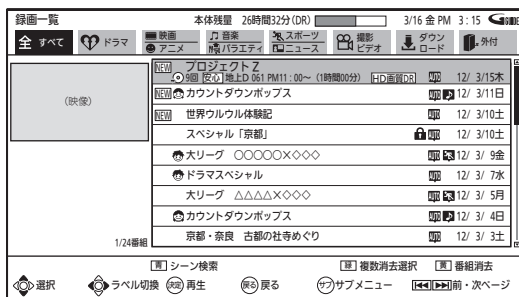
お知らせ

- 本体にダビングした番組や、ビデオ2入力から一発録画した番組は、録画一覧（全）画面にだけ表示されます。
- ダビングした番組は、チャンネル番号が表示されないことがあります。
- 番組の消去・編集をするときは、P.158～165 をご覧ください。
- ファイナライズ中 P.167 や初期化中 P.240 は、再生できません。
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目などで画面が一瞬静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- 録画一覧画面から番組を再生したときは、その番組の再生が終わると自動的に停止し、録画一覧画面に戻ります。
- 本体再生中にSDカードを入れたりUSB機器を接続すると再生が停止し、SDカードやUSB機器の内容を見るための画面が表示されます。

本体に録画/外付に移動した番組全部を見る
(ハードディスクの通常再生)

本体 外付

1 見る を押す

- 録画一覧画面が表示されます。

■ 録画番組再生/ディスク再生の選択画面が表示されるときは
「録画した番組を見る」が選ばれているので、決定 を押す

2 ▲▼ で見たい番組を選ぶ

■ ラベルを切り換えるときは
◀▶ で切り換えます。

■ 別のページを表示するときは
前、次/ジャンプ を押します。

■ 一覧の並び順を変えたいときは
① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲▼ で「並べ替え」を選び、決定 を押す
③ ▲▼ で希望の並び順を選び、決定 を押す

3 再生 または 決定 を押して、再生を始める

- 再生が始まる位置(始めから、続きから)については、P.149 をご覧ください。

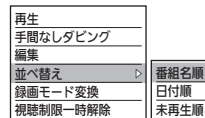
4 再生を停止するときは 停止 を押す

- 再生が停止し、録画一覧画面に戻ります。(停止位置が記憶されます。)
- 再生停止後、戻る を押すと通常画面に戻ります。

再生中に、場面の切りかわるところや本編と CM の変わり目で次の場面までとばしたいときは (おすすめチャプター)

録画一覧画面で「AUTO」が付いた番組には、録画中に場面が切り換わるところや本編とCMの変わり目で、チャプターマークが自動的に記録されています。(おすすめ自動チャプター) P.208

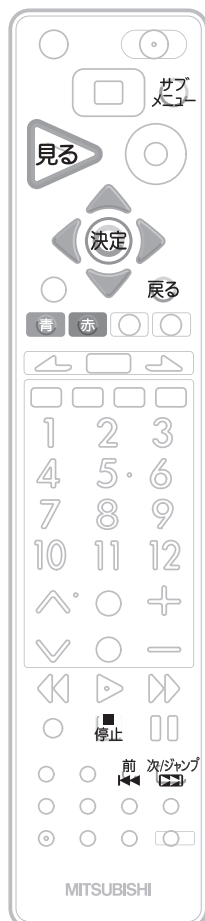
次/ジャンプ を押して、次の場面(チャプターマークの位置)までとばす

- とばされる位置は、録画時のおすすめ自動チャプターの設定(「おすすめ自動1」、「おすすめ自動2」)によって異なります。

お知らせ

- 本体/外付の録画一覧画面は、「メニュー」→「見る(再生)」→「録画一覧」でも、表示することができます。P.184
- 本体/外付の録画一覧画面を表示中に、「サブメニュー」→「再生」で、再生を始める位置(始めから、続きから)を選んで再生することもできます。P.149
- 外付を接続していると、電源「入」時やディスク再生後の録画一覧表示時にしばらく操作ができないことがあります。(外付の情報を取り込んでいるためです。)この場合は、しばらく待ってから操作をしてください。

録画したスポーツ/音楽番組のハイライト/楽曲部分を見る（見どころ再生）

本体 外付

画面にハイライト部分/楽曲部分の情報を表示させて、盛り上がり具合を確認しながらハイライト部分/楽曲部分を検索したり、ハイライト部分/楽曲部分だけを連続して再生することができます。
また、スポーツ番組の場合は、ハイライト部分の再生レベルを変更して再生することができます。

見どころ再生について

■ 見どころ再生をするときは、見どころ再生のハイライト部分/楽曲部分の情報を盛り込んで録画してください。

ハイライト部分/楽曲部分の情報は、次の①、②の両方を行った場合にだけ、番組といっしょに録画されます。

① P.127 「設定」画面の「録画・再生設定」－「録画予約設定」－「見どころ再生情報」で、「見どころ再生情報」の設定を「生成する」に設定する（工場出荷時は「生成する」になっています。）

② 本機の番組指定予約で録画する
または、ケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスやスカパー！ e2のチューナーなど、他の機器から外部入力で予約・録画する

■ 見どころ再生が可能な番組は、本体/外付の録画一覧画面を表示すると、「」「」アイコンが付いています。

… 番組のジャンルが「スポーツ」で、見どころ再生（スポーツ）が可能な番組

… 番組のジャンルが「音楽」で、見どころ再生（音楽）が可能な番組

■ ケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスやスカパー！ e2のチューナーなど、他の機器から外部入力で予約したときは

- スポーツ番組のハイライト部分の情報または音楽番組の楽曲部分の情報のどちらか一方が盛り込まれて録画されます。
- P.127 「設定」画面の「録画・再生設定」－「録画予約設定」－「見どころ再生情報」で、「外部入力からの生成」の設定をスポーツ/音楽のどちらかに設定する必要があります。（工場出荷時は「する（スポーツ）」になっています。）

お知らせ

- 番組によって、次のような場合は見どころ再生が正しくできないことがあります。
  - 番組の構成上、ハイライト部分/楽曲部分の情報が検出しづらいとき。（クラシック音楽番組など）
  - 音楽番組でも、番組表のジャンルが「音楽」になっていないとき。
  - 野球中継などで副音声を選択して録画したとき。
  - 受信状態の悪い番組を録画したとき。（特に音声ノイズが大きいような場合）
  - 他の機器から外部入力で録画時の音量レベルが低いまたは高いとき。
- 録画予約後に、手動で予約のチャンネル、日付（予約日）、開始/終了時刻を変更すると、その番組のハイライト部分/楽曲部分の情報は盛り込まれません。
- 録画予約後に、予約した番組の番組データが変更された場合、その番組のハイライト部分/楽曲部分の情報は盛り込まれません。
  予約当日に、番組表で予約した番組の番組データが変更されていないかどうか確認することをおすすめします。
- 本体へ代理録画された場合は、ハイライト部分/楽曲部分の情報は盛り込まれません。
- 見どころ再生中（見どころ再生の通常再生中を含む）は、次の機能は利用できません。
  - リピート再生　・頭だし　・字幕、カメラアングルの切り換え
- 部分削除、分割した番組は、見どころ再生ができません。

見どころ再生をするときは

本体 外付

1 見る を押す

- 本体/外付の録画一覧画面が表示されます。

■ 録画番組再生/ディスク再生の選択画面が表示されるときは

「録画した番組を見る」が選ばれているので、決定 を押す

2 ▲▼ で見たい番組を選ぶ

■ ラベルを切り換えるときは

◀▶ で切り換えます。

■ 別のページを表示するときは

前⏮、次/ジャンプ⏭ を押します。

■ 一覧の並び順を変えたいときは

① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

② ▲▼ で「並べ替え」を選び、決定 を押す

再生
手間なしダビング
編集
並べ替え ▷
録画モード変換
視聴制限一時解除

番組名順
日付順
未再生順

③ ▲▼ で希望の並び順を選び、決定 を押す

3 サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

4 「再生」で、そのまま 決定 を押す

再生 ▷
手間なしダビング
編集
並べ替え
録画モード変換
視聴制限一時解除

始めから再生
続きから再生
見どころ再生ースポーツ
見どころ再生ー音楽

5 ▲▼ で「見どころ再生ースポーツ」、または「見どころ再生ー音楽」を選び、決定 を押す

- 見どころ再生が始まります。

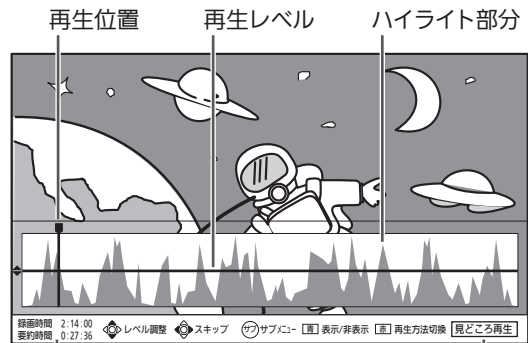
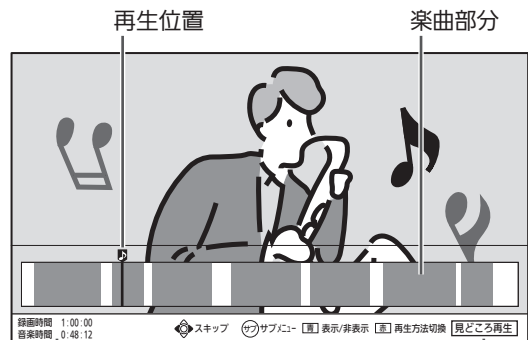
6 見どころ再生をやめるときは ■停止 を押す

- 見どころ再生が停止し、録画一覧画面に戻ります。
- 最後まで再生されたときは、再生一時停止画面となります。■停止 を押すと、録画一覧画面に戻ります。
- 見どころ再生の場合、停止位置は記憶されません。
- 見どころ再生停止後、戻る を押すと通常画面に戻ります。

お知らせ

- 本体/外付の録画一覧画面は、「メニュー」→「見る（再生）」→「録画一覧」でも、表示することができます。P.184

見どころ再生中の画面（レベル表示）と操作

【 見どころ再生（スポーツ）の番組のレベル表示】

【 見どころ再生（音楽）の番組のレベル表示】

■ レベル表示の表示/非表示を切り換えるとき

青 を押すたびに、表示/非表示が切り換わります。

■ 再生方法を切り換えるとき

赤 を押すたびに、見どころ再生と通常再生が切り換わります。

「見どころ再生」のときは

スポーツ番組の場合は再生レベルから上の部分だけ、音楽番組の場合は楽曲部分だけが再生されます。

「通常再生」のときは

全部分が再生されます。

■ 再生中にできること

再生中は、再生速度の切り換え、30秒スキップ、チョット戻し、音声の切り換えができます。

■ 次または前の再生部分までとばすとき

◀▶ または 前⏮、次/ジャンプ⏭ を押すと、次または前の再生部分までスキップします。

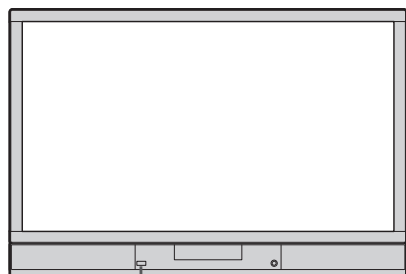
■ 再生レベルを切り換えるとき（ の番組のみ）

▲▼ で再生レベルの位置を上下させ、再生される部分を調整できます。

ディスクを見る

再生可能なディスクの出し入れ

BD-RE BD-R BDビデオ -RW -R DVDビデオ 音楽用CD

再生可能なディスクの種類については P.100 ～ 102 をご覧ください。

トレイ開/閉ボタン

1 トレイ開/閉ボタン（本体前面）を押して、ディスクトレイを開く

- ディスクトレイが開くまで、しばらく時間がかかることがあります。

2 【ディスクを入れる場合】
本機で再生可能なディスクを、光った面を下にしてディスクトレイの上に置く

■ 両面ディスクを再生するときは
再生する面を下にしてください。

【ディスクを取り出す場合】
ディスクをトレイから取り出す

3 トレイ開/閉ボタン（本体前面）を押して、ディスクトレイを閉める

- ディスクを入れたときは、ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
- 録画済みのディスクを入れたときは、このあとディスク再生/ダビング選択画面が表示されます。
- 市販のディスクを入れたときは、このあと自動的に再生が始まるものがあります。

**●ディスクの読み込み中や初期化（フォーマット）中は、本機の電源を切ったり主電源（本体右側）を「切」にしないでください。
ディスクの破損や本体が故障する原因となります。**

お願い！

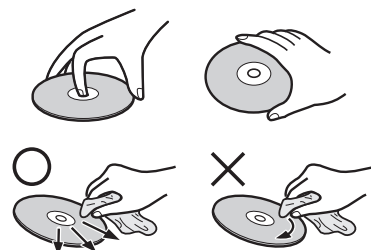
●新品（未使用）のディスクを入れると、初期化/ダビング/取り出しの選択画面が表示されます。P.172

お知らせ

- 録画中（本体の予約/録画表示灯がゆっくり赤点滅）はディスクの種類により再生ができない場合があります。くわしくは、「録画中の同時操作について」P.116 をご覧ください。

ディスクの持ちかた

ディスクの端または中央を持ち、記録・再生面（光っている面）には手を触れないでください。

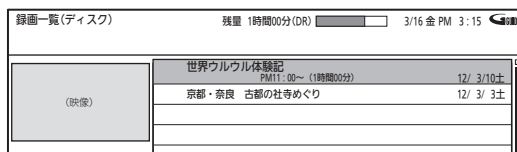
指紋が付いたり汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。
布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。
市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

ディスクに録画した番組を見る（ディスクの再生）

BD-RE　BD-R　-RW (AVCREC)　-R (AVCREC)　-RW (VR)　-R (VR)

1 再生したいBD/DVDを入れる P.144

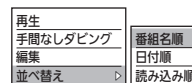
2 ディスク再生/ダビングの選択画面が表示されるので
「ブルーレイ™/DVDを見る」が選ばれているので、を押す

- BD/DVDの録画一覧画面が表示されます。

3 ▲▼で見たい番組を選ぶ

■ 別のページを表示するときは

前⏮、次/ジャンプ⏭ を押します。

■ 一覧画面に表示する並び順を変えたいときは

① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
② ▲▼で「並べ替え」を選び、決定 を押す
③ ▲▼で希望の並び順を選び、決定 を押す

4 ▶再生 または 決定 を押して再生を始める

- 再生が始まる位置（始めから、続きから）については、P.149 をご覧ください。

5 再生を停止するときは
■停止 を押す

- 再生が停止し、録画一覧画面に戻ります。（停止位置が記憶されます。）
- 再生停止後、戻る を押すと通常画面に戻ります。

■ 続けて同じBD/DVDを見ないときは

トレイ開/閉ボタン（本体前面）を押して、BD/DVDを取り出しておきましょう。

- 本体に録画した番組を見るときなどに便利です。

同じ BD/DVD の他の番組を見るときは（すでにディスクが入っている状態からディスクの再生をするとき）

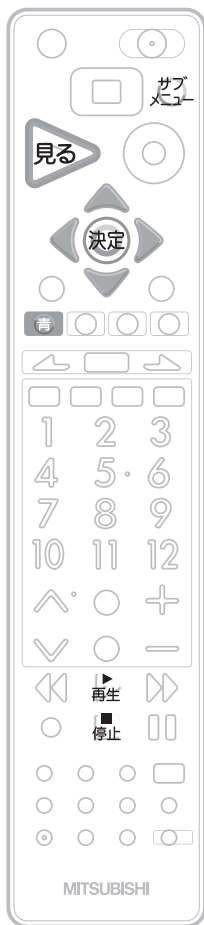
1 見る を押す

2 録画番組再生/ディスク再生の選択画面が表示されるので
◀▶で「ブルーレイ™/DVDを見る」を選び、決定 を押す

- BD/DVDの録画一覧画面が表示されます。

3 上記の手順3 ～ 5を行う

お知らせ

- BD/DVDの録画一覧画面は、「メニュー」→「見る（再生）」→「BD/DVDトップメニュー /録画一覧」でも、表示することができます。P.184
- DVD-RW（Video）/-R（Video）をファイナライズ P.167 したディスクは、録画一覧画面を表示して再生することができません。P.147 でディスクメニューから再生してください。
- **他社のBDレコーダーなどでディスクにPINコードが設定されているときは**
本機で使用するときにPINコードの入力画面が表示されます。
1 ～ 10 で設定されたPINコードを入力し、決定 を押してください。
本機では、PINコードの設定や変更はできません。

市販のソフトを見る・聞く（ソフトの再生）

BDビデオ DVDビデオ 音楽用CD

1 再生したいディスクを入れる P.144

- ディスクによっては、自動的に再生が始まります。
- 音楽用CDの場合は、音楽用CDの再生画面が表示されます。

■ **ディスクを入れるとディスクのメニュー画面が表示される場合は**
画面の指示に従って操作してください。

2 自動的に再生が始まらない場合は 再生 を押して、再生を始める

- 再生が始まる位置（始めから、続きから）については、P.149 をご覧ください。

3 再生を停止するときは 停止 を押す

- 再生が停止します。（BDビデオ/DVDビデオの場合は、停止位置が記憶されます。）P.149

4 トレイ開/閉ボタン（本体前面）を押して、ディスクを取り出す

- 続けて見ないときは、ディスクを取り出しておくと、本体に録画した番組を見るときなどに便利です。

お知らせ

- **BD/DVDの2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。**
- DVD-RW（Video）/-R（Video）をファイナライズ P.167 したディスクは、録画一覧画面を表示して再生することができません。
P.147 でディスクメニューから再生してください。
- 市販のソフトの再生中は、テレビ放送と比べて音量が小さく感じられます。おすすめ音量 P.199 を「標準」にしておくと、音量操作が自動的に行われ便利です。
- ディスクの再生が終わると、最後の場面で一時停止となったりディスクメニューが表示されたりすることがあります。
この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付けを起こすことがありますので、お気を付けください。（P.16「画面の残像について」）
- 録画中（本体の予約/録画表示灯がゆっくり赤点滅）は録画モードにより再生ができない場合があります。くわしくは、「録画中の同時操作について」P.116 をご覧ください。
- BDビデオ/DVDビデオは、「メニュー」→「見る（再生）」→「BD/DVDトップメニュー /録画一覧」でも、再生を始めることができます。P.184
- 音楽用CDは、「メニュー」→「見る（再生）」→「音楽CD再生」でも、再生を始めることができます。P.184

BD ビデオ /DVD ビデオのディスクが入っている状態からソフトの再生をするときは

BDビデオ DVDビデオ

1 ディスクが入っている状態のときに

を押す

2 録画番組再生/ディスク再生の選択画面が表示されるので

で「ブルーレイ™/DVDを見る」を選び、決定 を押す

- 自動的に再生が始まります。

3 P.146（ソフトの再生）の手順2 ～ 4を行う

ディスクのメニューやトップメニュー、ポップアップメニューから操作するときは

メニューやポップアップメニューがある BDビデオ DVDビデオ

ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。
また、BDビデオの場合はポップアップメニューを表示して、再生を止めずにいろいろな操作ができます。
ディスクによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクの説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

1 再生中に、サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

2 ▲▼ で「ディスクメニュー」を選び、決定 を押す

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換

3 ▲▼ で希望のメニューを選び、決定 を押す

BDビデオの場合

ポップアップメニュー
トップメニュー

DVDビデオの場合

トップメニュー
メニュー

4 ▲▼◀▶ で希望のタイトルや項目を選び、決定 を押す

音楽用 CD のディスクが入っている状態からソフトの再生をするときは

音楽用CD

1 ディスクが入っている状態のときに

を押す

2 録画番組再生/ディスク再生の選択画面が表示されるので

で「CDを聴く」を 選び、決定 を押す

- 自動的に再生が始まります。

3 P.146（ソフトの再生）の手順2 ～ 4を行う

- 音楽用CDの場合は、再生が停止すると音楽用CDの曲再生一覧画面が表示されます。（停止位置は記憶されません。）

音楽用 CD の再生中に、音楽用 CD の曲再生一覧画面を表示して操作するときは

音楽用CD

1 音楽用CDの再生中に、 青 を押す

- 音楽用CDの曲再生一覧画面が表示されます。

曲再生一覧
▶ トラック01 02 : 01/03 : 22

♪ トラック01	03 : 22
トラック02	04 : 20
トラック03	05 : 11
トラック04	03 : 45

- ボタンを押すごとに、音楽用CDの再生画面と曲再生一覧画面が切り換わります。

2 ▲▼ で聴きたい曲番号を選ぶ

曲再生一覧
▶ トラック01 02 : 07/03 : 22

♪ トラック01	03 : 22
トラック02	04 : 20
トラック03	05 : 11
トラック04	03 : 45

3 再生 または 決定 を押して再生を始める

4 P.146（ソフトの再生）の手順3 ～ 4を行う

お知らせ

- 音楽用CDの再生画面や曲再生一覧画面は、30数秒間操作をしないと自動的に消えます。（消画）
再び画面を表示するときは、電源以外の何かのボタンを押してください。消画が解除されますが、押したボタンの動作はしません。

ディスクを見る（つづき）

BDビデオの子画面の映像・音声や字幕のスタイルを切り換える

ピクチャー・イン・ピクチャー対応の BDビデオ
字幕スタイル切換対応の BDビデオ

子画面（ピクチャー・イン・ピクチャー）対応のBDビデオソフトでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。また、字幕スタイル対応のBDビデオソフトでは、字幕のスタイルを選ぶことができます。

- 子画面の再生のしかたは、BDビデオソフトの取扱説明書をご覧ください。

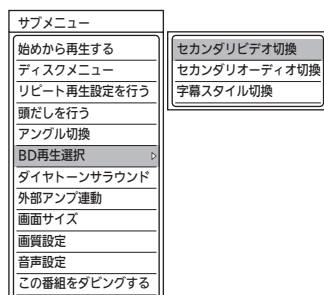
1 BDビデオの再生中に、サブメニュー を押す

2 ▲▼ で「BD再生選択」を選び、決定 を押す

- 子画面の設定は、親画面/子画面の同時再生中にだけ設定できます。

3 ▲▼ で希望の項目を選び、決定 を押す

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
BD再生選択
ダイヤトーンサラウンド
外部アンプ連動
画面サイズ
画質設定
音声設定
この番組をダビングする

セカンダリビデオ切換
セカンダリオーディオ切換
字幕スタイル切換

「セカンダリビデオ切換」
･･･ 子画面の映像を切り換えるとき。
「セカンダリオーディオ切換」
･･･ 子画面の音声を切り換えるとき。
「字幕スタイル切換」
･･･ 字幕のスタイルを切り換えるとき。

4 ▲▼ で希望の設定に切り換える

- セカンダリビデオ切換で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまでしばらく時間がかかります。

BD-Live対応のBDビデオを楽しむ

BD-Live対応の BDビデオ

BD-Live対応のBDビデオソフトでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなど、いろいろな機能を楽しむことができます。

ほとんどのBD-Live対応のBDビデオソフトでは、BD-Live機能を利用して再生するために、他のメディア（ローカルストレージ）にコンテンツのデータをダウンロードする必要があります。
本機では、SDカードをローカルストレージとして使用します。
SDスピードクラスのCLASS 2以上で、残量が1GB以上あるSDカードをお使いください。（SDカードが挿入されていない場合、BD-Live機能は利用できません。）

- 次のような場合は、BDビデオソフトの説明書をご覧ください。
  - ・利用できるBD-Live機能や、再生のしかた。
  - ・インターネットに接続してBD-Live機能を利用するためにアカウントの取得が必要な場合の取得方法。
  - ・SDカードへのダウンロードのしかた。

1 ネットワークの接続と設定を行う（本機のネットワークの接続は、必ずLAN2端子に接続してください） P.40・211

2 「録画・再生設定」画面の「再生設定」－「BD-LIVE接続設定」を、「有効」または「有効（制限つき）」に設定する P.204

3 SDカードを入れる P.154

4 BD-Live対応のBDビデオソフトを入れる P.144

お知らせ

- 他のデータが入ったSDカードや、他の機器でフォーマットされたSDカードを使用すると、正しく再生されないことがあります。その場合は、 P.241 でSDカードを初期化するか、他のSDカードをお使いください。
- SDカードにダウンロードしながら再生する場合、通信環境によっては再生が一時的に停止することがあります。また、ダウンロードが完了していない部分へスキップができないなど、一部の機能が利用できないことがあります。
- 再生中、映像や音声が停止することがあります。
- 再生中に、レコーダーやディスク認識IDをインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 次のような場合、再生を停止することがあります。
  ・録画中　・２番組同時録画中　・ダウンロード中、など

いろいろな見かた

停止した位置の続きから見る（つづき再生・リジューム停止）

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW（AVCREC） -R（AVCREC） -RW（VR） -R（VR） DVDビデオ

通常再生を停止すると、つづき再生の停止状態になり、停止位置が記憶されます。停止位置は電源を切っても記憶しています。

本体 / 外付 / ディスク別では

■ 本体/外付の場合は

番組ごとに停止位置が記憶されます。

- 見どころ再生の停止位置は記憶されません。

■ BD/DVD、動画（AVCHD） P.157 の場合は

停止位置が記憶されます。

- BDビデオ/DVDビデオでは、停止位置が記憶されないものがあります。

■ 音楽用CD、静止画（JPEG） P.155 の場合は

停止位置は記憶されません。

次のような場合は、記憶した停止位置が解除されます

- 停止中に、［停止］を押したとき。
  本体/外付では、直前に見ていた番組の停止位置が解除されます。
- 番組の削除や、番組/ディスクの編集をしたとき。
  この場合、削除や編集をしていない番組の停止位置も解除されます。
- 初期化をしたとき。

以下は、ディスクのみ

- ディスクトレイを開けたとき。
- ディスクのメニューを表示したとき。 P.147
- ファイナライズをしたとき。 P.167

など。

再生が始まる位置について

操作のしかたによって、再生が始まる位置（始めから、続きから）が変わります。

■ ［再生］を押して、すぐに再生を始めるときは
■ 本体/外付の録画一覧画面から［決定］を押して、すぐに再生を始めるときは

停止位置を記憶しているとき

- 記憶している停止位置（続き）から再生が始まります。

停止位置を記憶していないとき

- 番組の始めから再生が始まります。

■ 本体/外付の録画一覧画面から［サブメニュー］を押して、サブメニューから再生を始めるときは
■ BD/DVDの録画一覧画面から［決定］または［サブメニュー］を押して、サブメニューから再生を始めるときは

再生を始める位置（始めから、続きから）を選んで再生します。

① 録画一覧画面を表示中に、［サブメニュー］を押してサブメニュー画面を表示する

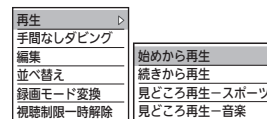
② ▲▼で「再生」を選び、［決定］を押す

③ 再生を始める位置を選んで再生する

記憶している停止位置（続き）から再生するとき
▲▼で「続きから再生」を選び、［決定］を押す

始めから再生するとき
「始めから再生」のまま、［決定］を押す

再生 ▷
手間なしダビング
編集
並べ替え
録画モード変換
視聴制限一時解除

始めから再生
続きから再生
見どころ再生ースポーツ
見どころ再生ー音楽

お知らせ

- つづき再生が始まる位置は、停止位置によって多少ずれることがあります。
- ディスクによっては、つづき再生ができないことがあります。
- 再生中に、「サブメニュー」→「始めから再生する」で、番組の先頭から再生を始めることもできます。 P.186
- 停止中に、「メニュー」→「見る（再生）」→「続きから再生」で、記憶している停止位置（続き）から再生を始めることもできます。 P.184

お知らせ

- コマ戻し中は、番組のつなぎ目部分でコマ飛びして再生されないことがあります。
- ディスクによっては、再生速度の変更ができないことがあります。
- 市販の3D対応BDビデオでは、音声付き早送り（早見再生）はできません。

再生速度を変えて見る･聞く

一部を除き、音声は出ません。

早く見る/聞く（早送り/早戻し）

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ 音楽用CD

再生中に、早戻し、早送り を押す

- 押すたびに、再生速度が5段階で切り換わります。
- 音楽用CDの再生速度の切り換えはできません。音楽用CDの早送り/早戻し中は、およその再生位置が確認できる程度の音声が断続的に出ます。
- 再生 を押すと、通常の速さに戻ります。

音声付きで早く見る（早見再生）

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ

再生中に、早送り を1回押す

- 音声付きの約1.3倍速の早送りになります。
- 再生 を押すと、通常の速さに戻ります。

再生を一時的に止める（再生一時停止）

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ 音楽用CD

再生中に、一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。
- 再生 を押すと、通常の再生に戻ります。

ゆっくり見る（スロー /逆スロー再生）

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ

再生一時停止中に、早戻し、早送り を押す

- 押すたびに、再生速度が2段階で切り換わります。2でより遅くなります。
  （録画モードAF ～ AEで録画された番組を逆スロー再生する場合は、1と2で同じ速度になります。）
- BDビデオやAVCHDで録画された動画の逆スロー再生はできません。
- 再生 を押すと通常の再生に、一時停止 を押すと再生一時停止に戻ります。
- スロー /逆スロー再生を約5分続けると、再生一時停止に戻ります。

コマを進める/戻す（コマ送り/コマ戻し）

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ

再生一時停止中に、前、次/ジャンプ を押す

- 押すたびに、コマが進み/戻ります。
- BDビデオやAVCHDで録画された動画のコマ戻しはできません。
- 再生 を押すと、通常の再生に戻ります。

見たい番組や場面までとばす

見たい／聞きたいところまでとばす（スキップ）

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ 音楽用CD

再生中に、前、次/ジャンプ を押す

- 押すたびに（連続10回まで）、チャプターやトラックがとばされます。

30秒単位で先にとばす（30秒スキップ） 15秒単位で前に戻す（チョット戻し）

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ

再生中に、チョット戻し、30秒スキップ を押す

- 30秒スキップは、押すたびに（連続10回まで）、約30秒ずつ最大5分先の場面までとばされます。
- チョット戻しは、押すたびに（連続10回まで）、約15秒ずつ最大2分30秒前の場面まで戻ります。

番号や時間を指定してとばす（頭だし）

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) DVDビデオ 音楽用CD

1 再生中または再生一時停止中に、サブメニュー を押す

2 ▲▼ で「頭だしを行う」を選び、決定 を押す

サブメニュー
- 始めから再生する
- ディスクメニュー
- リピート再生設定を行う
- 頭だしを行う
- アングル切換

3 ▲▼ で希望の頭だしを選ぶ

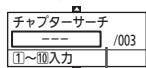
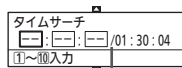
- 押すたびに、頭だしの種類が切り換わります。
- 再生中の本体、外付、ディスクの種類によって、選べる頭だしの種類が異なります。
  - ・本体、外付 ‥‥‥‥ チャプター、タイム（時間）
  - ・BD、DVD ‥‥‥‥‥ チャプター、頭だし（タイトル）、タイム（時間）
  - ・音楽用CD ‥‥‥‥‥ 頭だし（トラック）、タイム（時間）

（例） チャプターのとき

チャプターサーチ
--- /003
①～⑩入力

頭だしする番号/総数

タイムのとき

タイムサーチ
--:--:-- /01 : 30 : 04
①～⑩入力

頭だしする時間/総時間（時間 : 分 : 秒）

4 1 ～ 10 で番号または時間を入力し、決定 を押す

- 入力を間違えたときは、黄 を押します。
- 指定した番号または時間までとばされます。

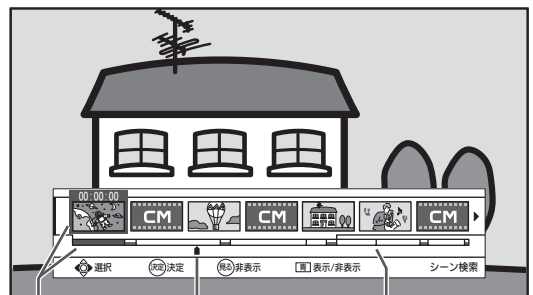
見たい場面を選んでとばす（シーン検索）

本体 外付

「自動チャプターマーク」P.208 を「おすすめ自動1」または「おすすめ自動2」に設定して録画した番組だけ、シーン検索できます。

1 再生中または録画一覧画面を表示中に、青（シーン検索）を押す

- 録画一覧画面を表示中は、再生が始まります。
- 画面下部に、場面（シーン）が7画面まで表示されます。

（例）

2 ◀ ▶ で希望の場面を選んで、決定 を押す

- 選んだ場面までとばされます。
- 現在表示されている場面よりも前/先の場面があるときは、◀ ▶ を押していくと前/次の画面が表示されます。（最大99画面まで）

- 表示される場面（シーン）は、録画したときの「自動チャプターマーク」の設定（「おすすめ自動1」か「おすすめ自動2」か）によって異なります。
- 番組の構成によっては、シーン検索の場面（シーン）が表示されないことがあります。
- シーン検索で選んだ場面と実際の場面の切り換わり位置は、ずれることがあります。
- シーン検索の場面の代わりに、「番組」と表示されることがあります。

3 検索が終わったら 戻る を押し、シーン検索画面を消す

お知らせ

- とびこすチャプターやトラック、時間がないときは、見たい番組や場面までとばすことができません。
- ディスクによっては、見たい番組や場面までとばすことができないことがあります。
- 次の場合は、シーン検索できません。
  - ・「自動チャプターマーク」を「おすすめ自動1」、「おすすめ自動2」以外に設定して録画した番組
  - ・部分削除や分割した番組

くり返して見る（リピート再生）

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ 音楽用CD

1 再生中に、サブメニュー を押す

2 ▲▼ で「リピート再生設定を行う」を選び、決定 を押す

サブメニュー
始めから再生する
ディスクメニュー
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換

3 ▲▼ で希望のリピート再生を選ぶ

- 再生中の本体、外付、ディスクの種類によって、選べるリピート再生の種類が異なります。
  - ・本体、BD、DVD ‥‥ チャプター、番組
  - ・外付 ‥‥‥‥‥‥‥ 番組
  - ・音楽用CD ‥‥‥‥‥ ディスク、トラック
- リピート再生が始まります。

4 リピート再生をやめるときは
手順3のときに、「オフ」を選ぶ

■ リピート再生をやめて、再生も停止するときは
停止 を押します。

お知らせ

- リピート再生中に録画一覧画面を表示すると、リピート再生が解除されます。
- ディスクによっては、リピート再生ができないことがあります。

他の機器で作成したプレイリストを再生する（プレイリスト再生）

BD-RE BD-R -RW(VR) -R(VR)

録画一覧画面表示中に、青 を押すとプレイリストの一覧画面が表示されますので、再生したいプレイリストを選んでください。

本機では、プレイリストの作成や編集はできません。

録画中の番組を最初から見る（追っかけ再生）

本体

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら（停止させずに）番組の最初から見ることができます。

1 録画中に、見る を押す

- ハードディスクの録画一覧画面が表示されます。

■ 再生ディスクの選択画面が表示されるときは
「録画した番組を見る」が選ばれているので、決定 を押す

2 ▲▼ で録画中の番組（◉）を選ぶ

3 再生 を押して、追っかけ再生を始める

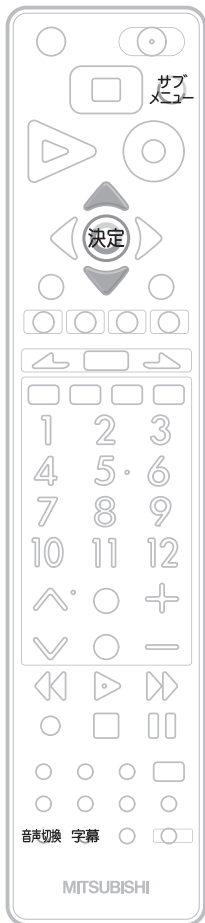
4 追っかけ再生をやめるときは
停止 を押す

- 再生が停止します。（録画は続きます。）

■ このあと、録画も停止させるときは
P.130 をご覧ください。

お知らせ

- 録画開始直後の15秒程度は、追っかけ再生ができません。
- 追っかけ再生中に早送りなどを行って、再生が録画に追いついた場合は、自動的に再生が停止します。（録画は続きます。）
- 追っかけ再生中にスキップや頭だしなどを行って、再生が録画に追いつく場合は、その操作は実行できません。
- 追っかけ再生中は、通常再生になります。（見どころ再生はできません。）

再生中の切り換え

音声(言語)、字幕(言語)、カメラアングルを切り換える

音声(言語)を切り換える

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ

再生中の番組に複数の音声(主音声/副音声など)や音声言語が記録または収録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。

再生中に、音声切換 を押す

- 押すたびに、音声(主音声、副音声など)や音声言語が切り換わります。
- BDビデオでは、連続しての切り換え操作はできません。

字幕(言語)を切り換える

本体 外付 BD-RE BD-R BDビデオ -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) DVDビデオ

再生中の番組に複数の字幕言語が記録または収録されているときは、字幕の言語を選んだり、字幕表示の入/切を選んだりすることができます。(本機で録画した番組の場合は、録画モードDR、AF ～ AEで録画した番組だけ切り換えできます。P.111)

再生中に、字幕 を押す

- 押すたびに、字幕言語が切り換わります、または字幕が入/切します。
  (字幕がない場合は、何も表示されません。)
- 字幕 を押したあと、▲▼ で切り換えることもできます。
- ボタンを押してから表示が切りかわるまで時間がかかることがあります。
- BDビデオでは、連続しての切り換え操作はできません。

カメラアングル(見る角度)や映像を切り換える

本体 BD-RE BD-R BDビデオ DVDビデオ

再生中の番組に複数のカメラアングルや映像が記録または収録されているときは、映像を選んだり、見る角度を選ぶことができます。(外付の番組は切り換えできません。)
- カメラアングルが選べる場面では、画面に「🎥」が表示されます。

1 再生中に、サブメニュー を押す

サブメニュー
始めから再生する
リピート再生設定を行う
頭だしを行う
アングル切換
ワイドサラウンド

2 ▲▼ で「アングル切換」を選び、決定 を押す

3 ▼ で希望の映像やカメラアングルに切り換える

お知らせ

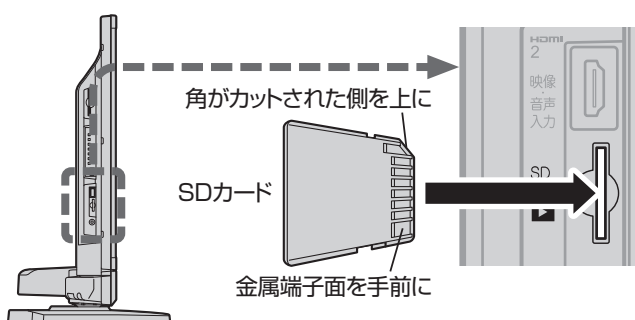
- BD/DVDビデオソフトの場合、音声、字幕、カメラアングルの内容はディスクによって異なりますので、ディスクの説明書もご覧ください。
- BD/DVDビデオソフトによっては、ディスクメニュー P.147 を使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。
- ディスクによっては、本機では音声言語、字幕言語、カメラアングルの切り換えができないことがあります。
- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 本機の電源を切ったりディスクトレイを開けたりすると、音声の設定が P.204 「録画・再生設定」画面の「再生設定」−「音声言語設定」の設定に戻ります。(BD/DVDビデオによっては、そのディスクで決められている言語になります。)
  また、「アングル切換」の設定が「1」に戻ります。
- P.202 の「音声設定」画面の「光音声出力設定」を「自動」に設定して二重音声を再生しているときは、デジタル音声(光)出力端子から出力している音声を、本機の「音声切換」操作で切り換えることはできません。この場合は、「光音声出力設定」を「PCM」に設定するか、アンプ側で切り換えてください。
- いろいろな速度での再生中は、字幕は表示されません。
- カメラアングルのアイコン「🎥」は、P.204 の「録画・再生設定」画面の「再生設定」−「アングルアイコン」で表示されないように設定することもできます。

SDカードやUSB、CDの写真を見る

パソコンやデジタルカメラなどでJPEG形式の写真を記録したCD-RW/-RやSDカードを本機で再生することができます。
また、JPEG形式の写真を記録したUSB機器と本機をUSBケーブルで接続すると、本機で再生することができます。

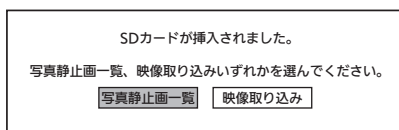
●SDカードやUSB機器の読み込み中・動作中は、次のことを行わないでください。
本機、SDカード、USB機器の故障や、記録されているデータの破損の原因となります。
- **本機やUSB機器の電源を切ったり、本機の主電源を切る**
- **電源コード、SDカード、USBケーブルを抜く**

SDカードの出し入れ

SD

入れるときは

SDカードの角がカットされた側を上にし、金属端子面を手前にして、奥まで(止まるまで)まっすぐ差し込む

- 写真静止画一覧/映像取り込みの選択画面が表示されます。

SDカードが挿入されました。
写真静止画一覧、映像取り込みいずれかを選んでください。
写真静止画一覧　映像取り込み

取り出すときは

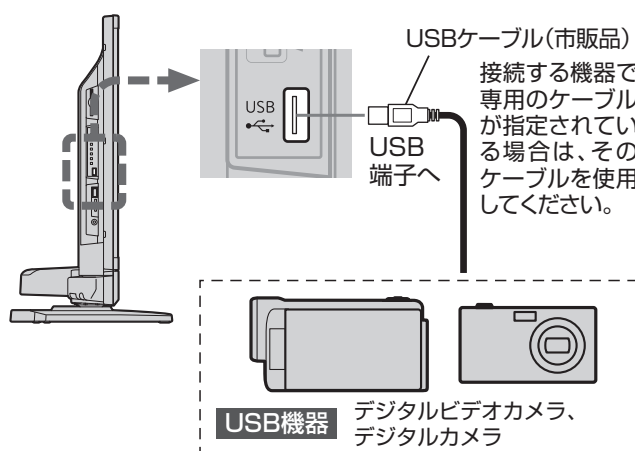
1 SDカードの中央部分を指で押してロックを外したあと、指をゆっくり離す

- ロックを外したあと指を急に離すと、SDカードが勢いよく飛び出して、けがの原因となることがあります。

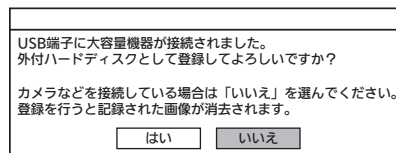
2 SDカードの左右部分を指で持ち、まっすぐに引き出す

USB機器との接続

USB

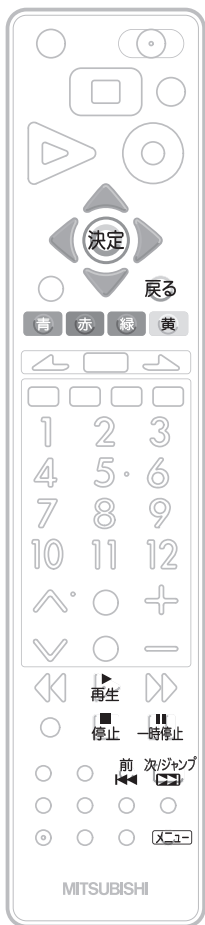
外付を接続しているときは、P.55 の方法で取り外してください。

接続するときは

USBケーブルを本機とUSB機器に接続する

- 接続した機器に設定画面が表示されるときは、パソコンを接続するモードに設定してください。(くわしくは、接続するUSB機器の取扱説明書をご覧ください。)
- 接続すると、次のようなメッセージが表示されたときは、「いいえ」のまま、決定 を押してください。

「はい」で登録(初期化)すると、USB機器内のデータが消去されてしまいますので、登録しないでください。

接続を解除するときは

USBケーブルを本機から外す

本機で利用できるSDカード、JPEG/AVCHD対応のUSB機器については、P.102・156 をご覧ください。

写真を連続して再生する（スライドショー）

CD (JPEG) SD (JPEG) USB (JPEG)

1 JPEGの写真・静止画一覧画面を表示する

CD の場合

①再生したいディスクを入れる P.144

②［メニュー］を押す

③▲▼で「見る（再生）」を選び、［決定］を押す

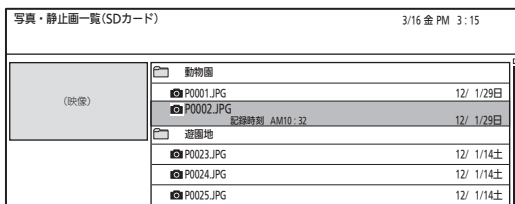
④▲▼で「CD写真・静止画一覧」を選び、［決定］を押す

SD カード、USB 機器の場合

再生したいSDカードを入れる、またはUSB機器を接続する P.154

■写真静止画一覧/映像取り込みの選択画面が表示されるときは
◀▶で「写真静止画一覧」を選び、［決定］を押す

2 ▲▼で見たい写真［カメラ］（ファイル）を選ぶ

写真・静止画一覧（SDカード）		3/16 金 PM 3：15
（映像）	動物園	
	P0001.JPG	12/ 1/29日
	P0002.JPG 記録時刻 AM10：32	12/ 1/29日
	遊園地	
	P0023.JPG	12/ 1/14土
	P0024.JPG	12/ 1/14土
	P0025.JPG	12/ 1/14土

■［フォルダー］（フォルダー）内の一覧を表示するときは
▲▼で 希望のフォルダー（［フォルダー］）を選び、［決定］を押します。

■別のページを表示するときは
［前］、［次/ジャンプ］を押します。

3

連続再生するとき（スライドショー）

［赤］または［再生］を押し、再生を始める

- 選んだ写真（ファイル）と、それ以降に収録されているファイルが連続再生されます。
- 1ファイルの再生時間（表示間隔）は5秒です。
P.204 の「録画・再生設定」画面の「再生設定」ー「JPEGスライドショー」で、10秒に変更することもできます。

選んだ写真（ファイル）だけ再生するとき

［青］または［決定］を押し、再生を始める

■再生中に、ガイド表示を表示するときは
再生が開始されると画面の下にガイド表示が数秒間表示されます。
再生中でガイド表示が非表示のときに［青］を押すと、数秒間表示されます。

次ページへつづく

お願い！

- SDカードに記録するデジタルカメラ/デジタルビデオカメラの場合、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用してJPEG再生や映像取り込み（ダビング）を行ってください。

お知らせ

- SDカード、USB機器の写真・静止画一覧画面は、「メニュー」→「見る（再生）」→「SDカード写真・静止画一覧」、「USB写真・静止画一覧」でも、表示することができます。P.184

■ 再生中の写真を回転させたいときは

再生中に 緑 （左回転）、黄 （右回転）を押します。

● 回転させた情報は記憶されません。

■ 再生中の写真から前/次の写真を表示させたいときは

再生中に ◀（前）、▶（次）を押します。

4 スライドショーの再生を一時停止するときは

赤 または 一時停止 を押す

- 再生が一時停止します。
- もう一度 赤 を押すか 再生 を押すと、再生に戻ります。

5 再生を停止するときは

戻る または 停止 を押す

- 再生が停止し、写真・静止画一覧画面に戻ります。停止したファイルが選ばれています。
- JPEG再生の場合、停止位置は記憶されません。
- 一覧の途中から再生を始めたときは、最後のファイルまで再生されると最初のファイルに戻り、再生を始めたファイルのところまで再生されると停止して一覧画面に戻ります。

6 **SDカードを抜く、USBケーブルをはずす P.154、またはディスクを取り出す**

お知らせ

- 再生できないファイルには、「⃠」が表示されます。
- JPEGの録画一覧画面には、JPEG形式のファイルだけが表示されます。
- 写真や絵の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
- JPEG再生中に録画予約の録画が始まると、JPEG再生は自動的に停止します。
- 録画中やダビング中は、JPEG再生はできません。
- JPEG形式以外のファイルは再生できません。
- 記録状態などによっては、一覧に表示されるファイルでも再生できないことがあります。
- JPEG再生中に再生できないファイルがあった場合は、再生を中止して録画一覧画面に戻ります。
- USB機器からJPEG再生中または映像取り込み（ダビング）中に、「USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。」というメッセージが表示されたときは、本機の操作ができなくなります。
  その場合は、USBケーブルの接続を外してください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。

本機で利用できるSDカードについて

- 本機は、SD規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされたSDHCカードと、FAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDカードに対応しています。
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。
- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。

本機で利用できるJPEG/AVCHD対応のUSB機器について

- 本機で利用できるJPEG/AVCHD対応のUSB機器は、USBマスストレージクラス（大容量データ記憶装置の1つに分類されるUSBの機器タイプ）に対応した、デジタルビデオカメラ、デジタルカメラだけです。
- 上記以外のUSB機器は接続しないでください。USB機器や本体の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
  また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は、保障しておりません。
- 本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本体の故障の原因となります。

本機で再生できるJPEG形式について

- データ名の右端に「jpg（JPG）」、「jpeg（JPEG）」が付いた、Exif 2.1準拠のJPEG圧縮データだけが再生できます。
  ただし、上記の拡張子が付いたファイルでも、JPEG形式で記録されていないものは、再生するとノイズが出ることがあります。
- 最大255フォルダー、999ファイルまで対応しています。
- 画素数は、34×34 ～ 8192×8192まで対応しています。
  画素数の小さなファイルを再生した場合は、拡大して表示されます。
- 一覧のフォルダー /ファイル名は、半角で8文字まで表示されます。
- 使用できるディスクは、ISO9660でフォーマットされているCD-RW/-Rだけです。
- 記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。
- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
- Motion JPEGには対応していません。

デジタルビデオカメラで記録されたハイビジョン画質の動画を見る

ハイビジョン対応デジタルビデオカメラなどでディスクに撮影されたAVCHDのハイビジョン画質の動画を、本機で再生することができます。(録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけが再生可能です。)
また、本機の本体にダビングしたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生することができます。

ディスクに撮影されたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生する

DISC(AVCHD)

1 再生したいディスクを入れる P.144

2 再生 を押す

■ ディスクを入れるとディスクのメニュー画面が表示されるときは
ディスクによってメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクを録画した機器の説明書をお読みください。
ここでは、一般的な操作の例を示します。

▲▼◀▶ ････ 希望のタイトルや項目を選びます。
決定 ･･････････ 決定します。

3 再生を停止するときは
停止 を押す

● 再生が停止します。(停止位置が記憶されます。)

本体にダビングしたAVCHDのハイビジョン画質の動画を再生する

本体

1 見る を押す

● 本体/外付の録画一覧画面が表示されます。

■ 録画番組再生/ディスク再生の選択画面が表示されるときは
「録画した番組を見る」が選ばれているので、決定 を押す

2 ◀▶ で録画一覧(🎥)画面に切り換える

● 録画一覧(🎥)画面は、本体にダビングしたAVCHDの動画がない場合は選べません。

3 ▲▼ で見たい番組を選ぶ

4 再生 または 決定 を押して、再生を始める

● 再生が始まる位置(始めから、続きから)については、P.149 をご覧ください。

5 再生を停止するときは
停止 を押す

● 再生が停止します。(停止位置が記憶されます。)

AVCHDで記録された動画の再生中に、次の再生が利用できます。P.150 ～ 153

- 通常再生
- 早送り/早戻し
- 早見再生
- 再生一時停止
- スロー再生
- コマ送り
- スキップ
- 30秒スキップ
- チョット戻し
- 頭だし
- リピート再生
- 音声切換
- 字幕切換

(逆スロー再生、コマ戻しはできません。)

お知らせ

● AVCHD準拠でない動画は、再生できません。
● SDカードやUSB機器に記録されたAVCHDの動画は、本機で直接再生することはできませんが、本体に取り込む(ダビングする)ことができます。P.181
● 本体/外付の録画一覧画面は、「メニュー」→「見る(再生)」→「録画一覧」でも、表示することができます。P.184

番組の消去・編集について

番組の編集の制限

本機でできる番組の消去・編集について（本機の録画中にできる消去・編集は下表をごらんください）

機能 ○：できる ×：できない、または該当なし	本体	外付	BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR)	-RW (Video) -R (Video)
1番組の削除、複数番組の一括削除	○	○	○	×
再生中のチャプターマークの追加･削除		○	○	
番組の部分削除、番組の分割		×	×	
番組名の変更		○	○	
ユーザーの変更		○	×	
番組の保護/保護解除		○	○	

本機の録画中にできる番組の消去・編集について

機能 ○：できる ×：できない、または該当なし	本体 の録画中				BD-RE BD-R の録画中		
	本体 録画済みの番組	本体 録画中の番組	外付	BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR)	本体	外付	BD-RE BD-R
1番組の削除、複数番組の一括削除	○	×	○	×	○	○	×
再生中のチャプターマークの追加･削除	○		○	○		○	
番組の部分削除、番組の分割	×		×	×		×	
番組名の変更	○		○	○		○	
ユーザーの変更	○		○	×		○	
番組の保護/保護解除	○		○	○		○	

お知らせ

● 番組やディスクが保護されているときは、番組の消去や他の編集はできません。
- 一部のBD-Rでは、本機で編集できない場合があります。
- ネットワークでダウンロードした番組のチャプター追加/削除、部分削除、分割などの編集はできません。
- DVD-R/DVD-R DL(片面2層)ディスクの編集(番組名やチャプターの変更、ダビング)を約200回以上行うと、ディスク残量にかかわらず編集ができなくなります。

ダビングすると「ムーブ（移動）」になる部分を含んでいる番組の編集について

- 「ムーブ(移動)」になる部分を一部でも含んでいる番組をダビングする場合は、「ムーブ(移動)」でダビングされます。
- 本体に録画された番組で、「ムーブ(移動)」になる部分だけを部分削除した場合や、「ムーブ(移動)」になる部分と「コピー」になる部分を分割した場合でも、部分削除・分割後の番組は「ムーブ(移動)」になります。(「コピー」にはなりません。)

番組を消去（削除）したときの残量時間について

本体 外付 BD-RE -RW (VR)

番組を消去(削除)すると、残量時間が増えます。

BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -R (VR)

番組を消去(削除)しても、残量時間は増えません。
DVD-RW(AVCREC)は、番組を消去(削除)しても残量時間を増やすことはできません。初期化(再フォーマット)P.241 による録画内容の全消去のみになります。

最大記録可能数 / 登録数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大記録可能数/登録数は、ディスクの傷や汚れ、停電などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

本体
- 番組数 …… 1000
- 1番組あたりのチャプター数 …… 997

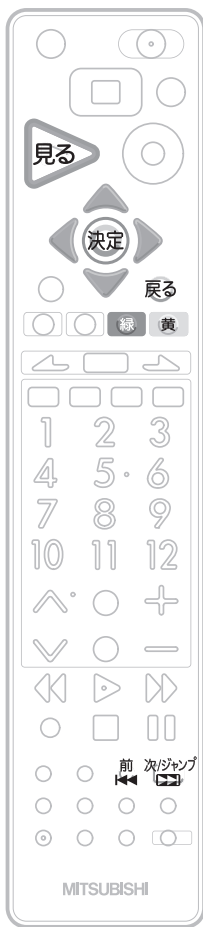
外付
- 番組数（本体からの移動のみ） …… 1000
- 1番組あたりのチャプター数 …… 997

BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC)
- 番組数 …… 200
- 1番組あたりのチャプター数 …… 100
- ディスク全体のチャプター数 …… 999

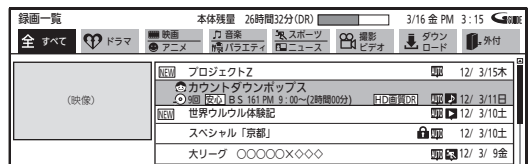
-RW (VR) -R (VR)
- 番組数 …… 99
- ディスク全体のチャプター数 …… 999

番組を消去する

気を付けて

●削除(消去)された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。

不要な番組を1番組だけ削除する

本体 外付 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 を押して録画一覧画面 P.141・145 を表示し、不要な番組を選ぶ

2 黄 を押す

3 ◀ ▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

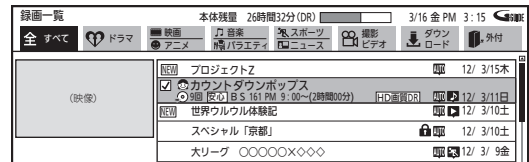
● 番組が削除されます。

4 削除が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

複数の不要な番組を一括削除する

本体 外付 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 見る を押して録画一覧画面 P.141・145 を表示し、不要な番組(1番組目)を選ぶ

2 緑 を押して、削除するする番組(1番組目)の左に「☑」を表示する

3 ▲▼ で削除する番組(2番組目)を選ぶ

● 2番組目以降を選ぶときは、ラベル P.140 の切り換えはできません。

■別のページを表示するときは、前、次/ジャンプ を押します。

4 緑 を押して、削除する番組(2番組目)の左に「☑」を表示する

5 手順3、4をくり返し、一括削除する番組に「☑」を表示させる
(最大20番組まで)

■削除を取り消すときは、「☑」の番組を選んで 緑 を押し、「☑」を消します。

6 黄 を押して、一括削除する番組を確定する

● 確定せずにやめるときは、戻る を押します。

7 ◀ ▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

● 番組が一括削除されます。

8 削除が終わったら
戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

●録画中の番組の消去はできません。P.158

● 1度に消去できるのは、20番組までです。
21番組以上を消去したいときは、複数回に分けて消去してください。

● 複数消去選択中にプレーヤー機器での再生が始まると、チェックマークが消え、消去操作は中止されます。

番組を編集する

お知らせ

- ●録画中の編集の制限については、P.158をご覧ください。
- ●番組やディスクが保護されているときは、番組の消去や他の編集、ダビング制限のある番組のダビングはできません。

チャプターマークを手動で追加・削除する

本体 外付 BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR)

チャプターマークの手動追加・削除は、通常再生（番組全部の再生）時にのみ、行うことができます。

- 見どころ再生時には、チャプターマークの手動追加・削除ができません。

チャプターマークを手動で追加する

通常再生中、通常再生の一時停止中に追加できます。

通常再生中または通常再生の一時停止中に、チャプターマークを追加したい場面が映ったら 緑 を押す

- チャプターマークが追加されます。

チャプターマークを手動で削除する

通常再生の一時停止中に削除できます。

1 通常再生中に、前、次/ジャンプ を押し、スキップで削除したいチャプターまでとばす

2 すぐに 一時停止 を押して、再生を一時停止する

3 黄 を押す

- チャプターマークが削除されます。

お知らせ

- チャプターマークは、録画した番組の始めに自動的に追加されます。録画一時停止中から自動で録画が始まった場合は追加されません。
- 本体の場合は、録画中に自動でチャプターマークを追加することもできます。P.208
- 番組の始めに記録されているチャプターマークは削除できません。
- 見どころ再生中は、チャプターマークの手動追加・削除はできません。

ユーザーを変更する

本体 外付

1 見る を押して録画一覧画面 P.141 を表示し、ユーザーを変更する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「ユーザー変更」を選び、決定 を押す

5 ▲▼ で希望のユーザーアイコンを選び、決定 を押す

- ユーザーは3人まで選べます。

再生	部分削除	なし
手間なしダビング	分割	ユーザー1
編集	番組名変更	ユーザー2
並べ替え	ユーザー変更	ユーザー3
録画モード変換	保護設定	
視聴制限一時解除		

■ 確認メッセージが表示されるときは

◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

6 変更が終わったら

戻る を押し、通常画面に戻す

お知らせ

- ユーザーアイコンは、12種類の中から選ぶことができます。（アイコンの重複はできません。）P.204･207

番組を保護する･保護を解除する

本体 外付 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 見る を押して録画一覧画面 P.141･145 を表示し、保護または保護を解除する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

4 番組を保護するとき

▲▼ で「保護設定」を選び、決定 を押す

- 番組を保護すると、録画一覧画面の番組名に「🔒」が表示されます。

保護されている番組の保護を解除するとき

▲▼ で「保護解除」を選び、決定 を押す

■ 確認メッセージが表示されるときは

◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

5 変更が終わったら

戻る を押し、通常画面に戻す

■本体の残量時間を増やすため、録画モードDRの番組を録画モードAF～AEに変換する（録画モード変換予定番組に変更する）ことができます。 本体

- 録画モード変換予定番組が5番組以上ある場合、操作はできません。

① 録画一覧画面を表示し、希望の番組を選ぶ P.141

② サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

③ ▲▼ で「録画モード変換」を選び、決定 を押す

再生	
手間なしダビング	
編集	DR→AF
並べ替え	DR→AN
録画モード変換	DR→AE
視聴制限一時解除	変換取り消し

④ ▲▼ で希望の変換を選び、決定 を押す

⑤「確認」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

■録画モード変換予定番組の自動変換をやめる（録画モードDRのまま残す）ことができます。 本体

① 上記の手順①～③を行う

② ▲▼ で「変換取り消し」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 録画モード変換予定番組の録画モードの変換動作については、P.109「録画モード変換　予定番組について」をご覧ください。
- 左記の方法で録画モードをDR→AF～AEに変換した番組は
  - ・ 画質が低くなります。
  - ・ マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声が変更され、再生中の切り換えができなくなります。P.111
- 録画モード変換予定番組は、録画一覧画面 P.140 の番組名の録画モード情報欄に次のように表示されます。
  （例）　録画モードDR→AFに変換予定の番組の場合
  　変換前 ･･････ 変換予定➜AF
  　変換終了後 ･･･ HD画質AF
  　変換取り消し後 ･･･ HD画質DR
- 「スカパー!ＨＤ録画」した番組や、「ネットワーク」からダウンロードしたコンテンツ、家庭内ネットワーク機能を利用して本機から送信中の番組は、録画モードの変換はできません。

番組を編集する（つづき）

番組名を変更する

本体 外付 BD-RE BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR)

1 見る を押して録画一覧画面 P.141・145 を表示し、番組名を変更する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、 決定 を押す

4 ▲▼ で「番組名変更」を選び、 決定 を押す

■ 確認メッセージが表示されるときは

◀▶ で「はい」を選び、 決定 を押します。

5 録画一覧画面上で番組名を変更する

（文字の入力のしかたは、右記を参照）

6 すべての文字入力が終わったら

決定 を押して文字入力を終了する

7 変更が終わったら

戻る を押し、通常画面に戻す

文字入力のしかた

入力可能な最大文字数について

番組名、ディスク名

全角で31文字分（半角で62文字分）まで表示されます。

- 表示される画面や表示によって最大表示可能数が異なり、後半部分が表示されないことがありますので、お気を付けください。
- 未確定のまま入力できる文字数は、全角12文字までです。

一覧などで表示可能な最大文字数について

録画一覧画面の番組名、ディスク名

番組名・・・・・・・全角31文字分（半角62文字分）まで表示されます。
ディスク名・・・全角10文字分（半角20文字分）まで表示されます。

画面表示を表示させたときの番組名

全角20文字分（半角40文字分）まで表示されます。

DVD-RW（Video）/-R（Video）のファイナライズ後に表示されるDVDメニューの番組名、ディスク名

番組名・・・・・・・全角12文字分（半角24文字分）まで表示されます。
ディスク名・・・全角24文字分（半角48文字分）まで表示されます。

お知らせ

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。
- 本機でBD-RE/BD-Rの番組名やディスク名を変更した場合、本体→BD-RE/BD-Rにダビングした場合、または他の機器で録画されたり、番組名やディスク名を変更されたBD-RE/BD-Rの場合、本機では一部の文字が以下のように表示されることがあります。
  - カナ（半角）文字は、全角カタカナで表示されます。
  - ①〜⑩、Ⅰ〜Ⅹなどの文字は、空白（全角スペース）で表示されます。

入力できる文字の種類

ボタン	文字の種類			
	漢字（全角かな）	カナ（半角）	英字（半角）	数字（半角）
1 あ	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ	ｱ ｲ ｳ ｴ ｵ ｧ ｨ ｩ ｪ ｫ		1
2 か ABC	か き く け こ	ｶ ｷ ｸ ｹ ｺ	a b c A B C	2
3 さ DEF	さ し す せ そ	ｻ ｼ ｽ ｾ ｿ	d e f D E F	3
4 た GHI	た ち つ て と っ	ﾀ ﾁ ﾂ ﾃ ﾄ ｯ	g h i G H I	4
5 な JKL	な に ぬ ね の	ﾅ ﾆ ﾇ ﾈ ﾉ	j k l J K L	5
6 は MNO	は ひ ふ へ ほ	ﾊ ﾋ ﾌ ﾍ ﾎ	m n o M N O	6
7 ま PQRS	ま み む め も	ﾏ ﾐ ﾑ ﾒ ﾓ	p q r s P Q R S	7
8 や TUV	や ゆ よ ゃ ゅ ょ	ﾔ ﾕ ﾖ ｬ ｭ ｮ	t u v T U V	8
9 ら WXYZ	ら り る れ ろ	ﾗ ﾘ ﾙ ﾚ ﾛ	w x y z W X Y Z	9
11 わ 記号#	わ を ん ゎ ー(長音) 記号 ※2	ﾜ ｦ ﾝ ｰ(長音)	記号 ※3	
10 ゛゜	（濁音/半濁音の切換） ※1	ﾞ ﾟ		0

※1 押すたびに、濁音（゛）、半濁音（゜）が切り換わります。 （例）か → が → か → ･･･、は → ば → ぱ → は → ･･･

※2 全角記号一覧が表示され、次の全角記号の中から希望の記号を選んで入力することができます。

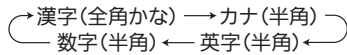
、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ 々 ／ 〜 … （ ） ［ ］ ｛ ｝ 「 」 ＋ － ± × ÷ ＝ ＜ ＞ ♂ ♀ ￥ ＄ ％ ＆ ＊ ＠ ☆ ★ ○ ● ◎
◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ ⇒ ⇔ ♪ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ （スペース）

※3 半角記号一覧が表示され、次の半角記号の中から希望の記号を選んで入力することができます。

! # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] _ { } ‾ ･ （スペース）

文字入力に使うボタン

- 押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。

  漢字(全角かな) → カナ(半角) → 英字(半角) → 数字(半角) → 漢字(全角かな)

  切り換えた状態は、画面下側のガイド表示に表示されます。

  赤 [漢字]　(ガイド表示)

- 漢字、全角カタカナは、「漢字」で入力したあとに変換します。

1 ～ 11

- 押すたびに入力文字が切り換わります。
  (文字の割り当ては P.162 下表を参照。)

- 「漢字」で入力中(未確定状態のとき)は、押すたびに前/次候補を表示します。
- 「英字」、「数字」で入力中は、押すたびに半角／全角が切り換わります。

- カーソルを左右に移動します。
- 確定状態でカーソルが最後尾にあるときに ▶ を押すと、スペースが入ります。

- 入力中の文字やカーソルで選んでいる文字を削除します。
- 確定状態でカーソルが最後尾にあるときは、左横の文字にカーソルが移動します。

- 「漢字」で入力中(未確定状態のとき)は、変換中の文字を確定します。
- それ以外のときは、すべての文字を確定させて、文字入力を終了します。

- 文字入力を途中でやめます。

漢字に変換するときは

例：「かよう」と入力後に「火曜」と漢字変換するとき

1 赤 を押して、漢字入力モードに切り換える

2 「かよう」を入力後に、「火曜」に変換する

次の文字が同じボタン上にあるときは

▶ を押すと、カーソルが1文字右へ移動します。
そのあと、同じボタンを押して入力を続けてください。

- 数字の場合(同じ番号を続けて入力する場合)は、この操作は不要です。

記号を入力するときは

1 記号一覧が表示されるまで、11 を何回か押す

2 ▲▼◀▶ で希望の記号を選び、決定 を押す

■ 入力しないで記号一覧を消すときは

黄 を押します。

フリーワード検索 P.73、ネットワーク(「アクトビラ」「TSUTAYA TV」)利用中 P.88 に文字入力する場合は、次のボタンで入力してください。

- 文字の種類(かな、カナ、英数、数字)を切り換えるときは、緑 で切り換え、決定 で決定します。
  漢字を入力するときは、「かな」を選びます。
- 文字を入力するときは、 1 ～ 12 で入力し、決定 で決定します。(「数字」で入力中は、決定 で決定する必要はありません。)
  - 漢字に変換するときは、「かな」で文字を入力後に ▲▼ で変換候補を選び、決定 で決定します。
  - 濁音/半濁音を入力するときは、文字に続けて 10 を押します。
  - 同じボタンで続けて入力するときは、▶ を押してカーソルを1文字右へ移動します。
  - かな、カナの記号は、“かな” “カナ”のときに 10 で入力します。(または、「きごう」と入力後に ▲▼ で変換候補を選び、決定 で決定します。)
  - 英数の記号は、「英数」のときに 1 または 10 で入力します。(1 と 10 で入力できる記号が異なります。)
    “#”、“*”は、「数字」のときに 11、12 を押します。
  - 入力を間違えたときは、黄 を押します。

番組を編集する（つづき）

●削除された部分は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。

番組の不要な部分を削除する（部分削除）

本体

1 見る を押して録画一覧画面 P.141 を表示し、部分削除する番組を選ぶ

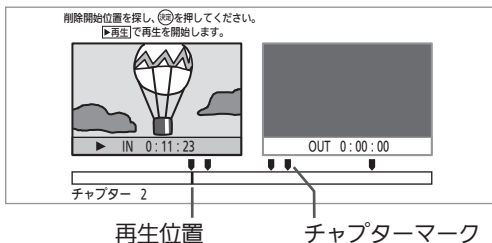
2 サブメニュー を押す

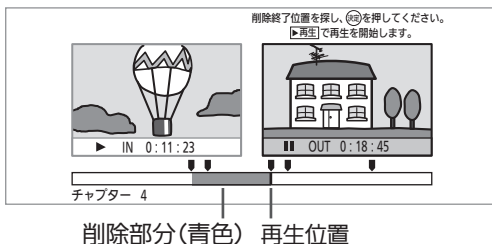
3 ▲▼で「編集」を選び、決定 を押す

4 「部分削除」が選ばれているので、決定 を押す

■ 確認メッセージが表示されるときは
◀▶で「はい」を選び、決定 を押します。

5 左側（IN）の映像を見ながら、不要な部分の開始位置を探し、決定する

再生位置　チャプターマーク

6 同様に操作して
右側（OUT）の映像を見ながら、不要な部分の終了位置を探し、決定する

削除部分（青色）　再生位置

● 選択メニューが表示されます。

7 同じ番組の別の部分を削除するときは
選択メニューの「続けて編集する」で、そのまま 決定 を押す

8 手順5、6をくり返す

9 不要な部分の選択が終わったら
▲▼で選択メニューの「削除結果の事前確認」を選び、決定 を押す

● 右側（OUT）で、削除結果が連続再生（※）されます。

再生位置　削除部分（青色）

10 確認が終わったら
停止 を押す

11 ▲▼で選択メニューの「削除を実行する」を選び、決定 を押す

続けて編集する
削除結果の事前確認
削除を実行する

12 ◀▶で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

● 不要な部分が削除され、通常画面に戻ります。

お知らせ

● 手順5、6で「この位置に設定できません」というメッセージが表示されたときは
部分削除の終了位置を設定する場合、チャプターマーク位置から先の数秒間は設定できないことがあります。
この部分に部分削除の終了位置を設定したい場合は、次の操作を行って該当のチャプターマークを削除してください。
① 前、次/ジャンプ で、該当のチャプターマークまでとばす
② すぐに 一時停止 を押して、再生一時停止にする
③ 黄 を押して、チャプターマークを削除する

●分割された部分は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。

番組を分割する

本体

1 見る を押して録画一覧画面 P.141 を表示し、分割する番組を選ぶ

2 サブメニュー を押す

3 ▲▼ で「編集」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「分割」を選び、決定 を押す

再生	
手間なしダビング	部分削除
編集 ▷	分割
並べ替え	番組名変更
録画モード変換	ユーザー変更
視聴制限一時解除	保護設定

■ 確認メッセージが表示されるときは

◀▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

5 映像を見ながら、分割位置を探し、決定する

再生 ➡ 探す ※ ➡ 決定

6 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- 番組が分割され、通常画面に戻ります。

お知らせ

- 手順5で「この位置に設定できません」というメッセージが表示されたときは
  分割位置を設定する場合、チャプターマーク位置から先の数秒間は設定できないことがあります。
  この部分に分割位置を設定したい場合は、次の操作を行って該当のチャプターマークを削除してください。
  ① 前、次/ジャンプ で、該当のチャプターマークまでとばす
  ② すぐに 一時停止 を押して、再生一時停止にする
  ③ 黄 を押して、チャプターマークを削除する

※部分削除の開始/終了位置の検索をするとき、
削除結果の確認再生をするとき、
分割位置の検索をするとき
は、次の再生が利用できます。P.150～151

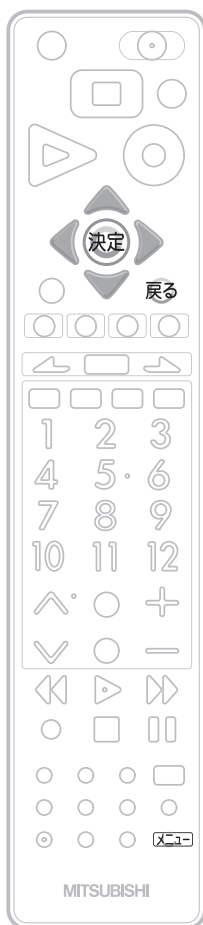
- 通常再生　・早送り/早戻し
- 再生一時停止　・スロー /逆スロー再生
- スキップ（再生一時停止中からでもできます）
- 30秒スキップ　・チョット戻し

- コマ送り/コマ戻しをするときは、再生一時停止中に 赤（コマ送り）、青（コマ戻し）を押します。
- 部分削除の開始/終了位置の検索時のみ、再生一時停止中に 停止 を押すと、番組の先頭に移動させることができます。

お知らせ

●録画中は、番組の部分削除や分割はできません。P.158

- 部分削除や分割をした番組は、見どころ再生やシーン検索ができなくなります。
- 指定した部分削除の開始/終了位置や分割位置と、実際に編集される箇所とは、1秒程度ずれることがあります。

ディスクを編集する

ディスク名を変更する

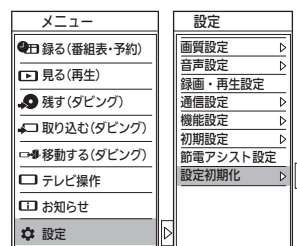
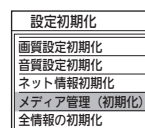
BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR)

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

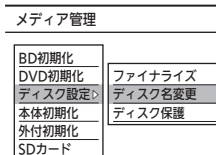
3 ▲▼ で「設定初期化」を選び、決定 を押す

メニュー
- 録る(番組表・予約)
- 見る(再生)
- 残す(ダビング)
- 取り込む(ダビング)
- 移動する(ダビング)
- テレビ操作
- お知らせ
- 設定

設定
- 画質設定
- 音声設定
- 録画・再生設定
- 通信設定
- 機能設定
- 初期設定
- 節電アシスト設定
- 設定初期化

4 ▲▼ で「メディア管理(初期化)」を選び、決定 を押す

5 ▲▼ で「ディスク設定」を選び、決定 を押す

6 ▲▼ で「ディスク名変更」を選び、決定 を押す

メディア管理
- BD初期化
- DVD初期化
- ディスク設定
- 本体初期化
- 外付初期化
- SDカード

- ファイナライズ
- ディスク名変更
- ディスク保護

7 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

8 ディスク名を変更する

(文字の入力のしかたは、P.162 ~ 163 をご覧ください。)

9 すべての文字を確定したら

決定 を押して文字入力を終了する

10 変更が終わったら

戻る を押し、通常画面に戻す

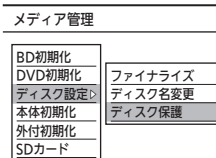
お知らせ
- ●ディスクが保護されているときは、再生のみ可能です。
- ●録画中は、ディスクの編集はできません。
- ディスクが保護されているかどうかは、画面表示で確認できます。
  保護されている場合は、いろいろな情報欄のディスクのところに「保護ディスク」と表示されます。
- BD-REは、ディスクが保護されている場合でもディスクの初期化 P.241 ができます。

ディスクを保護する・保護を解除する

BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR)

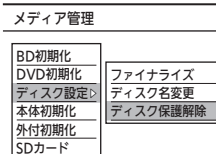
1 上記の手順1 ~ 5を行う

2 ディスクを保護するとき

▲▼ で「ディスク保護」を選び、決定 を押す

保護されているディスクの保護を解除するとき

▲▼ で「ディスク保護解除」を選び、決定 を押す

メディア管理
- BD初期化
- DVD初期化
- ディスク設定
- 本体初期化
- 外付初期化
- SDカード

- ファイナライズ
- ディスク名変更
- ディスク保護解除

3 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

4 変更が終わったら

戻る を押し、通常画面に戻す

他のBD/DVDビデオプレーヤーなどで再生できるようにする(ファイナライズ)

本機で録画したディスクをファイナライズすると、その録画方式に対応した他のBD/DVDプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生することができます。

気を付けて

- **ファイナライズ後は、録画や編集ができなくなります。録画内容をよく確認してからファイナライズしてください。**
- **ファイナライズは数分から数十分かかります。**
  録画時間が短い場合や録画した番組数が多い場合は、ファイナライズに時間がかかります。)
- **ファイナライズ中は、途中で中止できません。**
- **ファイナライズ中/ファイナライズ解除中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。ディスクの破損や本体が故障する原因となります。**
- **ファイナライズ中/ファイナライズ解除中に録画予約の開始時刻になったときは、予約がキャンセルされます。**

本機で録画したディスクをファイナライズするときは

BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) (-RW(Video) -R(Video))

- BD-REは、ファイナライズ不要です。ファイナライズをしなくても他のBDプレーヤーやレコーダー、パソコンで再生できます。(機器によっては、再生できない場合もあります。)

BD-R -RW(AVCREC) -R(AVCREC) -RW(VR) -R(VR) のとき

1 P.166 の手順1 ～ 5を行う

2 「ファイナライズ」が選ばれているので、決定 を押す

メディア管理

BD初期化	
DVD初期化	
ディスク設定▷	ファイナライズ / ディスク名変更 / ディスク保護
本体初期化	
外付初期化	
SDカード	

3 ◀ ▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- ファイナライズが始まり、ファイナライズの進捗表示が表示されます。
- 進捗表示は目安です。ディスクによっては、90%以降の表示の進捗がかなり遅くなることがあります。
- ファイナライズが終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

-RW(Video) -R(Video) のとき

ダビングが終わると、自動的にファイナライズされます。手動でファイナライズすることはできません。

- ファイナライズ後は、録画一覧画面が利用できなくなります。
- ファイナライズ後は、ディスクメニューが作成されますので、再生するときはディスクメニューから希望の番組を選んでください。P.147

本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除するときは

-RW(VR)

本機でファイナライズしたDVD-RW(VR)の場合だけ、本機でファイナライズを解除することができます。
解除すると、再び録画や編集をすることができます。

左記の手順2のときに、「ファイナライズ解除」が選ばれているので、決定 を押す

メディア管理

BD初期化	
DVD初期化	
ディスク設定▷	ファイナライズ解除 / ディスク名変更 / ディスク保護
本体初期化	
外付初期化	
SDカード	

お願い!

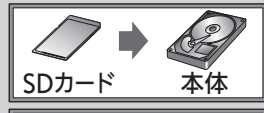
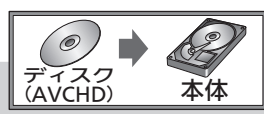
- 他機で録画・ファイナライズされたディスクは、本機でファイナライズやファイナライズの解除ができないことがあります。

お知らせ

- **番組やディスクが保護されているときは、ファイナライズはできません。**
- DVD-RWは、ファイナライズ後も録画内容をすべて消去する初期化(再フォーマット)を行えば、録画可能となります。
- チャプターマークの情報は、ファイナライズ後も引き継がれます。
- BD/DVDプレーヤー /レコーダーやパソコンなどによっては、ファイナライズをしても再生できないことがあります。
- ファイナライズ中/解除中に停電したときは
  - ・DVD-RWは、初期化が必要になることがあります。(初期化をすると、録画内容が消去されます。)
  - ・BD-R/DVD-Rは、そのディスクが使用できなくなることがあります。

ダビングする前に必ずお読みください

本機でできるダビングについて

- 1番組だけダビングしたい
  ダビング一覧からダビング
  手間なしダビング
- 再生中の番組をダビングしたい ※2
- 見どころ再生のダビングをしたい ※1
  手間なしダビング
- 複数の番組をまとめて一度にダビングしたい
  ダビング一覧からダビング
- 録画モードを変更してダビングしたい
  ダビング一覧からダビング

- デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質(AVCHD)の動画をダビングしたい
  AVCHDの動画のダビング

※1　本体→ディスクのときのみ
※2　外付→ディスクは、録画一覧画面のサブメニューからのみ

ダビング方法	特　　徴
ダビング一覧からダビング P.174	番組をダビング一覧に登録して、好みの設定でダビングできます。 ● 複数の番組をまとめて一度にダビングできます。(一括ダビング) ● 録画モードを変更してダビングできます。(ダビング元より高画質の録画モードに変換しても、画質は良くなりません。また、等速ダビングになります。)
手間なしダビング P.180	再生中の番組を、番組の最初から終わりまで簡単にダビングできます。 ● 通常再生中の番組のほかに、見どころ再生のダビングができます。
AVCHDの動画のダビング P.181	デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質(AVCHD)の動画をダビングできます。 ● ハイビジョン画質(AVCHD)の動画を、ハイビジョン画質のまま本体HDDにダビングできます。 ● 本機が、通常モードのときにだけ操作できます。

- **本体/外付の間で録画された番組を移動するときは、P.136をご覧ください。** 外
- 他の機器(ビデオ、ビデオカメラ)→本機にダビングするときは、P.183をご覧ください。

お知らせ

- Video方式でファイナライズ済みのディスクを本体へダビングするときは、P.183 の方法でダビングしてください。
- 本体は録画内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。
  大切な録画(録音)内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。
- ビデオカメラやパソコンなどで作成された静止画を含んでいる番組は、ダビングできません。
- 市販のソフトやレンタルディスク･テープのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理(コピーガード)がされており、ダビングできません。

ダビング速度（高速ダビング/等速ダビング）と録画モードの組み合わせ

ダビング速度（「高速ダビング」と「等速ダビング」）について

高速ダビング	● ダビング元と同じ画質（録画モード）でダビングするとき、高速ダビングになります。 ● 高速記録対応のディスクを使ってダビングすると、ダビングする番組の記録時間よりも短い時間でダビングされます。（高速ダビング中は、本機の動作音が通常よりも大きくなります。）
等速ダビング （1倍速ダビング）	● 画質（録画モード）を変えてダビングするとき、等速ダビングになります。 （ダビング元より高画質の録画モードに変換しても、画質は良くなりません。） ● ダビング元の番組の記録時間と同じ時間（またはそれ以上の時間）をかけてダビングされます。 ● 等速ダビング中は、音声の切り換えなど、できない操作があります。

ダビング元/ダビング先の組み合わせ別　ダビング速度と録画モード

● ダビング速度（高速か等速か）は、ダビング元/ダビング先や録画モードで変わります。下表を参照してください。

● 高速ダビングのときは、ダビング元と同じ録画モードでダビングされます。

● 録画モードについては、P.108「録画モードとおよその録画時間（目安）」をごらんください。
録画モード「AUTO」については、P.171 をごらんください。

ダビング元［本体］ ➡ ダビング先［ディスク］

○：できる
×：できない

本体 録画モード		BD-RE BD-R	高速ダビング	等速ダビング（1倍速ダビング）：録画モード
DR、AF～AE	➡	ダビング一覧からダビング	○	○ ：AF～AE、XP～EPから選択可能
		手間なしダビング	○	×
XP～EP		ダビング一覧からダビング	×	○ ：XP～EPから選択可能
		手間なしダビング	×	○ ：ダビング元と同じ

本体 録画モード		-RW (AVCREC) -R (AVCREC)	高速ダビング	等速ダビング（1倍速ダビング）：録画モード
DR	➡	ダビング一覧からダビング	×（○※1）	○ ：AF～AEから選択可能
		手間なしダビング	×（○※1）	○ ：AUTOのみ（選択できません）
AF～AE	➡	ダビング一覧からダビング	○	○ ：AF～AEから選択可能
		手間なしダビング	○	×

● 録画モードXP～EPの番組は、DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）へはダビングできません。

※1　「スカパー！ＨＤ録画」で録画したスカパー！ＨＤのハイビジョン画質の番組は、高速ダビングできる場合があります。

本体 録画モード		-RW (VR) -R (VR)	高速ダビング	等速ダビング（1倍速ダビング）：録画モード
DR、AF～AE	➡	ダビング一覧からダビング	×	○ ：XP～EP、AUTOから選択可能
		手間なしダビング	×	○ ：AUTOのみ（選択できません）
XP～EP	➡	ダビング一覧からダビング	○	○ ：XP～EP、AUTOから選択可能
		手間なしダビング	○	×

次ページへつづく

ダビングする前に必ずお読みください（つづき）

ダビング元［本体］ ➡ ダビング先［ディスク］（つづき）

△：「制限なしに録画可能」番組のみダビングできる
×：できない

本体		➡	-RW(Video) -R(Video)	高速ダビング	等速ダビング（1倍速ダビング）：録画モード
録画モード	DR、AF～AE	➡	ダビング一覧からダビング	×	△ ：XP～EP、AUTOから選択可能
			手間なしダビング	×	△ ：AUTOのみ（選択できません）
	XP～EP	➡	ダビング一覧からダビング	△ ※2	△ ：XP～EP、AUTOから選択可能
			手間なしダビング	△：（「高速」または「等速：AUTOのみ」） ※3	

※2 P.208「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「Video高速ダビング」の設定を「入」にして、ビデオ2入力から本体に録画された番組をダビングする場合のみ、「高速」が選択できます。
※3 P.208「録画・再生設定」画面の「録画設定」－「Video高速ダビング」の設定を「入」にして、ビデオ2入力から本体に録画された番組をダビングする場合のみ、「高速」でダビングされます。

ダビング元［外付］ ➡ ダビング先［ディスク］

○：できる
㊟：録画一覧画面のサブメニューからのみダビングできる

外付		➡	BD-RE BD-R	高速ダビング
録画モード	DR、AF～AE	➡	ダビング一覧からダビング	○
			手間なしダビング	㊟

外付		➡	-RW(AVCREC) -R(AVCREC)	高速ダビング
録画モード	DR	➡	ダビング一覧からダビング	×
			手間なしダビング	×
	AF～AE	➡	ダビング一覧からダビング	○
			手間なしダビング	㊟

- 外付からダビングする場合は、高速ダビングのみになります。
- 録画モードを変換してダビングする場合や、番組の本編だけダビングする場合は、P.138 で外付→本体に移動させたあと、本体→ディスクへダビングしてください。

● 外付→DVD-RW（VR）/-R（VR）、外付→DVD-RW（Video）/-R（Video）へは、ダビングできません。

ダビング元［ディスク］ ➡ ダビング先［本体］

○：できる　×：できない
△：「制限なしに録画可能」番組のみダビングできる

BD-RE BD-R		➡	本体	高速ダビング	等速ダビング（1倍速ダビング）：録画モード
録画モード	DR	➡	ダビング一覧からダビング	○（× ※1）	○ ：AF～AE、XP～EPから選択
			手間なしダビング	×	×
	AF～AE	➡	ダビング一覧からダビング	×	○ ：AF～AE、XP～EPから選択
			手間なしダビング	△	×
	XP～EP	➡	ダビング一覧からダビング	×	○ ：AF～AE、XP～EPから選択
			手間なしダビング	×	△ ：ダビング元と同じ（選択できません）

-RW(AVCREC) -R(AVCREC)		➡	本体	高速ダビング	等速ダビング（1倍速ダビング）：録画モード
録画モード	AF～AE	➡	ダビング一覧からダビング	△	△ ：AF～AE、XP～EPから選択
			手間なしダビング	×	△ ：ダビング元と同じ（選択できません）

-RW(VR) -R(VR)		➡	本体	高速ダビング	等速ダビング（1倍速ダビング）：録画モード
録画モード	XP～EP	➡	ダビング一覧からダビング	△	×
			手間なしダビング	△	×

● DVD-RW（Video）/-R（Video）→本体へは、ダビングできません。

※1 「スカパー！ＨＤ録画」の番組は、高速ダビングできません。録画モードは変換されます。

「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」番組のダビング制限について

P.106 の「番組の録画制限、ダビング制限」をご覧ください。
ダビング中にできる同時操作については、P.117 の「ダビング中の同時操作について」をご覧ください。

「コピー」と「ムーブ(移動)」

P.106の「番組の録画制限、ダビング制限」をご覧ください。
「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10(コピー 9回+ムーブ1回)」番組をダビングする場合は、ダビング後にダビング元の録画内容の扱い(コピーの場合:ダビング元の録画内容が残る、ムーブ(移動)の場合:ダビング元の録画内容が残らない)が変わります。

- DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)/-RW(VR)/-R(VR)→本体へダビングする場合、「制限なしに録画可能」番組のみダビングが可能ですが、ダビング可否判定に時間がかかります。
  ディスクを再生しないと「制限なしに録画可能」番組かどうかを本機が認識できないため、ディスクの再生後にダビング可能/不可の判定がされます。そのため、ダビングできない場合でもダビングできた場合と同じだけ時間がかかることがあります。

二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕のダビング

ダビング元/先の組み合わせにより、音声の再生内容が変わります。
P.111 の「二重音声、マルチ番組、サラウンド音声、字幕の録画」をご覧ください。

- 手間なしダビング P.180 で等速ダビングするときは、ダビング再生中の音声が記録されます。

録画モード「AUTO」(ジャストレコーディング)について

ディスクの残量に合わせて録画モードが自動調整されます。(条件により、高速ダビングとなることがあります。)

- ディスクに傷があったり残量が著しく少ないときや番組の最初から長時間録画の録画モードでダビングしても残量が足りないときは、ジャストレコーディングをしても最後までダビングできません。
- ダビングする番組の内容やディスクの状況によっては、ジャストレコーディング後に残量が残ることがあります。

お知らせ

- **本体→DVD-RW(Video)/-R(Video)へダビングする場合は、ダビングが終わると自動的にファイナライズされ、それ以上ダビングできなくなります。複数の番組をダビングするときは、ダビング一覧からダビングしてください。**
  - 本体→DVD-RW(Video)/-R(Video)へダビングする場合は、ダビングする映像の縦横比によって、「録画・再生設定」画面の「録画設定」ー「Videoアスペクト」の設定を変更してダビングしてください。
    違う設定でダビングした場合は、再生時に縦長や横長の映像になります。(再生時に画面サイズを変更できます。)
  - DVD-RW(Video)は、初期化すると再び録画できるようになります。(この場合、ダビングした内容は消えます。)
- **ダビングを開始すると、放送の画面に切り換わります。(ダビング中の映像を本機で見ることはできません。)**
- **ダビング中に 電源 を押して、画面と音声を消すことができます。(もう一度押すと戻ります。)**

- BD-R→本体へ「1回だけ録画可能」番組をダビングした(「ムーブ(移動)」した)場合、BD-Rの残量時間は増えません。
- ダビング元のチャプターマークもいっしょにダビングされます。ダビング先のチャプターマークは、多少ずれる場合があります。
- 他の機器のAVCREC方式で録画されたディスクを本機へダビングする場合は、ダビングできないことがあります。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- 高速ダビングの所要時間は、高速記録対応ディスクによって異なり、ディスク記載の倍速よりも遅い速度でダビングされる(ダビング時間がかかる)ことがあります。

ダビングの前に

録画可能なディスクの出し入れ

BD-RE BD-R -RW -R

録画可能なディスクの種類については P.100 をご覧ください。

1 トレイ開/閉ボタン(本体前面)を押して、ディスクトレイを開く

- ディスクトレイが開くまで、しばらく時間がかかることがあります。

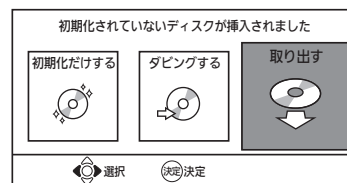
2 本機で録画可能なディスクを、光った面を下にしてトレイの上に置く

3 トレイ開/閉ボタン(本体前面)を押して、ディスクトレイを閉める

- ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。

新品（未使用）のディスクを入れたときは

右の選択画面が表示されます。
P.173 をご覧になり、「初期化だけする」、「ダビングする」、「取り出す」のいずれかを行ってください。（初期化しないと、録画やダビングはできません。）

- 録画やダビング中は表示されません。

BD-RE/BD-R
お買上げ時には初期化されていません。使用前に初期化してください。

DVD-RW
お買上げ時には初期化されていません。使用前に録画方式を選んで初期化してください。

DVD-R
お買上げ時には初期化されていないかVideo方式で初期化されています。使用前に一度だけ録画方式を選ぶまたは変更して初期化することができます。

初期化済み(未録画)ディスク、録画済みのディスクを入れたときは

ディスク再生/ダビング選択画面が表示されます。

【本体/外付 外 →ディスクにダビング一覧からダビングする場合】

◀▶ で「ダビングする」を選び、決定 を押します。

- ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、P.175 の手順3へ進んでください。

【本体/外付 外 →ディスクに手間なしダビングする場合】
【ディスク→本体にダビングする場合】

戻る を押して、選択画面を消します。

- このあと、本体→ディスクに手間なしダビングする場合は、P.180 の手順2へ進んでください。
- このあと、ディスク→本体にダビングする場合は、P.174【ディスク→本体へダビングする場合】の手順2へ進んでください。

【ディスクを再生する場合】

P.145 をご覧になり、再生の操作を行ってください。

気を付けて

●ディスクの読み込み中や初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。ディスクの破損や本体が故障する原因となります。

お知らせ

- ディスクの持ちかたについては、P.144 をご覧ください。

新品（未使用）のディスクの初期化（フォーマット）

BD-RE BD-R -RW -R

- **BD-R、DVD-Rは、一度初期化すると初期化し直すことはできません。**
  BD-RE、DVD-RWは、あとで初期化し直すことができます。（初期化すると録画内容は消去されます。P.240～241）
- **初期化中は、途中で中止できません。**
- **初期化中に録画予約の開始時刻になったときは、録画予約がキャンセルされます。**

初期化だけするとき
初期化したあと、手間なしダビングするとき

手間なしダビングするときは、初期化だけ行い、そのあとP.180で手間なしダビングしてください。

1 ディスクを入れ、選択画面が表示されたら、

で「初期化だけする」を選び、決定を押す

- BD-RE/-Rの場合は、初期化が始まります。
- DVD-RW/-Rの場合は、録画方式を選択する画面が表示されます。

2 【DVD-RW/-Rの場合のみ】

▲▼で希望の録画方式（下欄参照）を選び、決定を押す

- DVD-RW/-Rの初期化が始まります。

- 初期化が終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終了すると、終了メッセージを数秒間表示したあと、通常画面に戻ります。

初期化したあと、続けてダビングするとき

ダビングの操作を完了すると、初期化を行ったあと、ダビングが始まります。
DVD-RW/-Rの録画方式は、ダビングの操作中に設定します。

- DVD-RW/-Rの録画方式の選び方がわからないときや、複数の番組をダビングするときは、こちらを選んでください。

ディスクを入れ、選択画面が表示されたら、

で「ダビングする」を選び、決定を押す

- ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、P.175の手順3へ進んでください。

何もせずに取り出すとき

ディスクを入れ、選択画面が表示されたら、

「取り出す」で、そのまま決定を押す

お知らせ

- デジタル放送をDVD-RW/DVD-Rにダビングするときは、CPRM対応ディスクを使って、AVCRECまたはVR方式で初期化してください。
- 本機で2層ディスク（DVD-R DL）を使う場合は、AVCREC方式でのみ初期化できます。

DVD-RW/DVD-R の録画方式（AVCREC、VR、Video）について

DVD-RW/DVD-Rには録画方式が3種類あり、それぞれ次のような特徴があります。

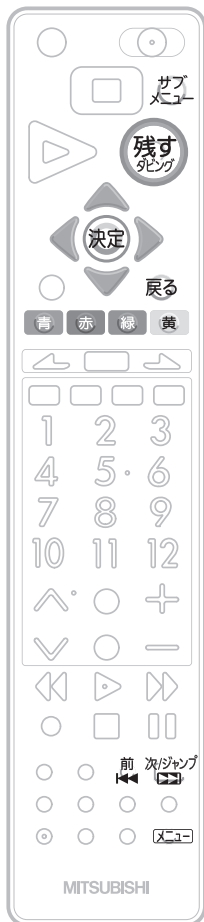
方式	特徴
AVCREC方式 -RW (AVCREC) -R (AVCREC) DVD-RW（AVCREC）/-R（AVCREC）	● デジタル放送をハイビジョン画質で録画できる方式です。 ● CPRM対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」番組を、録画モードAF～AEでのみダビングできます。 ● ファイナライズ後は、AVCREC方式対応のプレーヤー/レコーダーで再生できます。
VR方式 （DVDビデオレコーディング規格） -RW (VR) -R (VR) DVD-RW（VR）/-R（VR）	● DVDレコーダーの基本録画方式です。 ● CPRM対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」番組を、録画モードXP～EPでのみダビングできます。 ● 一般のプレーヤー/レコーダーで再生できます。
Video方式 （DVDビデオ規格） -RW (Video) -R (Video) DVD-RW（Video）/-R（Video）	● 市販のDVDビデオソフトと同じ録画方式です。 ● 「制限なしに録画可能」番組だけを、録画モードXP～EPでのみダビングでき、ダビング終了後は自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後は、本機ではDVDビデオと同様の扱いとなります。DVDビデオプレーヤーで再生できます。 ● デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」番組の録画はできません。

番組をダビングする

ダビングする前に、P.168 の「ダビングする前に、必ずお読みください」をお読みください。
●DVD-RW(Video)/-R(Video)の場合は、ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。

番組をダビング一覧に登録してダビングする（ダビング一覧からのダビング）

本体 → **BD-RE** **BD-R** **-RW** **-R**
外付 → **BD-RE** **BD-R** **-RW (AVCREC)** **-R (AVCREC)**
BD-RE **BD-R** **-RW (AVCREC)** **-R (AVCREC)** **-RW (VR)** **-R (VR)** → **本体**

次の順序でダビングします。
1. ダビング用の録画一覧画面を表示する
2. ダビング一覧に番組を追加する/番組を削除する/ダビング順や番組名などを変更する
3. ダビングの設定を確認・変更する
4. ダビングを開始する

1. ダビング用の録画一覧画面を表示する

本体 / 外付→新品（未使用）ディスクへダビングする場合

1 ダビングするディスクを入れる P.172

2 初期化/ダビング/取り出し選択画面が表示されたら、
◀▶ で「ダビングする」を選び、決定 を押す
● ダビング用の録画一覧画面が表示されます。

本体 / 外付→初期化済みディスクへダビングする場合
本体 / 外付→録画済みディスクへ追加でダビングする場合

1 ダビングするディスクを入れる P.172
（ディスクへダビングする場合は、残量のある録画可能なディスクを入れる）

2 ディスク再生/ダビング選択画面が表示されたら、
◀▶ で「ダビングする」を選び、決定 を押す
● ダビング用の録画一覧画面が表示されます。

■ **ディスクが入っている状態のときは**
停止中に 残す ダビング を押して、ダビング用の録画一覧画面を表示します。
（再生中に押すと、手間なしダビング P.180 となります。）

ディスク→本体へダビングする場合

1 ダビングするディスクを入れる P.172

2 ディスクのダビング用の録画一覧画面を表示する
① メニュー を押す
② ▲▼ で「取り込む(ダビング)」を選び、決定 を押す
③ ▲▼ で「BD/DVDからの映像取り込み」を選び、決定 を押す

次ページへつづく

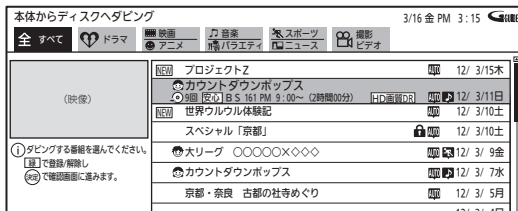
お知らせ
● 本体→ディスクへダビングする場合は、「メニュー」→「残す(ダビング)」→「本体録画番組を残す」からでも、ダビング用の録画一覧画面を表示することができます。
外付→ディスクへダビングする場合は、「メニュー」→「残す(ダビング)」→「外付の番組を残す」からでも、ダビング用の録画一覧画面を表示することができます。
メニューについては、P.184 をご覧ください。

2. ダビング一覧に番組を登録(追加)する / 番組を削除する / ダビング順や番組名などを変更する

次のようなことができます。

- ㋐ ダビング一覧に番組を登録(追加)する場合 ‥ 手順3 〜 6へ
- ㋑ 全番組を削除する場合 ････････････････････ 手順7 〜 8へ
- ㋒ 一部の番組を削除する場合 ････････････････ 手順9 〜 11へ
- ㋓ ダビング順を変更する場合 ････････････････ 手順12 〜 14へ
- ㋔ ダビングする番組名を変更する場合 ････････ 手順15 〜 18へ
- ㋕ ディスク名を設定する場合
  (本体→DVD-RW(Video)/-R(Video)のみ)‥手順19 〜 21へ

㋐ ダビング一覧に番組を登録(追加)する場合

3 ▲▼ で登録(追加)する番組を選ぶ

- ハードディスクの録画一覧には、本体の番組だけ(ダウンロード番組を除く)、または外付の番組だけが表示されます。
- ディスクのフォーマット方式により登録できない番組があります。
- 録画モードDR・AF〜AEの番組と録画モードXP〜EPの番組を混在させて登録したときは、標準画質(XP〜EP)でダビングされます。

■ **別のページを表示するときは**

前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押します。

■ **一覧の並び順を変えたいときは**

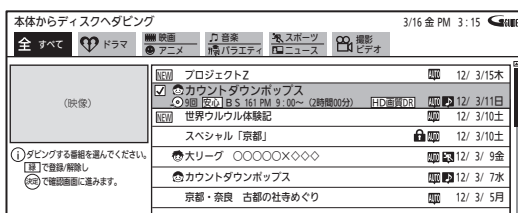
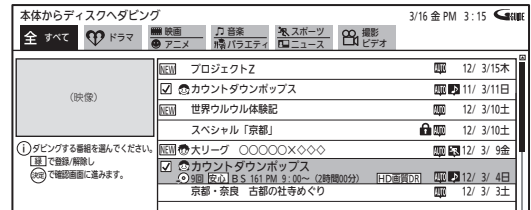
① サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する

② ▲▼ で「並べ替え」を選び、決定 を押す

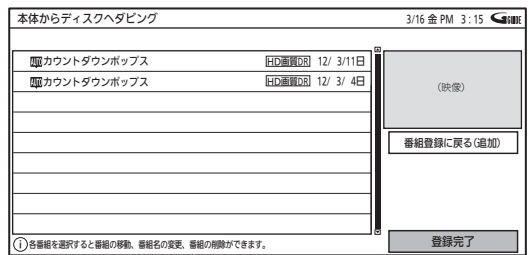
③ ▲▼ で希望の並び順を選び、決定 を押す

■ **ラベルを切り換えるときは**

◀▶ で切り換えます。

4 緑 を押して、登録(追加)する番組(1番組目)の左に「☑」を表示する

5 2番組以降を一括して登録(追加)する場合のみ 左記の手順3 〜 4を行い、登録(追加)する番組(2番組目以降)の左に「☑」を表示する(最大18番組まで)

- ハードディスクの録画一覧で2番組目以降を選ぶ場合、ラベルの切り換えはできません。
  複数のラベルをまたがってダビングしたいときは、「**全**」の一覧から登録してください。

6 登録(追加)する番組を選び終わったら、決定 を押す

- 番組が登録(追加)されたダビング一覧が表示されます。

■ **確認メッセージが表示されるときは**

◀▶ で「はい」を選び、決定 を押してください。

■ **ダビング一覧画面表示中に、番組を追加するときは**

▲▼ で右側の「番組登録に戻る(追加)」に移動し、決定 を押します。
(左側の一覧が選ばれている場合は、▶ ▲▼ で「番組登録に戻る(追加)」に移動し、決定 を押します。)
ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、手順3以降の操作を行ってください。

このあと、次の「3. ダビングの設定を確認する/変更する」に進む場合は ････手順22へ

次ページへつづく

お知らせ

- 1度にダビングできるのは、18番組までです。
  19番組以上をダビングしたいときは、複数回に分けてダビングしてください。

番組をダビングする（つづき）

い 全番組を削除する場合

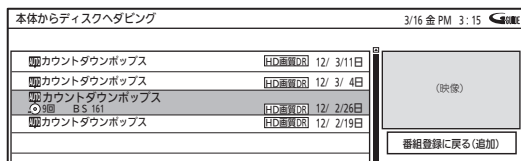
7 ダビング一覧画面を表示中に、
◀ で左側の一覧に移動し、緑 を押す

8 **◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す**

- ダビング一覧の全番組が削除されます。

■ **このあと、ダビング一覧画面に番組を追加するときは**
右側の「番組登録に戻る（追加）」が選ばれているので、そのまま 決定 を押します。
ダビング用の録画一覧画面が表示されますので、手順3以降の操作を行ってください。

う 一部の番組を削除する場合

9 ダビング一覧画面を表示中に、
◀、▲▼ で、左側の一覧から希望の番組を選ぶ

■ **別のページを表示するときは**
前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押します。

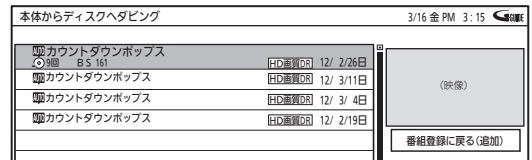
10 **黄 を押す**

11 **◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す**

- 選んだ番組が削除されます。

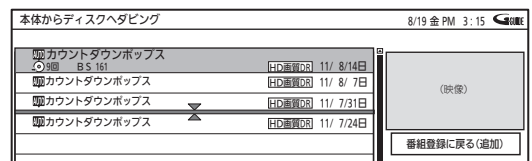
このあと、次の「3. ダビングの設定を確認する/変更する」に進む場合は ‥‥手順22へ

え ダビング順を変更する場合

12 ダビング一覧画面を表示中に、
◀、▲▼ で、左側の一覧から希望の番組を選ぶ

■ **別のページを表示するときは**
前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押します。

13 **青 を押す**

14 **▲▼ で順番を移動する位置を選び、決定 を押す**

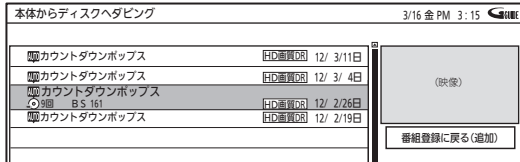
- ダビングの順番が変更されます。

このあと、次の「3. ダビングの設定を確認する/変更する」に進む場合は ‥‥手順22へ

次ページへつづく

お知らせ

- ダビング一覧の全番組の削除/一部番組の削除/番組名の変更をした場合でも、オリジナルの番組はそのまま残ります。
- オリジナルの番組を消去すると、ダビング一覧の番組も削除されます。
- DVD-RW（Video）/-R（Video）以外のディスクにダビングする場合のディスク名は、ダビング完了後に設定できます。P.166

㋔ 番組名を変更する場合

15 ダビング一覧画面を表示中に、
◀、▲▼ で、左側の一覧から希望の番組を選ぶ

■ 別のページを表示するときは
前 ⏮、次/ジャンプ ⏭ を押します。

16 赤 を押す

17 名前を変更する P.162 ～ 163

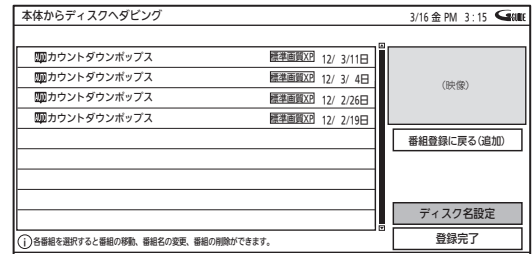
18 決定 を押して、文字入力を終了する

● 選んだ番組の名前が変更されます。

このあと、次の「3. ダビングの設定を確認する/変更する」に進む場合は ････手順22へ

㋕ ディスク名を設定する場合

（本体→DVD-RW（Video）/-R（Video）のときのみ）

19 ダビング一覧画面を表示中に、
▶、▲▼ で、右側の「ディスク名設定」に移動し、決定 を押す

20 名前を設定する P.162 ～ 163

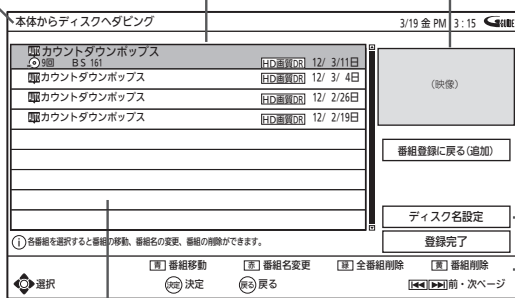
● 中止するときは、戻る を押します。

21 決定 を押して、文字入力を終了する

● ディスクの名前が設定されます。

このあと、次の「3. ダビングの設定を確認する/変更する」に進む場合は ････手順22へ

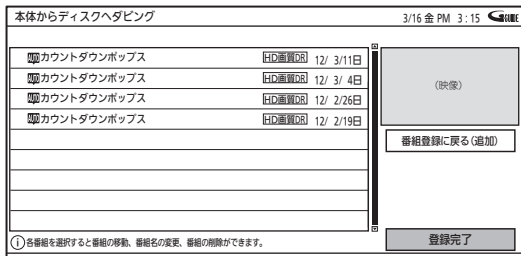
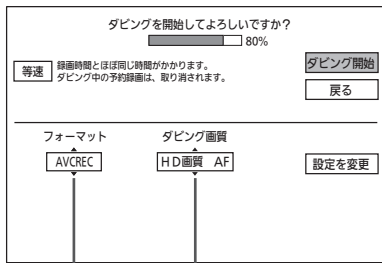
次ページへつづく

ダビング一覧画面の見かた

● 一覧の上から順に、追加された全番組がダビングされます。（一部の番組だけを選んでダビングすることはできません。）
ダビング順は、P.176 の㋓で変更することができます。

● 一覧には、以前のダビングで追加した番組が表示されることがあります。
P.176 の㋑、㋒で全番組または一部番組を削除することができます。

※「ディスク名設定」は、本体→DVD-RW（Video）/-R（Video）にダビングするときのみ選択できます。

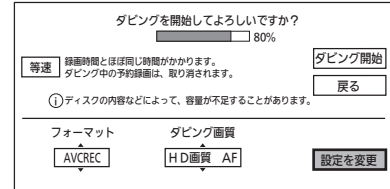
3. ダビングの設定を確認・変更する

22 ▶、▲▼ で、右側の「登録完了」に移動し、決定 を押す

次のような画面が表示されます。

本体→ディスク、
ディスク→本体へ
ダビングするときにだけ、
録画モードを選べます。

DVD-RW/-Rへダビングするときにだけ表示されます。
本体→新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングするときだけ、初期化する際の録画方式を選べます。

このあと、
- **ダビングを開始する場合 ……………… 手順26へ**
- ・新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングする場合‥ 手順23へ
- ・録画モードを変更する場合 ………………… 手順24へ

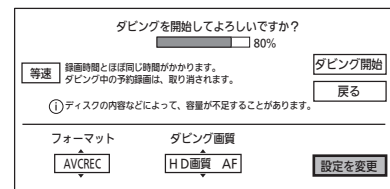
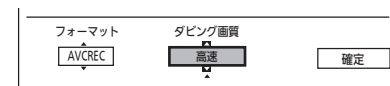
新品（未使用）の DVD-RW/-R へダビングする場合のみ

23 ① ▲▼ で「設定を変更」を選んで 決定 を押し、

② ◀▶ で「フォーマット」に移動したあと、
③ ▲▼ で録画方式 P.173 を選ぶ

- ビデオ2入力から本体に録画した番組を新品（未使用）のDVD-RW/-Rへダビングする場合は、録画方式は「VR」となります。（選択不可）

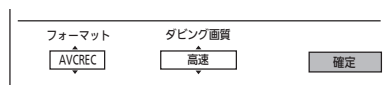
このあと、
- ・引き続き、録画モードを変更する場合 ………… 手順24へ
- ・録画モードを変更しない場合は、容量の再計算をする‥手順25へ

録画モードを変更する場合のみ

24 ① ▲▼ で「設定を変更」を選んで 決定 を押し、
（手順23の操作後に、引き続きこの手順を行う場合は、①の操作は不要です。）

② ◀▶ で「ダビング画質」に移動したあと、
③ ▲▼ で録画モード P.108 を選ぶ

- ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の録画モードなどによって、選べる録画モードは異なります。P.169 ～ 170
- 「高速」以外のモードを選んだときは、等速ダビングになります。
  - ・ダビングする番組の内容やディスクの状況によっては、ジャストレコーディング後に残量が残ることがあります。

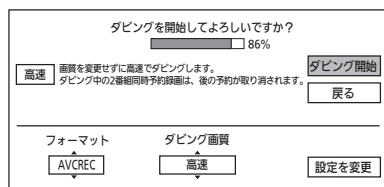
このあとは、容量の再計算をする ‥‥手順25へ

次ページへつづく

25 手順23・24で設定を変更した場合のみ
◀▶で「確定」に移動し、決定を押す

- 容量が計算し直されます。
（容量を計算し直さないと、ダビングを開始できません。）

このあと、ダビングを開始する場合は ‥‥手順26へ

4. ダビングを開始する

26 ▲▼で「ダビング開始」に移動し、決定を押す

■ ダビングの開始を中止するときは
「戻る」を選び、決定を押してください。
（または、戻るを押します。）

ダビングが始まります。

新品（未使用）のディスクへダビングする場合のみ
ダビング前に、ディスクの初期化が始まります。
初期化が終わるまで、しばらく時間がかかります。
初期化が終わると、引き続きダビングが始まります。

気を付けて
- BD-R、DVD-Rは、一度初期化すると初期化し直すことはできません。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- 初期化中に録画予約の開始時刻になったときは、録画予約がキャンセルされます。

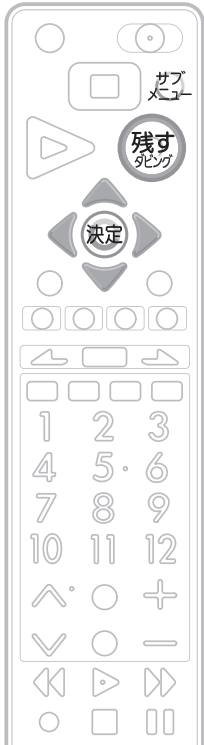
DVD-RW（Video）/-R（Video）へダビングする場合のみ
ダビング終了後、自動的にファイナライズが始まります。
ファイナライズ中は、途中で中止できません。
ファイナライズが終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

ダビング実行中に途中で中止するときは、P.182をご覧ください。

番組をダビングする（つづき）

ダビングする前に、P.168 の「ダビングする前に、必ずお読みください」をお読みください。
●DVD-RW（Video）/-R（Video）の場合は、ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。

再生中の番組をダビングする（手間なしダビング）

本体 → BD-RE BD-R -RW -R
外付 → BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC)
BD-RE BD-R -RW (AVCREC) -R (AVCREC) -RW (VR) -R (VR) → 本体

1 ダビングするディスクを入れる P.172
（ディスクへダビングする場合は、残量のある録画可能なディスクを入れる）

■ 新品の（未使用の）ディスクを入れた場合は
先に初期化を行ってください。P.173

2 P.141・145 を参照し、ダビング元の番組の再生を始める
- 通常再生、見どころ再生から手間なしダビングすることができます。

3 再生中に、残す/ダビング を押す

4 確認メッセージに従って、◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

手間なしダビングが始まります。

DVD-RW（Video）/-R（Video）へダビングする場合のみ
ダビング終了後、自動的にファイナライズが始まります。
ファイナライズ中は、途中で中止できません。
ファイナライズが終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

ダビング実行中に途中で中止するときは、P.182 をご覧ください。

お知らせ
- 他の機器で作成したプレイリストの再生中に、手間なしダビングすることもできます。
- 再生中に、サブメニュー画面から手間なしダビングすることもできます。
  ① 再生中に サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  ② ▲▼ で「この番組をダビングする」を選び、決定 を押す
- 録画一覧画面を表示中に、サブメニュー画面から手間なしダビングすることもできます。
  ① 録画一覧画面を表示中に、ダビングしたい番組を選ぶ
  ② サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  ② ▲▼ で「手間なしダビング」を選び、決定 を押す

本体で見どころ再生中の番組を、ディスクに手間なしダビングするときは 本体

見どころ再生中の番組を手間なしダビングすると、スポーツ番組のハイライト部分/音楽番組の楽曲部分だけがダビングされます。（本体→ディスクへのダビングのみ）

●「ムーブ（移動）」になる番組をダビングする場合は、ダビング元の番組でダビングされなかった部分（見どころ以外の部分）はダビング後に消去されます。
番組全体をダビングしたい場合は、通常再生中の番組をダビングしてください。

外付→ディスクへ手間なしダビングするときは 外付

外付の場合、再生中の番組を手間なしダビングすることはできません。
ハードディスクの録画一覧画面を表示中（再生停止中）に、サブメニュー画面から手間なしダビングしてください。

① 録画一覧画面を表示中（再生停止中）に、ダビングしたい番組を選ぶ
② サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
③ ▲▼ で「手間なしダビング」を選び、決定 を押す
- 再生中に手間なしダビングしたい場合は、外付→本体に移動させたあと、本体からダビングしてください。

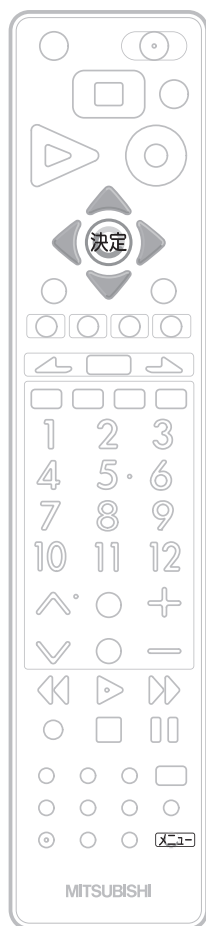
デジタルビデオカメラで記録されたハイビジョン画質の動画をダビングする

ダビングする前に、P.168 の「ダビングする前に、必ずお読みください」をお読みください。

AVCHDのハイビジョン画質で記録された動画を本体にダビングする

DISC(AVCHD) SD (AVCHD) USB(AVCHD) → 本体

デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質（AVCHD）の動画を本体にダビングできます。

- ディスクの場合は、録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけがダビング可能です。
- ダビング元で記録された録画モードで、高速ダビングされます。
  本機で録画モードを変更してダビングすることはできません。
- 編集したい場合は、ダビング後に本体で行ってください。
- ディスクにダビングしたい場合は、一度本体にダビングしてから、本体→ディスクにダビングしてください。

ダビングのしかた

1 ダビング用の録画一覧画面を表示する

ディスクの場合

①ダビングしたいディスクを入れる P.144
- ディスクの再生が始まる場合は、停止しておきます。

②［メニュー］を押す

③▲▼で「取り込む（ダビング）」を選び、［決定］を押す

④▲▼で「BD/DVDからの映像取り込み」を選び、［決定］を押す

SD カード、USB 機器の場合

ダビングしたいSDカードを入れる、またはUSB機器を接続する P.154

■写真静止画一覧/映像取り込みの選択画面が表示されるときは
◀▶で「映像取り込み」を選び、［決定］を押す

2 P.175 ～ 179 の手順**3** ～**26**を行い、ダビングを始める
- ダビング先（本体）の録画モードは、「高速」だけが選べます。

ダビング実行中に途中で中止するときは、P.182をご覧ください。

ダビング後、再生するときは

ダビング後、本体の録画一覧（🎥）画面から再生することができます。P.157

お知らせ

- AVCHD準拠でない動画は、ダビングできません。
- ダビング後の番組名は、撮影日となります。
- 同じ日に撮影された場面（シーン）は、まとめて1番組になります。ただし、デジタルビデオカメラの撮影状態によって、同じ日に撮影された場面（シーン）でも別々の番組になることがあります。くわしくは、デジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 1つの番組に99シーンを超えて記録されている場合は、99シーンごとに分けて取り込まれます。
- USB機器から映像取り込み（ダビング）中に、「USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。」というメッセージが表示されたときは、本機の操作ができなくなります。
  その場合は、USBケーブルの接続を外してください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。
- 「メニュー」→「取り込む（ダビング）」からでも、ダビング用の録画一覧画面を表示することができます。
  メニューについては、P.184 をご覧ください。

ダビング実行中に途中で中止するときは

1 ダビング中に、「中止しています」メッセージが表示されるまで 残す ダビング を押し続ける

- DVD-RW(Video)/-R(Video)へダビング中のときのみ、このあと確認メッセージが表示されますので、◀ ▶ で「はい」を選び、決定 を押します。

2 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

お知らせ

- ダビング中に、サブメニュー画面からダビングを中止することもできます。
  ① ダビング中に サブメニュー を押して、サブメニュー画面を表示する
  ② ▲▼ で「ダビングを中断する」を選び、決定 を押す
  ③ ◀ ▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す
  ④ 中止完了メッセージが表示されたら、決定 を押す

ダビング実行中に途中で中止したときの録画内容、再生内容

■本体→ディスクへダビング中、外付→ディスクへダビング中

- **再生側(本体、外付)**
  内容がそのまま残ります。
  DVD-RW(Video)/-R(Video)以外に一括ダビングする場合、ダビング中止時点で「ムーブ(移動)」になる番組をダビング完了しているときは削除されます。
- **録画側(ディスク)**
  BD-RE、DVD-RW(VR)
  ダビングされません。
  BD-R、DVD-RW(AVCREC)/-R(AVCREC)/-R(VR)
  ダビングを中止したところまで録画され、ダビングされた分だけディスクの残量時間が減ります。
  ダビング中止時点でダビング実行中だった番組の再生はできません。
  複数番組を一括ダビングした場合、ダビング中止時点でダビング完了している番組は再生できます。
  DVD-RW(Video)の場合
  ダビングされず、初期化が必要となります。
  DVD-R(Video)の場合
  ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

■ディスク→本体へダビング中、AVCHDの動画→本体へダビング中

- **再生側(ディスク、AVCHDの動画)**
  内容がそのまま残ります。
- **録画側(本体)**
  ダビングされません。

ダビング実行中に停電があったときは

ダビングを中止します。

- 停電でダビングを中止したときの録画内容、再生内容については、上記「ダビング実行中に途中で中止したときの録画内容、再生内容」の場合と同様となります。
- 本体、外付、BD-RE、DVD-RW(AVCREC)/-RW(VR)
  停電発生の状況によっては、初期化が必要となったり、そのディスクが使用できなくなることがあります。
- BD-R、DVD-R(AVCREC)/-R(VR)/-RW(Video)
  停電発生の状況によっては、そのディスクが使用できなくなることがあります。

ビデオやビデオカメラから本機にダビングする

ダビングする前に、P.168 の「ダビングする前に、必ずお読みください」をお読みください。

ビデオやビデオカメラ→本機へのダビングのしかた

他の機器 → **本体**

ビデオテープなどを、他の機器から本機の本体にダビングすることができます。

- ビデオテープをディスクにダビングしたい場合は、ビデオテープを本体にダビングしてから、本体→ディスクにダビングしてください。

事前に、次の接続と設定を確認・変更しておいてください。設定が間違っていると、希望の音声で録画できません。

- 本機と他の機器（ビデオ/ビデオカメラなど）との接続 P.31
  ビデオ2入力に接続した機器だけからダビング（録画）できます。
- 「録画・再生設定」画面の「録画設定」ー「外部音声選択」の設定 P.208 （工場出荷時の設定：ステレオ）
- 二重音声を録画する場合は、「録画・再生設定」画面の「録画設定」ー「二重音声選択」、「外部音声選択」の設定 P.208

ダビングのしかた

他の機器の操作については、その機器の取扱説明書をお読みください。

1 本 機
入力を切り換える P.66

- 他の機器をつないでいる入力（「ビデオ2」）に切り換えます。

2 他の機器
再生を始める

3 本 機
一発録画を始める P.118

4 本 機
録画を一時停止するときは
［一時停止］を押す

- 録画が一時停止します。
  もう一度押すと、再び録画が始まります。

5 本 機
録画を停止するときは
［停止］を押す

- 録画が停止します。（停止後に次の操作ができるまでしばらく時間がかかることがあります。）
  停止した位置までが、1番組（番組）となります。
- 2番組同時録画中/追っかけ再生/録画同時再生中に録画を停止するときは、P.130 をご覧ください。

ダビング後、再生するときは

ダビング後、本体の録画一覧（全）画面から再生することができます。P.141

お知らせ

- 市販のソフトやレンタルディスク・テープのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされており、ダビングできません。
- 他の機器からディスクにダビングしたい場合は、一度本体にダビングし、本体→ディスクにダビングしてください。
- 本体の録画モード（XP ～ EP）を切り換えてからダビングしたい場合は、「録画・再生設定」画面の「録画設定」ー「録画モード」の「アナログ」 P.208 の設定を切り換えてください。

メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すだけで、いろいろな機能を呼び出せます。

メニュー画面

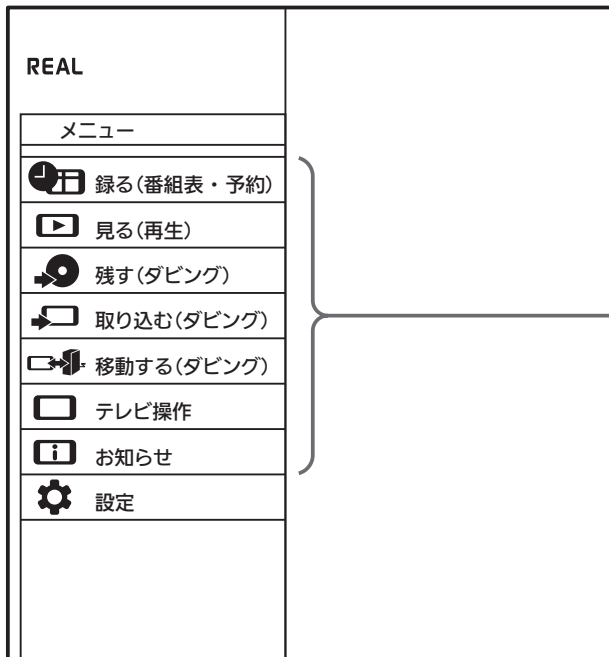
サブメニューを表示する P.186

2 メニュー欄から項目を選ぶ

選んで → 決定する

1つ前の画面に戻る

1 [メニュー] を押す

メニュー画面 が表示されます。

録る(番組表・予約)

番組表の表示、予約の設定と変更や確認などができます。

項目	ページ
番組表	P.71
時刻指定予約	P.122
予約変更・確認	P.128

見る(再生)

本体やブルーレイなどのディスク、SDカードなどを見るときに操作できます。

項目		ページ
続きから再生	※1	P.149
続きから再生(BD)	※1	P.149
続きから再生(DVD)	※1	P.149
録画一覧		P.140
BD／DVDトップメニュー／録画一覧		P.145･147
音楽CD再生	※2	P.147
CD写真・静止画一覧	※3	P.155
SDカード写真・静止画一覧		P.155
USB写真・静止画一覧		P.155
ネットワーク		P.88

※1 続きから再生できるものが1つだけ表示されます。
※2 音声CD挿入時に表示されます。
※3 写真･静止画のあるCD挿入時に表示されます。

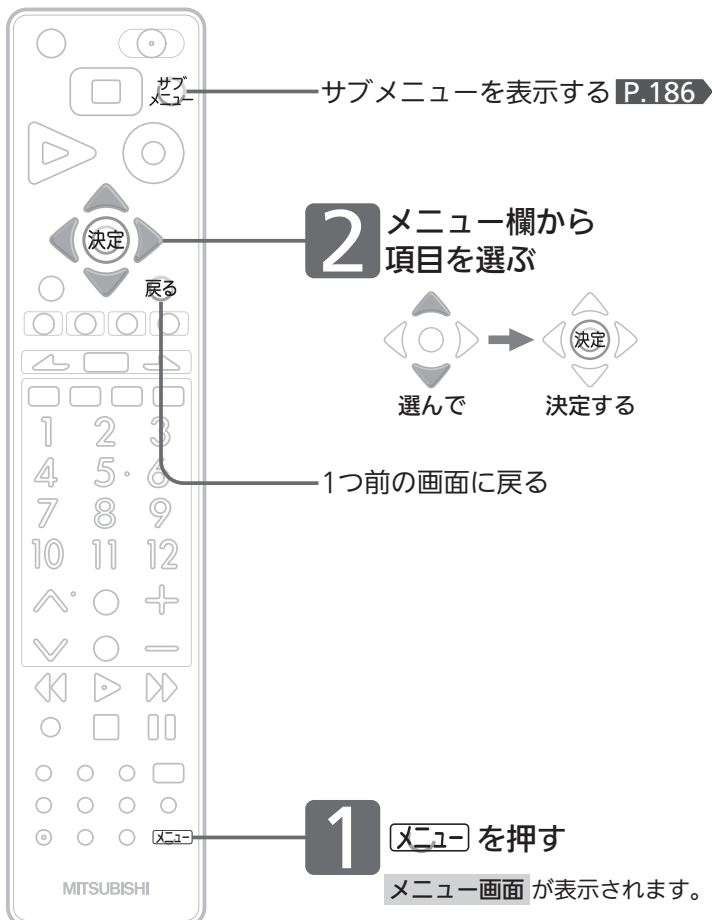
残す(ダビング)

本体に録画した番組やダウンロードしたコンテンツをブルーレイなどのディスクにダビングします。 P.172

項目	ページ
本体録画番組を残す	P.174
ダウンロードコンテンツを残す	P.94
外付の番組を残す	P.174

取り込む(ダビング)

ブルーレイなどのディスク、SDカード、USB機器の映像を本体にダビングします。 P.181

項目
BD／DVDからの映像取り込み
SDカードからの映像取り込み
USBからの映像取り込み

お知らせ

メニュー画面などが二重に見える場合は、3Dモードが「■→擬似3D」に設定されている可能性があります。

3D を4回押して、3Dモードを「放送(入力)のまま」に変更してください。

移動する(ダビング)

本体に録画した番組を外付ハードディスクへ移動したり、外付ハードディスクから本体に戻したりできます。 P.138

本体から外付に番組を移す
外付から本体に番組を移す

テレビ操作

視聴中に操作できる便利な機能です。

項目	設定	ページ
オフタイマー	: 切 ※4	P.76
オンタイマー		P.77
消画		P.76
選局対象	: すべて ※5	P.187
使う人切換	: 標準モード ※5	P.187
外付ハードディスク取外し		P.55

※4 オフタイマー使用中は「切」になるまでの時間が表示されます。

※5 設定内容が表示されます。

お知らせ

機器内部や放送局からのお知らせ、B-CASカードやソフトウェアの情報などを表示します。

項目	ページ
テレビからのお知らせ	P.188
放送局からのお知らせ	P.188
ボード(CS)	P.189
B-CASカード情報	P.189
ソフトウェア情報	P.189
アンテナレベル	P.189
困ったときは	P.189

設定

いろいろな機能の設定ができます。

項目	ページ
画質設定	P.190
音声設定	P.196
録画・再生設定	P.203
通信設定	P.210
機能設定	P.217
初期設定	P.228
節電アシスト設定	P.78
設定初期化	P.240

サブメニュー

サブメニュー を押して表示させます。

●デジタル放送を見ているとき

項目	ページ
3Dメガネ切換 ※6	P.62
BD/DVDトップメニュー ※7	P.147
番号入力	P.56
番組内容	P.74
サラウンド ※8	P.70
外部アンプ連動 ※9	P.86
映像切換 ※10	P.69
画面サイズ	P.84
画質設定	P.190
音声設定	P.196
トレイ開/閉	P.144
この番組を録画する ※11	P.118
録画を停止する【地デジ】【011ch】 ※12	P.130
録画を停止する【ビデオ2】 ※12	P.130
ダビングを中断する ※13	P.182

●ビデオ2入力を見ているとき

項目	ページ
3Dメガネ切換 ※6	P.62
BD/DVDトップメニュー ※7	P.147
サラウンド ※8	P.70
外部アンプ連動 ※9	P.86
ゲームモード	P.86
画面サイズ	P.84
画質設定	P.190
音声設定	P.196
トレイ開/閉	P.144
この番組を録画する ※11	P.118
録画を停止する【地デジ】【011ch】 ※12	P.130
録画を停止する【ビデオ2】 ※12	P.130
ダビングを中断する ※13	P.182

●ビデオ1～2入力（音楽プレーヤー）を聞いているとき

項目	ページ
サラウンド ※8	P.70
外部アンプ連動 ※9	P.86
音声設定	P.196
トレイ開/閉	P.144
録画を停止する【地デジ】【011ch】 ※12	P.130
録画を停止する【ビデオ2】 ※12	P.130
ダビングを中断する ※13	P.182

●ビデオ1、HDMI1～2入力を見ているとき

項目	ページ
3Dメガネ切換 ※6	P.62
BD/DVDトップメニュー ※7	P.147
サラウンド ※8	P.70
外部アンプ連動 ※9	P.86
ゲームモード	P.86
画面サイズ	P.84
画質設定	P.190
音声設定	P.196
トレイ開/閉	P.144
録画を停止する【地デジ】【011ch】 ※12	P.130
録画を停止する【ビデオ2】 ※12	P.130
ダビングを中断する ※13	P.182

●i.LINK入力を見ているとき

項目	ページ
3Dメガネ切換 ※6	P.62
BD/DVDトップメニュー ※7	P.147
サラウンド ※8	P.70
外部アンプ連動 ※9	P.86
画面サイズ	P.84
画質設定	P.190
音声設定	P.196
トレイ開/閉	P.144
この番組を録画する ※11	P.118
録画を停止する【i.LINK】 ※12	P.130

●Bluetooth入力を見ているとき

項目	ページ
サラウンド ※8	P.70
外部アンプ連動 ※9	P.86
音声設定	P.196
Bluetooth接続切断 ※15	P.68
Bluetooth機器情報削除 ※16	P.67
トレイ開/閉	P.144
録画を停止する【地デジ】【011ch】 ※12	P.130
録画を停止する【ビデオ2】 ※12	P.130
ダビングを中断する ※13	P.182

●再生のとき（CD以外）

項目	ページ
3D奥行き切換 ※6	P.62
3Dメガネ切換 ※6	P.62
始めから再生する	
ディスクメニュー ※14	
リピート再生設定を行う	P.152
頭だしを行う	P.151
アングル切換	P.153
BD再生選択	P.148
サラウンド ※8	P.70
外部アンプ連動 ※9	P.86
画面サイズ	P.84
画質設定	P.190
音声設定	P.196
この番組をダビングする	P.153

●CD再生のとき

項目	ページ
始めから再生する	
リピート再生設定を行う	P.152
頭だしを行う	P.151
サラウンド ※8	P.70
外部アンプ連動 ※9	P.86
音声設定	P.196

図中のチャンネル表示等は一例です。
※6は、3D映像視聴中または「3D」選択中のみ表示されます。
※7は、市販のBDやDVD、ファイナライズしたVideo方式のDVD-R/-RW挿入中のみ表示されます。
※8は、音声によって「ワイドサラウンド」または「ダイヤトーンサラウンド」、「ヘッドホンサラウンド」のいずれかが表示されます。
※9は、HDMIコントロール対応アンプと未接続時は薄く表示され選択できません。
※10は、デジタル放送波が受信できていないとき、データ放送チャンネルのときは薄く表示され選択できません。
※11は、等速ダビング中など録画ができない状態のときは薄く表示され選択できません。
※12は、録画中のみ表示されます。
※13は、ダビング中のみ表示されます。
※14は、市販のディスク挿入中のみ表示されます。
※15は、Bluetooth® 接続中のみ表示されます。
※16は、Bluetooth® 接続中は薄く表示され選択できません。

他の画面でもサブメニューで便利な機能が呼び出せます。
例：番組表、録画一覧

番組視聴中の便利な機能（選局対象/使う人切換）

選局対象の設定をする

チャンネルボタンで選局できるデジタル放送のチャンネルを変更します。

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「選局対象」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で設定内容を変更する

「すべて」…………… 受信できるすべてのチャンネルを選局するとき。
「設定チャンネル」… チャンネル設定で設定されているPo1～36チャンネルだけを選局するとき。
「テレビ」…………… テレビ放送だけを選局するとき。
「ラジオ」…………… ラジオ放送だけを選局するとき。
「データ」…………… データ放送だけを選局するとき。

● 工場出荷時の設定は、「すべて」です。

5 メニュー を押す

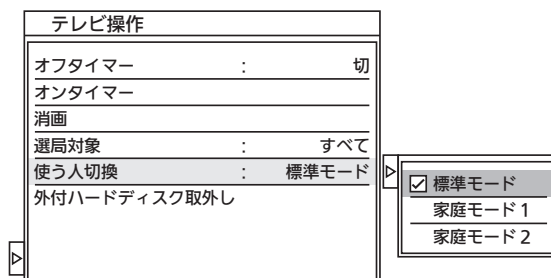
使う人に合わせた設定に切り換える（使う人切換）

本機を使用する人に適した設定に一括で切り換えることができます。
設定は3つのモードから選べます。
それぞれのモードの設定内容は、お好みで変更することもできます。 P.226

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「使う人切換」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ でお好みのモードを選ぶ

5 メニュー を押す

3つのモードと工場出荷時の設定内容

項目	工場出荷時の設定		
	標準モード	家庭モード1	家庭モード2
視聴者設定	切	シニア	ジュニア
字幕	切	切	切
声ハッキリ	切	入	切
自動読み上げ	切	入	切
操作音・報知音	小	標準	切
リモコンキーロック	すべてしない	すべてしない	すべてしない

お知らせ

それぞれのモードの設定内容の変更方法については、P.226 をご覧ください。

お知らせなどの情報を確認する（テレビからのお知らせ/放送局

テレビからのお知らせを読む

テレビからのお知らせには、予約重なりや停電などで録画予約の録画、初期化、ファイナライズができなかったときなどに、本機から送られるメッセージが表示されます。
本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに「✉未読あり」が表示された場合は、以下の手順でお知らせの内容を確認してください。

1 メニュー を押す

● 「メニュー機能の使いかた」 P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「テレビからのお知らせ」を選び、 決定 を押す

4 お知らせの内容を確認する

テレビからのお知らせ　3/17 土 PM 3:15

12/ 3/17（土）AM 0:14　AM 0:15～AM 1:30の予約録画は主電源が切られたか、停電のため一部またはすべて録画できませんでした。

12/ 3/16（金）PM 8:29　PM 8:00～PM 9:00の予約録画は重複しているため中断されました。

12/ 3/16（金）AM 0:14　AM 0:15～AM 1:30の予約録画は主電源が切られたか、停電のため中断されましたが録画を再開しました。

■ 別のページを表示するときは

前 (前ページ)、次/ジャンプ (次ページ)を押す

5 読み終わったら、

戻る を押す

テレビからのお知らせをすべて削除するとき

1 上の手順**4**の画面のとき、 黄 を押す

2 確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

● すべてのテレビからのお知らせが削除されます。
● お知らせごとの手動削除はできません。

お知らせ

● テレビからのお知らせは32通まで表示できます。
● 最大表示数を越えると、日付の古いお知らせから削除されます。
● テレビからのお知らせは、予約が失敗したときなどに送られてくる重要な情報です。テレビからのお知らせの内容は、必ずご確認ください。
● テレビからのお知らせの送信や返信はできません。

放送局からのお知らせを読む

放送局からのお知らせには、デジタル放送の放送局から送られてくるお知らせと、本機の機能向上のためのダウンロード更新情報が表示されます。

1 メニュー を押す

● 「メニュー機能の使いかた」 P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「放送局からのお知らせ」を選び、 決定 を押す

4 ▲ ▼ で読みたいお知らせを選び、決定 を押す

■ 画面の続きがあるときは

▲ ▼ でスクロールする

5 内容を確認する

■ お知らせ本文の続きがあるときは

▲ ▼ でスクロールする

■ 他のお知らせを読みたいときは

戻る を押す

6 読み終わったら、

戻る をくり返し押す

ダウンロード更新情報が届いたとき

ダウンロード設定 P.239 でダウンロード予約を「切」に設定している場合、ダウンロード更新情報が届いたときはダウンロード予約を「入」にしてください。
（ダウンロード予約を「入」に設定している場合は、自動的にダウンロード更新されます。）

お知らせ

● 放送局からのお知らせは31通まで表示できます。
● 最大表示数を越えると、日付の古いお知らせから削除されます。放送局からのお知らせは、ほとんどの場合お客さまご自身で削除することはできません。
● 放送局からのお知らせの送信や返信はできません。

110度CSデジタル放送の情報(ボード)を確認する

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「ボード(CS)」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、 決定 を押す

5 確認が終わったら、
戻る をくり返し押す

B-CASカードの情報を確認する

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「B-CASカード情報」を選び、決定 を押す

● 契約されている各委託放送事業者への問い合わせなどで必要な、B-CASカードの番号を確認します。

4 確認が終わったら、
メニュー を押す

ソフトウェアの情報を確認する

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「ソフトウェア情報」を選び、決定 を押す

● 本機で使用しているソフトウェアについての情報を確認します。

4 確認が終わったら、
戻る を押す

「アンテナレベル」画面を表示する

映りが悪いときに受信状態を確認します。

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「アンテナレベル」を選び、決定 を押す

●「アンテナレベル」についてくわしくは、 P.235 をご覧ください。

4 確認が終わったら、
戻る を押す

困ったときの問い合わせ先を確認する

「お客さま相談センター」の電話番号を表示します。

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「お知らせ」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「困ったときは」を選び、決定 を押す

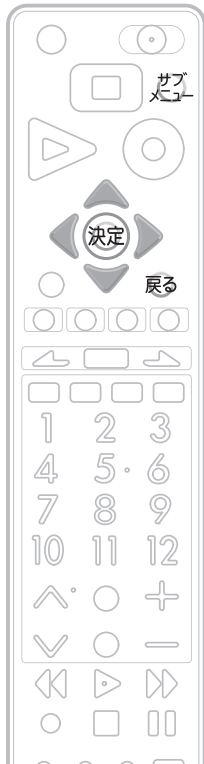
4 問い合わせ先を確認する

5 確認が終わったら、
メニュー を押す

画質設定をする

画質の設定をお好みにしたいときに調整できます。

「画質設定」画面の表示のしかた

1 を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184~186 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「画質設定」を選び、決定 を押す

サブメニュー	
番号入力	
番組内容	
ワイドサラウンド	▷
外部アンプ連動	▷
映像切換	：映像１
画面サイズ	▷
画質設定	▷
音声設定	▷
トレイ開／閉	
この番組を録画する	

画質設定		
映像モード切換	：	ハイブライト
バックライト	：	＋３０
コントラスト	：	＋３０
黒レベル	：	０
色の濃さ	：	０
色あい	：	０
色温度	：	青みがかった白
シャープネス	：	０
プロ調整	：	▷
画質設定の初期化		
ジャンル適応（映像）	：	切
明るさセンサー	：	切
視聴者設定	：	切
明るさ順応補正	：	切
３Ｄ二重像低減	：	自動

お知らせ

「メニュー」→「設定」→「画質設定」でも「画質設定」画面を表示できます。

「画質設定」画面について

画質設定		
映像モード切換	：	ハイブライト
バックライト	：	＋３０
コントラスト	：	＋３０
黒レベル	：	０
色の濃さ	：	０
色あい	：	０
色温度	：	青みがかった白
シャープネス	：	０
プロ調整	：	▷
画質設定の初期化		
ジャンル適応（映像）	：	切
明るさセンサー	：	切
視聴者設定	：	切
明るさ順応補正	：	切
３Ｄ二重像低減	：	自動

映像モード切換 P.191
映像に合った画質設定を、5つのモードの中から選ぶことができます。

バックライト P.192
バックライトの明るさを調整します。

コントラスト P.192
映像コントラストを調整します。

黒レベル P.192
黒レベルを調整します。

色の濃さ P.192
色の濃さを調整します。

色あい P.192
色あいを調整します。

色温度 P.192
白の青み赤みを切り換えます。

シャープネス P.192
シャープネスを調整します。

プロ調整 P.192
画質設定をさらに細かく調整できます。

画質設定の初期化 P.194
現在選ばれている映像モードの画質設定を工場出荷時の状態に戻します。

ジャンル適応（映像） P.194
コンテンツに応じて、画質を自動的に切り換えます。

明るさセンサー P.194
お部屋の明るさに応じて、バックライトの明るさを自動で調整します。

視聴者設定 P.195
視聴者の視覚特性に応じて、バックライトの明るさと色温度を自動で調整します。

明るさ順応補正 P.195
視聴時間に対する目の順応特性に応じてバックライトの明るさを自動で調整します。

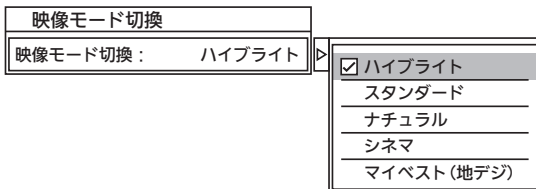
3D二重像低減 P.195
3D映像視聴時の二重像を低減します。

映像モードを切り換える

5つの映像モードから選ぶことができます。
それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。
P.192～193

1 「画質設定」画面を表示する P.190

2 ▲ ▼ で「映像モード切換」を選び、
決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

4 サブメニュー を押す

お知らせ

映像モードは、各入力（放送の種類やビデオ入力など）ごとに選ぶことができます。

映像モードの種類

- **ハイブライト**
  色調、画質ともに鮮やかで、メリハリの効いたモードです。お部屋が特に明るく、コントラスト感が要求されるときにおすすめします。
- **スタンダード**
  標準的な画面です。一般的な視聴におすすめします。
- **ナチュラル**
  より自然で、落ちついた色合い、画質に補正されたモードです。
- **シネマ**
  お部屋を暗くして映画ソフトを楽しむのに適したモードです。
  ・初期設定のままご使用の場合、映像によっては動きが不自然になることがあります。
  「デジタルシネマ」P.192～193 を「切」にするか、「シネマ」以外の映像モードでご覧ください。
- **マイベスト**
  各入力（放送の種類やビデオ入力など）ごとに、お好みに合わせて細かい調整ができます。 P.192～193

画質調整をする

映像モード P.191 は、それぞれお好みの画質に調整することができます。

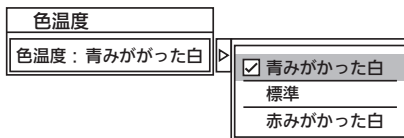
1 「画質設定」画面を表示する P.190

2 ▲ ▼ で調整項目を選び、決定 を押す

3 バックライト、コントラスト、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネスの場合

◀ ▶ で調整する

色温度の場合

▲ ▼ で設定を選ぶ

4 サブメニュー を押す

より美しい映像で見るために

- **お部屋の明るさに応じて**
  「バックライト」または「明るさセンサー」で画面の明るさを調整してください。
- **テレビに近づいて見るときは**
  「バックライト」や「明るさセンサー」で画面をやや暗めに、「シャープネス」で少しやわらかめに調整してください。
- **暗い映画などで、黒がつぶれぎみのときは**
  「黒レベル」で黒つぶれが少なくなるように調整してください。
- **ノイズの多いビデオなどを再生するときは**
  「色の濃さ」で色を淡く調整してください。

画質調整の調整項目

項目	調整
バックライト	−30 〜 +30（暗く ⇔ 明るく）
コントラスト	−30 〜 +30（暗く しっとりする ⇔ 明るく メリハリがでる）
黒レベル	−30 〜 +30（黒が暗くなる ⇔ 黒が明るくなる）
色の濃さ	−30 〜 +30（色が淡く ⇔ 色が濃く）
色あい	−30 〜 +30（肌色が紫がかる ⇔ 肌色が緑がかる）
色温度	青みがかった白 / 標準 / 赤みがかった白
シャープネス	−30 〜 +30（やわらかく ⇔ くっきり）

さらに細かく画質調整をする(プロ調整)

「プロ調整」では、さらに細かく画質を調整することができます。

1 「画質設定」画面を表示する P.190

2 ▲ ▼ で「プロ調整」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で調整項目を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で設定を選ぶ

- 「白バランス」は、◀ ▶ で調整してください。

5 サブメニュー を押す

プロ調整の調整項目

項目	設定	説明
ダイヤモンドHD	強 / ☑中 / 弱 / 切	画像の繊細感を強調します。
ガンマ補正	☑強 / 中 / 弱 / 切	ガンマ特性を入力信号に合わせて調整し、コントラスト感のある画質に仕上げます。 強：暗部のコントラスト感が強調されます。 中：標準の設定状態です。 弱：明部のコントラスト感が強調されます。
色補正	☑モード1 / モード2 / 切	自然に見えるように色あいを補正します。 モード1：モード2よりも自然さと落ちつきを重視した設定です。 モード2：原色を鮮やかに補正します。自然の風景などを見る場合におすすめします。
コントラスト補正	☑強 / 中 / 弱 / 切	画面全体が暗い映像において、コントラスト感を改善して、鮮明な映像にします。
バックライト補正	☑入 / 切	「入」で、画面全般が暗い映像において、バックライトの輝度をおさえて、黒の締まりを改善します。
映像輪郭補正	☑強 / 中 / 弱 / 切	急峻で切れ味のよい輪郭にします。

項目	設定	説明
色にじみ補正	☑強 / 中 / 弱 / 切	色境界部分の色にじみを改善します。
白バランス	−3 ～ +3（赤みがかる ⟷ 緑がかる）	お好みの白色に補正します。
MPEG NR	強 / 中 / ☑弱 / 切	デジタル放送のブロック状のノイズと輪郭部分に現れるモスキートノイズを軽減します。
ブロックノイズNR	強 / 中 / 弱 / ☑切	デジタル映像のブロックノイズを少なくします。
3次元NR	強 / ☑中 / 弱 / 切	細微なノイズを減らします。
デジタルシネマ	自動 / ☑切	「自動」にすると、映画番組本来のコマ割を検出し、本来の忠実な元画像を再現します。 ●映像により動きや輪郭が不自然になる場合は「切」にしてください。
倍速ピクチャー	フィルム / なめらか強 / ☑なめらか弱 / 切	動きの早い映像の残像感を低減します。 フィルム：フィルム映像の動きを忠実に再現します。 なめらか強・なめらか弱：コマ数を増やし、動きをなめらかにします。

お知らせ

- 「プロ調整」は画質の変化が大きいため、一度に複数項目の変更をせず、1項目変更するごとに通常の「画質調整」P.192 を変更して確認しながら設定していくと、比較的早くお好みの最良画質にすることができます。
  「プロ調整」項目を変更した場合は、通常の「画質調整」の変更で、更に画質が向上する場合があります。
- 倍速ピクチャーは映像により効果が低いことがあります。画像が乱れる場合は「切」にしてください。
- 倍速ピクチャーは、3D映像視聴時はフレームパッキング方式（1080p）入力のときのみ「切」「なめらか弱」「なめらか強」に設定できます。その他の3D映像入力の場合は、倍速ピクチャーははたらきません。

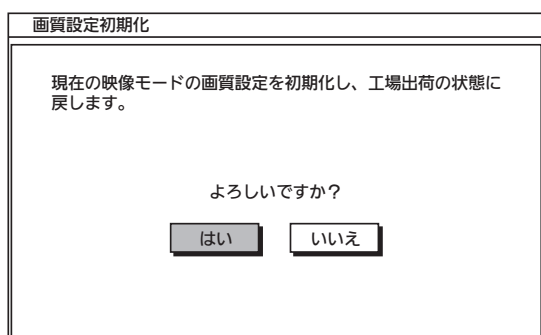
画質設定をする(つづき)

画質設定を初期化する

選んでいる映像モードの画質調整 P.192 とプロ調整 P.192 に関する内容を工場出荷時の状態に戻します。
映像モードごとに初期化できます。

1 「画質設定」画面を表示する P.190

2 ▲ ▼ で「画質設定の初期化」を選び、決定を押す

3 ◀ ▶ で「はい」を選び、決定を押す

4 もう一度決定を押す

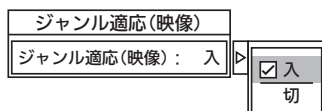
5 サブメニューを押す

ジャンルに合った画質にする(ジャンル適応)

視聴中の番組のジャンルに合わせて、画質を自動的に切り換えます。

1 「画質設定」画面を表示する P.190

2 ▲ ▼ で「ジャンル適応(映像)」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

4 サブメニューを押す

お知らせ

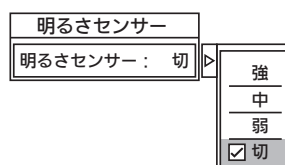
- 番組やソフトの内容に合わせて自動で画質を選びます。
- ジャンル適応(音声)については、 P.199 をご覧ください。

自動的にお部屋に合った画面の明るさにする(明るさセンサー)

本体前面の明るさセンサーがお部屋の明るさを感知して、お部屋が暗いとき画面がまぶしくないように、自動で画面の明るさをおさえます。消費電力も節約します。

1 「画質設定」画面を表示する P.190

2 ▲ ▼ で「明るさセンサー」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

「強」「中」「弱」… 本機までの距離でお選びください。近いときは「強」がおすすめです。「強」では画面の明るさを強くおさえるので、画面を暗く感じることがあります。

「切」…………… 明るさセンサーは、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。

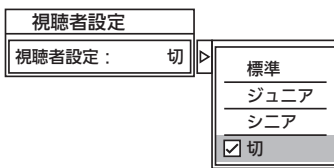
4 サブメニューを押す

視聴者に合わせた画面にする（視聴者設定）

視聴される方に合わせて、目にやさしい画面の明るさを選ぶことができます。

1 「画質設定」画面を表示する P.190

2 ▲ ▼ で「視聴者設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

「標準」………… まぶしさをおさえつつクッキリした画面にします。
「ジュニア」…… テレビを長時間ご覧になるときや、アニメなど明るさの変化が大きいときにおすすめします。
「シニア」……… 画面全体が明るいときのまぶしさをおさえます。
「切」……………… 視聴者設定は、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。

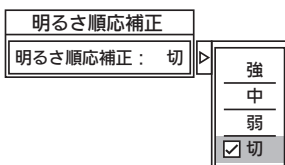
4 サブメニュー を押す

明るさ順応補正の設定をする

視聴時間に応じて目の順応に適した輝度に徐々に下げます。

1 「画質設定」画面を表示する P.190

2 ▲ ▼ で「明るさ順応補正」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

4 サブメニュー を押す

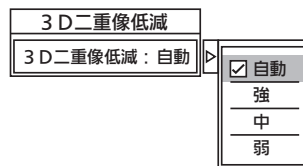
3D映像の二重像を低減する

右（左）目用映像へ左（右）目用映像が混入し3D画像が二重に見えるのを低減します。

1 「画質設定」画面を表示する P.190

2 ▲ ▼ で「3D二重像低減」を選び、決定を押す

●3D映像視聴中だけ選べます。

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

●見えかたにあわせて選びます。

4 サブメニュー を押す

お願い！

体調や個人差で二重に見えることがあります。その場合は、無理に視聴を続けず、体調などに応じて3Dの視聴を休止してください。

音声設定をする

音声の設定をお好みにしたいときに調整できます。

「音声設定」画面の表示のしかた

1 サブメニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」 P.184～186 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「音声設定」を選び、 決定 を押す

音声設定		
音声モード切換	:	標準
高音	:	0
低音	:	0
左右バランス	:	0
重低音	:	弱
ダイヤトーンＨＤ	:	切
ヘッドホン設定		▷
サラウンド		▷
音質設定の初期化		
ジャンル適応（音声）	:	入
音量補正		▷
声ハッキリ	:	切
音声出力設定		▷
読み上げ設定		▷
操作・報知音量	:	切
光音声出力設定	:	ＰＣＭ

お知らせ

「メニュー」→「設定」→「音声設定」でも「音声設定」画面を表示できます。

「音声設定」画面について

音声設定		
音声モード切換	:	標準
高音	:	0
低音	:	0
左右バランス	:	0
重低音	:	弱
ダイヤトーンＨＤ	:	切
ヘッドホン設定		▷
サラウンド		▷
音質設定の初期化		
ジャンル適応（音声）	:	入
音量補正		▷
声ハッキリ	:	切
音声出力設定		▷
読み上げ設定		▷
操作・報知音量	:	切
光音声出力設定	:	ＰＣＭ

音声モード切換 P.197
映像に合った音質設定を、3つのモードの中から選ぶことができます。

高音 P.197
スピーカーの高音を調整します。

低音 P.197
スピーカーの低音を調整します。

左右バランス P.197
スピーカーの左右バランスを調整します。

重低音 P.197
スピーカーの重低音レベルを調整します。

ダイヤトーンHD P.197
デジタル圧縮により欠落した高域を再生し臨場感のある音にします。

ヘッドホン設定 P.198
ヘッドホンの音質を調整します。

サラウンド P.70･198
音の広がり感を切り換えます。

音質設定の初期化 P.198
現在選ばれている音声モードの音質設定を工場出荷時の状態に戻します。

ジャンル適応（音声） P.199
デジタル放送のジャンル情報に応じて、音質を自動的に切り換えます。

音量補正 P.199
番組内容やシーン、入力内容で異なる音量を、自動で補正します。

声ハッキリ P.200
お年寄りに聞きやすい音にします。

音声出力設定 P.200
音声出力端子の接続機器と音声出力レベルの切り換えや、サブウーハー音量の調整をします。

読み上げ設定 P.201
番組表などの読み上げに関する設定ができます。

操作・報知音量 P.202
操作音などの報知音の音量を切り換えます。

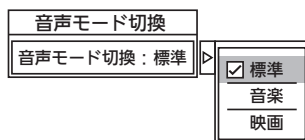
光音声出力設定 P.202
本機とアンプを光デジタルケーブルで接続している場合にだけ設定が必要です。接続機器に合わせて正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出ないことがあります。

音声モードを切り換える

映像に合った音質の設定を3つのモードの中から選ぶことができます。それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。調整方法については、右側の「音質調整をする」をご覧ください。

1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「音声モード切換」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選び、決定を押す

4 サブメニューを押す

お知らせ

音声モードは、各入力(放送の種類やビデオ入力など)ごとに選ぶことができます。

音声モードの種類

- **標準**
  標準的な音質です。一般的な視聴におすすめします。
- **音楽**
  低音、高音を強調した設定になっています。
  音楽番組や音楽ソフトを聞くときにおすすめします。
- **映画**
  聞きとりやすい音質になっています。
  映画番組や映画ソフトを長時間見るときにおすすめします。

音質調整をする

音声モードは、それぞれお好みの音質に調整することができます。

1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で調整項目を選び、決定を押す

3 高音、低音、左右バランスの場合

◀ ▶ で調整する

重低音、ダイヤトーンHDの場合

▲ ▼ で設定を選ぶ

4 サブメニューを押す

音質調整の調整項目

音声設定をする（つづき）

ヘッドホンの音質調整をする（ヘッドホン設定）

スピーカーとは別に高音、低音、バランスを調整できます。

1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「ヘッドホン設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で調整項目を選び、決定を押す

4 ヘッドホン高音、ヘッドホン低音、ヘッドホンバランスの場合

◀ ▶ で調整する

ヘッドホン高音
ヘッドホン高音： 0 ▷ ◁ −6 +6 ▷

ヘッドホンダイヤトーンHDの場合

▲ ▼ で設定を選ぶ

ヘッドホンダイヤトーンＨＤ
ヘッドホンダイヤトーンＨＤ： 入 ▷ ☑入 切

5 サブメニュー を押す

サラウンドで聞く

サラウンドを設定すると、スピーカーとヘッドホンからの出力で、音声の奥行き感や広がり感が強調されます。ご覧になる番組や再生するソフトに合わせて設定してください。

1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「サラウンド」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定項目を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で設定を選ぶ

● サラウンドについてくわしくは P.70 をご覧ください。

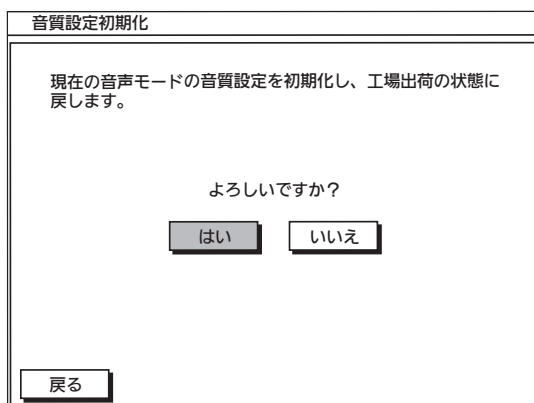
5 サブメニュー を押す

音質設定を初期化する

選んでいる音声モードの音質調整 P.197 とサラウンド P.70 に関する内容を工場出荷時の状態に戻します。
音声モードごとに初期化できます。
ヘッドホン挿入時は、ヘッドホン設定 P.198 が初期化されます。

1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「音質設定の初期化」を選び、決定を押す

3 ◀ ▶ で「はい」を選び、決定を押す

4 もう一度決定を押す

5 サブメニュー を押す

ジャンルに合った音質にする(ジャンル適応)

視聴中の番組のジャンルに合わせて、音質を自動的に切り換えます。

1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「ジャンル適応(音声)」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

4 サブメニュー を押す

お知らせ

- デジタル放送のときは、次のようになります。
  - ・ジャンル情報が「映画」のとき、音声モードを自動的に「映画」に切り換えます。
  - ・ジャンル情報が「音楽」のとき、音声モードを自動的に「音楽」に切り換えます。
- デジタル放送以外のときは、音質は切り換わりません。
- ジャンル適応(映像)については、 P.194 をご覧ください。

聞きやすい音量にする(音量補正)

「おすすめ音量」を「標準」または「ナイトモード」に設定すると、CMになったとき、番組が変わったとき、入力を切り換えたとき、映画のシーンが変わったときなど、音量感が大きく変わることをおさえ、音量調節頻度を減らします。
「Dolby Digital Dレンジ圧縮」を「入」に設定すると、ドルビーデジタル音声を、小さい音を大きく大きい音を小さく聞きやすく調整します。

1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「音量補正」を選び、 決定 を押す

3 ▲ ▼ で設定項目を選び、 決定 を押す

4 ▲ ▼ で設定を選ぶ

5 サブメニュー を押す

お知らせ

- 静かなシーンが続くときなど、音量を大きくする効果が強くはたらくので雑音が聞こえることがあります。
- ダイナミックレンジが重要な音楽の視聴では、音量補正効果によりダイナミックレンジを圧縮するため迫力感が弱くなります。
- 「ナイトモード」設定で、外部入力で音楽DVDなど録音レベルの大きなコンテンツを再生する場合、音量補正効果により、音が小さく感じることがあります。

音量補正の項目

項目	設定	説明
おすすめ音量	標準	通常の使用において、聞き取りやすく自然な効果です。
	ナイトモード	補正効果が強くなります。夜間など音量を絞っているとき向きです。
	☑ 切	
Dolby Digital Dレンジ圧縮	入 ☑ 切	「入」で、ドルビーデジタル音声を、小さい音を大きく大きい音を小さく聞きやすく調整します。

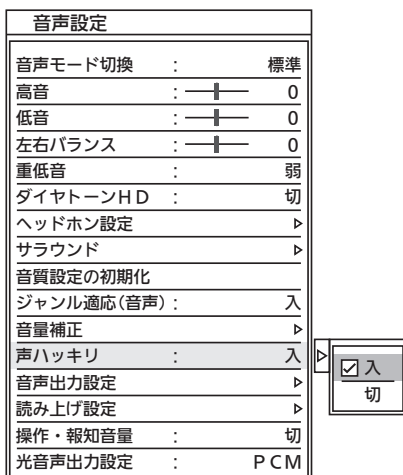
音声設定をする(つづき)

声ハッキリの設定をする

高音を強調して人の声をより聞きやすくします。ニュース番組などに有効です。

1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「声ハッキリ」を選び、決定 を押す

3 で「入」を選ぶ

「入」… アナウンサーや人の会話がより聞きやすくなります。
「切」… 声ハッキリがオフになります。

4 サブメニュー を押す

お知らせ

雑音が気になるときは、「切」に設定してください。

音声出力の設定をする

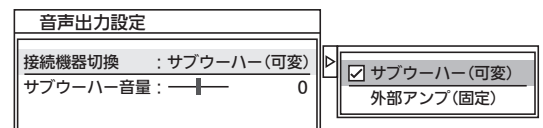
音声出力端子 P.34 にサブウーハーを接続された場合は、以下の手順で「接続機器切換」を「サブウーハー(可変)」に切り換えると、音量調節に合わせてサブウーハーの音量が変わります。また、テレビのスピーカーからの音との音量バランスを「サブウーハー音量」で調整できます。

1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「音声出力設定」を選び、決定 を押す

接続機器の設定を「サブウーハー」に切り換えるとき

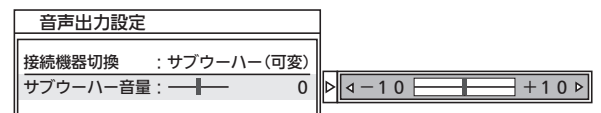
3 ▲ ▼ で「接続機器切換」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「サブウーハー(可変)」を選び、決定 を押す

- 「サブウーハー(可変)」に設定すると音声出力端子からは低音だけが出力されます。

サブウーハーの音量調整をするとき

テレビの本体スピーカーからの音量とバランスが取れるよう、接続するサブウーハー側の音量調整を行った後、必要に応じてこの操作を行ってください。

5 ▲ ▼ で「サブウーハー音量」を選び、決定 を押す

6 ▲ ▼ で調整する

- 本体音量が大きい場合、サブウーハーからの音が歪まないようサブウーハー音量を上げすぎないようにします。本体音量が小さい場合、サブウーハーの音にノイズが混じらないようサブウーハー音量を下げすぎないようにします。

7 サブメニュー を押す

読み上げの設定をする

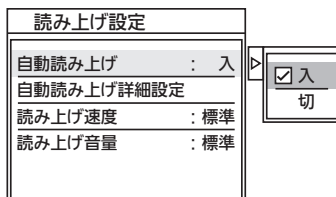
メニュー P.184（録画・再生設定を除く）、番組表 P.71、番組内容 P.74、録画一覧 P.140 などの画面で表示内容を自動的に読み上げるように設定できます。また、読み上げる画面を個別に指定したり、速さと音量を変えることもできます。

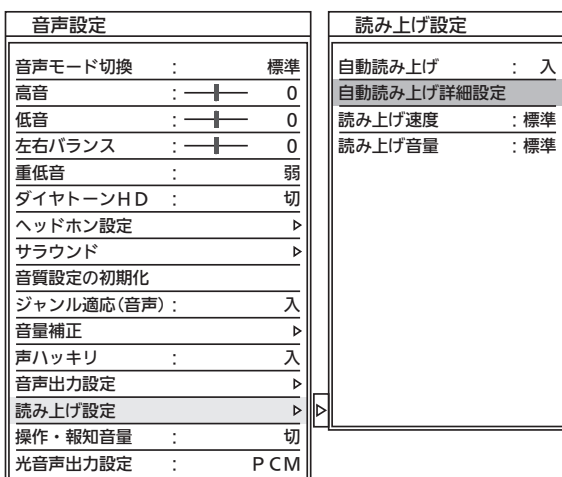
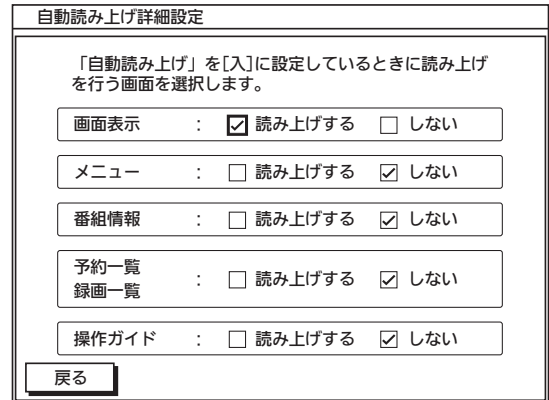
1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「読み上げ設定」を選び、決定を押す

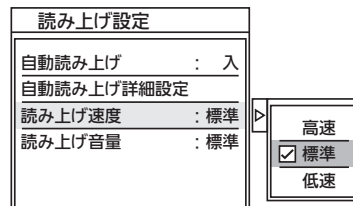
自動で読み上げるようにするとき

3 ▲ ▼ で「自動読み上げ」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「入」を選ぶ

自動で読み上げる画面を選ぶとき

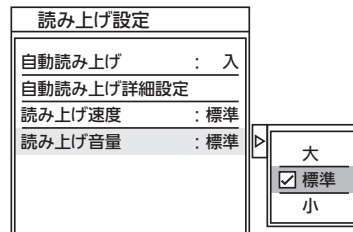
5 ▲ ▼ で「自動読み上げ詳細設定」を選び、決定を押す

6 ▲ ▼ で読み上げる画面を選んでから、◀ ▶ で設定を選び、決定を押す

読み上げる速さを変えるとき

7 ▲ ▼ で「読み上げ速度」を選び、決定を押す

8 ▲ ▼ で設定を選ぶ

読み上げる音量を変えるとき

9 ▲ ▼ で「読み上げ音量」を選び、決定を押す

10 ▲ ▼ で設定を選ぶ

11 サブメニュー を押す

音声設定をする（つづき）

操作音などの報知音量の設定をする

操作音などの報知音の大きさを調整できます。
音量は3段階から選べます。

1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「操作・報知音量」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ でお好みの音量を選ぶ

4 サブメニュー を押す

光音声出力設定をする

本機とアンプを光デジタルケーブルで接続している場合にだけ設定が必要です。
接続機器に合わせて正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出ないことがあります。

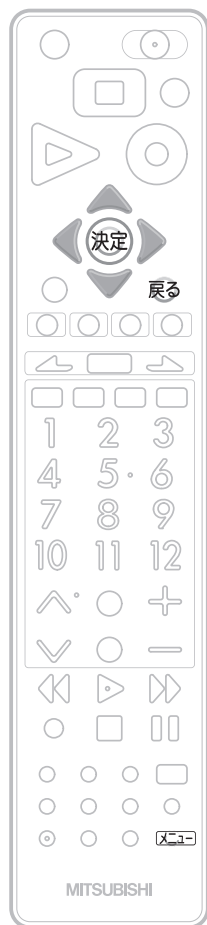
1 「音声設定」画面を表示する P.196

2 ▲ ▼ で「光音声出力設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

「自動」… ドルビーデジタル、DTS、AAC対応機器と接続しているときに選びます。
「PCM」… ドルビーデジタル、DTS、AAC対応でない機器と接続しているときに選びます。

4 サブメニュー を押す

録画・再生設定をする

「録画・再生設定」画面の表示のしかた

1 メニュー を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「録画・再生設定」を選び、決定 を押す

「録画・再生設定」画面について

再生設定 ▷
録画設定
録画予約設定

再生設定 P.204
主に、市販ソフトの再生時に便利な設定ができます。

録画設定 P.208
いろいろな録画の設定ができます。

録画予約設定 P.209
いろいろな録画予約の設定ができます。

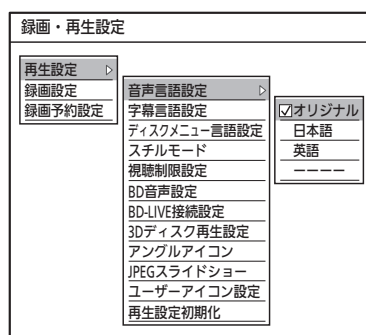
再生設定をする

再生時に便利な設定ができます。

1 「録画･再生設定」画面を表示する P.203

2 ▲▼で「再生設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で設定項目を選び、決定を押す

4 ▲▼で設定を選び、決定を押す

5 「設定」画面が消えるまで
戻るをくり返して押す

お知らせ

- 言語設定はBDビデオ/DVDビデオ側の設定が優先され、本機の設定とは異なる言語になることがあります。
- BDビデオ/DVDビデオによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。この場合の操作のしかたは、ディスクの説明書をご覧ください。
- BDビデオ/DVDビデオによっては、言語の設定を切り換えられないことがあります。
- 再生中に音声/字幕言語を切り換えるときは、P.153 をご覧ください。
- 「BD-LIVE接続設定」の接続解除で入力する暗証番号は、デジタル放送の視聴制限を解除する暗証番号 P.219 と共通です。

再生設定の項目

項目	内容
音声言語設定	BDビデオソフト、DVDビデオソフトの再生時の音声言語を設定します。 ☑ オリジナル 日本語 英語 ―――― ……「言語コード一覧表」P.205 から選んだ言語の音声にします。
字幕言語設定	BDビデオソフト、DVDビデオソフトの再生時の字幕言語を設定します。 自動 ☑ 日本語 英語 ―――― ……「言語コード一覧表」P.205 から選んだ言語の字幕にします。
ディスクメニュー言語設定	BDビデオソフト、DVDビデオソフトの再生時のBD/DVDメニューの言語を設定します。 自動 ☑ 日本語 英語 ―――― ……「言語コード一覧表」P.205 から選んだ言語のメニューにします。
スチルモード	再生一時停止中の映像の設定をします。 ☑ 自動 …… 通常は、この設定にします。 フィールド …… 画像のブレを抑えます。 フレーム …… 小さな文字や細かい絵柄を見やすくします。
視聴制限設定	BDビデオソフト、DVDビデオソフト、「スカパー！ＨＤ録画」した番組、ネットワークのダウンロード番組の視聴制限年齢やレベルを設定します。P.206 ※ 設定すると、暗証番号を入力しない限り、再生や視聴制限の設定変更ができなくなります。 デジタル放送の視聴制限の設定をするときは、P.219 をご覧ください。
BD音声設定	Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD対応ビデオソフトの音声を設定します。 ☑ 複合音声 …… プライマリー音声とセカンダリー音声を出力します。 プライマリー音声 …… プライマリー音声だけを出力します。
BD-LIVE接続設定	BD-Liveを利用するときに、インターネットへの接続を制限するかどうかの設定をします。 有効 …… 接続を制限しません。 ☑ 有効（制限つき） …… 接続するときに暗証番号の入力が必要になります。 無効 …… 接続を許可しません。
3Dディスク再生設定	3D対応のBDビデオソフトを再生するときに、自動的に3Dで再生するか常時2Dで再生するかどうかの設定をします。 ☑ 3D再生 2D再生 …… 3Dモードは、擬似3Dにのみ切り換えることができます。
アングルアイコン	入 …… BDビデオソフト、DVDビデオソフトの再生中にカメラアングルが切り換え可能な場面になると、画面にアングルアイコン「🎥」が表示されます。 ☑ 切
JPEGスライドショー	☑ 5秒 10秒 JPEGファイルの表示間隔を設定します。
ユーザーアイコン設定	予約一覧画面や録画一覧画面に表示されるユーザー1～3のアイコンを設定します。（全12種類）P.207
再生設定初期化	「再生設定」の設定内容を工場出荷時の設定に戻します。P.207

音声、字幕、ディスクメニューの言語を言語コード一覧から選ぶ

BDディスク、DVDディスクの再生時の音声、字幕、ディスクメニューの言語をそれぞれ設定できます。
「日本語」と「英語」はメニューから直接選べます。その他の言語は、このページの「言語コード一覧」から4桁の「言語コード」を入力して設定します。

1 「録画·再生設定」画面を表示する P.203

2 ▲▼ で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で言語を変更したい項目を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「−−−−」（または数字）を選ぶ

5 右記の「言語コード一覧」を参考に、1 〜 10 で言語コード（4桁）を入力し、決定 を押す

- 入力を間違えたときは、黄 を押します。

6 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

言語コード一覧

言語名	画面上の表示	言語コード
Afar	aa	4747
Abkhazian	ab	4748
Afrikaans	af	4752
Amharic	am	4759
Arabic	ar	4764
Assamese	as	4765
Aymara	ay	4771
Azerbaijani	az	4772
Bashkir	ba	4847
Byelorussian	be	4851
Bulgarian	bg	4853
Bihari	bh	4854
Bislama	bi	4855
Bengali;Bangla	bn	4860
Tibetan	bo	4861
Breton	br	4864
Catalan	ca	4947
Corsican	co	4961
Czech	cs	4965
Welsh	cy	4971
Danish	da	5047
German	ドイツ語	5051
Bhutani	dz	5072
Greek	el	5158
English	英語	5160
Esperanto	eo	5161
Spanish	スペイン語	5165
Estonian	et	5166
Basque	eu	5167
Persian	fa	5247
Finnish	fi	5255
Fiji	fj	5256
Faroese	fo	5261
French	フランス語	5264
Frisian	fy	5271
Irish	ga	5347
Scots Gaelic	gd	5350
Galician	gl	5358
Guarani	gn	5360
Gujarati	gu	5367
Hausa	ha	5447
Hindi	hi	5455
Croatian	hr	5464
Hungarian	hu	5467
Armenian	hy	5471
Interlingua	ia	5547
Interlingue	ie	5551
Inupiak	ik	5557
Indonesian(BAHASA)	id	5560
Icelandic	is	5565
Italian	イタリア語	5566
Hebrew	he	5569
Japanese	**日本語**	**5647**
Yiddish	ji	5655
Javanese	jw	5669
Georgian	ka	5747
Kazakh	kk	5757
Greenlandic	kl	5758
Cambodian	km	5759
Kannada	kn	5760
Korean	韓国語	5761
Kashmiri	ks	5765
Kurdish	ku	5767
Kirghiz	ky	5771
Latin	la	5847
Lingala	ln	5860
Laothian	lo	5861
Lithuanian	lt	5866
Latvian;Lettish	lv	5868
Malagasy	mg	5953
Maori	mi	5955
Macedonian	mk	5957
Malayalam	ml	5958
Mongolian	mn	5960
Moldavian	mo	5961
Marathi	mr	5964
Malay	ms	5965
Maltese	mt	5966
Burmese	my	5971
Nauru	na	6047
Nepali	ne	6051
Dutch	オランダ語	6058
Norwegian	no	6061
Occitan	oc	6149
(Afan)Oromo	om	6159
Oriya	or	6164
Panjabi	pa	6247
Polish	pl	6258
Pashto;Pushto	ps	6265
Portuguese	pt	6266
Quechua	qu	6367
Rhaeto-Romance	rm	6459
Kirundi	rn	6460
Romanian	ro	6461
Russian	ru	6467
Kinyarwanda	rw	6469
Sanskrit	sa	6547
Sindhi	sd	6550
Sangho	sg	6553
Serbo-Croatian	sh	6554
Singhalese	si	6555
Slovak	sk	6557
Slovenian	sl	6558
Samoan	sm	6559
Shona	sn	6560
Somali	so	6561
Albanian	sq	6563
Serbian	sr	6564
Siswat	ss	6565
Sesotho	st	6566
Sundanese	su	6567
Swedish	sv	6568
Swahili	sw	6569
Tamil	ta	6647
Telugu	te	6652
Tajik	tg	6653
Thai	th	6654
Tigrinya	ti	6655
Turkmen	tk	6657
Tagalog	tl	6658
Setswana	tn	6660
Tonga	to	6661
Turkish	tr	6664
Tsonga	ts	6665
Tatar	tt	6666
Twi	tw	6669
Ukrainian	uk	6757
Urdu	ur	6764
Uzbek	uz	6772
Vietnamese	vi	6855
Volapuk	vo	6861
Wolof	wo	6961
Xhosa	xh	7054
Yoruba	yo	7161
Chinese	中国語	7254
Zulu	zu	7267

再生時の視聴制限設定をする

BDビデオやDVDビデオ、「スカパー!ＨＤ録画」した番組、ネットワークのダウンロード番組の視聴制限を設定できます。
制限のあるBDビデオやDVDビデオ、「スカパー!ＨＤ録画」した番組、ネットワークのダウンロード番組を視聴するときは、暗証番号（4桁のパスワード）を入力します。

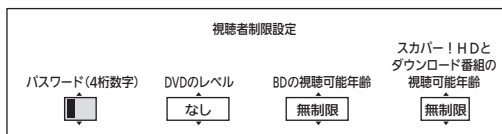
お知らせ

- ここで設定する暗証番号（パスワード）は、デジタル放送の視聴制限を解除する暗証番号 P.219 と共通です。デジタル放送の方で暗証番号を設定していなくても、ここでパスワードを入力すると暗証番号が設定されたことになり、デジタル放送の視聴制限番組を見るときに暗証番号の入力が必要になります。

1 「録画・再生設定」画面を表示する P.203

2 ▲▼ で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「視聴制限設定」を選び、決定 を押す

- 「視聴制限設定」画面が表示されます。

4 1 ～ 10 で暗証番号（4桁のパスワード）を入力し、決定 を押す

- 暗証番号は P.219 で登録した番号を入力します。
- 暗証番号が未登録の場合は、ここで入力した番号が暗証番号として登録されます。
- 入力した数字は、「＊」で表示されます。
- 入力中に番号を間違えたときは、黄 を押します。

■「パスワードが間違っています。」メッセージが表示されたときは

間違った暗証番号を入力しています。決定 を押したあと、正しい暗証番号を入力し直してください。

5 ◀▶ で変更したい項目を選び、▲▼ で設定内容を変更し、決定 を押す

＿＿は工場出荷時の設定です。

DVDのレベル

「なし」…… 制限なし
「レベル8」… 弱（ほとんどのDVDが再生可能）
～
「レベル1」… 強（子供用のDVDだけが再生可能）

- DVDのレベルの制限を超えるDVDを再生するときは、暗証番号の入力が必要となります。

BDの視聴可能年齢

「無制限」、「0歳」～「254歳」（1歳単位）

- 視聴可能年齢の制限を超えるBDを再生するときは、暗証番号の入力が必要となります。

スカパー!ＨＤとダウンロード番組の視聴可能年齢

「無制限」、「4歳」～「19歳」（1歳単位）

- 視聴可能年齢の制限を超える番組を再生するときは、暗証番号の入力が必要となります。

6 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

ユーザーアイコン設定をする

予約画面や録画一覧画面に表示されるユーザー 1 ～ 3のアイコンを設定します。（全12種類）

1 「録画･再生設定」画面を表示する P.203

2 ▲▼ で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「ユーザーアイコン設定」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で希望のユーザー（1～3）を選び、決定 を押す

5 ▲▼◀▶ で希望のアイコンを選び、決定 を押す

- ユーザー 1 ～ 3で同じアイコンは選べません。

6 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

お知らせ

- 録画一覧画面の番組のユーザーを変更するときは、P.161 をご覧ください。

再生設定を初期化する

「再生設定」を工場出荷時の状態に戻します。

● 再生設定初期化の実行中は、本機の電源を切ったり主電源（本体右側）を「切」にしないでください。本機の故障の原因となります。

1 「録画･再生設定」画面を表示する P.203

2 ▲▼ で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「再生設定初期化」を選び、決定 を押す

4 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

- 「再生設定」の設定内容が、工場出荷時の設定に戻ります。

5 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

お知らせ

- 再生設定を初期化した場合でも、視聴制限の設定はそのまま残ります。

録画設定をする

いろいろな録画の設定ができます。

1. 「録画･再生設定」画面を表示する P.203
2. ▲▼で「録画設定」を選び、決定を押す
3. ▲▼で設定項目を選び、決定を押す
4. ▲▼で設定を選び、決定を押す
5. 「設定」画面が消えるまで戻るをくり返して押す

録画設定を初期化する

「録画設定」を工場出荷時の状態に戻します。

気を付けて

● **録画設定初期化の実行中は、本機の電源を切ったり主電源（本体右側）を「切」にしないでください。本機の故障の原因となります。**

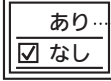
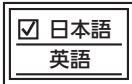
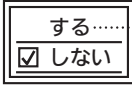
1. 「録画･再生設定」画面を表示する P.203
2. ▲▼で「録画設定」を選び、決定を押す
3. ▲▼で「録画設定初期化」を選び、決定を押す
4. ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

● 「録画設定」の設定内容が、工場出荷時の設定に戻ります。

5. 「設定」画面が消えるまで戻るをくり返して押す

録画設定の項目

項目	内容
自動チャプターマーク	録画中に、チャプターマーク P.103 が自動的に記録される間隔を設定します。 ※ 本体に録画する場合のみ ☑ おすすめ自動1 ／ おすすめ自動2 … おすすめ自動チャプター 録画中に、次のようなところでチャプターマークが自動的に記録されます。 1：本編とCMの変わり目と、場面が切り換わるところ 2：本編とCMの変わり目のみ 5分／10分／15分 切 … チャプターマークを記録しません。 ● チャプターマーク数の記録上限を超えるときは、それ以上追加することはできません。 ● チャプターマークの最大登録可能数は、 P.158 をご覧ください。
二重音声選択	二重音声（二カ国語）を録画するときの音声を設定します。 設定によって記録される音声については、 P.111～112 をご覧ください。 ☑ 主音声 … 主音声で録画します。 副音声 … 副音声で録画します。
Video高速ダビング	ビデオ2入力から本体→DVD-RW（Video）/DVD-R（Video）へ高速ダビングするかどうかを設定します。 設定によって、二重音声の記録のしかたが変わります。 入 … 高速ダビングになります。二重音声は､「二重音声選択」で設定されている音声だけが記録されます。 ☑ 切 … 等速ダビングになります。二重音声は主/副音声の両方が記録されます。
Videoアスペクト	DVD-RW（Video）/DVD-R（Video）に録画するときの画面の縦横比を設定します。 ☑ 4：3 … 4：3で録画します。 16：9 … 16：9で録画します。 ● Video高速ダビングが「入」のときは、外部入力からの録画についてもこの設定が反映されます。録画モードEPの場合は、この設定にかかわらず4：3で録画されます。
外部音声選択	ビデオ2入力から録画するときの音声を設定します。 設定によって記録される音声については、 P.112 をご覧ください。 ☑ ステレオ … 通常は、この設定でお使いください。 二重音声 … 外部入力で二重音声放送を録画するときに設定します。二重音声は､「二重音声選択」で設定されている音声だけが記録されます。

項目	内容
XP記録音声	録画モードXPで録画するときの音声を設定します。 ☑ Dolby Digital … 通常の音質（ドルビーデジタル）で録画します。二重音声は、主/副音声の両方が記録されます。 LPCM … 高音質（リニアPCM）で録画します。二重音声は､「二重音声選択」で設定されている音声だけが記録されます。
録画モード	録画の画質を設定します。 画質を優先させると、録画時間が短くなります。 録画時間を優先させると、画質は低くなります。 「デジタル」…… デジタル放送の一発録画、簡単予約のとき i.LINK（TS）入力の一発録画のとき ☑ DR／AF／AN／AE／XP／SP／LP／EP 「アナログ」…… ビデオ2入力のとき ☑ XP／SP／LP／EP ● 録画モードごとの画質、録画時間については、 P.108 をご覧ください。 ● 番組表を表示中に、サブメニューからも変更できます。
AEモード	録画モードAEで録画するときの、録画時間を設定します。 ☑ 5.5倍／12倍 「12倍」で、通常のAEよりも長時間録画できます。（画質は低下します。）
EPモード	録画モードEPで録画するときの、録画時間を設定します。 ☑ 6時間／8時間 「8時間」で、通常のEPよりも長時間録画できます。（画質は低下します。）
録画設定初期化	「録画設定」の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。（上記参照）

録画予約設定をする

いろいろな録画予約の設定ができます。

1 「録画·再生設定」画面を表示する P.203

2 ▲▼ で「録画予約設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で設定項目を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で設定を選び、決定 を押す

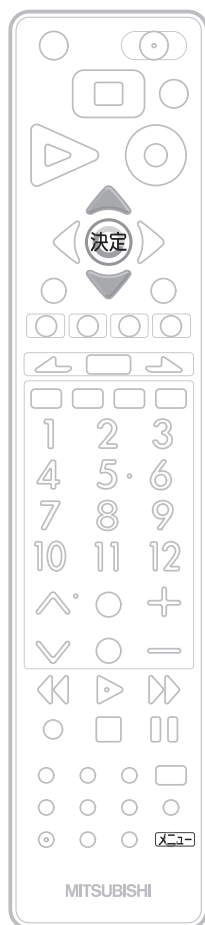
■ 設定項目が横に並んでいる場合は
◀▶ で項目を選び、▲▼ で設定します。

5 「設定」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

録画予約設定の項目

項目	説明
見どころ再生情報	見どころ再生用の情報を盛り込んで録画するかどうかの設定をします。 くわしくは、P.127 をご覧ください。
字幕焼きこみ	録画モードXP〜EPで、番組表から番組を指定して予約した場合に、映像といっしょに字幕を録画するかどうかを設定します。 ※ デジタル放送の番組のみ あり……「あり」で、字幕がある場合に映像といっしょに字幕を記録します。 ☑ なし ● この設定を「あり」にして記録された字幕は、再生時に表示の入/切はできません。 ● 録画モードDR、AF〜AEの場合は、この設定にかかわらず字幕の情報が記録され、再生時に表示の入/切ができます。
字幕焼きこみ言語	「字幕焼きこみ」で記録する字幕言語の設定をします。 ※「字幕焼きこみ」の設定が「あり」の場合のみ設定可能 ☑ 日本語 英語
おすすめ自動録画	過去の録画履歴などから番組を抽出し、自動的に予約して録画する設定をします。 ※ デジタル放送の番組のみ くわしくは、P.124〜125 をご覧ください。
イベントリレー録画	野球中継などで、延長部分が他のチャンネルで引き続き放送される場合、そのまま引き続き録画を続けるかどうかを設定します。 くわしくは、P.126 をご覧ください。 する……「する」で、番組の延長部分が他のチャンネルで放送される場合、番組引き続き録画します。 ☑ しない

通信設定をする

データ放送の双方向通信やネットワークなどを、ブロードバンド回線経由で利用するのに必要な設定をします。

「通信設定」画面の表示のしかた

1 メニュー を押す

● 「メニュー機能の使いかた」 P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲▼ で「設定」を選び、 決定 を押す

3 ▲▼ で「通信設定」を選び、 決定 を押す

「通信設定」画面について

通信設定
- ネットワーク設定
- 本機名称設定
- ホームサーバー設定 ▷
- 携帯端末設定 ▷

ネットワーク設定 P.211
データ放送の双方向通信や「ネットワーク」などを、ブロードバンド回線経由でご利用になる場合の設定です。
プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に設定してください。

本機名称設定 P.215
本機と接続したDLNA対応機器（プレーヤー機器）や携帯端末側で表示される本機の名前の設定です。
工場出荷時は、「三菱テレビ-MDR3」と設定されています。

ホームサーバー設定 P.214
本機と接続したDLNA対応機器（プレーヤー機器）との間で、家庭内ネットワーク機能 P.95 を利用するための設定です。

携帯端末設定 P.216
携帯端末をリモコンのように使って、本機を操作できるようにする設定です。

ネットワーク設定をする

本機にLANケーブルを接続して、データ放送の双方向通信や「ネットワーク」をブロードバンド経由で利用したり、「スカパー!ＨＤ録画」をすることができます。

「スカパー!ＨＤ録画」をするときは、必ず P.214 「通信設定」画面の「ホームサーバー設定」－「ホームサーバー機能」の設定を「入」にしてください。(「切」にすると録画できません。)

お願い!

- プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に、設定してください。
- 設定内容はプロバイダや回線事業者の提供するサービス内容やお使いになっている機器によりますので、わからない場合はプロバイダや回線事業者へまずお問合せください。
- プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダや回線事業者に確認してください。
- スカパー!ＨＤ対応チューナーのネットワーク設定は、スカパー!ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

DHCPを使用して必要な情報を自動取得する場合

1 「通信設定」画面を表示する P.210

2 「ネットワーク設定」が選ばれていることを確認して、決定 を押す

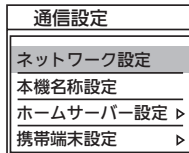
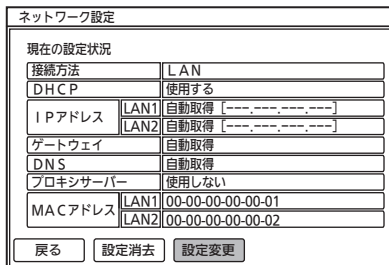
通信設定
- ネットワーク設定
- 本機名称設定
- ホームサーバー設定 ▷
- 携帯端末設定 ▷

3 「設定変更」が選ばれていることを確認して、決定 を押す

ネットワーク設定

現在の設定状況

項目		設定
接続方法		LAN
DHCP		使用する
IPアドレス	LAN1	自動取得 [---.---.---.---]
	LAN2	自動取得 [---.---.---.---]
ゲートウェイ		自動取得
DNS		自動取得
プロキシサーバー		使用しない
MACアドレス	LAN1	00-00-00-00-00-01
	LAN2	00-00-00-00-00-02

戻る　設定消去　設定変更

- プロキシサーバーを使用していない場合、接続した方のLAN端子側のIPアドレスが表示されていれば、この設定は完了しています。
  メニュー を押して、通常画面に戻してください。

  IPアドレスが表示されない場合は、手順**4**、**5**へ進み設定を確認してください。

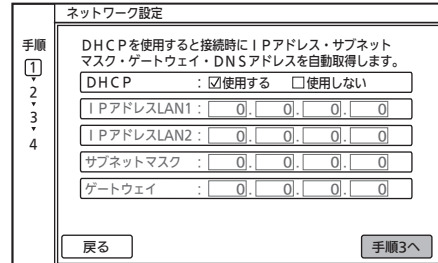
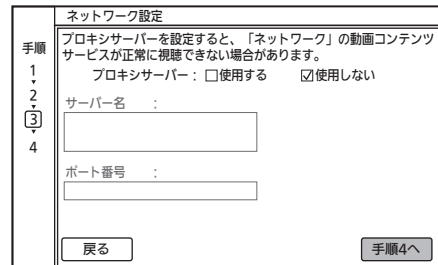
4 「DHCP」の「使用する」にチェックマークがあることを確認して、▽ で「手順3へ」を選び、決定 を押す

ネットワーク設定

手順 1 2 3 4

DHCPを使用すると接続時にＩＰアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNSアドレスを自動取得します。

項目	設定
DHCP	☑使用する　□使用しない
ＩＰアドレスLAN1	0. 0. 0. 0
ＩＰアドレスLAN2	0. 0. 0. 0
サブネットマスク	0. 0. 0. 0
ゲートウェイ	0. 0. 0. 0

戻る　手順3へ

5 ▽ で「手順4へ」を選び、決定 を押す

お知らせ

- プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合は、P.213 をご覧ください。
- プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダに確認してください。

6 「完了」が選ばれていることを確認して、決定 を押す

7 設定が完了したら、メニュー を押す

必要な情報を手動で入力する場合

1 P.211 の手順 1 ～ 3 を行う

2 ▶ で「DHCP」の「使用しない」を選び、決定を押す

3 IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの数値を入力する

① ▼ で「IPアドレスLAN1」に移動し、1 ～ 10 で数値を入力する

- 入力中に数値を間違えたときは、◀ で戻って、入力し直してください。

② ▼ で「IPアドレスLAN2」に移動し、1 ～ 10 で数値を入力する

③ 同様に「サブネットマスク」と「ゲートウェイ」にも、必要に応じて数値を入力する

ネットワーク設定
手順
1
2
3
4
DHCPを使用すると接続時にIPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNSアドレスを自動取得します。
DHCP　:☐使用する　☑使用しない
IPアドレスLAN1 : 123. 123. 123. 1
IPアドレスLAN2 : 123. 123. 123. 2
サブネットマスク : 255. 255. 0. 0
ゲートウェイ : 111. 222. 111. 222

4 ▼ で「手順2へ」を選び、決定を押す

5 DNS設定が必要な場合、◀ で「DNS」の「使用する」を選び、決定を押す

6 DNSアドレスの数値を入力する

① ▼ で「DNSアドレスプライマリ」に移動し、1 ～ 10 で数値を入力する

- 入力中に数値を間違えたときは、◀ で戻って、入力し直してください。

② 同様に「DNSアドレスセカンダリ」の数値を入力する

7 ▼ で「手順3へ」を選び、決定を押す

戻る
手順3へ

8 P.211 の手順 5 ～ 7 を行う

プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合

お知らせ

プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダに確認してください。

1 P.211の手順5のときに、で「プロキシサーバー」の「使用する」を選び、決定を押す

ネットワーク設定
手順 1 2 3 4
プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。
プロキシサーバー：☑使用する　□使用しない
サーバー名　：
ポート番号　：
戻る　手順4へ

2 プロキシサーバーのサーバー名とポート番号を入力する

① で「サーバー名」に移動し、決定を押す

② で文字または数字/記号を選び、決定を押す

- 手順②をくり返して入力します。
- 数字は、1 〜 10 でも入力できます。
- 間違えたときは、で「一字削除」または「キャンセル」に移動し、決定を押して、入力し直してください。

③ で「確定」に移動し、決定を押す

ネットワーク設定
手順 1 2 3 4
プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。
プロキシサーバー：☑使用する　□使用しない
サーバー名　：
proxy_server.ne.jp
ポート番号　：
y z a b c
Y Z A B C
- . 0 1 2
一字削除
確定
ｷｬﾝｾﾙ

④ で「ポート番号」に移動し、決定を押す

⑤ 上記の手順②〜③を行い、同様に「ポート番号」の数値を入力して確定する

3 で「手順4へ」を選び、決定を押す

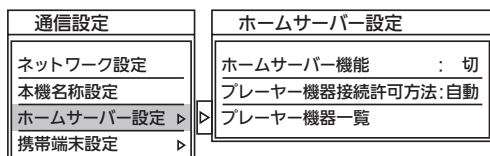
4 P.211の手順6 〜 7を行う

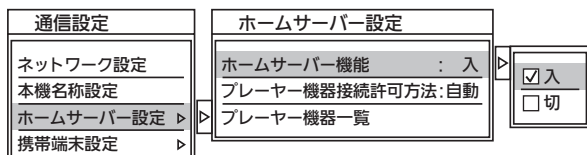
ホームサーバー設定をする

本機と家庭内ネットワーク機能に対応したテレビ（プレーヤー機器）をLANで接続し、本機（本体のHDD（ハードディスク））に録画したコンテンツをテレビ（プレーヤー機器）で再生することができます。P.95

●「スカパー！ＨＤ録画」をする場合は、必ず「ホームサーバー機能」の設定を「入」にしてください。「切」にすると録画できません。

1 「通信設定」画面を表示する P.210

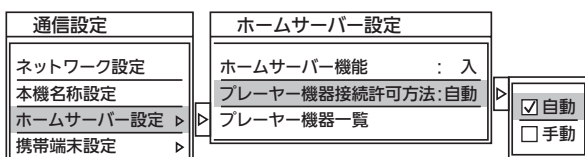
2 ▲▼ で「ホームサーバー設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「ホームサーバー機能」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「入」を選び、決定 を押す

- 「高速起動設定」P.227 の設定が「入」で固定され、待機時の消費電力が増えます。

■ ホームサーバー機能を利用しない場合は
「切」に設定してください。

●ホームサーバー機能を利用しなくても、「スカパー！ＨＤ録画」をする場合は、必ず「入」に設定してください。

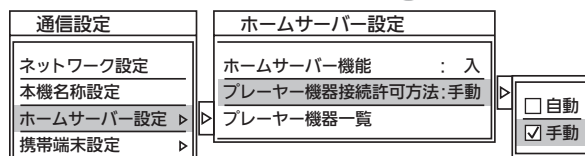
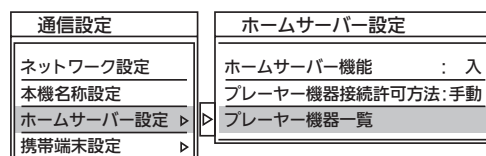
5 ▲▼ で「プレーヤー機器接続許可方法」を選び、決定 を押す

6 ▲▼ で「自動」を選び、決定 を押す

- 本機にアクセスのあったすべての機器の接続を許可します。
- アクセスのあった機器は、「プレーヤー機器一覧」に登録されます。（最大18台まで）

7 設定が完了したら、メニュー を押す

プレーヤー機器の接続設定を手動で行う場合

複数のプレーヤー機器が登録されている場合、個別に接続の許可/拒否を設定することができます。

1 左記の手順6のときに、▲▼ で「手動」を選び、決定 を押す

2 ▲▼ で「プレーヤー機器一覧」を選び、決定 を押す

- 「プレーヤー機器一覧」画面が表示されます。
- 一覧には、機器ごとの接続設定（許可/拒否）、機器名称（MACアドレス）、登録日が表示されます。
- 接続したプレーヤー機器の情報が一覧に表示されないときは、そのプレーヤー機器の設定や接続状態を確かめてください。本機から接続したプレーヤー機器の情報を取得する操作はありません。

3 ▲▼ で接続設定を変更する機器を選び、青 を押す

- 押すごとに、「許可」と「拒否」が切り換わります。
  「許可」･･･接続を許可します。
  「拒否」･･･接続を許可しません。
- 他の機器の接続設定も変更するときは、同様に操作します。

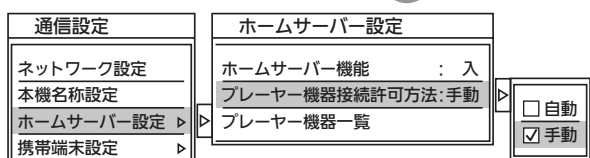
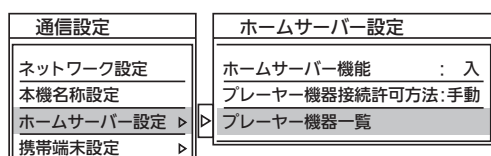
4 戻る を押す

お知らせ

- スカパー！ＨＤ対応チューナーから録画または録画予約をする場合、その機器をアクセス許可状態にしてください。
- プレーヤー機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧になって行ってください。

不要なプレーヤー機器を一覧から削除する場合

現在は接続していない不要なプレーヤー機器を「プレーヤー機器一覧」から削除することができます。

1 左記の手順6のときに、▲▼で「手動」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「プレーヤー機器一覧」を選び、決定を押す

- 「プレーヤー機器一覧」画面が表示されます。
- 一覧には、機器ごとの接続設定(許可/拒否)、機器名称(MACアドレス)、登録日が表示されます。

3 ▲▼で一覧から削除する機器を選び、黄を押す

■ すべての機器を一覧から削除する場合は 緑 を押してください。

4 ◀▶で確認メッセージの「はい」を選び、決定を押す

- 他の機器の接続設定も変更するときは、上記の手順3～4をくり返します。

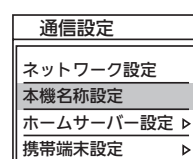
5 戻るを押す

接続したプレーヤー機器側で表示される本機の名前を変更する

本機と接続したDLNA対応機器(プレーヤー機器)や携帯端末側で表示される本機の名前を変更することができます。

工場出荷時は、「三菱テレビ-MDR3」と設定されています。

1 「通信設定」画面を表示する P.210

2 ▲▼で「本機名称設定」を選び、決定を押す

3 本機の名前を変更する

(文字の入力のしかたは、P.162～163 をご覧ください。)

4 すべての文字を確定したら 決定を押す

お知らせ

- ここで設定された名称がBluetooth®対応再生機器接続 P.67 や携帯端末連携機能 P.96 での本機の表示名になります。
- 名称に漢字、かな、半角カタカナ、記号を使用すると、携帯端末や再生機器側の表示が使用した文字と異なる文字を表示(文字化け)する場合があります。

携帯端末設定をする

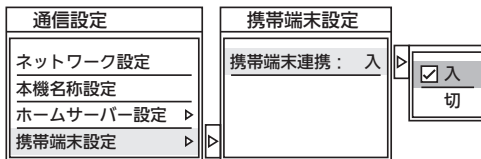
本機と本機に対応した携帯端末を無線LANを介して接続して、携帯端末から本機のさまざまな操作ができます。P.96

●**本機の携帯端末連携機能を利用する場合は、必ず「携帯端末連携」の設定を「入」にしてください。**

1 「通信設定」画面を表示する P.210

2 ▲ ▼ で「携帯端末設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「携帯端末連携」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「入」を選び、決定を押す

●「高速起動設定」P.227 の設定が「入」で固定され、待機時の消費電力が増えます。

■ **携帯端末連携機能を利用しない場合は**

「切」に設定してください。

5 設定が完了したら、メニュー を押す

機能設定をする

いろいろな機能を使うための設定ができます。

「機能設定」画面の表示のしかた

1 を押す

●「メニュー機能の使いかた」P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す

「機能設定」画面について

機能設定
節約設定 ▷
制限設定 ▷
外付ハードディスク設定 ▷
リンク設定 ▷
画面設定 ▷
入力スキップ設定
オートターン設定 ▷
使う人設定 ▷
高速起動設定

節約設定 P.218
いろいろな節約の設定ができます。

制限設定 P.219
放送、ネットワークの視聴許可年齢や、本体ボタン、リモコンボタンの制限を設定します。

外付ハードディスク設定 P.53･137
外付ハードディスクの登録/削除や、本体に録画した番組を自動で外付へ移動するように設定ができます。

リンク設定 P.223
HDMIコントロールによるリンクに関する設定をします。

画面設定 P.224
画面の調整と、画面サイズに関する設定ができます。

入力スキップ設定 P.225
外部入力のスキップ設定をします。

オートターン設定 P.225
オートターンを無効にしたり、電源「切」にすると画面の向きが中央へ戻るように設定できます。

使う人設定 P.226
本機を使う人に合わせて、いろいろな機能をまとめて一度に設定できます。

高速起動設定 P.227
電源を入れたときに、すぐに映像を表示し操作できるようにします。電源スタンバイ中(電源表示灯が赤色に点灯中)の消費電力が増えます。
高速起動設定が必要な「ホームサーバー機能」「携帯端末連携」が「入」に設定されているときは、この設定は選べません。

節約設定をする

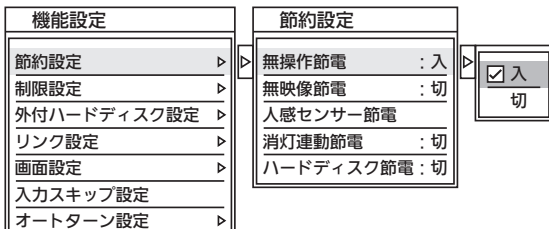
いろいろな節約の設定ができます。

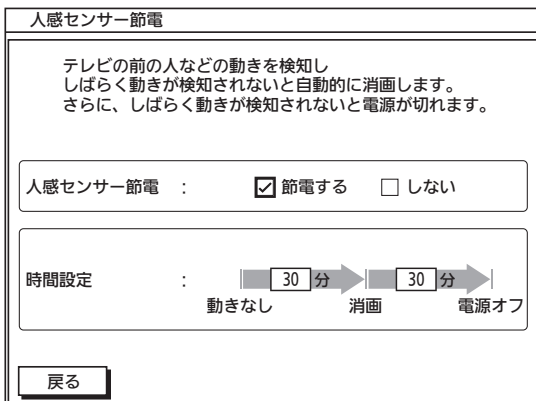
1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲ ▼ で「節約設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で項目を選び、決定 を押す

4 無操作節電、無映像節電、消灯連動節電、ハードディスク節電の場合

▲ ▼ で「入」を選ぶ

人感センサー節電の場合

 で「節電する」を選び、 を押す

- 時間設定を変更する場合は、▼ ◀ ▶ で変更したい項目を選び決定を押してから、▲ ▼ で時間を選び決定を押してください。

5 メニュー を押す

お知らせ

無操作節電「入」では、

- 電源が切れる1分前から「無操作節電　1分前」と表示されます。引き続き見るときは、音量を変えるなどリモコン操作をしてください。

無映像節電「入」では、

- 電源が切れる1分前から「無映像節電　1分前」と表示されます。引き続き見るときは、「いいえ」が選ばれている状態で決定を押してください。
- 画面全体が青色になっている(ブルーバック)ときは、はたらきません。

人感センサー節電「入」では、

- 人の動きが検知されなくなってから設定した時間が経つと、「まもなく消画します。テレビの前で体を動かすと消画を解除します。」と表示されます。
  引き続き見るときは、電源「切」(電源表示灯が赤色)になるまでに、テレビの前で体を動かしてください。

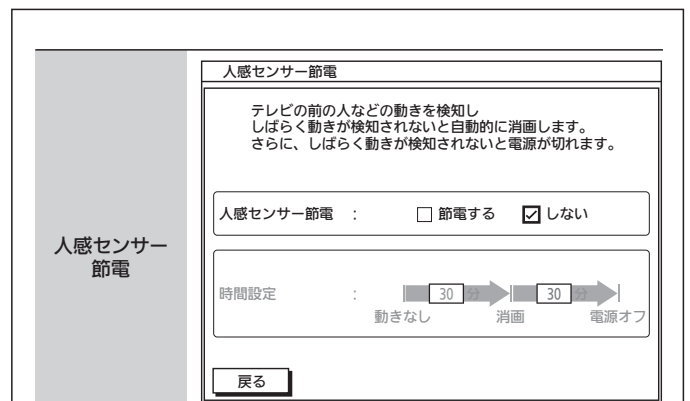
消灯連動節電「入」では、

- テレビの前に人が立つなど照明をさえぎるようにすると、電源がオフされることがあります。
- お部屋の明るさがゆっくりと暗くなる場合は、電源がオフされません。

ハードディスク節電「入」では、

- 本体、外付ともに節電動作になります。一旦停止状態に入ると次の操作のときに動き始めるための時間がかかります。一発録画 P.118･132 では、録画が始まるまでが長くなります。
  特に、ケーブルテレビのi.LINK(TS)予約録画 P.132 や「スカパー！HD録画」P.134 をご利用になる場合は、録画開始が遅れますので「切」をおすすめします。

節約設定の項目

項目	設定	説明
無操作節電	入 / ☑切	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。約3時間テレビを操作しなかった場合、自動的に電源が切れます。
無映像節電	入 / ☑切	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。放送終了後など、映像信号がなくなった状態で約10分経つと、自動的に電源が切れます。

項目	設定 / 説明
人感センサー節電	人感センサー節電をするかどうかの設定と、消画および電源オフまでの時間を設定します。
消灯連動節電	入 / ☑切　「入」で、お部屋の照明をおとすと、自動的に電源が切れます。
ハードディスク節電	入 / ☑切　「入」で、ハードディスク(本体/外付)を10分程度操作(見たり録ったり)しないときに待機状態から自動的に停止状態にします。

視聴時の制限項目設定をする（制限設定）

視聴制限を解除するための暗証番号を設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限を超える番組を視聴するときや、ネットワークを利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。

お知らせ

- ここで設定する暗証番号（パスワード）は、次のようなときの共通の番号になります。
  - ・デジタル放送の視聴制限の解除
  - ・ネットワークの利用
  - ・市販ソフトの視聴制限の解除 P.206
  - ・「スカパー！HD録画」した番組やネットワークのダウンロード番組の視聴制限の解除 P.206
  - ・有害サイト閲覧制限の解除

初めて視聴制限を設定するとき（暗証番号が未設定のとき）

1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲▼で「制限設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「視聴制限設定」を選び、決定を押す

4 1～10で4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

入力した数字は「＊」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは

10を押す

■ 間違えたときは

◀を押して、1文字消すことができます

5 もう一度、同じ暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

■ 2回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

「入力した番号と異なります。再度入力してください。」と表示されます。
画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

お知らせ

万一、暗証番号を忘れた場合には、「全情報の初期化」P.243後に、再設定していただく必要があります。ただし、「全情報の初期化」をすると全ての設定が工場出荷状態に戻ります。

視聴の許可年齢を設定するとき

6 「視聴の許可年齢」が選ばれている状態で、決定を押す

7 ▲▼で設定を選び、決定を押す

「4才以上」～「19才以上」… 4才から19才まで1才単位で設定できます。番組の視聴年齢制限が設定した年齢より上の場合、例えば「15才以上」に設定すると、番組の視聴年齢制限が「18才以上」のときは、暗証番号を入力しないと視聴できなくなります。

「制限なし」……… 番組の視聴年齢制限に関係なく視聴できます。

機能設定をする（つづき）

ネットワーク利用制限を設定するとき

8 ▼で「ネットワーク利用制限」を選ぶ

9 ◀ ▶で設定を選び、決定を押す

「する」………… 「ネットワーク」を利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。
「しない」……… 「ネットワーク」を利用するときに、暗証番号の入力が不要となります。

10 設定が終わったら、メニューを押す

お知らせ

視聴の許可年齢を指定したり、ネットワーク利用制限を「する」に設定すると、暗証番号の入力が必要となりますので暗証番号を忘れないようにご注意ください。万一、暗証番号を忘れた場合は、全ての設定が工場出荷状態に戻る「全情報の初期化」P.243を行う必要があります。

視聴制限を一時的に解除するとき

視聴の許可年齢P.219で設定した年齢以上の制限がかかった番組を見たいときは、暗証番号を入力する必要があります。

1 1 ～ 10 で4桁の暗証番号を入力する

- 入力した数字は「＊」で表示されます。
- 「0」を入力するときは 10 を押します。
- 間違えたときは◀を押して、1文字消すことができます。

2 「確定」が選ばれていることを確認し、決定を押す

視聴制限が解除され、番組を見ることができます。

視聴制限の設定を変更するとき（暗証番号が設定済みのとき）

1 「機能設定」画面を表示するP.217

2 ▲ ▼で「制限設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「視聴制限設定」を選び、決定を押す

4 1 ～ 10 で4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

入力した数字は「＊」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは

10 を押す

■ 間違えたときは

◀を押して、1文字消すことができます

5 P.219の手順 6 ～ 9 を行って設定を変更する

6 変更が終わったら、メニューを押す

次ページへつづく

暗証番号を変更するとき

1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲ ▼ で「制限設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「視聴制限設定」を選び、決定を押す

4 1 ～ 10 で4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

入力した数字は「＊」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは
10 を押す

■ 間違えたときは
◀ を押して、1文字消すことができます

5 ▼ で「暗証番号変更」を選び、決定を押す

6 1 ～ 10 で4桁の新しい暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

入力した数字は「＊」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは
10 を押す

■ 間違えたときは
◀ を押して、1文字消すことができます

7 もう一度、同じ暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

8 メニュー を押す

次ページへつづく

有害サイト閲覧制限の設定をする(制限設定)

お子さまに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するフィルタリングサービスへのお申し込みと、制限条件の設定ができます。
このフィルタリングサービスは、インターネット上にデジタルアーツ株式会社が提供するお申し込みが必要な有料サービスです。
お申し込みの前に、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。P.219

1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 で「制限設定」を選び、を押す

3 ▲ ▼ で「有害サイト閲覧制限」を選び、決定を押す

暗証番号が未設定の場合は、「戻る」が選ばれている状態で決定を押し、「視聴制限設定」で暗証番号を設定してください。P.219

4 1 ～ 10 で4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら決定を押す

入力した数字は「＊」で表示されます。

5 「『i-フィルター』サービスを申し込む」が選ばれている状態で、決定を押す

画面の指示にしたがって申し込みの手続きを行ってください。

なお、当社はフィルタリングサービスの契約内容および各種サービスについては、関与しておりません。

> **「i-フィルター」に関するお問い合わせは**
> http://www.daj.jp/cs/contact/
> お電話でのお問い合わせ受付はありません。
> (2012年4月現在)

フィルタリング機能の設定を変更する

1 左欄の手順1～4を行う

2 ▲ ▼ で「フィルタリング機能」を選んでから ◀ ▶ で設定を変更し、決定を押す

有害サイト閲覧制限
インターネットフィルタリング機能の設定を変更します。
「各種手続きを行う」を選ぶとフィルタリング強度の変更や登録情報の変更/解約などを行うホームページに進みます。
フィルタリングサービス　：　契約済
フィルタリング機能　：　☑入　□切
「i－フィルター」の各種手続きを行う
戻る

※契約内容は変わりません。
フィルタリング機能を「入」にすると、有害サイトの閲覧をブロックすることができます。

■ **フィルタリングの強度、登録内容の変更や解約するときは**

「『i-フィルター』の各種手続きを行う」から専用画面に移動して行います。

本体やリモコンの操作を制限する(制限設定)

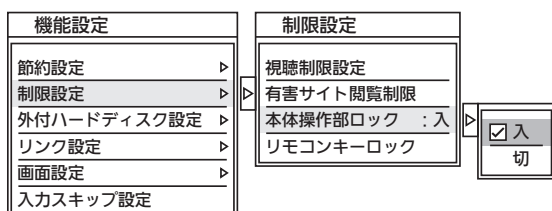
「本体操作部ロック」では、本体側面のボタン操作を無効にし、小さなお子様のいたずらを防ぎます。
「リモコンキーロック」では、リモコンの放送切換ボタン(地上デジタル、BS、CSの各ボタン)とメニューボタンを無効にできます。視聴しない放送を選択したり、希望しない設定を変更したりする誤操作を防ぎます。

1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲ ▼ で「制限設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「本体操作部ロック」または「リモコンキーロック」を選び、決定 を押す

4 本体操作部ロックの場合

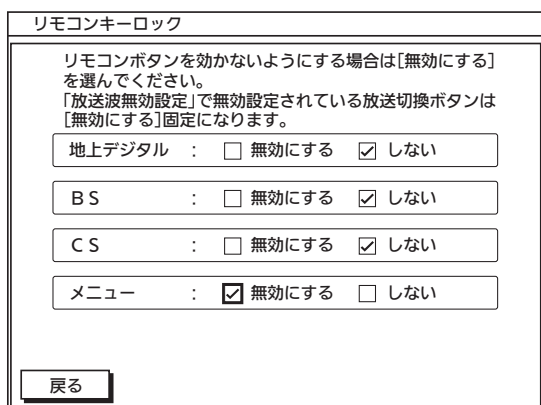
▲ ▼ で「入」を選ぶ

リモコンキーロックの場合

▲ ▼ でリモコンボタンを選んでから、◀ で「無効にする」を選び、決定 を押す

リモコンキーロック

リモコンボタンを効かないようにする場合は[無効にする]を選んでください。
「放送波無効設定」で無効設定されている放送切換ボタンは[無効にする]固定になります。

地上デジタル	：	☐ 無効にする	☑ しない
BS	：	☐ 無効にする	☑ しない
CS	：	☐ 無効にする	☑ しない
メニュー	：	☑ 無効にする	☐ しない

戻る

5 メニュー を押す

お知らせ

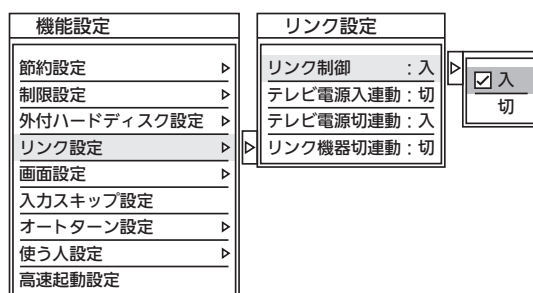
- 「放送波無効設定」 P.236 で無効に設定されている放送切換ボタンは、「無効にする」に固定されます。
- メニューボタンを「無効にする」に設定されていても、メニューボタンを3秒以上押すことで一時的にロックが解除され、メニュー画面を表示することができます。

HDMIコントロールのリンク設定をする

1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲ ▼ で「リンク設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で設定項目を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「入」を選び、決定 を押す

5 メニュー を押す

リンク設定の項目

項目	設定	説明
リンク制御	☑ 入 / 切	HDMIコントロール対応機器を接続したときは「入」を選んでください。
テレビ電源入連動	入 / ☑ 切	「入」で、テレビの電源を「入」にすると、HDMIコントロール対応のレコーダーの電源も連動して「入」にします。
テレビ電源切連動	☑ 入 / 切	「入」で、テレビの電源を「切」にすると、HDMIコントロール対応機器の電源も連動して「切」にします。
リンク機器切連動	入 / ☑ 切	「入」で、HDMIコントロール対応機器の電源を「切」にすると、テレビの電源も連動して「切」にします。

お知らせ

デジタル音声をARCで出力 P.33 するときは、「リンク制御」を「入」にしてください。
ARCを使用するために、接続する外部機器の設定が必要な場合があります。外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

画面の調整や画面サイズの設定をする

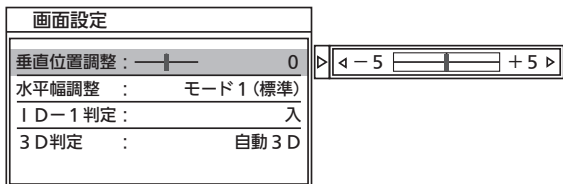
1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲ ▼ で「画面設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で設定項目を選び、決定 を押す

画面設定

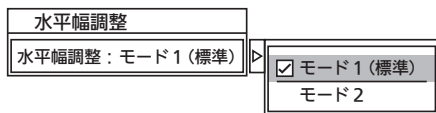
垂直位置調整：	0
水平幅調整　：	モード１（標準）
ＩＤ－１判定：	入
３Ｄ判定　　：	自動３Ｄ

◁－５　＋５▷

4

垂直位置調整の場合

◀ ▶ で調整する

水平幅調整、ID-1判定、3D判定の場合

▲ ▼ で設定を選ぶ

5 メニュー を押す

お知らせ

- 「垂直位置調整」は、画面サイズごとに調整することができます。ただし、フルピクセル時は、操作はできますが無効です。
- 画面サイズについては P.84～85 をご覧ください。
- 「水平幅設定」は、480i、480pの標準、ダイナミック時にのみ有効です。
- 次のようなときは、「ID-1判定」を「切」に設定してください。
  - ・DVDやデジタル放送を録画したビデオテープで正常に動作しないとき
  - ・ビデオの一時停止や早送り、巻戻しをするときに、画面サイズが変化するのが気になるとき

外部入力のスキップ設定をする

外部入力に外部機器を接続していない場合は、以下の手順でスキップ「する」に設定してください。入力切換操作のときにスキップ(飛び越し)します。

1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲ ▼ で「入力スキップ設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ でスキップしたい入力を選んでから、◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

入力スキップ設定

入力	スキップ	
ビデオ1	□する	☑しない
ビデオ2	□する	☑しない
HDMI 1	□する	☑しない
HDMI 2	☑する	□しない
i.LINK	□する	☑しない
Bluetooth	□する	☑しない

戻る

◀ ▶ を押すごとに次のように切り換わります。

する ⟷ しない

4 メニュー を押す

オートターンの設定をする

オートターン P.65 を無効にするための設定ができます。小さなお子様のいたずらを防げます。
また、オートターンで本機の向きを変えたまま電源を切ったときに、自動で中央に戻すかどうかの設定ができます。

1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲ ▼ で「オートターン設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で設定項目を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で設定を選ぶ

5 メニュー を押す

お知らせ

電源オフ時中央「入」では、

- 中央に戻るまで回転が止まりません。電源をオフにする際には本機の回りに障害物がないか、よくお確かめください。

オートターン設定の項目

項目	設定	説明
オートターン	☑入 / 切	「切」で、オートターンが無効になり、小さなお子様のいたずらを防げます。
電源オフ時中央	入 / ☑切	「入」で、本機の電源を切ったときに自動で中央に戻るようにします。

使う人設定をする

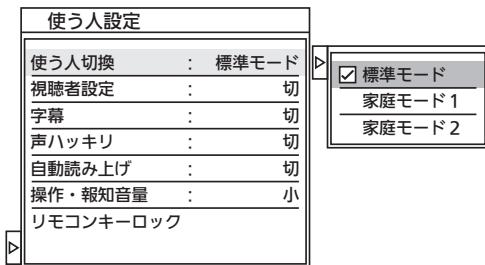
使う人に合わせた設定を3つのモードから選べます。
それぞれのモードの設定内容は、お好みで変更することができます。

使う人のモードを切り換える

本機を使用する人に適した設定に一括で切り換えることができます。

1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲ ▼ で「使う人設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「使う人切換」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ でお好みのモードを選ぶ

5 メニュー を押す

3つのモードと工場出荷時の設定内容

項目	工場出荷時の設定		
	標準モード	家庭モード1	家庭モード2
視聴者設定	切	シニア	ジュニア
字幕	切	切	切
声ハッキリ	切	入	切
自動読み上げ	切	入	切
操作・報知音量	小	標準	切
リモコンキーロック	すべてしない	すべてしない	すべてしない

各モードの設定内容を変更する

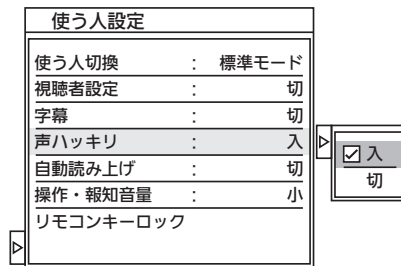
「使う人切換」で現在選択されているモードの「視聴者設定」「字幕」「声ハッキリ」「自動読み上げ」「操作・報知音量」「リモコンキーロック」の設定をお好みで変更することができます。

1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲ ▼ で「使う人設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で変更したい項目を選び、決定を押す

4 視聴者設定、字幕、声ハッキリ、自動読み上げ、操作・報知音量の場合

▲ ▼ で設定を選ぶ

リモコンキーロックの場合

▲ ▼ でリモコンボタンを選んでから、◀ で設定を選び、決定を押す

5 メニュー を押す

使う人設定の項目

項目	設定
使う人切換	▷ ☑標準モード／家庭モード1／家庭モード2　以下の5つの項目を一括で切り換えます。
視聴者設定	▷ 標準……まぶしさをおさえつつクッキリした画面にします。 ジュニア……テレビを長時間ご覧になるときや、アニメなど明るさの変化が大きいときにおすすめします。 シニア……画面全体が明るいときのまぶしさをおさえます。 ☑切……視聴者設定は、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。
字幕	▷ 日本語……番組の日本語の字幕を表示します。 英語……番組の英語の字幕を表示します。 ☑切……字幕や文字スーパーを表示しません。
声ハッキリ	▷ 入／☑切　「入」で、アナウンサーや人の会話がより聞きやすくなります。雑音が気になるときは、「切」に設定してください。
自動読み上げ	▷ 入／☑切　「入」で、メニュー、番組表、番組内容、予約一覧などの画面で自動的に読み上げるように設定できます。
操作・報知音量	大／標準／▷☑小／切　操作音などの報知音を鳴らします。報知音の音量は三段階に切り換えることができます。
リモコンキーロック	リモコンキーロック リモコンボタンを効かないようにする場合は[無効にする]を選んでください。 「放送波無効設定」で無効設定されている放送切換ボタンは[無効にする]固定になります。 地上デジタル　：　□無効にする　☑しない ＢＳ　：　□無効にする　☑しない ＣＳ　：　□無効にする　☑しない メニュー　：　□無効にする　☑しない 戻る リモコンの放送切換ボタン（地上デジタル、BS、CSの各ボタン）とメニューボタンを無効にするかどうかを設定します。

高速起動設定をする

i.LINK（TS）予約録画 P.132 をご利用になる場合は必ず「入」に設定してください。録画を始められません。

「入」では内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときと比較して、待機時消費電力（リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力）が増えます。

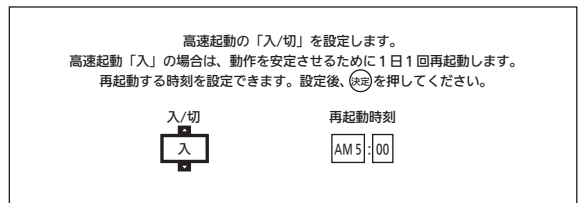
1 「機能設定」画面を表示する P.217

2 ▲ ▼ で「高速起動設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

高速起動の「入/切」を設定します。
高速起動「入」の場合は、動作を安定させるために１日１回再起動します。
再起動する時刻を設定できます。設定後、決定を押してください。

入/切　再起動時刻

AM 5 : 00

「入」… 電源が切の状態から起動して（本機の電源が入になって）から本機が使用可能になるまでの時間を高速化します。

「切」… 高速起動がオフになります。

「入」に設定したとき

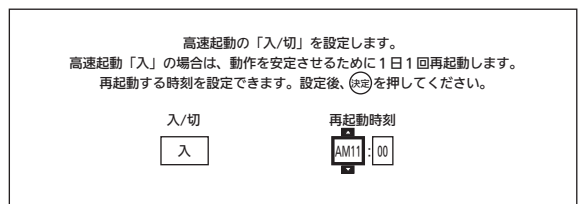
高速起動設定を「入」にすると、ソフトウェアの動作を保全するために定期的に電源を入れ直しますが、この再起動時刻をお好みの時刻に変更することができます。

4 ▲ ▼ ◀ ▶ で再起動時刻を選ぶ

高速起動の「入/切」を設定します。
高速起動「入」の場合は、動作を安定させるために１日１回再起動します。
再起動する時刻を設定できます。設定後、決定を押してください。

入/切　再起動時刻

入

: 00

- 時刻は10分単位で設定できます。
- ここで言う再起動では、映像が映ったり、音声が出たりすることはありません。録画機能の動作確認などを行います。そのため動作音がします。
- 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
- 昼の12時は「PM0:00」に、夜の12時は「AM0:00」に合わせます。

5 決定 を押す

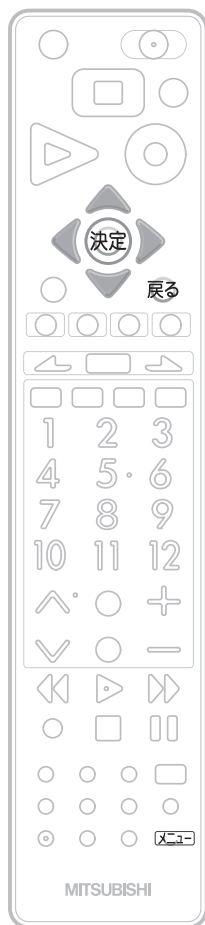
お知らせ

「ホームサーバー機能」 P.214 、または「携帯端末連携」 P.216 を「入」に設定されたときは、「高速起動設定」も自動的に「入」になり、切り換えることはできません。

初期設定をする

番組を視聴するための初期設定をします。

「初期設定」画面の表示のしかた

1 を押す

● 「メニュー機能の使いかた」 P.184 もあわせてご覧ください。

2 ▲ ▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す

「初期設定」画面について

初期設定	
らくらく設定	
放送設置設定	
放送波無効設定	
リモコンコード設定	▷
表示文字サイズ切換	：標準
ダウンロード設定	
時刻設定	

らくらく設定 P.229
らくらく設定を行って、地上デジタル放送のチャンネルの自動設定、BS・110度CSデジタル放送のアンテナの設定などを行います。

放送設置設定 P.230
らくらく設定を使わずに、個別に地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送のチャンネルなどを設定・変更します。

放送波無効設定 P.236
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送ごとに視聴するかどうかを設定します。

リモコンコード設定 P.236
2台のテレビをご使用の場合、本機のリモコンで同時に動かないようにリモコンコードを切り換えることができます。
また、警告表示の有無を切り換えることができます。

表示文字サイズ切換 P.238
チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換えます。

ダウンロード設定 P.239
本機のダウンロード更新を自動で行わないように設定できます。

時刻設定 P.238
デジタル放送を受信していると自動で時刻が設定・修正されますが、デジタル放送を受信していない場合は、手動で時刻設定ができます。

らくらく設定をやり直す

地上デジタル放送のチャンネルの自動設定、BS･110度CSデジタル放送のアンテナの設定などを行います。
引っ越しなどでお住まいの地域が変わったときに、「らくらく設定」をやり直します。

1 「初期設定」画面を表示する P.228

2 ▲▼ で「らくらく設定」を選び、決定 を押す

初期設定	
らくらく設定	
放送設置設定	
放送波無効設定	
リモコンコード設定	▷
表示文字サイズ切換	：標準
ダウンロード設定	
時刻設定	

3 P.44 からの手順3～19を行い、らくらく設定をする

- 手順7のときに、地上デジタルチャンネル設定の変更確認画面が表示されます。
  ◀▶ で「はい」を選んで 決定 を押し、次の手順に進んでください。

4 らくらく設定後、必要に応じて各種設定を変更する

■ お好みの番号にお好みの放送を割り当てるには

- 「地上デジタル放送のチャンネル設定を手動修正する（マニュアル）」、または
- 「BS・110度CSデジタル放送のチャンネル設定を手動修正する（マニュアル）」

をご覧ください。P.230～231

デジタル放送のチャンネル設定を変更する

デジタル放送のチャンネル設定を自動または手動で変更することができます。

引っ越しなどで地上デジタル放送の受信地域が変わり、設定をやり直すとき（初期スキャン）

1 「初期設定」画面を表示する P.228

2 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、決定 を押す

初期設定
- らくらく設定
- 放送設置設定
- 放送波無効設定
- リモコンコード設定 ▷
- 表示文字サイズ切換 ： 大
- ダウンロード設定
- 時刻設定

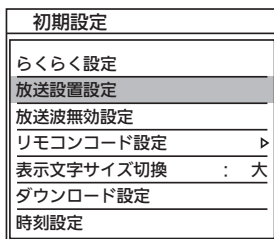
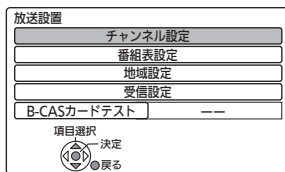
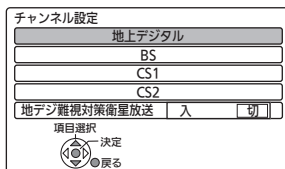
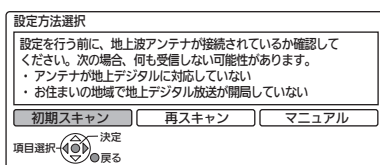
3 「チャンネル設定」で、そのまま 決定 を押す

放送設置
- チャンネル設定
- 番組表設定
- 地域設定
- 受信設定
- B-CASカードテスト ーー

項目選択　決定　戻る

4 ▲▼ で「地上デジタル」を選び、決定 を押す

チャンネル設定
- 地上デジタル
- BS
- CS1
- CS2
- 地デジ難視対策衛星放送 入 切

項目選択　決定　戻る

5 「初期スキャン」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

6 「らくらく設定」 P.45 の手順8 ～ 9を行い、チャンネルを自動設定する

- チャンネルスキャンが始まり、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。
  設定が終わると、画面に一覧が表示されます。（設定が終わるまで、10分程度かかることがあります。）

7 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

地上デジタル放送の電波状況が変わったときに受信できる放送局を追加するとき（再スキャン）

1 左記（初期スキャン）の手順1 ～ 4を行う

2 ▷ で「再スキャン」を選び、決定 を押す

- チャンネルスキャンが始まり、新たに受信できた放送局が自動的に追加されます。
  設定が終わると、画面に一覧が表示されます。（設定が終わるまで、10分程度かかることがあります。）

3 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

地上デジタル放送のチャンネル設定を手動修正する（マニュアル）

地上デジタル放送のチャンネル割り当てを使いやすく変更したいときに行います。

1 左記（初期スキャン）の手順1 ～ 4を行う

2 ▷ で「マニュアル」を選び、決定 を押す

- 「地上デジタルチャンネル設定」画面が表示されます。

3 ▲▼ で修正したいPoを選び、決定 を押す

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	東京MXテレビ	テレビ
10	----	----	
11	----	----	
12	121	放送大学	テレビ

Po（チャンネルポジション）（リモコンの番号ボタン）

…選局するときの番号です。変更できません。
1～12は、選局するときに 1 ～ 12 で直接選局することができる番号です。

- 選んだPoの「Po番号設定」画面が表示されます。

次ページへつづく

4 ◀▶ でCHのチャンネル番号を修正する

「CH」(表示チャンネル)
…チャンネルを選局すると、画面に表示される番号です。

- 「ーーーー」または「ーーー」のチャンネルは未設定です。

5 修正が終わったら、戻る を押す

■ チャンネルの順番を入れ換えたいときは

① 手順3のときに 緑 を押す
② ▲▼ で入れ換えをしたいPoを選び、決定 を押す
③ ▲▼ で入れ換え先のPoを選び、決定 を押す
④ 入れ換えが終わったら、戻る を押す

6 2つ以上のPo(チャンネルポジション)の設定を修正する場合は、手順3 ～ 5をくり返す

7 「放送設置」画面が消えるまで戻る をくり返して押す

BS・110度CSデジタル放送のチャンネル設定を手動修正する(マニュアル)

BS・110度CSデジタル放送のチャンネル割り当てを使いやすく変更したいときに行います。

1 P.230(初期スキャン)の手順1 ～ 3を行う

2 ▲▼ で「BS」、「CS1」または「CS2」を選び、決定 を押す

- 「BSチャンネル設定」画面、「CS1チャンネル設定」画面または「CS2チャンネル設定」画面が表示されます。

3 P.230(マニュアル)の手順3 ～ 7を行う

工場出荷時に設定されているチャンネル(2012年4月現在)

	BS BSデジタル放送	
1 あ	101	NHK BS1
2 か ABC	102	NHK BS1 (マルチ)
3 さ DEF	103	NHK BSプレミアム
4 た GHI	141	BS日テレ
5 な JKL	151	BS朝日 1
6 は MNO	161	BS-TBS
7 ま PQRS	171	BSジャパン
8 や TUV	181	BSフジ・181
9 ら WXYZ	191	WOWOWプライム
10 ゛゜	200	スター・チャンネル1
11 わ 記号#	211	BS11
12 *	222	TwellV (トゥエルビ)

	CS CS1 (110度デジタル放送)	
1 あ	001	放送休止中
2 か ABC	ーーー	
3 さ DEF	ーーー	
4 た GHI	335	キッズステーション
5 な JKL	055	ショップチャンネル
6 は MNO	ーーー	
7 ま PQRS	ーーー	
8 や TUV	ーーー	
9 ら WXYZ	ーーー	
10 ゛゜	ーーー	
11 わ 記号#	ーーー	
12 *	ーーー	

	CS CS2 (110度デジタル放送)	
1 あ	100	e2プロモ
2 か ABC	ーーー	
3 さ DEF	ーーー	
4 た GHI	300	日テレプラス
5 な JKL	253	J SPORTS 4
6 は MNO	160	C-TBSウエルカム
7 ま PQRS	ーーー	
8 や TUV	ーーー	
9 ら WXYZ	ーーー	
10 ゛゜	ーーー	
11 わ 記号#	ーーー	
12 *	ーーー	

お問い合わせ先

■「WOWOW」カスタマーセンター
TEL:フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　09:00～20:00(年中無休)
http://www.wowow.co.jp/

■「スター・チャンネル」総合案内窓口
TEL:0570-013-111
TEL:045-339-0399(PHS、IP電話)
受付時間　10:00～18:00(年中無休)
http://www.star-ch.co.jp/

■「スカパー!e2」カスタマーセンター
TEL:0570-08-1212
TEL:045-276-7777(PHS、IP電話)
受付時間　10:00～20:00(年中無休)
http://www.e2sptv.jp/

地デジ難視対策衛星放送を利用する

地デジ難視対策衛星放送とは、電波状態が悪いために地上デジタル放送が受信できない地域への受信対策として、暫定的に衛星放送を利用して行われる放送です。
放送の内容や利用できる地域、お申し込み方法などについては、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご覧ください。
（一般の地域では利用できません。）

1 P.230（初期スキャン）の手順**1**～**3**を行う

2 ▲▼で「地デジ難視対策衛星放送」を選ぶ

チャンネル設定
地上デジタル
BS
CS1
CS2
地デジ難視対策衛星放送　入　切

3 利用する場合は、◀▶で「入」を選ぶ

- BSデジタル放送の番組表に、地デジ難視対策衛星放送の番組表が表示されます。

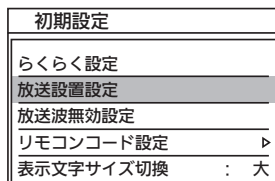
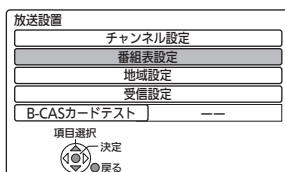
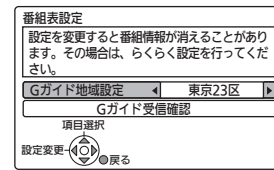
4 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

番組表設定をする

番組表設定画面の設定内容を確認する（G ガイド地域設定）

1 「初期設定」画面を表示する P.228

2 ▲▼で「放送設置設定」を選び、決定 を押す

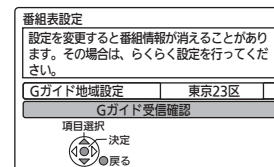
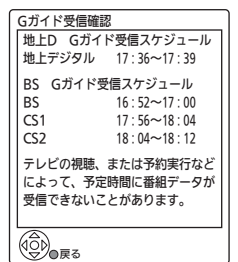
初期設定
らくらく設定
放送設置設定
放送波無効設定
リモコンコード設定 ▶
表示文字サイズ切換 ： 大

3 ▲▼で「番組表設定」を選び、決定 を押す

4 「Gガイド地域設定」がお住まいの地域に設定されているか確認する

5 正しく設定されていない場合は、◀▶で設定を変更する

- 「Gガイド地域設定」は、らくらく設定を行うと自動的に設定されます。
- 設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。表示されなくなった場合は、らくらく設定を最初からやり直してください。P.229

6 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

番組データの受信時刻を確認する

1 左記（Gガイド地域設定）の手順**1**～**3**を行う

2 ▲▼で「Gガイド受信確認」を選び、決定 を押す

- 「番組データ受信テスト中」が表示され、テスト終了後に次回の受信スケジュールが表示されます。（表示されるまで、数分かかることがあります。）
- 受信スケジュールは、放送の種類によって異なります。

3 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

お知らせ

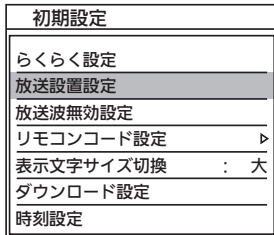
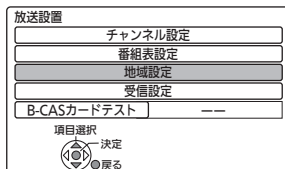
- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。
- 本機の電源が入のときや、停電したとき、主電源を切っていたときは、番組データを受信できず、番組表が空欄になるか前回の内容が残ります。
- チャンネル設定をやり直したときや、約1週間以上主電源を切っていたときは、番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。

地域設定をする

データ放送が正しく受信できない場合に、地域設定を変更します。

1 「初期設定」画面を表示する P.228

2 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、決定 を押す

初期設定	
らくらく設定	
放送設置設定	
放送波無効設定	
リモコンコード設定	▷
表示文字サイズ切換	: 大
ダウンロード設定	
時刻設定	

3 ▲▼ で「地域設定」を選び、決定 を押す

● 「地域設定」画面が表示されます。

4 「県域設定」で、お住まいの都道府県を ◀▶ で選ぶ

● 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都島部」を選びます。
● 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県島部」を選びます。

5 ▲▼ で「郵便番号」に移動し、決定 を押す

● 郵便番号入力画面が表示されます。

6 1 ～ 10 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定 を押す

● 入力を間違えたときは、黄 を押します。

7 ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

8 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

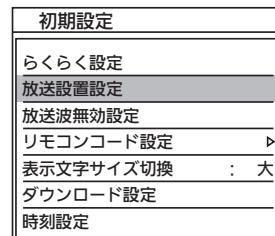
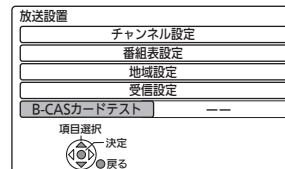
■ 「地域設定」を工場出荷時の設定に戻すときは

① 上記の手順**4**のときに、▲▼ で「地域設定削除」を選び、決定 を押す

② ◀▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

B-CASカードテストをする

1 「初期設定」画面を表示する P.228

2 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「B-CASカードテスト」を選び、決定 を押す

● B-CASカードのテストが始まります。
● テスト終了後、「OK」が表示されます。

■ テスト終了後、「NG」が表示されたときは

① 本機の電源を切り、主電源（本体右側）を「切」にする

② B-CASカードを入れ直す P.27

4 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

受信設定をする

地上デジタル放送で映りが悪いチャンネルは、「受信設定」画面の「アッテネーター」（受信の強弱）の設定を変更すると、状況が改善されることがあります。

また、「受信設定」画面（BS・110度CSデジタル放送放送用）でアンテナの受信レベルを確認しながら、アンテナの向きを調整することができます。（マンションなどの共用アンテナやCATV（ケーブルテレビ）をご利用の場合は、この調整は不要です。）

お願い!

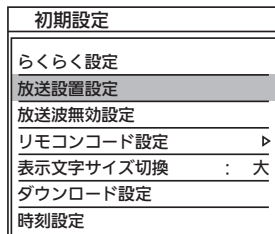
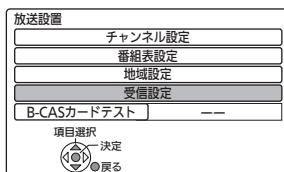
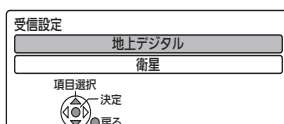
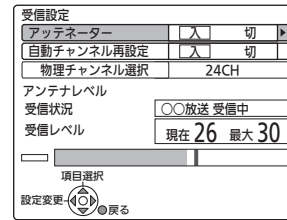
- BS・110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、「アンテナ電源」の設定が自動的に「切」に切り換わります。アンテナ線を確認してから、P.235「BS・110度CSアンテナの受信レベルを調整する」の手順3でアンテナ電源を「入」にしてください。

地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを映りやすくする

1 地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する P.56

2 「初期設定」画面を表示する P.228

3 ▲▼ で「放送設置設定」を選び、決定 を押す

初期設定
- らくらく設定
- 放送設置設定
- 放送波無効設定
- リモコンコード設定
- 表示文字サイズ切換　：　大
- ダウンロード設定
- 時刻設定

4 ▲▼ で「受信設定」を選び、 を押す

5 「地上デジタル」が選ばれているので、そのまま 決定 を押す

6 ▲▼ で「アッテネーター」を選び、◀▶ で設定を切り換える

- 受信の強弱が変更されます。
  「入」にすると弱くなります。受信環境により、設定を変えると受信レベルが改善されることがあります。
- 地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル（13～62CH）のことです。

■ 地上デジタル放送のアンテナの受信レベルを確認するときは

この画面で受信レベルを確認しながら、UHFアンテナの向きを調整することができます。

- 受信レベルは「22」以上が目安です。

7 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

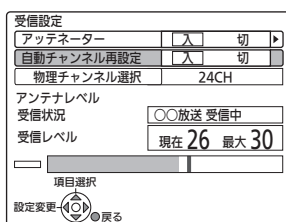
お知らせ

- 「アッテネーター」の設定を切り換えた後は再スキャン P.230 を行ってみてください。受信できる放送が増えることがあります。逆に映りが悪くなったり、映らなくなる放送がある場合もありますので、その場合は「アッテネーター」の設定を元に戻し、再スキャンを行ってください。
- 「アッテネーター」の設定を切り換えた後にらくらく設定 P.229 を行うと、らくらく設定により「アッテネーター」の設定が切り換わる場合があります。
- アンテナレベルは、「メニュー」→「お知らせ」→「アンテナレベル」でも確認することができます。P.189

地上デジタル放送のチャンネル再設定を変更する

地上アナログ放送終了に伴い、地上デジタル放送の受信チャンネルの変更(リパック)が行われます。(チャンネルポジションは変わりません。)
変更にあわせチャンネル設定を自動で追従変更するかどうかの設定ができます。
「切」にすると、チャンネル変更(リパック)が行われたときに手動で設定を変更 P.230 する必要があります。
地デジチャンネルリパックについてのくわしい情報は、総務省テレビ受信者支援センター http://digisuppo.jp/repack/ をご覧ください。

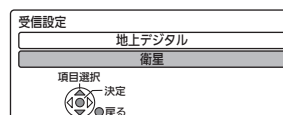
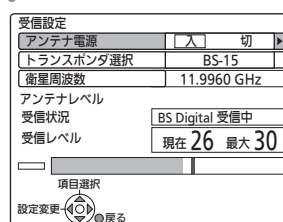
1 P.234 の手順2 ~ 5を行って、地上デジタル放送の「受信設定」画面を表示する

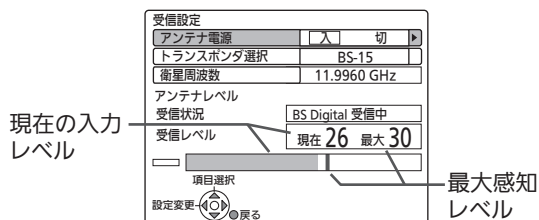
2 ▲▼ で「自動チャンネル再設定」を選び、◀▶ で設定を切り換える

- 「入」… 自動で変更します。
  変更された場合は、P.188「放送局からのお知らせ」でお知らせします。
- 「切」… 自動で変更しません。

3 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

BS･110 度 CS アンテナのアンテナ電源の設定をしたり、受信レベルを調整する

1 P.234 の手順2 ~ 4を行う

2 ▲▼ で「衛星」を選び、決定 を押す

3 「アンテナ電源」が「切」になっているときは、◀ で「入」を選ぶ

- 本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給します。
- 「トランスポンダ選択」、「衛星周波数」は放送局からの案内がない限り変更しないでください。変更すると、視聴できなくなることがあります。

4 「現在」の数値が「最大」の数値に近づくように、アンテナの向きを調整する

- 受信レベルは「22」以上が目安です。

5 「放送設置」画面が消えるまで 戻る をくり返して押す

お知らせ

- **「アンテナ電源」を「入」に設定した場合は、主電源(本体右側)を「切」にしないでください。**
- 1台のBS･110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。
- アンテナの受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、地上デジタル放送では放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- アンテナレベルは、「メニュー」→「お知らせ」→「アンテナレベル」でも確認することができます。P.189

放送波無効設定をする

特定の放送波を無効にすることができます。
「無効にする」に設定された放送波の放送切換ボタンは、効かなくなります。

1 「初期設定」画面を表示する P.228

2 ▲ ▼ で「放送波無効設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で無効にしたい放送波を選んでから、◀ ▶ で「無効にする」を選び、決定を押す

放送波無効設定

放送切換を効かないようにする場合は[無効にする]を選んでください。

地上デジタル	:	☑ 無効にする	☐ しない
BS	:	☐ 無効にする	☑ しない
CS	:	☐ 無効にする	☑ しない

戻る

4 メニュー を押す

リモコンコードの設定を変更する

リモコンコードを切り換える

本機の近くに他の当社製テレビを設置している場合は、リモコンコードを切り換えるとリモコンの誤動作を防げます。
工場出荷時は「リモコン1」に設定されています。

例：リモコン1からリモコン2に切り換えるとき

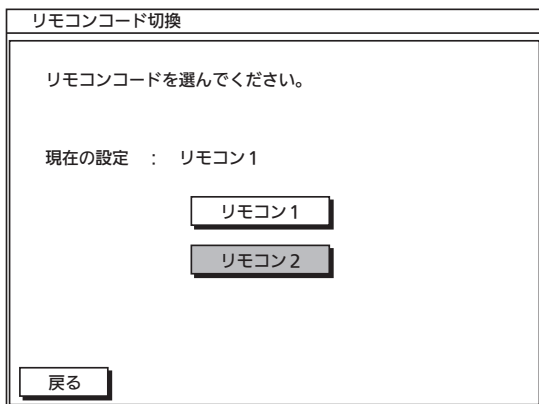
1 「初期設定」画面を表示する P.228

2 ▲ ▼ で「リモコンコード設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「リモコンコード切換」を選び、決定を押す

4 「コード切換開始」が選ばれていることを確認し、決定を押す

次ページへつづく

5 ▲ ▼ で「リモコン2」を選び、決定を押す

● 本体側がリモコン2に設定されます。

6 リモコン側もチャンネル ∨ と 決定 を同時に3秒以上押してリモコン2に設定する

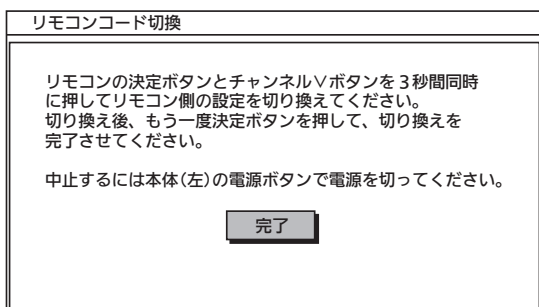
● リモコン側のコード切換方法は、リモコン背面にも記載しています。
● 同時押しは、しっかり3秒以上の長押しを行ってください。時計を見ずに感覚で秒数を数える場合は実際の時間より短くなることがありますので、十分余裕を持って押し続けてください。

7 もう一度 決定 を押す

リモコンコード切換

リモコンの決定ボタンとチャンネル∨ボタンを３秒間同時に押してリモコン側の設定を切り換えてください。
切り換え後、もう一度決定ボタンを押して、切り換えを完了させてください。

中止するには本体(左)の電源ボタンで電源を切ってください。

完了

● リモコンコードが変更されると、手順 3 の画面に戻ります。画面が切り換わらない場合は、再度手順 6 の操作を行ってください。
● リモコンコード切換を中止したいときは、決定 を押さずに、本体左側面にある電源ボタンで電源を「切」にしてください。
手順 6 を行った後の場合は、チャンネル ∧ と 決定 を同時に押してリモコン側のコードを元に戻します。

8 メニュー を押す

お知らせ

● 本体側とリモコン側でリモコン1/2が一致していないと、リモコンでの操作はできません。その場合は画面右下に本体側で設定されているコードを示すアイコンが表示されますので、それに合わせてリモコン側の設定を変更してください。
● 電源ボタンでリモコンコード切換を中止できない(「本体操作部ロック」 P.223 が「入」になっている)場合は、録画やダビング中でないことを十分確かめてから本体右側面の主電源スイッチで「切」にしてください。

リモコンコード警告の表示/非表示を設定する

本体側とリモコン側のリモコンコード(リモコン1/2)が一致していない状態でリモコン操作をすると、画面に警告のアイコンが表示されるようになっていますが、表示しないようにすることもできます。

1 「初期設定」画面を表示する P.228

2 ▲ ▼ で「リモコンコード設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「リモコンコード警告表示」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で設定を選ぶ

「入」… 警告のアイコンを表示します。
「切」… 警告のアイコンを表示しません。

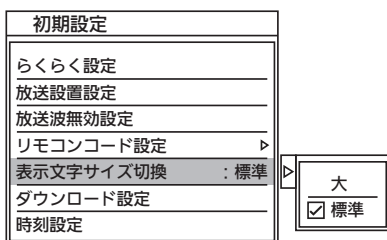
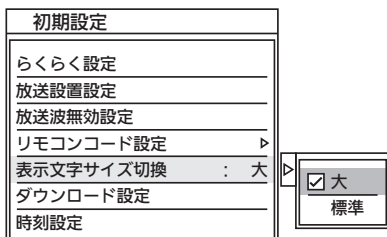
5 メニュー を押す

初期設定をする（つづき）

チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換える

番組のチャンネル番号、字幕の有無、音量、現在時刻などの文字サイズを切り換えることができます。

1 「初期設定」画面を表示する P.228

2 ▲ ▼ で「表示文字サイズ切換」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で設定を選ぶ

4 メニュー を押す

お知らせ

画面表示ボタン P.64 を押したときに表示される次の表示については、文字サイズを切り換えられません。

・音声の種類
・ディスクの情報
・節電メーター
・画面サイズ
・明るさセンサー
・未読のお知らせの有無
・オンタイマー

時刻設定をする

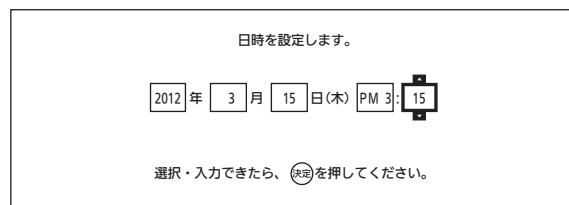
デジタル放送を受信できるときは、自動で時刻が設定・修正されますので、この設定は不要です。

1 「初期設定」画面を表示する P.228

2 ▲ ▼ で「時刻設定」を選び、決定を押す

- 「時刻設定」画面が表示されます。

3 ▲ ▼ ◀ ▶ で時刻を合わせる

（移動）　（設定）

- 午前は「AM」に、午後は「PM」に合わせます。
- 昼の12時は「PM0:00」に、夜の12時は「AM0:00」に合わせます。

4 決定を押す

- 時刻が確定されます。

お知らせ

- 録画予約の設定があるときに時計を変更すると、正しく録画できないことがあります。
- 時刻を変更すると、番組が終了したとみなされる録画予約は削除されます。
- デジタル放送を受信していない場合は、主電源（本体右側面 P.20）を「入」にしておいてください。「切」にすると時刻の表示が「-- --:--」になります。

ダウンロード設定をする

本機のダウンロード更新を自動で行わないように設定できます。

通常は、自動更新されることをおすすめします。
(工場出荷時は自動更新されるように設定されています。)

1. 「初期設定」画面を表示する P.228
2. ▲ ▼ で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す
3. 更新を自動で行わない場合は、◀ ▶ で「ダウンロード予約」の「切」を選ぶ
   ■ 更新を自動で行う設定に戻すときは
   「入」を選びます。
4. 戻る を押す

設定を「切」にしたときは、更新情報が届くと放送局からのお知らせでお知らせします。
ダウンロード更新情報が届いたときはダウンロード予約を「入」にしてダウンロード更新を行ってください。
ダウンロード更新が行われたら、自動で更新を行いたくない場合は再び「切」に設定してください。

ダウンロード更新(オンエアーダウンロード)は、いつ行われるの?

自動で更新する場合は、本機の電源が「切」のときに、デジタル放送電波を使って本機の追加機能や機能向上などの情報がダウンロードされ、自動的に本機の制御プログラムが最新のものに書き換えられます。

●ダウンロード更新を自動で行わない設定にしている場合でも、ダウンロード更新情報が届いたときは必ずダウンロード更新を行ってください。
- ダウンロード後は、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- CATV(ケーブルテレビ)でもダウンロードは行われます。同様にお使いください。

気を付けて

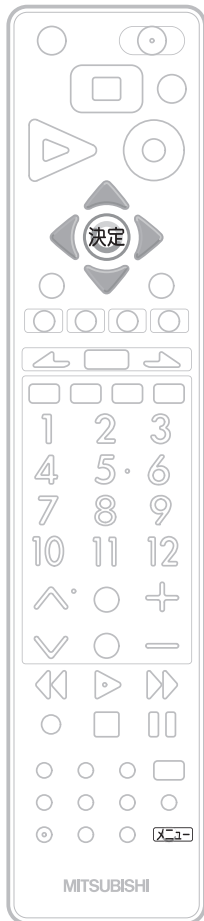
●ダウンロード更新中は、主電源(本体右側)を「切」にしないでください。
本機の故障の原因となります。

お願い!

●ダウンロード更新中は、本機の操作はできません。
- ダウンロード更新中に予約の録画が始まったときは、ダウンロードは中止されます。
- 次のような場合には、自動でダウンロード更新する設定になっていても、実行されません。
  ・主電源(本体右側)が「切」になっているとき。
  ・悪天候などのために受信状態が悪いとき。
  ・本機の電源が「入」のとき。
- ダウンロード更新が行われた場合は、放送局からのお知らせ P.188 が発行されます。

本体・外付・ディスクを初期化する

気を付けて

●初期化を行って消去された録画内容は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから初期化してください。
●初期化中は、途中で中止できません。
●初期化中は、本機の電源を切ったり主電源（本体右側）を「切」にしないでください。
　ディスク・カードの破損や本体・外付が故障する原因となります。
●初期化中に録画予約の開始時刻になったときは、録画予約がキャンセルされます。

本体・外付の録画内容を全部または一部消去する（本体初期化・外付初期化）

本体 外付

本体の録画内容を全部または一部消去する　本体

1 を押す

2 ▲▼で「設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「設定初期化」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「メディア管理（初期化）」を選び、決定を押す

設定初期化
画質設定初期化
音質設定初期化
ネット情報初期化
メディア管理（初期化）
全情報の初期化

●「メディア管理」画面が表示されます。

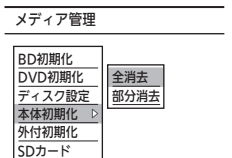
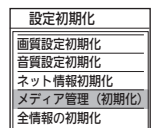
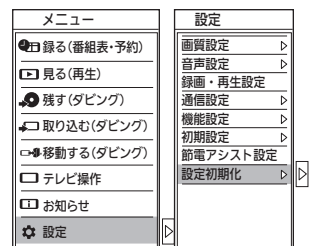
5 ▲▼で「本体初期化」を選び、決定を押す

6 ▲▼で消去方法を選び、決定を押す

「全消去」‥‥‥すべて消去するとき。
「部分消去」‥‥保護された番組以外を消去するとき。

メディア管理
BD初期化
DVD初期化
ディスク設定
本体初期化
外付初期化
SDカード
全消去
部分消去

7 ◀▶で確認メッセージの「はい」を選び、決定を押す

●初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
●初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

外付の録画内容を全部または一部消去する　外付

1 上記の手順1～4を行って、「メディア管理」画面を表示する

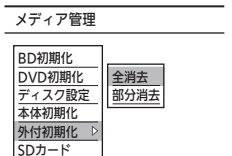
2 ▲▼で「外付初期化」を選び、決定を押す

3 ▲▼で消去方法を選び、決定を押す

「全消去」‥‥‥すべて消去するとき。
「部分消去」‥‥保護された番組以外を消去するとき。

メディア管理
BD初期化
DVD初期化
ディスク設定
本体初期化
外付初期化
SDカード
全消去
部分消去

4 ◀▶で確認メッセージの「はい」を選び、決定を押す

●初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
●初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

BD-REを初期化(フォーマット)する (BD初期化)

BD-RE

1 P.240(本体の録画内容の消去)の手順 1 ～ 4 を行って、「メディア管理」画面を表示する

2 「BD初期化」で、そのまま 決定 を押す

3 ◀ ▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

DVD-RWを初期化(フォーマット)する (DVD初期化)

-RW

1 P.240(本体の録画内容の消去)の手順 1 ～ 4 を行って、「メディア管理」画面を表示する

2 ▲▼ で「DVD初期化」を選び、決定 を押す

メディア管理
BD初期化
DVD初期化
ディスク設定
本体初期化
外付初期化
SDカード
AVCREC方式
VR方式
Video方式

3 ▲▼ で希望の録画方式を選び、決定 を押す

- 録画方式については、P.173 をご覧ください。

4 ◀ ▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

お知らせ

- 新品(未使用)のBD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-Rを初期化(フォーマット)するときは、P.173 をご覧ください。
- 他の機器でファイナライズされたディスクは、本機で初期化できないことがあります。
- BD-REは、ディスクが保護されている場合でもディスクの初期化ができます。

SDカードを初期化(フォーマット)する (SDカード初期化)

SD

SDカードを初期化(フォーマット)する

1 P.240(本体の録画内容の消去)の手順 1 ～ 4 を行って、「メディア管理」画面を表示する

2 ▲▼ で「SDカード」を選び、決定 を押す

メディア管理
BD初期化
DVD初期化
ディスク設定
本体初期化
外付初期化
SDカード
ローカルストレージ消去
SDカード初期化

3 ▲▼ で「SDカード初期化」を選び、決定 を押す

4 ◀ ▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- 初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終わると終了画面が表示され、数秒後に通常画面に戻ります。

ローカルストレージの内容を消去する

1 P.240(本体の録画内容の消去)の手順 1 ～ 4 を行って、「メディア管理」画面を表示する

2 ▲▼ で「SDカード」を選び、決定 を押す

メディア管理
BD初期化
DVD初期化
ディスク設定
本体初期化
外付初期化
SDカード
ローカルストレージ消去
SDカード初期化

3 「ローカルストレージ消去」で、そのまま 決定 を押す

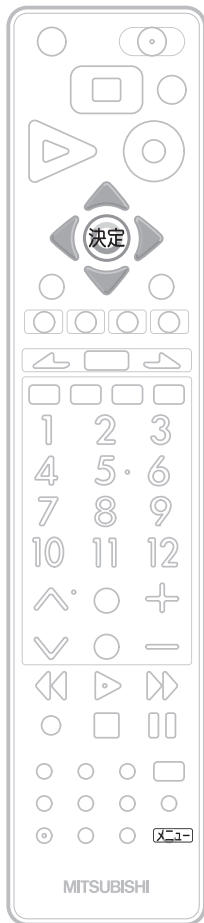
4 ◀ ▶ で確認メッセージの「はい」を選び、決定 を押す

- ローカルストレージ領域の消去が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 消去が終わると終了画面が表示され、数秒後に「メディア管理」画面に戻ります。

お知らせ

- ローカルストレージについては、P.148 をご覧ください。

本機を工場出荷時の設定に戻す

一部の設定内容または本機のすべての設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

一部の設定内容を初期化する

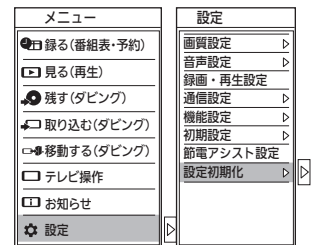
画質設定、音質設定、再生設定、録画設定、ネットワーク情報の内容を、別々に工場出荷時の状態に戻します。

気を付けて

**●初期化の実行中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。
本体の故障の原因となります。**

例：ネットワーク情報の内容を初期化するとき

「ネット情報初期化」では、ネットワークの表示履歴や「お気に入り」などの情報を初期化します。(ネットワーク上で行った各種契約情報は初期化されません。)

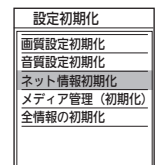
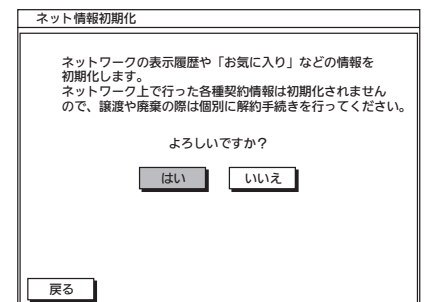
1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「設定初期化」を選び、決定 を押す

● 「設定初期化」画面が表示されます。

4 ▲▼ で「ネット情報初期化」を選び、決定 を押す

● 「ネット情報初期化」画面が表示されます。

設定初期化
画質設定初期化
音質設定初期化
ネット情報初期化
メディア管理（初期化）
全情報の初期化

5 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

6 初期化が終わったら、決定 を押す

7 メニュー を押す

お知らせ

● 次の設定内容は、それぞれの設定画面から初期化することもできます。
- 「画質設定」画面の設定内容 ･･･ P.194
- 「音質設定」画面の設定内容 ･･･ P.198
- 「再生設定」画面の設定内容 ･･･ P.207
- 「録画設定」画面の設定内容 ･･･ P.208

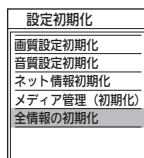
すべての設定内容を初期化する

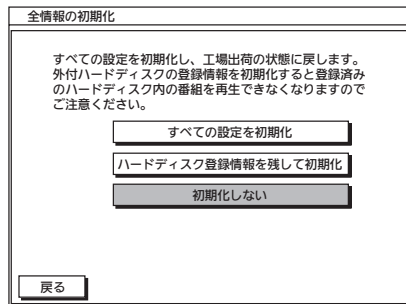
本機のすべての設定を、工場出荷時の状態に戻します。

気を付けて

- **初期化の実行中は、本機の電源を切ったり主電源(本体右側)を「切」にしないでください。本体の故障の原因となります。**
- **「全情報の初期化」をすると本体の録画内容が消去されるため、本機を譲渡するときや廃棄するとき以外は実行しないでください。**
- **「すべての設定を初期化」で初期化した場合は、本機に登録していた外付の登録情報も初期化(消去)されます。(再登録が必要となり、外付の内容が消去されます。)**

1 P.242 の手順1 ～ 3を行って、「設定初期化」画面を表示する

2 ▲▼で「全情報の初期化」を選び、決定を押す

- 「全情報の初期化」画面が表示されます。

3 ▲▼で初期化方法を選び、決定を押す

「すべての設定を初期化」
…本機のすべての設定(本体の録画内容の消去も含む)を工場出荷時の設定に戻すとき。

「ハードディスク登録情報を残して初期化」
…外付の登録情報以外の設定(本体の録画内容の消去も含む)を工場出荷時の設定に戻すとき。
外付に移動した番組を引き続きご覧になりたい場合は、こちらを選択してください。

「初期化しない」
…設定を初期化しないとき。

- 初期化した場合は、スタンバイ(主電源が「入」の待機状態)になります。

お知らせ

- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」をすることをおすすめします。
- 本体・外付に記憶された録画内容やお客さまの個人情報(メール、登録情報、ポイント情報など)の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 次の場合は、全情報の初期化はできません。
  - 録画中
  - 予約の録画開始の直前
  - ダビング中
  - 本体/外付間の番組移動中

B-CASカードについて

地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するためには、B-CAS(ビーキャス)カードを必ず本機に挿入しておく必要があります。

- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用することになりました。B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を受信できません。
- 2008年7月から「ダビング10」の運用が開始されましたが、運用開始後も全ての番組が「ダビング10」になるものではありません。

●限定受信システム（CAS：Conditional Access Systems）とは

限定受信システム（CAS(キャス)）とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル（放送内容をわからなくする技術）を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。デジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用されます。

●（株）B-CAS(ビーキャス)とは

デジタル放送の限定受信システム（CAS(キャス)）を管理するため設立された（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CAS(ビーキャス)カードの発行・管理をしています。

B-CAS(ビーキャス)カードに個人情報が書き込まれることはありません。

付属のB-CASカード台紙に記載の内容をよくお読みください。

■ B-CASカードについてのお問い合わせは（2012年4月現在）

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL：0570-000-250（IP電話からの場合は045-680-2868）
受付時間　10：00～20：00（年中無休）
http://www.b-cas.co.jp/

デジタル放送について

本機は、地上・BS・110度CSデジタルチューナーを搭載しています。
UHFアンテナ（地上デジタル対応）や衛星アンテナ（110度CS対応）を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

- デジタル放送全般については、社団法人　デジタル放送推進協会（Dpa）　http://www.dpa.or.jp/　をご覧ください。

地上デジタル放送

- 受信可能エリアなど、地上デジタルテレビ放送の受信に関するご相談・お問い合わせは、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター　0570-07-0101（IP電話：03-4334-1111）へ。
  受付時間　月～金 9：00～21：00　土・日・祝日 9：00～18：00
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくは、お買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、ケーブルテレビ（CATV）でも受信できます。ケーブルテレビ放送会社によっては、放送方式が異なります。
  本機はすべての周波数（VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯）に対応する【CATVパススルー対応】の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

BSデジタル放送

● 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。
有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■「WOWOW」カスタマーセンター（2012年4月現在）
TEL：フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　9：00～20：00（年中無休）
http://www.wowow.co.jp/

■「スター･チャンネル」総合案内窓口（2012年4月現在）
TEL：0570-013-111
045-339-0399（PHS、IP電話）
受付時間　10：00～18：00（年中無休）
http://www.star-ch.jp/

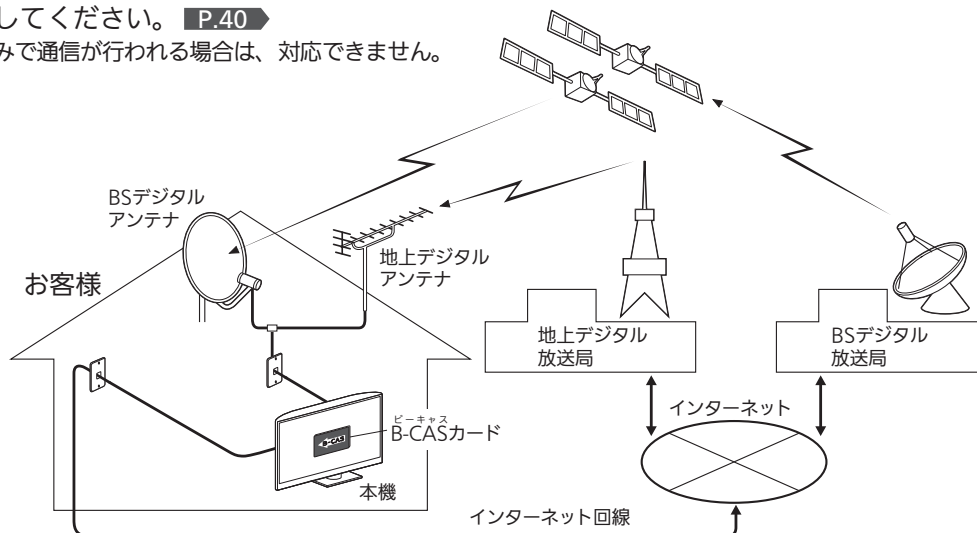
110度CSデジタル放送（スカパー！e2）

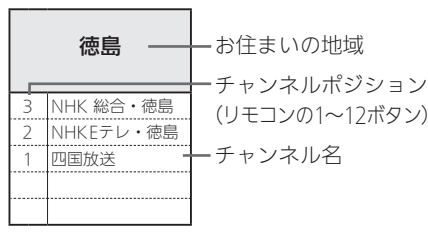
● BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星（Communication Satellite）を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。
ほとんどの放送が有料です。

● 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー！e2」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。

■「スカパー！e2」カスタマーセンター（2012年4月現在）
TEL：0570-08-1212
045-276-7777（PHS、IP電話）
受付時間　10：00～20：00（年中無休）
http://www.e2sptv.jp/

●双方向サービスとは

データ放送で行われるサービスの1つで、インターネットまたは電話の回線を使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。P.40
※電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。

地上デジタル放送のチャンネル設定

- らくらく設定 P.44～48 で選択された地域の放送局とチャンネルポジション（リモコンの 1 ～ 12 ）の組み合わせは、下表のようになります。（2012年4月現在）
- 他の地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。
- 新たに放送電波の中継基地が開設された場合、放送の開始当初は混信を避けるために非常に小さな出力で放送されますので、受信エリアが限定されます。
- 地上アナログ放送終了に伴い、地上デジタル放送の受信チャンネルの変更（リパック）が行われます。（チャンネルポジションは変わりません。）
  本機では、リパックに合わせてチャンネル設定を自動で追従変更するか手動で変更するかが選ぶことができます。P.235
  地デジチャンネルリパックについての詳しい情報は、総務省テレビ受信者支援センター http://digisuppo.jp/repack/をごらんください。

お住まいの地域	北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）		北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（室蘭）	
チャンネル名	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・函館	3	NHK 総合・旭川	3	NHK 総合・帯広	3	NHK 総合・釧路	3	NHK 総合・北見	3	NHK 総合・室蘭
	2	NHKEテレ・札幌	2	NHKEテレ・函館	2	NHKEテレ・旭川	2	NHKEテレ・帯広	2	NHKEテレ・釧路	2	NHKEテレ・北見	2	NHKEテレ・室蘭
	1	HBC 札幌	1	HBC 函館	1	HBC 旭川	1	HBC 帯広	1	HBC 釧路	1	HBC 北見	1	HBC 室蘭
	5	STV 札幌	5	STV 函館	5	STV 旭川	5	STV 帯広	5	STV 釧路	5	STV 北見	5	STV 室蘭
	6	HTB 札幌	6	HTB 函館	6	HTB 旭川	6	HTB 帯広	6	HTB 釧路	6	HTB 北見	6	HTB 室蘭
	8	UHB 札幌	8	UHB 函館	8	UHB 旭川	8	UHB 帯広	8	UHB 釧路	8	UHB 北見	8	UHB 室蘭
	7	TVH 札幌	7	TVH 函館	7	TVH 旭川	7	TVH 帯広	7	TVH 釧路	7	TVH 北見	7	TVH 室蘭

お住まいの地域	宮城		秋田		山形		岩手		福島		青森		東京	
チャンネル名	3	NHK 総合・仙台	1	NHK 総合・秋田	1	NHK 総合・山形	1	NHK 総合・盛岡	1	NHK 総合・福島	3	NHK 総合・青森	1	NHK 総合・東京
	2	NHKEテレ・仙台	2	NHKEテレ・秋田	2	NHKEテレ・山形	2	NHKEテレ・盛岡	2	NHKEテレ・福島	2	NHKEテレ・青森	2	NHKEテレ・東京
	1	TBC テレビ	4	ABS 秋田放送	4	YBC 山形放送	6	IBC テレビ	8	福島テレビ	1	RAB 青森放送	4	日本テレビ
	8	仙台放送	8	AKT 秋田テレビ	5	YTS 山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	6	ATV 青森テレビ	6	TBS
	4	ミヤギテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	6	テレビユー山形	8	めんこいテレビ	5	KFB 福島放送	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン
	5	KHB 東日本放送			8	さくらんぼテレビ	5	岩手朝日テレビ	6	テレビユー福島			5	テレビ朝日
													7	テレビ東京
													9	TOKYO MX
													12	放送大学

お住まいの地域	神奈川		群馬		茨城		千葉		栃木		埼玉		長野	
チャンネル名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・水戸	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・長野
	2	NHKEテレ・東京	2	NHKEテレ・東京	2	NHKEテレ・東京	2	NHKEテレ・東京	2	NHKEテレ・東京	2	NHKEテレ・東京	2	NHKEテレ・長野
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	5	abn
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	6	SBC 信越放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	8	NBS 長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京		
	3	tvk	3	群馬テレビ	12	放送大学	3	チバテレビ	3	とちぎテレビ	3	テレ玉		
	12	放送大学	12	放送大学			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学		

お住まいの地域	新潟		山梨		大阪		京都		兵庫		和歌山		奈良	
チャンネル名	1	NHK 総合・新潟	1	NHK 総合・甲府	1	NHK 総合・大阪	1	NHK 総合・京都	1	NHK 総合・神戸	1	NHK 総合・和歌山	1	NHK 総合・奈良
	2	NHKEテレ・新潟	2	NHKEテレ・甲府	2	NHKEテレ・大阪	2	NHKEテレ・大阪	2	NHKEテレ・大阪	2	NHKEテレ・大阪	2	NHKEテレ・大阪
	6	BSN	4	YBS 山梨放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送
	8	NST	6	UTY	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ
	4	TeNY テレビ新潟			8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	5	新潟テレビ 21			10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
					7	テレビ大阪	5	KBS 京都	3	サンテレビ	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀		広島		岡山		香川		島根		鳥取		山口	
チャンネル名	1	NHK 総合・大津	1	NHK 総合・広島	1	NHK 総合・岡山	1	NHK 総合・高松	3	NHK 総合・松江	3	NHK 総合・鳥取	1	NHK 総合・山口
	2	NHKEテレ・大阪	2	NHKEテレ・広島	2	NHKEテレ・岡山	2	NHKEテレ・高松	2	NHKEテレ・松江	2	NHKEテレ・鳥取	2	NHKEテレ・山口
	4	MBS 毎日放送	3	RCC テレビ	4	RNC 西日本テレビ	4	RNC 西日本テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY 山口放送
	6	ABC テレビ	4	広島テレビ	5	KSB 瀬戸内海放送	5	KSB 瀬戸内海放送	6	BSS テレビ	6	BSS テレビ	3	TYS テレビ山口
	8	関西テレビ	5	広島ホームテレビ	6	RSK テレビ	6	RSK テレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	YAB 山口朝日
	10	読売テレビ	8	TSS	7	テレビせとうち	7	テレビせとうち						
	3	BBC びわ湖放送			8	OHK テレビ	8	OHK テレビ						

一覧（地域名を用いた設定）

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
チャンネル名	3	NHK 総合・名古屋	3	NHK 総合・津	3	NHK 総合・岐阜	1	NHK 総合・金沢	1	NHK 総合・静岡	1	NHK 総合・福井	3	NHK 総合・富山
	2	NHKEテレ・名古屋	2	NHKEテレ・名古屋	2	NHKEテレ・名古屋	2	NHKEテレ・金沢	2	NHKEテレ・静岡	2	NHKEテレ・福井	2	NHKEテレ・富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBC テレビ	1	KNB 北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT 富山テレビ
	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	MRO	4	だいいちテレビ			6	チューリップテレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ								

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
チャンネル名	1	NHK 総合・松山	3	NHK 総合・徳島	1	NHK 総合・高知	3	NHK 総合・福岡	1	NHK 総合・熊本	1	NHK 総合・長崎	3	NHK 総合・鹿児島
	2	NHKEテレ・松山	2	NHKEテレ・徳島	2	NHKEテレ・高知	3	NHK 総合・北九州	2	NHKEテレ・熊本	2	NHKEテレ・長崎	2	NHKEテレ・鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHKEテレ・福岡	3	RKK 熊本放送	3	NBC 長崎放送	1	MBC 南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHKEテレ・北九州	8	TKU テレビ熊本	8	KTN テレビ長崎	8	KTS 鹿児島テレビ
	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC 九州朝日放送	4	KKT くまもと県民	5	NCC 長崎文化放送	5	KKB 鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB 毎日放送	5	KAB 熊本朝日放送	4	NIB 長崎国際テレビ	4	KYT 鹿児島讀賣 TV
							5	FBS 福岡放送						
							7	TVQ 九州放送						
							8	TNC テレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄	
チャンネル名	1	NHK 総合・宮崎	1	NHK 総合・大分	1	NHK 総合・佐賀	1	NHK 総合・沖縄
	2	NHKEテレ・宮崎	2	NHKEテレ・大分	2	NHKEテレ・佐賀	2	NHKEテレ・沖縄
	6	MRT 宮崎放送	3	OBS 大分放送	3	STS サガテレビ	3	RBC テレビ
	3	UMK テレビ宮崎	4	TOS テレビ大分			5	QAB 琉球朝日放送
			5	OAB 大分朝日放送			8	沖縄テレビ（OTV）

- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

形名	LCD-V40MDR3	LCD-40MDR3	LCD-V46MDR3	LCD-46MDR3
種類	液晶カラーテレビ			
電源	AC100 V　50／60 Hz			
消費電力	140 W		155 W	
	本体主電源「切」時　0.02 W・リモコン待機時　0.1 W （高速起動「入」設定時　約31 W）			
年間消費電力量※1	115 kWh／年※2［標準※3時］ 区分名※4：DG3（FHD、液晶倍速、付加機能3） 受信機型サイズ：40V		125 kWh／年※2［標準※3時］ 区分名※4：DG3（FHD、液晶倍速、付加機能3） 受信機型サイズ：46V	
音声　実用最大出力　JEITA	50 W【10 W＋10 W＋10 W（センター）＋10 W（ウーハー）＋10 W（ウーハー）】			
音声　スピーカ	φ4 cm×6＋φ5.8 cm×4			
アンテナ入力	VHF／UHF　1軸　75 Ω不平衡形（CATVパススルー対応）			
BS・110度CSアンテナ入力	75 Ω不平衡形（C15形）兼コンバーター用電源（DC 15 V）出力			
受信チャンネル	地上デジタル：000〜999ch　BSデジタル：000〜999ch　110度CSデジタル：000〜999ch （CATVパススルー対応：VHF：1〜12ch　UHF：13〜62ch　CATV：C13〜C63ch）			
液晶モジュール　液晶パネル	40V型カラーTFT液晶		46V型カラーTFT液晶	
液晶モジュール　表示画素数	1920 ドット×1080 ライン			
液晶モジュール　バックライトの種類	LED			
有効表示領域	幅88.6×高さ49.8／対角101.6 cm		幅101.8×高さ57.3／対角116.8 cm	
表示色	10.7億色			
HDD／BD部　録画方式（BD）	Blu-ray Disc Rewritable Format準拠、Blu-ray Disc Recordable Format準拠			
HDD／BD部　録画方式（DVD）	DVDビデオレコーディング規格準拠、DVDビデオ規格準拠、AVCREC規格準拠			
HDD／BD部　録画圧縮方式	MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264			
HDD／BD部　録音圧縮方式	ドルビーデジタル、リニアPCM（非圧縮）、MPEG-2 AAC			
HDD／BD部　内蔵HDD容量	1 TB			
HDD／BD部　録画可能ディスク	「本機で使えるメディア（ディスク・カード）」を参照			
HDD／BD部　録画時間	「録画モードとおよその録画時間（目安）」を参照			
HDD／BD部　再生可能ディスク	「本機で使えるメディア（ディスク・カード）」を参照			
HDD／BD部　リージョンコード	BD：Region A　　DVD：#2			
ヘッドホン	φ3.5ステレオミニジャック			
ビデオ入力端子	（映像）1.0 V（p-p）75 Ω（同期負極性） （音声）150 mV（rms）ハイインピーダンス			
音声出力端子	φ3.5ステレオミニジャック			
HDMI入力端子	3D対応、ARC対応※5			
i.LINK TS入力	MPEG2-TS、S400対応			
LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX			
SDメモリーカード挿入口	SDカード、SDHCカード対応（miniSDカード、microSDカードはアダプター装着）			
USB端子	ハイスピードUSB（USB2.0 準拠）　Type A　DC 5 V			
デジタル音声（光）出力端子	角型			
外形寸法	幅94.7×高さ67.4×奥行35.3 cm		幅108.1×高さ74.9×奥行35.3 cm	
質量	21.8 kg		25.3 kg	
キャビネット材質	PC＋ABS樹脂、PS樹脂			
スタンド角度調節範囲	左右各約20°（オートターン、手動とも）			
使用周囲温度	0 ℃〜40 ℃			
許容湿度	80 %最大（結露なきこと）			

リモコン	形名	RL19702
	電源	DC 3 V　単4形乾電池2個
	質量	約100 g（乾電池含む）

- テレビのV型(40V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
  This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
  No servicing is available outside of Japan.
- 本商品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- JIS C 61000-3-2　適合品：「JIS C 61000-3-2」適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- デジタル放送を放送そのままの画質で録画する場合の基準について
  ・地上デジタル(HD放送)：17 Mbps　・BSデジタル(HD放送)：24 Mbps　・BSデジタル(SD放送)：12 Mbps
- デジタル放送のデータを圧縮変換して録画する場合の圧縮方法について
  ・MPEG-4 AVC/H.264　エンコード

※1：省エネ法(目標年度：平成24年度)に基づいて、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
※2：HDD停止、ディスク未挿入にて測定しています。
※3：一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の設定の一つです。このモデルでは、映像モード=スタンダード、視聴者設定=標準、明るさ順応補正=中、バックライト補正=入、高速起動設定=切、HDD待機モード=入をおすすめしています。
※4：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。「区分名」とは、その区分名称をいいます。
※5：HDMI1のみ対応。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間は、お買上げ日から1年間です

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この液晶カラーテレビの補修用性能部品を製造打切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

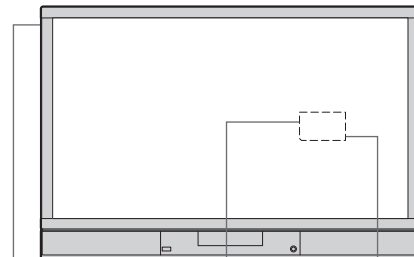
■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- 「故障かな？と思ったら」P.252～269 にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。
- **保証期間中は**
  - ・修理に際しましては、保証書をご提示ください。
  - ・保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
  点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金は**
  技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

- 据付（接続・調整・取扱説明等）を依頼されると有料となることがあります。
- **ご連絡いただきたい内容**

1. 品　　名　三菱液晶カラーテレビ
2. 形　　名　テレビ本体の形名表示位置をご覧ください。
3. 製造番名　テレビ本体の製造番号表示位置をご覧ください。
4. お買上げ日　　年　月　日
5. 故障の状況　「症状確認シート」 の内容
6. ご 住 所　（付近の目印なども）
7. お名前・電話番号・訪問希望日
8. サービス専用形名
   テレビ本体のサービス専用形名表示位置をご覧ください。

■廃棄時にご注意願います。

- 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口** へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

いつもサンキュー　365日

フリーコール **0120-139-365**（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001　東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	(03) 3414-9655 （有料）

■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

インターネット **www.melsc.co.jp**

携帯電話サイト

空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111 （有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901 （有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

K11A

症状確認シート

万一、修理をお申し付けの際には円滑な対応をさせていただくため、次の内容を確認のうえ、お申し付けくださいますよう、お願い申し上げます。

【ご確認事項】 ※この内容は、訪問いたしましたサービスマンに必ずお伝えください。

ハードディスクの初期化： 修理過程でやむを得ず記録内容が失われたり、本機の全情報初期化が必要な場合があります。全情報初期化を行うと、本体（ハードディスク）の録画内容が全て消去されます。外付ハードディスクの登録情報も初期化する場合があります。（再登録が必要となり、外付ハードディスク内の内容は消去されます。）

☐ 同意する
☐ 同意しない（初期化しないと修理できない場合があります）

【不具合症状について】

発生区分： ☐ 地デジ　☐ BS/CS　☐ ハードディスク　☐ ディスク　☐ SDカード　☐ 外付ハードディスク
☐ その他（　　　　　　　　　　　　　　）

発生頻度： ☐ 常時　☐ ときどき　☐ その他（　　　　　　　　　　　　）

症状（できるだけくわしく）： 例1. ハードディスクからDVD-RWへ高速ダビング中に途中で止まってしまう
例2. 地上デジタル放送の◯◯チャンネルの『※△◇×』という番組だけ映像が乱れる

ディスクの種類（BD/DVD/CD関連時のみ）

☐ BD市販ソフト ☐ DVD市販ソフト ☐ CD市販ソフト	☐ 特定のディスクのみ発生　☐ 複数のディスクで発生 タイトル名：________________________ タイトルNo.：________　チャプターNo.：________　タイム：____時間____分____秒
☐ BD-RE ☐ BD-R ☐ DVD-RW ☐ DVD-R	☐ 本機で記録　☐ 他機で記録（メーカー名：_________　機種名：________） ディスクメーカー名：__________________________ タイトルNo.：________　チャプターNo.：________　タイム：____時間____分____秒
☐ その他	（　　　　　　　　　　　　　　）

SDカードについて： 静止画のとき、
SDカードのメーカー名：__________　容量：________　画像サイズ：________ MB　画像枚数：________
保存方法：☐ デジタルカメラで撮影したまま　☐ パソコンで編集、整理
デジタルカメラのメーカー名：________　デジタルカメラの形名：________

接続している機器

①ケーブルテレビ受信端末： ケーブルテレビ会社名：______________ 機種名：______________ 接続方法：☐ アンテナ線　☐ 映像･音声コード ☐ HDMIケーブル　☐ i.LINKケーブル ☐ その他（　　　　　　）	③外付ハードディスク： メーカー名：__________　機種名：____________ ハードディスク容量：☐ 500 GB　☐ 1 TB ☐ 2 TB　☐ その他（　）
②レコーダー： メーカー名：__________　機種名：____________ 接続方法：☐ 映像･音声コード　☐ HDMIケーブル ☐ 光音声ケーブル　☐ その他（　　）	④その他：☐ デジタルビデオカメラ　☐ ビデオ/ビデオカメラ ☐ アンプ　☐ 他（　　　　） メーカー名：__________　機種名：____________ 接続方法：☐ 映像･音声コード　☐ 光音声ケーブル ☐ その他（　　　　　） ⑤回線の種類：☐ 光　☐ ケーブルテレビ　☐ ADSL

故障かな？と思ったら

困ったときは

接続や操作方法がわからないときは、

まず、
「故障かな？と思ったら」と「メッセージ表示一覧」でお調べください。 P.253~273

それでも解決しない場合は使用を中止し、
ディスクやSDカードを取り出してから、
必ず電源プラグを抜いたあと、

「ご相談窓口」へ

■全国どこからでも、おかけいただけるフリーコール
 0120-139-365（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合
（03）3414-9655（有料）

ご相談内容により

「修理窓口」 P.250 を
ご紹介いたします。

- ホームページ「よくあるご質問」もご活用ください。
  http://www.mitsubishielectric.co.jp/home/faq/tv/
- 「修理窓口」では、取扱いや据付・設置・基本設定の方法がわからない場合や、故障かどうか判断がつかない場合に、ご自宅へ訪問する出張サポートの受付も行っております。

出張サポート（有料）のご案内

出張サポートは、本書 P.250 に記載の「三菱電機　修理窓口」または上記「ご相談窓口」のフリーコールの音声ガイダンス「修理のご依頼［＊］［2］」で受付けております。

料金についてはお見積もりいたしますので、上記の窓口で受付時にご相談ください。
※保証期間中の製品故障の場合は、保証書の規定に従って無償で修理させていただきます。

電源を「入」にして画面左上に「起動中」と表示中は音量や選局以外の操作ができません。

→すぐ操作ができるようにしたいときは、高速起動設定 P.227 を「入」にします。
　高速起動設定「入」であっても本機の状態によりすぐに操作できない場合があります。

■電　源

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない。	●電源プラグが抜けていませんか。 ●主電源が「切」になっていませんか。 ●電源表示灯（赤色）が点滅している場合は、主電源を切って、表示灯が消えるのを待って、電源を入れ直してください。 →それでも電源が入らず表示灯が点滅する場合は、次項を参照ください。	43 20 ―
電源が入らない。 電源表示灯が赤点滅する、または点灯しない。 （主電源「入」時）	●安全のための保護回路がはたらいたことを表しています。このとき安全のためリモコンで操作はできません。 →電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。	―
電源が入らない。 本体の電源ボタンで電源が入るが、リモコンでは電源が入らない。	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 ●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。 ●リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下に R1 または R2 のアイコンが表示されます。 →次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。 ・R1 が表示されたとき……リモコンのチャンネル ∧ と 決定 を同時に3秒以上押す ・R2 が表示されたとき……リモコンのチャンネル ∨ と 決定 を同時に3秒以上押す リモコンコード警告表示が「切」になっていると、上記アイコンは表示されません。	― 42 25 ― 236～237
急に電源が切れた。	●無操作節電、無映像節電が「入」になっていませんか。 ●オフタイマーの設定がされていた可能性があります。 →再度電源を入れた際、オフタイマーの設定をしていないことを確認し、同じ症状が起こらないか確認してください。 ●消灯連動節電が「入」になっていませんか。お部屋の照明が落ちると電源をオフします。	218 76 218
電源を切ったら テレビが回転した。	●オートターン設定の「電源オフ時中央」が「入」になっていませんか。	225
リモコンで電源を切った後、しばらくして「カチッ」と音がした。	●電源を切った後もデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に「カチッ」と音がします。 故障ではありません。 電源を切ってから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。	―
電源が切れているときに「カチッ」と音がした。	●デジタル放送のデータ取得のための動作に入るとき、抜けるときの音です。 故障ではありません。	―
電源を入れた後、「カシャカシャ」というような機械音がする。	●BD／DVDの駆動部が立ち上がる際に回転音がします。ディスクを入れたままにしていると音が大きくなることがあります。気になるときは、取り出してください。 または、高速起動設定を「入」にしてみてください。	227
突然電源が入った。	●ディスクトレイ開閉の操作をすると電源が入ります。ディスクトレイの操作の後、テレビを使用しないときは電源を「切」にしてください。 ●オンタイマーの設定がされていませんか。	― 77
朝の5時に 「カシャカシャ」というような機械音がする。	●高速起動設定を「入」にすると、ソフトウェアの動作を保全するために定期的に電源を入れ直す必要があります。本機ではそれを朝5時に行いますが、お好みの時刻に変更することもできます。その際BD／DVDの駆動部が立ち上がるため回転音がします。 異常ではありません。	227

故障かな？と思ったら（つづき）

電　源（つづき）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源を入れた後しばらく操作ができない。	●外付ハードディスクを接続していると、電源「入」時やディスク再生後の録画一覧表示時にしばらく操作ができないことがあります。ハードディスクの情報を取り込んでいるためです。しばらく待ってから操作をしてください。	－
オフタイマーで電源が切れない。	●フレームパッキング方式で3Dを視聴中は、オフタイマーで電源は切れません。	76

リモコン

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンで操作できない。	●電源を「入」にした後、録画・再生機能の準備のため、数十秒程度は音量・選局以外の操作ができません。画面左上の「起動中」の表示が消えたら操作できます。 →すぐに操作できるようにするには「高速起動設定」を「入」にします。 ただし、電源「切」時の電力が増えます。	227
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	－
	●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。	42
	●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。	25
	●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。	－
	●デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1～12 ボタンがデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル ∧ ∨ や番組表でチャンネル切換をしてください。	－
	●リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下に R1 または R2 のアイコンが表示されます。 →次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。 ・R1 が表示されたとき……リモコンのチャンネル ∧ と 決定 を同時に3秒以上押す ・R2 が表示されたとき……リモコンのチャンネル ∨ と 決定 を同時に3秒以上押す リモコンコード警告表示が「切」になっていると、上記アイコンは表示されません。	236～237
	●主電源を切り、しばらくしてから再度主電源を入れてください。 本機は、複雑なプログラムにより動作しています。まれにプログラム処理動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。主電源を入れ直すことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。	－
	●踏む、ぶつけるなどリモコンに強い衝撃が加わると、見た目にはわからなくても内部の部品が破損し使えなくなることがあります。リモコン交換が必要となりますので、リモコンは丁寧に扱ってください。	－
リモコンの一部のボタンが利かない。	●電池が消耗していませんか。 電池が消耗してくると、録画・再生機能に係るボタンが先に利きにくくなります。	－
リモコンが利かない。	●3D映像視聴中は、3D赤外線発光部と3Dメガネの間に障害物がありませんか。障害物に3D用赤外線が乱反射し、妨害となることがあります。 →障害物をテレビやメガネから離してください。	－
	●3D映像視聴中は、テレビの正面から外れたところから視聴、操作をしていませんか。 →3D映像視聴時は、できるだけ正面から視聴、操作ください。3D映像をより効果的に見られます。	－

■ テレビを見ているとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
本体ボタンで操作できない。	●電源を「入」にした後、録画・再生機能の準備のため、数十秒程度は音量・選局以外の操作ができません。画面左上の「起動中」の表示が消えたら操作できます。 →すぐに操作できるようにするには「高速起動設定」を「入」にします。 ただし、電源「切」時の電力が増えます。	227
	●「本体操作部ロック」が「入」になっていませんか。	223
	●主電源を切り、しばらくしてから再度主電源を入れてください。 本機は、複雑なプログラムにより動作しています。まれにプログラム処理動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。主電源を入れ直すことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。	―
	●入力切換、チャンネル、音量ボタンが、リモコンの 決定 、▲▼◀▶ と同じはたらきをするのは、メニューの各項目が画面に表示されているときに限ります。 メニュー項目が消えたあとの画面、たとえば項目「見る（再生）」から表示した録画一覧など、ではリモコンと同じはたらきはしません。	―
映像も音も出ない。	●アンテナ線が外れていませんか。 （「受信できません。」のメッセージが表示されます。）	28～30 270
	●入力端子の接続と入力切換ボタンの操作が合っていますか。	66
	●外部機器の接続コードが外れていませんか。	31～37
映像は出るが、音が出ない。	●消音になっていませんか。または音量が0になっていませんか。	24
	●ビデオなどの入力端子が外れていませんか。	31～37
	●ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。	21
ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない。	●ビデオ入力端子の接続コードが外れていないか調べてください。	31
音がつまったような感じがする。	●「おすすめ音量」が「ナイトモード」、「標準」になっていると音量をおさえる効果によりつまったように感じることがあります。	199
音の大きさが変化する。 人の声が変化する。	●「おすすめ音量」が「ナイトモード」、「標準」になっていると音量を補正する効果により変動することがあります。	199
音声に異音が入ったり 映像にノイズが出る。	●テレビや接続機器の近くで無線機を使用したり、携帯電話の通話などを行っていませんか。 →無線機などを離して使用してください。	―
音がおかしい。	●音声設定のほとんど、または全てが最大や最小、強になっていませんか。工場出荷状態はおすすめの設定になっていますが、お好みに応じて実際に音を聞きながら設定を変更してみてください。	196～200
	●工場出荷状態に戻すことができます。	198
ビデオ1/2の映像端子（黄）を抜いたら、 音が大きくなった。	●音楽プレーヤーを接続している状態に切り換わりました。音楽プレーヤーからの入力は他の機器より小さいので、その分音が大きくなるよう設定されています。	66
動きのある映像が 部分的に乱れる。	●倍速ピクチャーの設定が「切」以外になっていると、映像内容によっては部分的に乱れることがあります。 →倍速ピクチャーの設定を「切」にしてください。	192～193
文字がおかしい、ぶれる。	●倍速ピクチャーの設定が「切」以外になっていると、映像内容によっては静止文字や流れる文字がぶれて見えることがあります。 →倍速ピクチャーの設定を「切」にしてください。	192～193

故障かな？と思ったら（つづき）

■ テレビを見ているとき（つづき）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
映りが悪い。	●アンテナ接続コネクタへのつなぎかたを確認してください。 ●アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ●アンテナが風でこわれたり、まがったりしていませんか。 ●アンテナは正しい方向に向いていますか。 ●自動車、オートバイ、電車、ヘアドライヤーなどからの妨害電波が入っています。 →アンテナを原因となるものから離してください。 ●コントラストの調節を確認してください。 ●チャンネルの設定をやり直してください。 ●標準画質での放送ではありませんか。 →「番組内容」で確認できます。 ●屋内配線のしかたによって、お部屋によって映りが変わる場合があります。	28～30 － － － － 192 230～232 74 49
色がつかない。 色がおかしい。	●色の濃さの調節をしてください。 ●色あいの調節をしてください。	192 192
二重に映る。	●擬似3Dモードになっていませんか。	61
画面の横幅が圧縮されて、左右に黒い帯が出る。	●画面サイズが「標準」になっていませんか。 →「サブメニュー」→「画面サイズ」で、映像に合った画面サイズを選んでください。	84～85
「ダイナミック」を選んでいるのに、左右に黒い帯が出る。	●ビデオやゲーム画面などでは、左右の黒い帯が残る場合があります。	84～85
字幕が切れる。	●画面サイズによっては切れる場合があります。 →メニュー機能で画面の上下の位置（垂直位置）を調整してください。	224
画面が暗い。 夜になると画面が暗くなる。	●視聴者設定/明るさセンサーが設定されていませんか。 ●映像モードが変更されていませんか。 ●コントラストの調節を確認してください。 ●ご購入時の画質に戻すことができます。 ●節電画質設定を切以外に設定していませんか。節電画質を設定すると主に画面の明るさを調整して節電します。	194～195 191 192 194 81
操作の反応が遅い。	●外付へ番組を移動しているとき（ハードディスク表示灯が点滅中 P.20）は、番組表の表示など録画に関係する操作では移動の中止動作が完了するまで操作が実行されないため反応が遅くなります。「番組自動移動設定」で、あまり録画しない・テレビを使わない時間帯に番組自動移動を行うよう設定できます。	137
チャンネル∧∨で、チャンネルが選べない。	●「選局対象」が「ラジオ」または「データ」になっていませんか。 →「選局対象」を「すべて」にしてください。 たとえばBSデジタル放送で「選局対象」を「データ」にした場合は、地上デジタル放送と110度CSデジタル放送もチャンネル∧∨ではデータ放送以外の選局ができません。	187
外部入力の画面が選べない。	●「入力スキップ設定」が「する」に設定されていませんか。 ●DVD-RW（Video）/-R（Video）をダビング中は、ビデオ2入力、i.LINK入力は選べません。	225 117
テレビの上部や液晶パネル面の温度が高い。	●本体上面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能品質には問題ありません。 （本体の通風孔をふさがないように、お使いください。）	－
リモコンで本体の向きが変わらない。	●「オートターン」が「切」になっていませんか。 ●スタンドの黄色いリード線をオートターン専用コネクタ（メス）にしっかり差し込んでいますか。	225 23
テレビからときどき「ピシッ」と音がする。	●室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮するときに発生する音です。画面や音声に異常がなければ心配ありません。	－

■ テレビを見ているとき（つづき）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
一発録画がなかなか始まらない。	●「ハードディスク節電」が「入」になっていませんか。 ●外付へ番組を移動しているとき（ハードディスク表示灯が点滅中 P.20 ）は、一発録画など録画に関係する操作では移動の中止動作が完了するまで操作が実行されないため反応が遅くなります。「番組自動移動設定」で、あまり録画しない・テレビを使わない時間帯に番組自動移動を行うよう設定できます。	218 137
入力が勝手に切り換わった。	●DVD-RW（Video）/-R（Video）をダビング中はビデオ2を視聴できないので、ダビング前にビデオ2を視聴していた場合は最後に見た放送に切り換わります。	117
映像の動きが不自然。	●「デジタルシネマ」が「自動」になっていませんか。画像によっては動きが不自然になることがあります。 →「デジタルシネマ」を「切」にしてみてください。	192〜193
携帯端末でテレビの操作ができない。	●同じ名称の別のテレビを選択していませんか。	96
映像が勝手に消えた。テレビの前から離れていたら、電源が「切」になった。	●人感センサー節電が「節電する」になっていませんか。 人の動きを感知できない状態で一定時間が過ぎると画面を消し、更にその状態が続くと電源を「切」にします。	79〜80

故障かな?と思ったら(つづき)

デジタル放送のとき(共通)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
デジタル放送が映らない。	●B-CASカードは、正しく挿入されていますか。 B-CASカードの抜き差しは必ず主電源を切って行ってください。	27
リモコンで操作できない。	●デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1 ～ 12 ボタンがデータ操作に使われる場合があり、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル ∧ ∨ や番組表でチャンネル切換をしてください。	–
字幕や文字スーパーが出ない。	●「字幕」が「切」に設定されていませんか。 →「日本語」に設定してください。	69
	●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。	–
	●本機で録画モードXP～EPで録画した番組や、字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。	111・153
	●ディスクに収録されていない言語が選ばれていませんか。	–
	●ディスクによっては、ディスクメニューを使って字幕言語を切り換えるものがあります。操作のしかたはディスクによって異なりますので、ディスクの説明書をご覧ください。	–

地上デジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
地上デジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	●UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 →地上アナログ放送終了以降、放送電波環境の見直しが続いています。対象地域では受信状態が変わることがあります。くわしくは総務省テレビ受信者支援センター P.235 へお問い合わせください。	–
	●地上デジタル放送の場合は、「受信設定」の「アッテネーター」の設定を切り換えると、映りが改善されることがあります。	234
映像や音が出ない、またはときどき出なくなる。 映像が静止する、またはときどき静止する。	●受信レベルが低い状態でご覧になっていませんか。 →受信レベルが低いと、天候や近隣の環境(建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など)の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなることがあります。	189・234
	●UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線の劣化などありませんか。 →「アンテナレベル」で受信レベルを確認することができます。何らかの要因で受信レベルが低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	189・234
地上デジタルの放送局のロゴマークが表示されない。	●地上デジタル放送の各放送局を一定時間、選局していると、放送局のロゴマークが表示されるしくみになっています。 ロゴマーク情報の送信時間と受信のタイミングで日数がかかることもあります。	–

■ BS・110度CSデジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
BS・110度CSデジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	●「受信設定」→「衛星」→「アンテナ電源」で「入」を選んでいますか。 ●BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。 ●BS・110度CSアンテナ線を分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。くわしくは電気店他にお問い合わせください。 ●分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。 ●アンテナ接続コネクタがプラスチックのものをお使いの場合、正しく加工されていますか。 →「アンテナレベル」で受信レベルが「22」以上になっているか、ご確認ください。	235 － － － 189・235
BS・110度CSデジタル放送の映りが悪い。	●アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 ●アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。 →「アンテナレベル」で受信レベルが「22」以上になっているか、ご確認ください。	－ 189・235
データ番組の操作をしていたら、チャンネルが切り換わった。	●データ番組のユーザー登録画面などで数字入力する場合がありますが、画面上の番号を選んで入力するときに間違ってリモコンの 1 ～ 12 ボタンを押すと、チャンネルが切り換わってしまうことがあります。	－
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる。	●本機とアンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。 →BS・110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。 くわしくは、電気店やアンテナ工事業者へお問い合わせください。	－
有料放送の視聴ができない。	●B-CASカードは、正しく挿入されていますか。 B-CASカードの抜き差しは必ず主電源を切って行ってください。 ●有料放送を視聴するための手続きをされていますか。 →視聴契約の手続きをしてください。	27 245
BSデジタル放送は映るのに、110度CSデジタル放送が映らない。	●110度CSデジタル対応のアンテナを使用していますか。 →くわしくは、電気店やアンテナ工事業者へお問い合わせください。 ●ブースターや分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応の2.1GHz以上まで対応しているものを使用していますか。 →くわしくは、電気店やアンテナ工事業者へお問い合わせください。 ●契約が必要なチャンネルは、契約しないと見られません。 ●110度CSデジタル放送は、周波数が高いので従来のBSの配線設備では見られないことがあります。 →くわしくは、電気店やアンテナ工事業者へお問い合わせください。	－ － － －
急に画像や音質が少し悪くなった。	●降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	－

BS・110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

● BS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着すると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。

故障かな？と思ったら（つづき）

■ 3D映像を見るとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
3D映像にならない。	●3Dモードの選択は正しいですか。 ●3D赤外線発光部と3Dメガネの間に障害物がありませんか。または、3Dメガネの赤外線受光部にシールなどを貼り付けていませんか。 →3Dメガネは3D赤外線発光部からの信号を受信して動作します。3D赤外線発光部と3Dメガネの間に障害物がないか、確認してください。 ●3Dメガネの電源が切れていませんか。 →3Dメガネの電源ボタンを押して、3Dメガネの電源を入れてください。電源が入っていると、3Dメガネの電源表示灯が約10秒に1回、点滅します。 ●3D映像対応レコーダー/プレーヤーからの3D映像を映す場合、レコーダー/プレーヤー側の3Dモード（「3D設定方式」など）の切り換えが必要なことがあります。（くわしくは、レコーダー/プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。） ●3D視聴中に、横を向くなど3Dメガネがテレビからの赤外線信号を受信できない状態になると、メガネの3D動作が一旦停止することがあります。その場合、向き直っても3D動作が始まるまで二重像に見えることがありますが、故障ではありません。 ●3Dの映像内容によっては、特に周囲温度が低い場合に画面の上下において、3Dの見えかたが異なることがありますが、故障ではありません。 ●本機に対応した3Dメガネを使用していますか。	60〜61 58･60 58･60〜61 60 — — —
市販の3D対応BDビデオソフトが3Dで再生できない。	●「3Dディスク再生設定」が「2D再生」に設定されていませんか。 →「3D再生」に変更してください。	204
3Dメガネの電源が勝手に切れる。	●3D赤外線発光部と3Dメガネの間に障害物がありませんか。または、3Dメガネの赤外線受光部にシールなどを貼り付けていませんか。 →3D赤外線発光部からの信号が途切れると、約3分後に自動的に3Dメガネの電源が切れます。3D赤外線発光部と3Dメガネの間に障害物がないか、確認してください。	58･60
3D映像がおかしい。	●3D映像の状態によっては、3D映像を見ると違和感を感じることがあります。 →「3Dメガネ切換」の設定を切り換えて違和感がなくなるか確認してください。 →3D赤外線発光部からの信号が途切れると、約3分後に自動的に3Dメガネの電源が切れます。3D赤外線発光部と3Dメガネの間に障害物がないか、確認してください。	62
3Dメガネの電源を入れたときに、電源表示灯が5回点滅する。	●3Dメガネの電池が消耗しています。 →3Dメガネの電池を交換してください。 メガネに電池を入れたままにしていると、使用しなくても電池は消耗します。	59
3Dメガネの電源ボタンを押しても3Dメガネの表示灯が点灯しない。	●3Dメガネの電池が消耗していませんか。 →電源ボタンを押しても表示灯が点灯しない場合は、3D メガネの電池を交換してください。 メガネに電池を入れたままにしていると、使用しなくても電池は消耗します。	59
擬似3Dが勝手に切れた。	●擬似3Dは2時間の視聴制限があります。制限は解除できません。	61
3Dメガネを通した映像が明るくなったり暗くなったりする。	●3Dの映像を映すより先に3Dメガネの電源を入れていませんか。 →3Dの映像が映っている状態で3Dメガネの電源を入れ直してください。 ●3Dメガネのシャッター開閉タイミングと映像の切換タイミングが合わなくなっています。 →3Dの映像が映っている状態で3Dメガネの電源を入れ直してください。	60 60

■ ディスク・カードの出し入れ

●画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
ディスクの操作ができない。	●ディスクを入れていますか。 ●ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどができない場合があります。	ー ー
ディスクトレイの開閉ができない。	●操作中、ダビング中、各種メッセージの表示中は、トレイの開閉はできません。 ●本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなることがあります。 本体の［⏏開/閉］を8秒以上の長押しをしてください。 →時計を見ずに感覚で秒数を数える場合は実際の時間より短くなることがありますので、十分余裕を持って押し続けてください。	ー ー
ディスクトレイが出てこない。	●スタンドを取り付ける前に、後面のディスクドライブを起こしましたか。 →スタンドとの共止めが必要です。一旦スタンドを固定しているネジを外し、ドライブ部を水平にし両端の突起部をスタンド固定していたネジで本体に固定します。	20・280
電源「切」のとき、トレイ開/閉でディスクトレイがなかなか出てこない。	●電源「切」状態から制御部を起動するまでの時間がかかります。ディスクが入っているとき、そのディスクの種類により数分かかる場合があります。	ー
ディスクトレイがしばらく出てこない。 出てくるまで時間がかかる。	●情報を更新するため、トレイが開くまでしばらく時間がかかります。	ー
ディスクを入れてから、しばらく操作ができない。	●ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	ー
本機の設定画面やサブメニューが出ない。 表示されない項目がある。	●設定や項目の操作ができない場合は、選べなかったり表示されません。	ー
本体（ハードディスク）やディスク、SDカードが正常に動作しない。	●露付きが起こっていませんか。 →電源を入れたまま、2時間以上お待ちください。 外付（ハードディスク）にも同じことが起こることがありますが、外付に関してはメーカーにお問い合わせください。	16
SDカードの操作ができない。 SDカードの内容が読めない。	●SDカードを入れていますか。 ●SDカードを正しい向きで奥まで（止まるまで）差し込んでいますか。 ●パソコンで編集されたデータは読めないことがあります。 ●SDXCカードには対応していません。	154 154 ー
USBの操作ができない。 USBの内容が読めない。	●本機で対応しているUSB機器を接続していますか。 ●USBケーブルがしっかり差し込まれていますか。 ●SDカードに記録するデジタルカメラ/デジタルビデオカメラの場合、USB接続で認識・読み込みができないときは、SDカードを使用してJPEG再生や映像取り込み（ダビング）を行ってください。 ●録画中、再生中、ダビング中などにUSB機器を接続したときは、認識されないことがあります。 ●パソコンとの接続はできません。	156 154 155〜156・181 ー ー
USB機器を接続したら、外付ハードディスクを登録するためのメッセージが表示される。	●容量が160GB以上のUSB機器は外付ハードディスクとして認識します。そのため登録画面が表示されます。 →USB接続による本機への読み込みはできません。SDカードが使える機器であればSDカードで中継する、など工夫すれば画像が取り込める場合があります。 →外付ハードディスクとして使用する場合は、登録してください。登録（初期化）すると、USB機器内の記録情報が消去されます。 →USB機器内の記録情報を消去したくない場合は、登録しないでください。	ー

故障かな?と思ったら(つづき)

ディスク・カードの出し入れ(つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった。	● USB機器から静止画再生中または映像取り込み(ダビング)中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 →USBケーブルの接続を外してください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。	156・181

番組表(Gガイド)(P.71 もご覧ください。)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
番組表が表示されない。 番組表が8日分表示されない。	● お買上げ時には、番組表は表示されません。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。	71
番組検索用の番組データを受信できない。	● 番組検索用の番組データは、本機の電源が「切」のときだけ受信することができます。電源が「入」のときは受信できません。	71
予約した番組と録画された番組が合っていない。	● 番組表が正しく表示されていても、放送局側の都合により番組の内容が変更されることがあります。	71

録画・録画予約(P.100〜101・105〜107 もご覧ください。)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
録画できない。	● 違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがかかっていませんか。	−
	●「録画禁止」番組を録画していませんか。	106
	● 本体やBD-RE/-Rの残量時間が不足していませんか。 →不要な番組を削除するか、別のBD-RE/-Rに録画してください。	64・159
	● 番組数がいっぱいになっていませんか。 →不要な番組を削除するか、別のBD-RE/-Rに録画してください。	158〜159
	● 録画番組数が録画可能数を超えていませんか。 録画可能数を超える録画はできません。	107
ディスクに録画できない。	● 録画可能なディスクを入れていますか。	100〜101・106
	● 本機では、DVD-RW/-Rには直接録画はできません。 ダビングだけできます。	100・106
	● 他機で記録したディスクは、本機では追加記録できない場合があります。	−
	● 他機で初期化されたディスクは、本機では録画できないことがあります。	−
	● ディスクに傷や汚れがあると、録画できないことがあります。	104
	● ディスクの保護またはディスクのファイナライズをしていませんか。	166〜167
ケーブルテレビのセットトップボックスなど、他の機器の映像が録画できない。	● 本機の入力切換を、録画したい他の機器を接続したビデオ2入力に切り換えていますか。	66・122
	● つないだ機器の電源が入っていますか。	−
	● ケーブルやコードを違う端子(入力/出力も含む)につないでいませんか。	30〜31・35〜37
	● 本機にケーブルテレビ(CATV)のホームターミナル/セットトップボックスや外部チューナーなどを接続して、ビデオ2入力でコピー制限のある番組を録画する場合は、著作権保護の規定により、DVD-RW(AVCREC)/DVD-R(AVCREC)にダビングしたりすることはできません。 →BD-RE/BD-RまたはCPRM対応のDVD-RW(VR)/DVD-R(VR)にダビングすることをおすすめします。	107
	● i.LINK(TS)ケーブル経由で2台以上の機器を本機と接続している場合は、正しく動作しません。	35

■ 録画・録画予約（つづき）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
ケーブルテレビの セットトップボックスなど、 他の機器の映像が 録画できない。（つづき）	●本機のi.LINK（TS）端子に接続できる機器は、ケーブルテレビのi.LINK（TS）対応のセットトップボックス1台だけです。デジタルビデオカメラなどのi.LINK（DV）対応機器やD-VHSビデオなどのi.LINK対応機器は、接続しても動作しません。	35
i.LINK（TS）入力から予約録画した番組が録画できない。	●「高速起動設定」が「切」になっていませんか。 ●「【解説】i.LINK（TS）入力からの録画」もご覧ください。	227 278
スカパー!HDチューナーから予約録画した番組が録画できない。	●「ホームサーバー機能」が「切」になっていませんか。 ●『【解説】「スカパー！ＨＤ録画」』もご覧ください。	214 279
録画予約できない。 録画予約した番組が 録画されない。	●予約スキップをしていると、録画されません。 ●停電があったときは、正しく録画されません。（テレビからのお知らせで確認できます。） ●時計（特に年や月）が合っていますか。 ●ファイナライズ、初期化（フォーマット）、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。 ●本機の予約とi.LINK（TS）入力からの予約が重なったときは、録画開始時刻が早いほうの予約が優先的に録画されます。	129 107・188 238 － 114
i.LINK（TS）入力から予約録画した番組の最初が切れる。	●「ハードディスク節電」が「入」になっていませんか。 →i.LINK（TS）入力から録画予約するときは、通信や起動のため、番組の最初の部分が録画されない場合がありますので、録画開始時刻を多少早めに設定しておくことをおすすめします。	218
番組の最後まで録画できていない。 予約で録画した最後の部分が録画できていない。	●予約が重なっていませんか。 ●前の予約の終了日時と後の予約の開始日時が同じ場合は、前の予約の最後の部分が録画されません。	114 114
2番組を同時に録画できない。	●2番組を同時に録画できない組み合わせがあります。	113
勝手に録画される。	●おすすめ自動録画をしていませんか。	124
録画しても字幕が 記録されない。	●デジタル放送の字幕がある番組を録画モードXP～EPで録画する場合は、「録画予約設定」の「字幕焼きこみ」の設定を「あり」にすると字幕が記録されます。（再生中の字幕の入/切はできません。）	111・209
延長になった番組が最後まで録画できていない。	番組が延長になったときに追跡録画できるのは番組表から予約した番組のみです。 また、次のような場合、番組の延長部分が録画できません。 ●延長になった時間部分に他の予約が入っている場合、後から始まる番組の方が優先されるため、延長になった番組の録画は中断され、後から始まる番組の方が録画されます。本機は2番組同時録画ができますので2番組までは録画されますが、同時録画できない条件がありますので、その場合は延長となった番組の録画は中断されます。 ●放送局からの番組情報の送信されかたにより、番組変更情報を本機で判別できない場合があります。その場合は録画が中断されます。	126

故障かな？と思ったら（つづき）

■ 再生

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
ディスクの再生ができない。	●本機で再生できないディスクや未録画のディスクを入れていませんか。	100〜102
	●ディスクの表裏を正しく入れていますか。	144
	●他機やパソコンで録画したディスクは、本機で再生できないことがあります。	104
	●他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW（Video）/DVD-R（Video）は、本機では再生できません。	104
	●記録状態、ディスクの特性、傷、汚れなどにより、正常に再生できないことがあります。	104
	●BD/DVDビデオの視聴制限設定をしていませんか。	206
	●初期化（フォーマット）のみ行われたディスクは録画一覧画面が表示されません。	—
番組の最初から再生が始まらない。	●つづき再生になっていませんか。	149
録画一覧画面に、録画した番組が表示されない。 録画一覧画面に、録画中の番組が表示されない。 （追っかけ再生ができない。）	●録画一覧画面で該当するジャンルのラベルを選んでいますか。 →録画一覧（全）画面に切り換えると、すべての番組が表示されます。	141
見どころ再生ができない。	●「録画予約設定」→「見どころ再生情報」の設定を希望の設定にして録画予約しましたか。	127・209
	●録画一覧画面の番組名の欄にまたはが付いていますか。	140
	●部分削除、分割をした番組の見どころ再生はできません。	142・165
シーン検索ができない。	●部分削除、分割など編集を行った番組のシーン検索はできません。	151
映像や音声が一瞬止まる。	●2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。	146
画面サイズがおかしい。	● 4:3 16:9 LB 16:9 PS のように、DVD側で画面サイズが指定されているときは、違う種類で表示されることがあります。	—
再生中の映像が乱れる。	●早送り/早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。	—
	●携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。	—
	●ディスクが汚れていませんか。	104
	●放送を録画したときの電波状態が悪かった可能性があります。	—
DVDの再生が途中で自動的に止まる。	●DVDによっては、オートポーズ信号によって、再生が自動的に止まる場合があります。	—
音声が出ない。 字幕が出ない。	●AVアンプなどを接続している場合、接続している機器について次のことを確認してください。 ・接続した機器の電源が入っていますか。 ・接続した機器の入力切換が合っていますか。 ・ケーブルやコードを正しく（入力/出力も含む）接続していますか。	34
	●AVアンプなどを接続している場合、「光音声出力設定」が、接続しているアンプなどに合わせて、正しく設定されていますか。	202
	●本機で録画モードXP〜EPで録画した番組や、字幕情報がない番組については、字幕を切り換えできません。	111・153
	●ディスクに収録されていない言語が選ばれていませんか。	—
ビデオ2入力で録画した番組を再生すると、2つの音声が混ざって聞こえる。	●「録画設定」の「外部音声選択」を「ステレオ」にして録画していませんか。 →録画前に、設定を「二重音声」にしてから録画してください。	112・208

■ 再生(つづき)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
二重音声(二ヵ国語音声)が切り換えられない。 日本語と英語が切り換えられない。	●「録画設定」の「二重音声選択」、「外部音声選択」で設定されている音声で記録されます。 →録画前に、これらの設定を確認してから録画してください。 二重音声(主+副)の二ヵ国語番組では、 ●「XP記録音声」設定を「LPCM」にしてXPモードで録画していませんか。 ●ビデオ2から本体・ブルーレイに録画した番組は、録画の際に「外部音声選択」設定を「ステレオ」にしていませんか。 ●ビデオ2から本体・ブルーレイに録画した番組は、録画の際に「Video高速ダビング」設定を「入」にしていませんか。 ●ビデオ2から本体に取り込んでDVD-RW(Video)/DVD-R(Video)にダビングした番組は、ダビングの際に「Video高速ダビング」設定を「入」にしていませんか。 ●マルチ音声の二ヵ国語番組では、XP~EPモードで録画していませんか。	208 111~112 ・208
デジタル音声(光)出力から出力している二重音声を本機の音声切換操作で切り換えられない。	●「光音声出力設定」を「自動」に設定してデジタル音声出力端子から音声を出力しているときは、本機の音声切換で音声を切り換えることはできません。 →設定を「PCM」にするか、アンプ側で音声を切り換えてください。	202
ディスクの音声言語や字幕言語が切り換えられない。	●ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ●ディスクによっては、ディスクメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。操作のしかたはディスクによって異なりますので、ディスクの説明書をご覧ください。	ー ー
カメラアングルが切り換わらない。	●カメラアングルが切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。	153
家庭内ネットワーク機能でつないだテレビから視聴ができない。	●ケーブルは対応しているLAN2端子に接続され、カチっというまで挿入されていますか。 ●ホームサーバー機能を「入」にしていますか。 ●つないだテレビは、DLNAに対応したデジタルメディアプレイヤーですか。LAN端子があるテレビでもデジタルメディアプレイヤーでないものがあります。 ●本機の動作状態により視聴できない場合があります。	ー ー ー 95
家庭内ネットワーク機能でつないだテレビの映像が途切れたり乱れたりする。	●無線LANで接続している場合は、通信状態により映像や音が途切れたり乱れる場合があります。	ー
外付に移動した番組が録画一覧に表示されない。	●外付ハードディスクが接続されていますか。 →外付ハードディスク一覧で緑色の丸印となっていなければ本機が外付を認識していません。接続をし直してください。何度か接続をし直しても認識しない場合は、ハードディスクメーカーにお問い合わせください。	54
登録した外付ハードディスクを接続しているのに録画一覧の「外付」ラベルが選べない。	●外付ハードディスクに何も番組がないとき、ラベルは薄く表示され選択できません。	140

故障かな？と思ったら（つづき）

■ 消去・編集・ダビング（ P.158・168～171 もご覧ください。）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
番組の編集・削除ができない。ディスクの編集ができない。チャプターマークの編集ができない。	● 番組やディスクが保護されている場合は、消去や編集はできません。 →番組やディスクの保護設定を解除してください。 ● ファイナライズ済みのディスクは番組の消去や編集はできません。	161・166 167
チャプターマークが追加できない。	● チャプターマーク数がいっぱいになっていませんか。 →不要なチャプターマークを削除してください。	158・160
ディスクの残量が、番組を削除しても増えない。	● BD-R、DVD-R、DVD-RW（AVCREC）は、番組を消去してもディスクの残量は増えません。	158
削除・分割した番組を元に戻せない。	● 削除・分割された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、削除・分割してください。	159・164～165
初期化（再フォーマット）した内容を元に戻せない。	● 初期化（フォーマット）して消去された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、初期化してください。	240～241
ファイナライズをしても、他のDVDプレーヤーで再生できない。	● DVDプレーヤーによっては、ファイナライズを行っても再生できないことがあります。	－
ファイナライズが解除できない。	● 本機でファイナライズを解除できるのは、本機でファイナライズを行ったDVD-RW（VR）だけです。	167
ダビングできない。	● 市販のDVDソフト・ビデオソフト・レンタルテープなど、違法複製防止のためにコピーガードがかかっているディスク・テープは、ダビングできません。 ● 他機で録画されてファイナライズされていないDVD-RW（Video）/DVD-R（Video）は、ダビングできません。 ● ディスクに傷や汚れがあると、ダビングできないことがあります。 ● 本機にケーブルテレビ（CATV）のホームターミナル/セットトップボックスや外部チューナーなどを接続して録画したコピー制限のある番組の場合は、著作権保護の規定により、DVD-RW（AVCREC）/DVD-R（AVCREC）にダビングしたりすることはできません。BD-RE/BD-RまたはCPRM対応のDVD-RW（VR）/DVD-R（VR）にダビングすることをおすすめします。 ● 他機で記録したディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 ● 他機で初期化されたディスクは、本機ではダビングできないことがあります。	168 104 104 107 － －
ダビングすると、元の番組が消える。	● 「1回だけ録画可能」番組のダビングや、「ダビング10（コピー9回＋ムーブ1回）」番組の10回目のダビングは、「ムーブ（移動）」になり、録画元の番組は削除されます。	106
ダビング一覧画面から見どころ再生の番組をダビングできない。	● 見どころ再生中の番組は、手間なしダビングでのみダビングできます。	180
ダビングしても字幕がダビングされない。	● デジタル放送を録画モードDR、AF～AEで録画した番組をDR、AF～AEでダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。（字幕がある場合のみ）	111

■ 動画配信サービス

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
「ネットワーク」が利用できない。	●「ネットワーク」を利用するためには、ブロードバンド環境との接続が必要です。また、「動画配信サービス」を利用する場合は、光ファイバー（FTTH）のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。 ●ネットワークの接続と設定は正しいですか。 ●「通信設定」画面の「プロキシ」が「使用する」に設定されている場合は、「動画配信サービス」が利用できないことがあります。 ●利用環境や接続回線の混雑状況などによって、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。	40～41 211～213 213 ―
Cookieを受信しますか？の画面が消えず次の画面が表示されない。	●連続して絶え間なくCookieの受信の確認が行われています。「次回からこのダイアログを表示しない」にチェックマークを入れ「OK」とすると確認せず受信するようになるためこの画面は出なくなり、次の画面が表示されます。	―

■ 家庭内ネットワーク

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
プレーヤー機器の番組一覧に表示されない番組がある。	●外付に移動した番組は、プレーヤー機器で再生できないので表示されません。	95
プレーヤー機器で再生できない番組がある。	●プレーヤー機器側で対応していない録画方式の番組は再生できません。 ●2番組同時録画中他、本機の状態により再生できない場合があります。	95 ―
接続したテレビ（プレーヤー機器）に番組の一覧が表示されない。	●プレーヤー機器一覧で接続拒否に設定されていませんか。 ●ネットワークの接続が外れたり断線したりしていませんか。	214 38

■ 外付ハードディスク

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
外付ハードディスクを登録できない。	●本機で登録できる外付ハードディスクは、容量160 GB～2 TBまでのUSB HDDだけです。（注：160 GBと表示があっても実質容量が160 GBを切るものは外付として使用できません。接続するハードディスクの取扱説明書などでご確認ください。） ●外付ハードディスクは、8台まで登録することができます。（本機に接続できる外付ハードディスクは1台だけです。） ●本機でダビングなどをしているときは、本機に未登録の外付ハードディスクを接続しても登録画面が表示されず登録はできません。ダビングなどの終了後、メニューから登録を行ってください。	50 52 53
他機で初期化された外付ハードディスクが使用できない。	●本機以外（同一形名の当社モデルを含む）で使用した外付ハードディスクを本機で使用するためには、本機で登録する必要があります。登録すると、外付ハードディスクの内容がすべて消去されます。	52
本機で登録した外付ハードディスクが他機で使用できない。	●外付ハードディスクは、登録をしたこの機器でのみ使用することができます。（同一形名の当社モデルでも使用できません。）	52
外付ハードディスクに録画やダビング（録画）ができない。	●外付ハードディスクに録画することはできません。 本体/外付ハードディスク間の番組の移動をすることができます。	100・136

故障かな？と思ったら（つづき）

■ 外付ハードディスク（つづき）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
本体と外付ハードディスクの間で番組の移動ができない。	● 移動できる番組は、録画モードDR、AF～AEの番組だけです。 ● 次の番組は移動できません。 ・録画モードXP～EPの番組 ・保護されている番組 ・ネットワークからダウンロードしたコンテンツ ●「一旦、外付ハードディスクを取り外してから…」と表示が出るときは、外付ハードディスクを接続し直してください。何度か接続し直しても表示が出る場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。	136 136 55
本体と外付ハードディスクの間で番組のコピーができない。	● 本体/外付ハードディスク間の番組のコピーはできません。 移動だけとなり、移動後は移動元の番組が削除されます。	136
本体の番組が勝手に外付ハードディスクに移動している。	● 番組自動移動の設定をしている場合、本体の残量時間が少なくなると自動的に外付ハードディスクに番組を移動します。	137
本体の番組が自動的に外付ハードディスクに移動しない。	● 次の番組は自動的に移動しません。 ・おすすめ自動録画された番組 ・録画モード変換予定番組 ・家庭内ネットワーク機能を利用して本機から送信中の番組	136
録画日付が古い番組がなかなか移動されない。	● 外付から移動させた番組、ディスクなどから取り込んだ番組は、録画日時ではなく移動や取り込みを行った日時を基に自動移動を行いますので、録画日時がより新しい番組が先に自動移動されることがあります。	－

■ その他

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
時計がずれる。（デジタル放送を受信していない場合のみ）	● 本機には、ジャストクロック（時計の自動修正機能）はありませんので、時間経過とともに時計がずれます。（1ヶ月で数分程度） デジタル放送を受信できる場合は、時計が自動修正されます。	－
視聴制限設定の暗証番号（パスワード）を忘れた。	●「全情報の初期化」を行って本機をお買上げ時の状態に戻す必要があります（本体の録画内容も消去されます）ので、暗証番号を忘れないようにしてください。	243
番組ポーズができない。	● 録画中は、番組ポーズはできません。	75
番組ポーズが自動的に終了する。	● チャンネルや入力を切り換えたときや、本機の電源を切ると、番組ポーズは自動的に終了します。 ● 番組ポーズ中に録画予約の録画開始時刻になったときは、番組ポーズは自動的に終了します。	75 75
データ放送が見られない。	● i.LINK（TS）入力中は、データ放送を見ることができません。	－
携帯電話からの受信に失敗する。	● 携帯電話の赤外線発光部を正しく本機のリモコン受光部に向けていますか。 携帯電話の発光部は機種により異なります。 また、できるだけ携帯電話をリモコン受光部に近づけてください。	20・25

● **地上デジタル放送に関するご相談・お問い合わせは、**

地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

TEL　0570-07-0101（IP電話：03-4334-1111）へ。

受付時間　　月～金　9：00～21：00　　土・日・祝日　9：00～18：00

（2012年4月現在）

● **「アクトビラ」に関するお問い合わせは、**

アクトビラ・カスタマーセンター

受付時間　　10：00～19：00＜元旦を除く＞

TEL　0570-09-1017

メールアドレス　　info@desk.actvila.jp

（2012年4月現在）

● **「TSUTAYA TV」に関するお問い合わせ先は、**

TSUTAYA TV公式情報サイトでご確認ください。

TSUTAYA TV公式情報サイト　http://tsutaya-tv.jp

または、「TSUTAYA TV」トップページの「ヘルプ」からもご確認いただけます。

（2012年4月現在）

● **スカパー！放送サービス及びご契約内容の変更に関するお問い合わせは、**

スカパー！カスタマーセンター

0570-039-888（PHS・IP電話のお客様は045-287-7777）

受付時間　　10：00～20：00＜年中無休＞

電話番号はお間違いのないようにお願いします。

お電話いただく前に、有料放送役務契約約款

（http://www.skyperfectv.co.jp/top/legal/yakkan/）の内容をご確認ください。

※個人情報の取扱いに関しましては、プライバシーポリシー

（http://www.skyperfectv.co.jp/privacypolicy/）に記載しております。

（2012年4月現在）

メッセージ表示一覧

本機では、テレビからや放送局からのお知らせとは別に、状況に合わせて画面に「メッセージ」が表示されます。

■ 操作全般

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
アンテナ電源を確認してください。 くわしくは取扱説明書をご覧ください。 （E209）	●映像が映っていない場合は、アンテナ線の芯線と編組線が接触していないか、受信設定でアンテナ電源の設定が間違っていないかを確認してください。 映像が映っている場合は、電源の設定をお使いの環境に合わせて切り換えます。	29・235
Ｂ－ＣＡＳカードを正しく挿入してください。	●B-CASカードが挿入されていません。 B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードの抜き差しは必ず主電源を切って行ってください。	27
地上デジタル放送を受信するためには チャンネルスキャンを行う必要があります。 「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「放送設置」→ 「チャンネル設定」→「地上デジタル」より チャンネル設定を行ってください。	●チャンネル設定が必要です。メニューの「設定」の「初期設定」「放送設置設定」から、「チャンネル設定」で地上デジタルの「初期スキャン」を行ってください。	230
放送を受信できません。 悪天候やアンテナ設置に問題がある場合もあります。 E202	●受信レベルが低くて受信できません。アンテナの接続や向きを確認してください。 ●アンテナ線や配線器具が古いと一部のチャンネルが映らないなど、受信状態が悪くなる場合があります。一旦外して、芯線の折れやぐらつき、さびなどがないか確認し、再度しっかり接続し直してください。場合により新しいものに交換してください。	189・235 49
⃠ ここではこの操作はできません。	●現在、その操作を行うことは禁止されています。	－
まもなく予約録画を開始します。 現在の操作を完了させないと予約録画ができません。現在の操作を中断しますか？ まもなく予約録画を開始します。録画の準備をしてください。	●まもなく予約の録画が始まりますが、現在予約を実行できる状態ではありません。 →予約を実行する場合は、録画できるように準備をしてください。 ●BD-RE/BD-Rへの録画の場合、ディスクが入っていますか。	－ －
まもなく予約録画を開始します。この操作はできません。	●まもなく予約の録画が始まるため、その操作を行うことはできません。 →「同時操作について」も合わせてご覧ください。	115～117
録画中はこの操作はできません。	●現在録画中のため、その操作を行うことは禁止されています。 →「同時操作について」も合わせてご覧ください。	115～117
しばらくお待ちください。	●停電復帰時など、システムの設定中です。設定が終わるまで操作ができませんので、しばらくお待ちください。	－

■ お知らせ

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
✉ （画面表示ボタンを押したとき）	●新着の「テレビからのお知らせ」または「放送局からのお知らせ」があります。 →お知らせの内容を確認してください。	188

■ ディスク・カード挿入

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
未対応のディスクか傷や汚れのため読み込めません。ディスクを取り出して確認してください。	●本機で対応できないディスクが挿入されたか、傷や汚れのあるディスクが挿入されています。 →決定を押して通常画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。	100〜102・104
リージョンコードエラー。再生できません。	●本機で再生できないリージョンコードのディスクが挿入されています。 →ディスクを取り出してください。	102
ＳＤカードに異常が発生しました。	●SDカードのデータを正しく読み込み/書き込みできませんでした。 →決定を押して通常画面に戻したあと、SDカードを取り出してもう一度正しく入れ直してください。	154
未対応のＳＤカードか傷や汚れのため読み込めません。ＳＤカードを取り出して確認してください。	●本機で対応できないSDカードが挿入されたか、傷や汚れのあるSDカードが挿入されています。 →決定を押して通常画面に戻したあと、SDカードを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。 SDカードの取り出しについては P.154 をご覧ください。	102・156
USB機器接続に異常が発生しました。USB機器を外してください。	●USB機器からJPEG再生中または映像取り込み（ダビング）中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 →USBケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。	156・181

■ 番組表

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
番組がありません。	●番組表を表示するための情報がありません。（お買上げ時は、番組データを取得するまでは番組表内に番組が表示されません。）	71〜72

■ 録画

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
ディスクの汚れなどのため、録画を停止しました。	●本体やディスクの傷や汚れのため録画が停止しました。	104
この番組は録画が禁止されています。 停止する場合は確認の後、停止ボタンを押して下さい。	●「録画禁止」番組を録画しようとしています。 ●「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10（コピー9回＋ムーブ1回）」番組を、録画できないディスクに録画しようとしています。	106 106
残量不足のため、録画を中断しました。	●本体やディスクの残量がなくなったため、録画を中断しました。	－
8時間を超えたため、録画を停止しました。	●連続録画時間が8時間になったため、録画を停止しました。 ●1番組あたりの連続録画可能時間は最大8時間です。	108

メッセージ表示一覧(つづき)

■ 予約

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
予約が重なっています。	●予約日時が重なっています。 →決定を押してメッセージを消したあと、日時を変更してください。	114
残量が不足しています。	●ディスクの残量が不足しています。 →決定を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。	64
予約の設定内容が不足しています。	●時刻指定予約で未設定の項目や設定が間違っている項目があります。 →決定を押してメッセージを消したあと、必要な項目を変更してください。	122～123
予約日時が間違っています。	●開始と終了が同時刻になっています。	―
現在、録画中です。この予約はできません。	●録画中に、その録画が終了する前に録画が始まる時間で、その録画中には録画できない条件の予約をしようとしています。	―
予約数がいっぱいなので予約登録できません。	●ユーザー予約数がいっぱいのため、それ以上予約できません。総予約数は最大80番組です。(自動録画含む) →不要な予約を削除してください。	125・129
本体残量がわずかです。不要な録画番組は削除してください。 本体の残量不足で録画を中断する場合があります。不要な録画番組は削除してください。	●本体に録画できる時間がわずかになっています。一発録画中、予約録画中に残量がなくなり録画が中断する可能性もありますので不要な録画は消去して残量を増やしてください。	159

■ 再生

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
ディスクの汚れなどのため、再生を停止しました。	●本体やディスクの傷や汚れのため再生が停止しました。	104
再生できるファイルがありません。	●JPEGのデータを正しく読み込み/書き込みできませんでした。 ●再生できるJPEGファイルがありません。	156 156
再生できませんでした。	●JPEGのデータを正しく再生できませんでした。	156

■ 消去・編集・ダビング

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
正常終了しませんでした。 ディスクに問題がある可能性があります。	●ディスクの傷や汚れなどによって、正常に初期化やファイナライズができませんでした。 →決定を押して通常画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。 ●何も録画されていないディスクをファイナライズすることはできません。	104 ―
これ以上選択できません。	●複数番組を一度に削除できる番組数がいっぱいになっています。複数番組を一度に削除できる番組数は、最大20番組です。 ●ダビング時、複数選択できる番組数がいっぱいになっています。複数選択できる番組数は、最大18番組です。	159 ―
この位置に設定できません。	●番組の部分削除で、開始点と終了点の間隔が短すぎます。チャプターがあるところや、そのすぐ近くには設定できません。	164
この番組はダビングできません。	●ダビングができない番組をダビングしようとしています。	―

■ 消去・編集・ダビング（つづき）

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
このディスクにはダビングできません。	●録画できないディスクにダビングしようとしています。	102・106
この番組はCPRM非対応のディスクにダビングできません。	●コピー制限のある番組は、CPRM対応でないディスクにダビングできません。	―
これ以上、番組を追加できません。	●ダビング一覧の登録タイトル数がいっぱいになっています。ダビング一覧に登録できるタイトル数は最大18です。	175
ダビング先の空き容量が足りません。 ダビング先の残量が不足しているため、ダビングできません。	●ダビングタイトルの総容量がダビング先の空き容量（残量）を超えています。 →ダビングする番組数を減らす、録画モードを変える、などにより容量を減らすことができます。	―
この番組は手間なしダビングできません。 ダビングメニューからダビングして下さい。	●手間なしダビングができない番組です。 →決定を押してメッセージを消したあと、ダビング一覧からダビングしてください。	174〜179
ディスクフルのため、ダビングを中止しました。	●ディスクの残量が無くなったため、ダビングを中止しました。	―
ダビングができませんでした。	●ダビング先のディスクの傷や汚れ、容量不足などによって、ダビングができませんでした。	―
録画中はダビングできません。	●録画中は手間なしダビングができません。	116
以下の理由で、この外付ハードディスクはご使用いただけません。 ・容量が160GB〜2TBの範囲外 ・外付ハードディスクに異常が発生 登録済みの場合、登録は削除され外付ハードディスク内の番組は再生できなくなります。取り外してください。 外付ハードディスクに異常が発生したため、ダビングできませんでした。 一旦、外付ハードディスクを取り外してから接続しなおしてください。 外付ハードディスクに異常が発生しました。 一旦、外付ハードディスクを取り外してから接続しなおしてください。	●外付ハードディスクに異常が発生しています。画面表示内容に当てはまらない場合は、お買い上げのメーカーへお問い合わせください。	―

■ テレビを見ているとき

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
本機のBluetooth機能に異常が発生しました。 この機能は使用できません。	●サービスマンによる点検、修理が必要です。	250
未登録の外付ハードディスクが接続されています。 「外付ハードディスク一覧」から登録を行ってください。	●接続されている外付ハードディスクはまだ登録が完了していません。このままでは使用できませんのでメニューの「設定」→「機能設定」→「外付ハードディスク設定」→「外付ハードディスク一覧」から登録を行ってください。	53
外付ハードディスクが未接続状態になりました。 外付ハードディスク内のデータが壊れる可能性があるため、 取り外しは「外付ハードディスク取外し」から行ってください。	●外付ハードディスクの取り外しが正しく行われませんでした。録画内容が失われるなど不具合が発生する恐れがありますので必ず「外付ハードディスク取外し」から取り外してください。	55

アイコン一覧

ジャンルアイコン

アイコン	アイコンの意味	アイコン	アイコンの意味
	映画		バラエティ
	映画（邦画）		情報／ワイドショー
	映画（洋画）		ニュース／報道
	ドラマ		ニュース／報道（天気）
	スポーツ		アニメ／特撮
	スポーツ（野球）		ドキュメンタリー／教養
	スポーツ（サッカー）		劇場／公演
	スポーツ（ゴルフ）		趣味／教育
	音楽		福祉

リモコン操作時

アイコン	アイコンの意味
R1 R2	リモコンコードが、テレビ側と リモコン側とで食い違っているときの、 テレビ側のリモコンコード

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず本体右側面の主電源を切り、電源プラグを抜いてください。

液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。
  また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
  ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
- 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。
  研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。
  アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
- 水滴や溶剤などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤等を使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。
  ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。

※表面は傷つきやすいので硬いもので押したりこすったり、たたいたりしないように、取り扱いには十分注意してください。
画面についたキズは修理できません。

※手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分にご注意ください。

3Dメガネ

- お手入れする際は、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。

※ホコリのついた布で拭くと、レンズ（液晶シャッター）や赤外線受光部に傷がつくことがあります。

- ベンジンやシンナーなどで拭くと、表面が変形する原因になります。
- 水などの液体につけないでください。
- 保管の際は、湿度の高いところや、温度が高くなるところを避けてください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。

【化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください】

- 柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。

内部

掃除は、販売店に依頼してください。

- 1年に一度くらいを目安にしてください。
  内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。
  電源プラグにほこりがついたりコンセントの差し込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

用語の説明

アイコン
さまざまな意味を簡潔に記号化したものです。

スクイーズ
4:3のテレビでは4:3サイズに収まるように画像が水平方向に縮小される16:9の映像です。

ビットレート
映像・音声データを記録する際に、1秒間に書き込む情報量のことをいいます。

マルチビュー放送
1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。たとえば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送を行う、などが考えられます。

リージョンコード（再生可能地域番号）
BDソフトやDVDソフトは、国によって再生できる記号や番号（これをリージョンコードといいます）が分けられています。
日本の場合、BDソフトは「A」、DVDソフトは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけ再生することができます。

ローカルストレージ
ほとんどのBD-Live対応のBDビデオソフトでは、BD-Live機能を利用して再生するために、他のメディア(ローカルストレージ)にコンテンツのデータをダウンロードする必要があります。
本機では、SDカードをローカルストレージとして使用します。

AAC（エーエーシー）
Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の1つです。AACは、CD並みの音質データを約1／12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

ARC（オーディオリターンチャンネル）
テレビとAVアンプをHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能です。光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

AVCHD（エーブイシーエイチディー）
ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクやSDカードなどに撮影できるように開発された規格です。

Bluetooth（ブルートゥース、ブルーツース）
パソコンのマウスやキーボード、携帯電話などのデジタル機器用の近距離無線通信規格の1つです。

CPRM（シーピーアールエム）
Content Protection for Recordable Mediaの略で、「1回だけ録画可能」番組に対する著作権保護技術です。
デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10（コピー9回＋ムーブ1回）」番組をDVDに記録するときは、CPRM対応のディスクを使います。

Dolby Digital Plus（ドルビーデジタルプラス）
Dolby TrueHD（ドルビートゥルーエイチディー）
Dolby Digital Plusは、Dolby Digitalをさらに高音質、5.1ch以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。
Dolby TrueHDは、DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版で、スタジオマスターの音声データを高品位で再生する音声方式です。
両方式とも、BD規格では最大7.1chまで対応しています。

DTS（ディーティーエス）
Digital Theater Systemsの略で、デジタルシアターシステム社が開発した、デジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD（ディーティーエス エイチディー）
DTSをさらに高音質・高機能化した音声方式で、下位互換により従来のDTS対応アンプでもDTSとして再生できます。
BD規格では最大7.1chまで対応しています。

GB（ギガバイト）、TB（テラバイト）
HDDやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど最大録画時間が長くなります。1 TB ＝ 約 1000 GB となります。

HDMI（エイチディーエムアイ）
High Defi nition Multimedia Interfaceの略で、DVDレコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインターフェースです。
映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続でき、非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

i.LINK（TS）（アイリンク ティーエス）
i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。
本機は、i.LINK（TS）に対応しており、i.LINK（TS）端子を持つ機器間でデジタル放送などで使用されているTS信号（Transport Stream）の映像データのやりとりができます。

JPEG（ジェイペグ）
Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の1つです。
ファイル容量を小さくできる割に画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

MPEG（エムペグ）、MPEG-2（エムペグツー）、MPEG-4 AVC/H.264（エムペグフォー エーブイシー エイチ）

MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。
MPEG-2は、DVDの記録などに使われる方式です。
MPEG-4 AVC/H.264は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

PCM

Pulse Code Modulationの略称でCDなどで使われているデジタル信号です。

USB（ユーエスビー）

Universal Serial Busの略で、周辺機器を接続するためのインターフェースです。本機では、デジタルビデオカメラ/デジタルカメラなどを接続して、写真（JPEG）の再生やハイビジョン画質（AVCHD）動画の本機への取り込み（ダビング）ができます。また、外付ハードディスクを接続して、本体に録画した番組を移動することもできます。

Wi-Fi（ワイファイ）

無線LAN機器が標準規格（IEEE 802.11シリーズ）に準拠していることを示すブランド名です。

3D映像

人がものを見るときの視差（右目と左目で見ている映像のわずかな違い）を応用して、立体的に視聴・再生できるようにした映像です。

【解説】i.LINK（TS）入力からの録画

1 セットトップボックスと本機の接続

ポイント1　i.LINK接続以外にもう1系統セットトップボックスと接続します。
（セットトップボックスと本機の接続例は P.35 をご覧ください。）
i.LINK接続は録画用の映像/音声信号を入力するためだけの接続です。本機のi.LINK入力ではセットトップボックス側の番組表や録画一覧を見たり、予約などのセットトップボックス操作はできません。i.LINKとは別にビデオケーブルやHDMIケーブルでセットトップボックスと本機を接続し、その外部入力画面で操作をしてください。
※ビデオ端子と本機を接続する場合、セットトップボックス側の端子により「メニュー画面」や「番組表」が表示されない場合があります。ご使用のセットトップボックスの取扱説明書をご確認ください。

ポイント2　「S400」対応のi.LINKケーブル（市販）を使います。
S400に対応していないi.LINKケーブルを使用すると、動作しません。

2 セットトップボックスと本機の設定

ポイント1　セットトップボックス側で本機との接続を確認します。
セットトップボックスと本機の電源を入れます。本機は、i.LINK入力ではなく、1 **ポイント1**でつないだ外部入力を選びセットトップボックス側で接続機器として表示されているか確認してください。表示される内容や接続が確認できない場合の対処法はセットトップボックスの機種により異なりますのでくわしくはご使用のセットトップボックスの取扱説明書をご確認いただくか、CATV会社へお問い合わせください。

ポイント2　本機の高速起動設定を「入」にします。 P.227
予約録画を行う場合、本機の高速起動設定を「入」にしないと、録画が開始できる状態となるまでに時間がかかり、予約録画が実行されない場合があります。

3 予約録画の準備

ポイント1　セットトップボックス側で予約設定を行います。 P.132
本機は、i.LINK入力ではなく、1 **ポイント1**でつないだ外部入力を選び、セットトップボックス側の「番組表」や「予約設定画面」にて予約を行ってください。くわしくはご使用のセットトップボックスの取扱説明書をご覧いただくか、CATV会社へお問い合わせください。

ポイント2　本機からディスクを取り出します。
録画が開始できる状態となるのに時間がかかり、予約録画が実行されない場合がありますのでブルーレイやDVDは本機から取り出しておきます。

ポイント3　予約設定後は、本機の主電源を切らない。
本体右側面の『主電源』スイッチで電源を切ると、電源コードをコンセントから抜いたのとほぼ同じ状態になり録画を含む全ての動作ができなくなります。

4 予約中の動作

ポイント1　本機の予約とi.LINK入力からの予約の同時録画はできません。 P.116
録画開始時刻が早い方が優先的に録画され、開始時刻が後の予約は取り消されます。
先の録画が終了した時刻からの録画にはなりません。

ポイント2　本機の主電源を切らない。
本体右側面の『主電源』スイッチで電源を切ると、電源コードをコンセントから抜いたのとほぼ同じ状態になり動作が全くできなくなります。

5 セットトップボックス内蔵のHDDから本機へのダビング

ポイント1　セットトップボックス側で操作を行います。
i.LINK入力ではなく、1 **ポイント1**でつないだ外部入力を選びセットトップボックス側で操作を行ってください。くわしくはご使用のセットトップボックスの取扱説明書をご覧いただくか、CATV会社へお問い合わせください。

ポイント2　ダビングが始まると本機は自動的にi.LINK入力画面に切り換わります。
i.LINK入力画面に切り換わっても、リモコン操作にて他の放送波や入力に切り換えることができます。

【解説】「スカパー！ＨＤ録画」

1 スカパー！ＨＤ対応チューナーと本機の接続

ポイント1 **ネットワークケーブル以外にもう1系統スカパー！ＨＤ対応チューナーと接続します。**
（スカパー！ＨＤ対応チューナーと本機の接続例は P.36～37 をご覧ください。）
LAN端子への接続は録画用の映像/音声信号を入力するためだけの接続です。本機のLAN端子ではスカパー！ＨＤ対応チューナー側の番組表や録画一覧を見たり、予約などのスカパー！ＨＤ対応チューナー操作はできません。ネットワークケーブルとは別にHDMIケーブルでスカパー！ＨＤ対応チューナーと本機を接続し、その外部入力画面で操作をしてください。

ポイント2 **「クロスケーブル」（市販品）は、スカパー！ＨＤ対応チューナーと本機を直接接続する場合に使います。**
「ストレートケーブル」（市販品）は、ブロードバンドルーターやスイッチングハブを経由して接続する場合に使います。
カテゴリー5以上に対応していないネットワークケーブルを使用すると、動作しません。

2 本機の設定

ポイント1 **本機のホームサーバー機能の設定を「入」にします。** P.214
予約録画を行う場合、本機のホームサーバー機能の設定を「入」にしないと、LAN端子接続によるスカパー！HD対応チューナーと通信ができず、予約録画が実行されません。この機能を「入」に設定すると高速起動設定 P.227 が連動して「入」になり、待機時の消費電力が増えます。

ポイント2 **ネットワークの接続状態を確認します。** P.211

3 スカパー！ＨＤ対応チューナーの設定

ポイント1 **スカパー！ＨＤ対応チューナーのネットワーク設定を行います。**

ポイント2 **スカパー！ＨＤ対応チューナーに本機を録画機器として登録します。**
くわしくは、スカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

4 予約録画の準備

ポイント1 **スカパー！ＨＤ対応チューナー側で予約設定を行います。** P.134
本機は、1 **ポイント1**でつないだ外部入力を選び、スカパー！ＨＤ対応チューナー側の「番組表」や「予約設定画面」にて予約を行ってください。くわしくはご使用のスカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

ポイント2 **本機からディスクを取り出します。**
録画が開始できる状態となるのに時間がかかり、予約録画が実行されない場合がありますのでブルーレイやDVDは本機から取り出しておきます。

ポイント3 **予約設定後は、本機の主電源を切らない。**
本体右側面の『主電源』スイッチで電源を切ると、電源コードをコンセントから抜いたのとほぼ同じ状態になり録画を含む全ての動作ができなくなります。

ポイント4 **予約を消去するときは、スカパー！ＨＤ対応チューナー側で操作を行います。**
1 **ポイント1**でつないだ外部入力を選び、スカパー！ＨＤ対応チューナー側で操作を行ってください。くわしくはご使用のスカパー！ＨＤ対応チューナーの取扱説明書をご覧ください。

5 予約中の動作

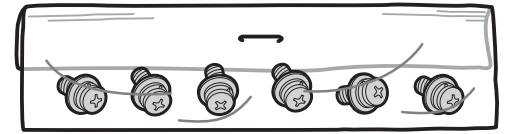
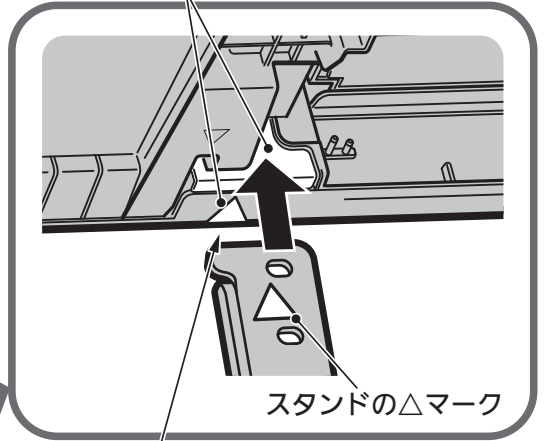
ポイント1 **本機の主電源を切らない。**
本体右側面の『主電源』スイッチで電源を切ると、電源コードをコンセントから抜いたのとほぼ同じ状態になり動作が全くできなくなります。

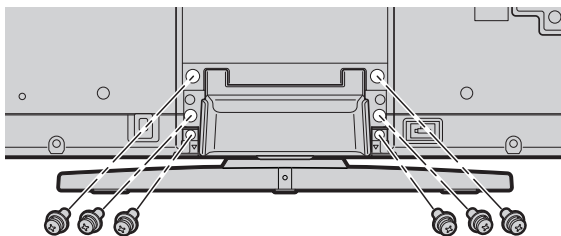
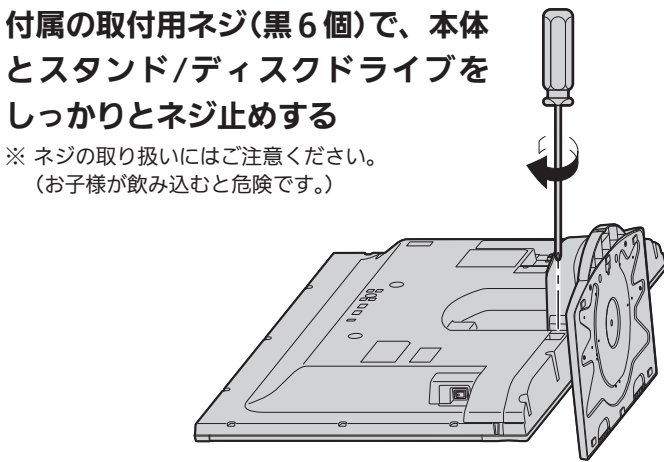
スタンド/ディスクドライブの取り付けかた

用意するもの：プラスドライバー No.2（柄が細みで長いもの）
※ネジ頭の十字穴にぴったり合ったドライバーをお使いください。

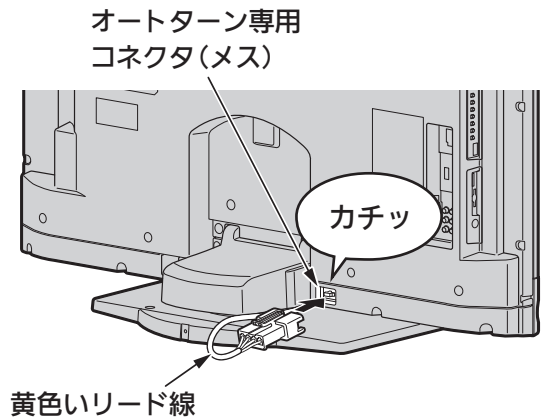
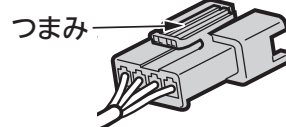
必ず２人以上で作業してください。
作業中は、指をはさまないよう、ご注意ください。

取付用ネジ（黒６個）は、取扱説明書と一緒に袋に入っています。

1 図のようにテレビ本体をふせて置いて、①～③を行う

この部分の△とスタンドの△マークをあわせて、銀色上部の隙間に差し込んでください。

2 付属の取付用ネジ（黒６個）で、本体とスタンド/ディスクドライブをしっかりとネジ止めする

※ ネジの取り扱いにはご注意ください。
（お子様が飲み込むと危険です。）

※ ネジ頭の十字穴にぴったり合ったドライバーをお使いください。十字穴に合わないドライバーをお使いになると、十字穴がつぶれたり、ドライバーの先がつぶれたりしてネジがしっかりしまらなくなります。

3 黄色いリード線を固定しているテープをはがし、コネクタを矢印の方向にオートターン専用コネクタ（メス）へ差し込む

※ テープを付けたままコネクタ部分を引っ張らないでください。
破損の原因になります。

設置後は、必ず転倒防止の処置をしてください。くわしくは、**P.17 をご覧ください。**

索引

や

ら

わ

A、B、C・・・

1、2、3・・・

記号

「困ったとき」もくじ

テレビの上手な使いかた

キャビネットを傷めないために

ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変質する原因となります。

持ち運ぶときは

硬いもの（ズボンのベルト金属部、ジャンパーのファスナー、ボタンなど）が触れると傷が付きますので、注意してください。

液晶パネルは強く押さない

強く押すと、干渉しまが発生するなどの不具合が起きることがあります。
また、液晶パネル面に圧力を加えたままにすると、液晶の劣化やパネルの破損などの原因になります。

上手な見かた

お部屋の明るさに応じて、メニューで画面の「コントラスト」調整を行ってください。

- テレビからの距離は画面の高さの3〜4倍で、また部屋の明るさは新聞が読める程度で見ると見やすく疲れません。
- 暗い部屋は目が疲れます。
  また連続して長い時間画面を見ていると目が疲れます。
- 画面に直接光が差込まない場所に設置してください。

液晶テレビの一部や付属品を廃棄する場合

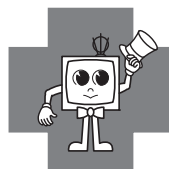
本機の破片、付属品・電池などを廃棄する際は法令・規則に従ってください。
くわしくは、所在の地方自治体にお問い合わせください。

お客さま便利メモ

このテレビの形名は □LCD-V40MDR3 □LCD-40MDR3 □LCD-V46MDR3 □LCD-46MDR3 です。

ご購入年月日	ご購入店名
年　月　日	電　話　（　　）

製造番号	カードID（B-CASカード番号）
保証書および本体後面の銘板部に記載しています。	189ページに記載の「B-CASカード情報」で確認できる「カードID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。

ちょっとした
心づかいで
テレビの安全

愛情点検

●長年ご使用の液晶テレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

本製品は「電気・電子機器の特定の化学物質に関するグリーンマーク表示ガイドライン」に基づく、グリーンマークを表示しています。J-Moss（JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）に基づき、特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有についての情報を公開しています。詳細は、Webサイト http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/ctv/ をご覧ください。

京都製作所　〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

B

872C562B40